令和４年度

主要施策の成果等説明書

高　松　市

地方自治法第２３３条第５項の規定により、令和４年度高松市一般会計及び特別会計決算に係る主要施策の成果等説明書を提出します。

令和５年９月４日

高松市長　　大西　秀人

目　次

Ⅰ　総括

１　会計別決算概況 …… 2

２　一般会計決算概況前年度比較 …… 3

３　市債及び基金の状況 …… 3

４　一般会計歳入決算前年度比較 …… 4

５　一般会計歳出決算前年度比較（目的別） …… 5

６　一般会計歳出決算前年度比較（性質別） …… 6

７　一般会計歳出決算前年度比較（節別） …… 7

８　歳入歳出決算の総計及び繰入繰出金の状況 …… 8

Ⅱ　第６次高松市総合計画に係る主要施策の成果

１　まちづくりの目標別総括表 …… 11

２　まちづくりの目標別主要施策の成果

（１）　健やかにいきいきと暮らせるまち …… 19

（２）　心豊かで未来を築く人を育むまち …… 77

（３）　産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち …… 119

（４）　安全で安心して暮らし続けられるまち …… 169

（５）　環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち …… 235

（６）　市民と行政がともに力を発揮できるまち …… 257

(参考)

第６次高松市総合計画に掲げる施策の目標と実績 …… 291

Ⅰ　総　括

1　　会計別決算概況

（単位:千円）

区分 / 会計別		予算現額	収入済額	支出済額	差引残額	翌年度への繰越財源	実質収支
一般会計		187,454,974	178,379,590	173,585,126	4,794,464	888,218	3,906,246
特別会計	国民健康保険事業	42,517,389	41,702,593	41,633,090	69,503		69,503
	（事業勘定）	42,480,021	41,670,429	41,600,926	69,503		69,503
	（直診勘定）	37,368	32,164	32,164			
	後期高齢者医療事業	6,794,561	6,692,513	6,682,728	9,785		9,785
	介護保険事業	42,811,457	42,740,233	42,058,712	681,521		681,521
	（保険事業勘定）	42,630,177	42,572,790	41,891,269	681,521		681,521
	（介護サービス事業勘定）	181,280	167,443	167,443			
	母子福祉資金等貸付事業	114,044	161,258	52,290	108,968		108,968
	食肉センター事業	361,479	352,693	352,693			
	競輪事業	22,335,760	22,199,180	22,076,910	122,270		122,270
	卸売市場事業	1,467,029	421,090	420,976	114	114	
	中小企業勤労者福祉共済事業	110,061	111,526	105,720	5,806		5,806
	駐車場事業	480,985	478,611	478,611			
	計	116,992,765	114,859,697	113,861,730	997,967	114	997,853
合計		304,447,739	293,239,287	287,446,856	5,792,431	888,332	4,904,099

２　一般会計決算概況前年度比較

（単位:千円）

区　分	令和4年度 A	令和3年度 B	対前年度比 金 額 A－B＝C	対前年度比 増減率 C／B
1 歳入総額	178,379,590	187,375,322	△ 8,995,732	△ 4.8 %
2 歳出総額	173,585,126	182,906,581	△ 9,321,455	△ 5.1 %
3 歳入歳出差引額（形式収支１－２）	4,794,464	4,468,741	325,723	7.3 %
4 翌年度への繰越財源	888,218	663,352	224,866	33.9 %
5 実質収支（３－４）	3,906,246	3,805,389	100,857	2.7 %
6 財政調整基金積立金	2,200,000	2,000,000	200,000	10.0 %
7 翌年度予算計上可能額（５－６）	1,706,246	1,805,389	△ 99,143	△ 5.5 %

３　市債及び基金の状況

（単位:千円）

区　分	令和4年度末 現在高	令和3年度末 現在高	増減額	増減率
一般会計	176,368,497	180,197,465	△ 3,828,968	△ 2.1 %
（臨時財政対策債を除く。）	100,747,097	102,444,603	△ 1,697,506	△ 1.7 %
財政調整基金・減債基金 施設整備基金	16,763,694	16,275,693	488,001	3.0 %

4　一般会計歳入決算前年度比較

（単位：千円）

款名	令和4年度		令和3年度		対前年度比	
	収入済額 A	構成比	収入済額 B	構成比	金額 A－B＝C	増減率 C／B
1 市税	65,155,945	36.5 %	64,051,790	34.2 %	1,104,155	1.7 %
2 地方譲与税	1,048,887	0.6 %	1,043,640	0.5 %	5,247	0.5 %
3 利子割交付金	45,933		83,927		△ 37,994	△ 45.3 %
4 配当割交付金	459,202	0.3 %	521,921	0.3 %	△ 62,719	△ 12.0 %
5 株式等譲渡所得割交付金	313,159	0.2 %	563,284	0.3 %	△ 250,125	△ 44.4 %
6 法人事業税交付金	1,230,617	0.7 %	1,248,178	0.7 %	△ 17,561	△ 1.4 %
7 地方消費税交付金	10,937,610	6.1 %	10,443,603	5.6 %	494,007	4.7 %
8 ゴルフ場利用税交付金	25,368		24,228		1,140	4.7 %
9 自動車取得税交付金	3,081				3,081	皆増
10 環境性能割交付金	106,780	0.1 %	80,074		26,706	33.4 %
11 国有提供施設等所在市町村助成交付金	733		661		72	10.9 %
12 地方特例交付金	457,016	0.3 %	1,115,459	0.6 %	△ 658,443	△ 59.0 %
13 地方交付税	18,547,618	10.4 %	18,861,497	10.1 %	△ 313,879	△ 1.7 %
14 交通安全対策特別交付金	69,069		79,886		△ 10,817	△ 13.5 %
15 分担金及び負担金	852,231	0.5 %	924,085	0.5 %	△ 71,854	△ 7.8 %
16 使用料及び手数料	2,939,184	1.6 %	2,872,009	1.5 %	67,175	2.3 %
17 国庫支出金	39,948,032	22.4 %	46,789,787	25.0 %	△ 6,841,755	△ 14.6 %
18 県支出金	11,913,991	6.7 %	11,737,986	6.3 %	176,005	1.5 %
19 財産収入	156,838	0.1 %	113,507	0.1 %	43,331	38.2 %
20 寄附金	1,116,475	0.6 %	980,852	0.5 %	135,623	13.8 %
21 繰入金	2,721,469	1.5 %	193,985	0.1 %	2,527,484	1302.9 %
22 繰越金	2,468,740	1.4 %	2,805,018	1.5 %	△ 336,278	△ 12.0 %
23 諸収入	4,139,559	2.3 %	3,880,374	2.1 %	259,185	6.7 %
24 市債	13,722,053	7.7 %	18,959,571	10.1 %	△ 5,237,518	△ 27.6 %
合計	178,379,590	100.0 %	187,375,322	100.0 %	△ 8,995,732	△ 4.8 %

5　一般会計歳出決算前年度比較　【目的別】

（単位:千円）

款　　名	令和4年度		令和3年度		対前年度比	
	支出済額 A	構成比	支出済額 B	構成比	金額 A－B＝C	増減率 C／B
1 議　会　費	688,519	0.4 %	701,482	0.4 %	△ 12,963	△ 1.8 %
2 総　務　費	17,560,738	10.1 %	19,586,399	10.7 %	△ 2,025,661	△ 10.3 %
3 民　生　費	76,188,963	43.9 %	80,950,169	44.3 %	△ 4,761,206	△ 5.9 %
4 衛　生　費	17,601,906	10.1 %	18,193,263	9.9 %	△ 591,357	△ 3.3 %
5 労　働　費	181,763	0.1 %	186,940	0.1 %	△ 5,177	△ 2.8 %
6 農林水産業費	2,111,748	1.2 %	2,168,141	1.2 %	△ 56,393	△ 2.6 %
7 商　工　費	3,719,386	2.2 %	3,899,646	2.1 %	△ 180,260	△ 4.6 %
8 土　木　費	13,389,912	7.7 %	13,889,161	7.6 %	△ 499,249	△ 3.6 %
9 消　防　費	5,014,213	2.9 %	5,105,479	2.8 %	△ 91,266	△ 1.8 %
10 教　育　費	18,893,839	10.9 %	20,758,866	11.4 %	△ 1,865,027	△ 9.0 %
11 災害復旧費	2,615		10,659		△ 8,044	△ 75.5 %
12 公　債　費	18,163,727	10.5 %	17,428,977	9.5 %	734,750	4.2 %
13 諸支出金	67,797		27,399		40,398	147.4 %
合　計	173,585,126	100.0 %	182,906,581	100.0 %	△ 9,321,455	△ 5.1 %

6　一般会計歳出決算前年度比較【性質別】

（単位：千円）

区分	令和4年度		令和3年度		対前年度比	
	支出済額 A	構成比	支出済額 B	構成比	金額 A－B＝C	増減率 C／B
1 人件費	32,255,337	18.6 %	31,662,810	17.3 %	592,527	1.9 %
2 物件費	23,771,900	13.7 %	21,769,107	11.9 %	2,002,793	9.2 %
3 維持補修費	2,245,093	1.3 %	2,036,525	1.1 %	208,568	10.2 %
4 扶助費	50,489,000	29.1 %	56,279,925	30.8 %	△ 5,790,925	△ 10.3 %
5 補助費等	16,816,677	9.7 %	15,264,829	8.3 %	1,551,848	10.2 %
6 建設事業費	14,970,461	8.6 %	21,988,594	12.0 %	△ 7,018,133	△ 31.9 %
(1) 普通建設事業費	14,967,846	8.6 %	21,977,935	12.0 %	△ 7,010,089	△ 31.9 %
ア 補助事業費	6,055,955	3.5 %	10,155,876	5.6 %	△ 4,099,921	△ 40.4 %
イ 単独事業費	8,911,891	5.1 %	11,822,059	6.5 %	△ 2,910,168	△ 24.6 %
(2) 災害復旧事業費	2,615		10,659		△ 8,044	△ 75.5 %
7 公債費	18,114,571	10.4 %	17,428,977	9.5 %	685,594	3.9 %
8 積立金	987,715	0.6 %	2,848,004	1.6 %	△ 1,860,289	△ 65.3 %
9 投資及び出資金	965,430	0.6 %	1,092,213	0.6 %	△ 126,783	△ 11.6 %
10 貸付金	1,461,647	0.8 %	841,950	0.5 %	619,697	73.6 %
11 繰出金	11,507,295	6.6 %	11,693,647	6.4 %	△ 186,352	△ 1.6 %
合計	173,585,126	100.0 %	182,906,581	100.0 %	△ 9,321,455	△ 5.1 %
(参考) 義務的経費 （人件費＋扶助費＋公債費）	100,858,908	58.1 %	105,371,712	57.6 %	△ 4,512,804	△ 4.3 %

7　一般会計歳出決算前年度比較【節別】

（単位：千円）

区分	令和4年度		令和3年度		対前年度比	
	支出済額 A	構成比	支出済額 B	構成比	金額 A－B＝C	増減率 C／B
1 報酬	3,889,055	2.2 %	3,820,608	2.1 %	68,447	1.8 %
2 給料	12,915,663	7.4 %	12,527,528	6.8 %	388,135	3.1 %
3 職員手当等	10,864,374	6.3 %	10,856,630	5.9 %	7,744	0.1 %
4 共済費	4,928,081	2.8 %	4,808,720	2.6 %	119,361	2.5 %
5 災害補償費	11,514		9,392		2,122	22.6 %
6 恩給及び退職年金	1,737		1,737			
7 報償費	311,846	0.2 %	306,345	0.2 %	5,501	1.8 %
8 旅費	151,205	0.1 %	187,169	0.1 %	△ 35,964	△ 19.2 %
9 交際費	3,574		2,351		1,223	52.0 %
10 需用費	3,763,798	2.2 %	3,418,994	1.9 %	344,804	10.1 %
11 役務費	1,421,313	0.8 %	1,240,667	0.7 %	180,646	14.6 %
12 委託料	23,159,887	13.4 %	22,748,701	12.4 %	411,186	1.8 %
13 使用料及び賃借料	1,920,129	1.1 %	1,766,956	1.0 %	153,173	8.7 %
14 工事請負費	11,079,852	6.4 %	14,788,708	8.1 %	△ 3,708,856	△ 25.1 %
15 原材料費	18,699		15,213		3,486	22.9 %
16 公有財産購入費	237,968	0.1 %	440,271	0.2 %	△ 202,303	△ 45.9 %
17 備品購入費	611,869	0.4 %	906,284	0.5 %	△ 294,415	△ 32.5 %
18 負担金、補助及び交付金	28,331,142	16.3 %	35,382,985	19.3 %	△ 7,051,843	△ 19.9 %
19 扶助費	35,050,067	20.2 %	34,373,170	18.8 %	676,897	2.0 %
20 貸付金	1,461,647	0.9 %	841,949	0.5 %	619,698	73.6 %
21 補償、補塡及び賠償金	587,633	0.3 %	493,078	0.3 %	94,555	19.2 %
22 償還金、利子及び割引料	19,333,069	11.1 %	18,264,176	10.0 %	1,068,893	5.9 %
23 投資及び出資金	965,430	0.6 %	1,092,213	0.6 %	△ 126,783	△ 11.6 %
24 積立金	987,715	0.6 %	2,848,003	1.6 %	△ 1,860,288	△ 65.3 %
25 寄附金	70,500		71,000		△ 500	△ 0.7 %
26 公課費	64		86		△ 22	△ 25.6 %
27 繰出金	11,507,295	6.6 %	11,693,647	6.4 %	△ 186,352	△ 1.6 %
合計	173,585,126	100.0 %	182,906,581	100.0 %	△ 9,321,455	△ 5.1 %

8　歳入歳出決算の総計及び繰入繰出金の状況

区分 / 会計名		歳入 決算額	歳入 うち繰入金 繰入先の会計	歳入 うち繰入金 決算額
		千円		千円
一般会計		178,379,590	介護保険事業特別会計	126,406
			母子福祉資金等貸付事業特別会計	9,853
			競輪事業特別会計	200,000
			計	336,259
特別会計	国民健康保険事業	41,702,593	一般会計	3,528,335
	後期高齢者医療事業	6,692,513	一般会計	1,413,943
	介護保険事業	42,740,233	一般会計	6,248,533
	母子福祉資金等貸付事業	161,258	一般会計	1,587
	食肉センター事業	352,693	一般会計	253,697
	競輪事業	22,199,180		
	卸売市場事業	421,090	一般会計	24,430
	中小企業勤労者福祉共済事業	111,526	一般会計	11,202
	駐車場事業	478,611	一般会計	25,568
	計	114,859,697		11,507,295
合計		293,239,287		11,843,554

歳出		
決算額	うち繰出金	
	繰出先の会計	決算額
千円		千円
	国民健康保険事業特別会計	3,528,335
	後期高齢者医療事業特別会計	1,413,943
	介護保険事業特別会計	6,248,533
	母子福祉資金等貸付事業特別会計	1,587
173,585,126	食肉センター事業特別会計	253,697
	卸売市場事業特別会計	24,430
	中小企業勤労者福祉共済事業特別会計	11,202
	駐車場事業特別会計	25,568
	計	11,507,295
41,633,090		
6,682,728		
42,058,712	一般会計	126,406
52,290	一般会計	9,853
352,693		
22,076,910	一般会計	200,000
420,976		
105,720		
478,611		
113,861,730		336,259
287,446,856		11,843,554

Ⅱ　第６次高松市総合計画に係る主要施策の成果

(注)

1　事業費の記載について

「施策の概要調書」の事業費及び「主な事務事業の内容一覧」の事業費の合計は、特別会計への繰出金等を含むため、一致しないことがあります。

2　行政評価結果に関する記載について

（1）　「政策の概要調書」の総合評価は、当該年度の行政評価における政策評価の結果を記載しています。

評価項目	評価内容
総合評価	（政策を構成する施策の総合評価の平均得点率） Ａ：８６％以上、Ｂ：７１％以上８６％未満、Ｃ：５６％以上７１％未満、Ｄ：５６％未満

（2）　「施策の概要調書」の総合評価は、当該年度の行政評価における施策評価の結果を記載しています。

また、成果指標の達成度は、当該年度の目標値に対する実績値の割合を記載しています。

評価項目	評価内容
総合評価	（成果指標の達成度から算定した得点率） Ａ：８６％以上、Ｂ：７１％以上８６％未満、Ｃ：５６％以上７１％未満、Ｄ：５６％未満
成果達成度	（当該年度の目標値に対する実績値の割合） 晴れ：１００％以上、薄日：９０％以上１００％未満、曇り：８０％以上９０％未満、 小雨：６０％以上８０％未満、雨：６０％未満

（3）　「主な事務事業の内容一覧」の各事務事業において、成果達成度は、当該年度の目標値に対する実績値の割合を記載しています。また、妥当性、有効性、効率性、総合評価及び今後の方向性については、当該年度の行政評価における事務事業評価の結果を記載しています。なお、評価の記載がない事務事業（事務事業名の前に「(評価対象外)」と記載している事業）は、内部事務や裁量の余地のない事業など一定の要件により事務事業評価の対象外となったものです。

評価項目	評価内容
成果達成度	当該年度の目標値に対する実績値の割合 ※（事業概要、事業実績等）欄に、◎成果指標名　実績値（目標値）を記載しています。
妥当性	（市民ニーズや社会情勢を考慮した、事業の目的や手法の妥当性） Ａ：妥当である、Ｂ：改善の余地がある、Ｃ：大幅な見直しが必要である、Ｄ：市民ニーズ等に合っていない
有効性	（上位施策目標及び住民福祉の向上への貢献度） Ａ：貢献が大きい、Ｂ：貢献が中程度、Ｃ：貢献が小さい、Ｄ：全く貢献していない
効率性	（費用対効果） Ａ：向上している、Ｂ：同程度、Ｃ：低下している、Ｄ：１０％以上低下している
総合評価	（成果達成度、妥当性、有効性、効率性を得点化した得点率） Ａ：８６％以上、Ｂ：７１％以上８６％未満、Ｃ：５６％以上７１％未満、Ｄ：５６％未満
今後の方向性	拡充、継続、改善継続、縮小、統合、完了、休止、廃止

3　市民満足度調査結果に関する記載について

「政策の概要調書」及び「施策の概要調書」における市民満足度調査結果については、当該年度の市民満足度調査結果から、各施策に対する「満足」と「やや満足」を合わせた「満足度」、「やや不満」と「不満」を合わせた「不満度」及び「重要」と「やや重要」を合わせた「重要度」を記載しています。

（参考）施策全体の満足度２６．９％、施策全体の不満度１７．８％

1　まちづくりの目標別総括表

目指すべき都市像

「活力にあふれ 創造性豊かな 瀬戸の都・高松」

287,446,856千円

1　健やかにいきいきと暮らせるまち

171,404,518千円

2　心豊かで未来を築く人を育むまち

11,178,158千円

3　産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち

8,667,915千円

4　安全で安心して暮らし続けられるまち

15,914,191千円

5　環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち

3,945,483千円

6　市民と行政がともに力を発揮できるまち

76,336,591千円

（まちづくりの目標）

1　健やかにいきいきと暮らせるまち

171,404,518千円

（政　策）	（施　策）	
子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実 27,579,910千円	子どもの成長への支援	11,082,863千円
	子育て家庭への支援	16,497,047千円
支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成 31,813,062千円	地域福祉の推進	4,746,895千円
	地域包括ケアシステムの構築	2,240,458千円
	障がい者の自立支援と社会参加の促進	12,614,751千円
	生活困窮者等への自立支援	12,210,958千円
健康で元気に暮らせる環境づくり 112,011,546千円	健康づくりの推進	4,813,459千円
	医療体制の充実	2,462,851千円
	社会保障制度の適切な運営	104,735,236千円

（まちづくりの目標）

２　心豊かで未来を築く人を育むまち

11,178,158千円

（政　策）	（施　策）	
男女共同参画社会の形成 41,976千円	男女共同参画の推進	41,976千円
社会を生き抜く力を育む教育の充実 10,316,531千円	学校教育の充実	2,639,211千円
	学校教育環境の整備	7,636,084千円
	子どもの安全確保	4,302千円
	青少年の健全育成	34,896千円
	家庭・地域の教育力の向上	1,699千円
	大学等高等教育の充実	339千円
心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成 601,257千円	生涯学習の推進	601,257千円
基本的人権を尊重する社会の確立 218,394千円	人権尊重意識の普及・高揚	206,126千円
	平和意識の普及・高揚	12,268千円

（まちづくりの目標）

３　産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	8,667,915千円

（政　策）		（施　策）	
地域を支える産業の振興と経済の活性化	4,718,563千円	商工業の振興	2,119,741千円
		農林水産業の振興	2,257,407千円
		特産品の育成・振興とブランド力の向上	47,670千円
		就業環境の充実	293,745千円
文化芸術の振興と発信	1,831,818千円	文化芸術の振興	1,321,485千円
		文化財の保存・活用	510,333千円
元気を生み出すスポーツの振興	1,086,021千円	スポーツの振興	1,086,021千円
訪れたくなる観光・ＭＩＣＥ（マイス）の振興	977,900千円	観光客受入環境の整備	729,710千円
		観光客誘致の推進	248,190千円
国際・国内交流の推進と定住の促進	53,613千円	国際・国内交流の推進	16,189千円
		移住・交流の促進	37,424千円

（まちづくりの目標）

4　安全で安心して暮らし続けられるまち

15,914,191千円

（政　策）	（施　策）	
安全で安心して暮らせる社会環境の形成 1,878,270千円	消防・救急の充実強化	903,523千円
	防災・減災対策の充実	249,784千円
	交通安全対策の充実	116,063千円
	防犯体制の整備	83,836千円
	生活衛生の向上	512,113千円
	消費者の権利保護と自立促進	12,951千円
環境と共生する持続可能な循環型社会の形成 5,294,752千円	ごみの減量と再資源化の推進	356,948千円
	廃棄物の適正処理	4,839,514千円
	不法投棄の防止	776千円
	地球温暖化対策の推進	28,545千円
	環境保全活動の推進	68,969千円
豊かな暮らしを支える生活環境の向上 8,741,169千円	居住環境の整備	841,486千円
	身近な道路環境の整備	2,546,289千円
	河川・港湾の整備	592,818千円
	みどりの保全・創造	522,096千円
	水の安定供給	106,497千円
	汚水・雨水対策の充実	4,131,983千円

（まちづくりの目標）

5　環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち　3,945,483千円

（政　策）	（施　策）	
コンパクトで魅力ある都市空間の形成　26,788千円	多核連携型コンパクト・エコシティの推進	22,911千円
	景観の保全・形成・創出	3,877千円
快適で人にやさしい都市交通の形成　1,339,113千円	公共交通の利便性の向上	1,150,109千円
	自転車の利用環境の向上	189,004千円
拠点性を発揮できる都市機能の充実　2,579,582千円	拠点性を高める交通網の整備と利用促進	558,690千円
	拠点性を高める道路ネットワークの整備	814,624千円
	中心市街地の活性化	1,206,268千円

（まちづくりの目標）

6　市民と行政がともに力を発揮できるまち

76,336,591千円

（政　策）	（施　策）	
参画・協働によるコミュニティの再生 2,010,362千円	地域コミュニティの自立・活性化	1,838,284千円
	参画・協働の推進	156,518千円
	離島の振興	15,560千円
相互の特長をいかした多様な連携の推進 418千円	連携の推進	418千円
健全で信頼される行財政運営の確立 74,325,811千円	職員力の向上	27,202,678千円
	効率的で効果的な行財政運営の推進	47,123,133千円

（1）健やかにいきいきと暮らせるまち

２　まちづくりの目標別主要施策の成果

令和４年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
	政　策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実

総合評価
B

１　政策の概要

子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実を図るため、母子の健康の確保と増進、病気の予防や早期発見への取組に加え、子どもの生きる力を育てる教育や体験学習環境の整備・充実に努めるとともに、障がいのある子どもや様々な理由により配慮が必要な子どもを始め、全ての子どもが、地域の中で安心して生活し、成長・自立していけるよう、子どもの成長への支援に努めます。

また、子育て家庭が孤立することなく、心身ともにゆとりをもって子育てができるよう、地域社会全体で支援するとともに、男女が共に仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を実現できるよう、子育て家庭への支援に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
子どもの成長への支援	90%	A
子育て家庭への支援	76%	B
平均	83%	B

３　政策の評価

子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実に向けて、２施策に取り組んだ。

「子どもの成長への支援」では、設定する３つの成果指標のうち、自立支援プログラム策定者の就職率において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。

「子育て家庭への支援」では、設定する３つの指標のうち、保育施設等待機児童数（４月１日現在）において、受入れ枠を増やしたものの、地域ごとの需要に偏りがあることから、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成又はおおむね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は８３％となり、政策全体として目指す方向におおむね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「Ｂ」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
子どもの成長への支援	28.1%	18.0%	79.6%
子育て家庭への支援	26.5%	19.5%	78.9%
平均	27.3%	18.8%	79.3%

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	子どもの成長への支援

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
11,082,863千円	A	28.1%	79.6%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政　策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実
担当局	健康福祉局、教育局

対象	市内の１８歳未満の児童及びその保護者	意図	全ての子どもの健やかな成長を社会全体で支え、子どもを生み育てやすいまちづくりを推進する。

概要（実績）

妊婦や乳幼児に対する健康診査を始め、子どもの成長・発達についての情報提供や相談を実施し、子どもと保護者の心身の健康保持に寄与したほか、ひとり親家庭の自立に向けた就労支援などにも取り組んだことにより、子どもと保護者への支援の充実につながった。

成果指標

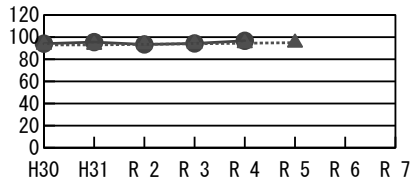
①

指標名	１歳６か月児健康診査受診率	R 4実績	R 4目標	達成度
		96.7%	94.5%	102.3%

状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、かかりつけ医等における個別健診を実施したことで、コロナ禍においても、目標の受診率を達成することができた。
また、健診後、家庭訪問等を通して、一人一人に適した支援を提供することで、保護者の不安や負担の軽減を図ることができた。

達成度の推移



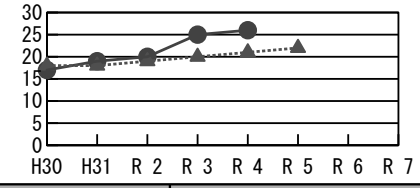
②

指標名	認定こども園数	R 4実績	R 4目標	達成度
		26施設	21施設	123.8%

状況

幼稚園と保育所の機能を併せ持ち、保護者の就労形態にかかわらず、教育と保育を一体的に提供できる私立の「認定こども園」の普及を促進したことにより、目標を達成することができた。

達成度の推移



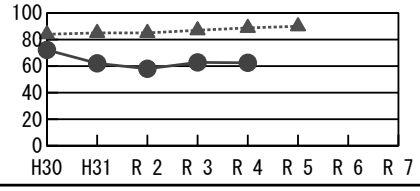
③

指標名	自立支援プログラム策定者の就職率	R 4実績	R 4目標	達成度
		62.5%	88.8%	70.4%

状況

目標値には達しなかったが、就職件数としてカウントされないプログラム策定者の中には、当初転職を希望していたものの、結果的に継続就労を選択した者や、専門性の高い職に就くため、学校に通い始めた者等が含まれており、就労支援という点において、一定の役割を果たすことができている。

達成度の推移



施策の課題

子どもの健やかな学びを支援するために、子ども一人一人の発達段階に応じた質の高い教育・保育を安定的に提供することが必要である。
また、地域ぐるみでの子育て支援の充実が求められていることから、様々な形態や種類の子育て支援団体との相互交流とネットワークづくりや連携強化など、体制強化が必要である。

施策の方向性

令和２年３月に策定した「第２期高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、子どもの心身の健やかな育ちへの支援、健やかな成長を促す学びへの支援、配慮を要する子どもと保護者への支援などに取り組むことにより、子どもの成長と子育てを社会全体で支援していく。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	各種医療給付事業 112,717千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			82.4%		A	A	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 子どもの健全育成を推進するため、未熟児養育医療、育成医療、小児慢性特定疾病医療に係る医療費の公費負担を行い、患者家族の医療費負担の軽減に寄与した。 ◎各事業の給付件数　実績１，０３０件（目標１，２５０件）							
2	こんにちは赤ちゃん事業（新生児訪問指導） 24,365千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			168.0%	96.8%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 生後間もない乳児がいる家庭を、助産師や保健師が訪問し、専門的な立場から様々な悩みを聞き、子育てに関する情報の提供、母子の養育環境等の把握や助言、育児支援を行った。 助産師・保健師の、きめ細やかな支援や情報提供等により、産婦の不安や負担の軽減につなげることができた。 ◎新生児訪問指導の未把握数　実績１６人（目標５０人） ◎訪問実施率　実績９６．８％（目標１００％）							
3	妊娠期からの子育て世代包括支援事業 326,750千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	86.9%		A	A	B	A	拡充
		（事業概要、事業実績等） 各総合センター等に設置している「子育て世代包括支援センター」に母子保健コーディネーターを配置し、妊娠届出時の面接や相談の充実などに取り組んだ結果、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援につなげることができた。 関係機関等との連携及び協力体制を強化するための「子育て世代包括支援ネットワーク会議」は、予定どおり開催し、更なる連携強化を図った。 ◎把握しているハイリスク妊婦のうち支援につながった割合 実績７８．２％（目標９０％）							
4	（評価対象外）妊婦・乳児及び歯科健康診査事業 356,558千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 妊婦・乳児健康診査や妊婦・幼児歯科健康診査の助成を行うことにより、必要な時期に健康診査を受けることができ、健やかな妊娠出産に寄与した。 また、新生児に対する聴覚検査の助成を行うことにより、新生児の聴覚異常について、早期の発見と支援につなげることができた。							
5	不妊治療支援事業 74,966千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	52.3%	75.1%	A	B	C	C	継続
		（事業概要、事業実績等） 令和４年度からの不妊治療への保険適用に伴い、従来の特定不妊治療助成事業の経過措置とともに、本市独自の新たな助成事業「高松市こうのとり応援事業」を開始し、子どもを持とうとする夫婦の経済的負担の軽減に寄与した。 ◎特定不妊治療の助成件数　実績２１７件（目標４１５件） ◎こうのとり応援事業の助成件数　実績２６３件（目標３５０件）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	母子健康相談事業 9,606千円 健康福祉局 健康づくり推進課		72.1%		A	A	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 妊娠期には保健師等の専門職による、はじめてのパパママ教室や多胎妊婦対象のさくらんぼ教室を開催し、沐浴や着替えの体験、講義や相談により、育児に必要な知識や育児支援の情報提供などを行った。 また、乳幼児期にも保健師等の専門職による４か月児相談、ことば相談、ひまわり個別相談、のびのび教室等を実施し、子育て中の悩みや不安を聴き、子どもとの関わり方のアドバイスや子育て支援情報の提供などを行い、育児の不安感・負担感の軽減に寄与した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業の一部を中止、縮小した。 ◎各事業参加者数　実績９，５２３人（目標１３，２００人）							
7	（評価対象外）幼児健康診査事業 54,825千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 幼児健康診査時の保健師や臨床心理士、言語聴覚士等の専門職による個別相談や、保育士による子どもとの具体的な関わり方のアドバイス、子育て支援情報の提供等により、子どもの発育・発達や育児に対する不安や負担を軽減することができた。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、１歳６か月児健康診査は医療機関での個別健診で実施した。							
8	年長児童の赤ちゃん出会い・ふれあい交流事業 2,110千円 健康福祉局 子育て支援課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			80.0%	90.0%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 次代の親となる子どもの豊かな人間性を育成するため、地域子育て支援拠点事業実施団体と協働して、中学生を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとの関わり方等の学習及び抱き方、遊び方等の体験学習を行った。 ◎ライフデザインを考えるきっかけとなった生徒の割合 実績８０％（目標１００％） ◎乳幼児に関心を持つようになった生徒の割合 実績９０％（目標１００％）							
9	私立認定こども園施設型給付事業 4,145,993千円 健康福祉局 こども保育教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			34.5%		A	A	B	D	継続
		（事業概要、事業実績等） 子ども・子育て支援新制度において、私立認定こども園に対し、国で定める公定価格に基づき、施設型給付として給付することにより、保育サービスの充実につながった。 ◎待機児童数（４月１日現在）　実績１９人（目標０人）							
10	私立幼稚園施設型給付事業 674,239千円 健康福祉局 こども保育教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			34.5%		A	A	B	D	継続
		（事業概要、事業実績等） 子ども・子育て支援新制度に移行している私立幼稚園に対し、法で定める公定価格に基づき、施設型給付として給付することにより、私立幼稚園の適正かつ円滑な運営を助長し、就学前教育の充実につながった。 ◎待機児童数（４月１日現在）　実績１９人（目標０人）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	保育所・幼稚園等施設整備事業 220,431千円	一般重点	100.0%	100.0%	A	A	B	A	継続
	健康福祉局 こども保育教育課	（事業概要、事業実績等） 公立保育所の大規模修繕を実施したことにより、教育・保育環境が向上した。 ◎認定こども園対象児童数　実績１，２３３人（目標１，２３３人） ◎大規模修繕実施施設対象児童数　実績１，２７４人（目標１，２７４人） なお、田井・大町地区幼保一体化施設整備事業は、設計内容の検討に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：５８，３５７，０００円） また、前年度からの繰越事業である田井幼稚園解体工事等については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：２１，８７４，２００円）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
12	保育所・幼稚園等への芸術士派遣事業 34,877千円		92.0%	0.0%	A	A	B	C	継続
	健康福祉局 こども保育教育課	（事業概要、事業実績等） 芸術士と派遣先である保育所・こども園及び幼稚園児童が協同し、継続して創作活動を実施したことにより、子どもたちが持っている感性や創造力を伸ばすことができた。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動報告展は中止した。 派遣実績：派遣施設数９７施設　派遣回数１，５９４回 ◎芸術士派遣事業実施施設の満足度　実績９２％（目標１００％） ◎活動報告展の入場者数　実績０人（目標３００人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
13	子ども・子育て支援事業 20,415千円		82.5%		A	A	A	A	継続
	健康福祉局 こども未来館	（事業概要、事業実績等） みんなのひろば・プレイルームを子どもと保護者が共に育ち合う場として、また、保護者同士の交流や情報交換の場として、子どもと保護者の居場所を提供したことにより、子育て支援に貢献した。 ◎みんなのひろば・プレイルーム利用者数 実績５７，７２４人（目標７０，０００人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
14	こども未来館学習体験事業 36,636千円		126.1%		A	A	A	A	継続
	健康福祉局 こども未来館	（事業概要、事業実績等） こども未来館の施設を活用した体験的な学習活動を通して、子どもたちの想像力（創造力）や探求心を育むことにより、健やかな成長への支援に寄与した。 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小学校１０校と市内中学校５校を含む計６３校について、こども未来館学習を実施したことにより、好評を得た。 ◎こども未来館学習実施延べ人数　実績４，７６８人（目標３，７８０人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
15	こども未来館わくわく体験事業 1,869千円		108.9%		A	A	A	A	継続
	健康福祉局 こども未来館	（事業概要、事業実績等） 子どもの夢や想像力を育むような、魅力あるイベントプログラムを提供することにより、子どもを中心とした幅広い世代の人々が来館し、世代間交流の場として、また、子どもの遊び・体験・学びの場として貢献した。 ◎わくわく体験事業参加者数　実績４，１３９人（目標３，８００人）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
16	（評価対象外）こども未来館管理運営事業 60,745千円 健康福祉局 こども未来館	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） こども未来館施設に係る保守点検、施設総合管理業務、機械警備業務、清掃業務等を実施したことにより、適正な施設管理を行った。 なお、排煙装置の電動機修繕については、部品の調達に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２，１８９，０００円）							
17	（評価対象外）公立保育所等運営事業 2,019,431千円 健康福祉局 運営支援室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 児童福祉施設最低基準等に基づき、市立保育所・こども園の維持管理を適正に行うとともに、安全で快適な保育環境を整えたことにより、保育している乳幼児の健やかな育成に寄与した。							
18	（評価対象外）新規採用保育教育士実地研修指導事業 1,059千円 教育局 総合教育センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 保育所配属の新規採用保育教育士に対し、退職した保育所長が年間６回訪問し、職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施したほか、具体的な相談を受けることにより、使命感や実践力を養うことができた。							
19	（評価対象外）幼稚園管理運営事業 229,104千円 健康福祉局 運営支援室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 幼稚園設置基準等に基づき、市立幼稚園の維持管理を適正に行うことにより、保育している幼児の心身ともに健やかな育成に寄与した。							
20	（評価対象外）幼稚園管理運営事業（総合教育センター分） 4,277千円 教育局 総合教育センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、計画した研修はオンライン、オンデマンドも使用しながら全て実施した。 また、国からの委託事業として幼保小の架け橋プログラム調査研究事業を３年間実施することとなり、１年目に当たる令和４年度は、開発校区を指定し、架け橋カリキュラム開発に取り組んだ。就学前施設及び小学校には、本市の実態及び課題を提示し、研究テーマを設け、実践をもとに協議し、研究を進めることができた。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
21	（評価対象外）公立保育所等管理事業 191,727千円 健康福祉局 施設対策室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 児童福祉施設最低基準等に基づき、市立保育所・こども園の維持管理を適正に行うとともに、安全で快適な保育環境を整えたことにより、保育している乳幼児の健やかな育成に寄与した。							
22	（評価対象外）要保護児童対策事業 10,407千円 健康福祉局 こども女性相談課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 社会問題となっている児童虐待の増加を防ぎ、減少させるために必要な事業であり、予防のための各種啓発活動、具体的事例の解決のためのケース会議、関係機関を対象とした講演の実施など、積極的に行ってきた。また、通告のあった児童の支援に係る進行管理を確実に行うことができた。 また、国の要保護児童等に関する情報共有システムに連携させるため、保健福祉総合システムを改修した。 高松市児童対策協議会 代表者会議　１回 実務者会議　１５回（情報交換会を含む） 個別ケース検討会　１５７回							
23	（評価対象外）養育支援訪問事業 1,150千円 健康福祉局 こども女性相談課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 児童虐待につながるおそれのある、養育に不安を抱える家庭を訪問することなどにより、状況悪化の歯止めとなった。 訪問等家庭数　７６家庭 訪問実施延回数　３３７回 従事延人数　４４６人 （全て委託分を含む）							
24	（評価対象外）子育て短期支援事業 1,107千円 健康福祉局 こども女性相談課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 保護者が病気、仕事、育児疲れなどで、一時的に養育が困難となった場合に、児童養護施設等で児童を一時的に養育・保護することにより、児童やその家庭の福祉の向上を図った。 実人数　１７人 延日数　２０４人日							
25	（評価対象外）児童家庭相談事業 17,012千円 健康福祉局 こども女性相談課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 社会問題となっている児童虐待の増加を防ぎ、減少させるために、養育に不安のある保護者に対し、家庭訪問や電話対応など、問題解決に向けて積極的に活動できた。 子ども家庭支援員及び家庭相談員　計６人（令和４年４月１日現在） 相談日時　月曜日～金曜日　８時３０分～１７時 相談対応件数　１，４８６件（延べ相談対応件数１５，１６９件）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
26	（評価対象外）母子生活支援施設運営事業 20,523千円 健康福祉局 こども女性相談課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 配偶者のいない女子又はこれに準ずる事情にある女子（ＤＶ被害にあった女子等）とその者の監護すべき児童が福祉に欠けると認められた場合において、母子保護を実施し、自立促進のための生活支援を行った。 令和５年３月１日現在の入所状況　３世帯７人（実入所世帯・入所者数）							
27	ひとり親家庭子育て支援事業 741千円 健康福祉局 こども家庭課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 生後６か月から小学校６年生までの子どもを養育するひとり親家庭を対象に、たかまつファミリー・サポート・センターの利用料金の一部を助成することにより、ひとり親家庭の父母等の育児の負担軽減に寄与した。 また、公募により、ひとり親家庭の子どもの心身の健全な発達に寄与する事業を実施する民間団体を選定し、補助金を交付した。ひとり親家庭への情報提供や交流を促進し、本市のひとり親家庭の福祉の増進に寄与した。 補助金交付団体　１団体（補助金　２００千円） ◎利用時間数　実績１，１８５時間（目標１，１８５時間）							
28	ひとり親家庭自立支援事業 10,602千円 健康福祉局 こども家庭課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			80.5%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 母子・父子自立支援員３人を配置し、ひとり親家庭の自立に関する相談に応じ、必要な情報提供及び指導を行い、ひとり親家庭の自立に寄与した。 ◎母子自立支援相談件数　実績８０５件（目標１，０００件）							
29	ひとり親家庭等医療費助成事業 430,073千円 健康福祉局 こども家庭課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
					A	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） ひとり親家庭等を対象に、保険診療に係る高額療養費限度額までの自己負担分を助成することにより、対象世帯の経済的負担を軽減できた。 年間支給件数　　１４１，６２４件 年間助成額　　４１８，３６４千円							
30	ひとり親家庭無料職業紹介事業 4,586千円 健康福祉局 こども家庭課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			32.0%	140.0%	A	A	D	C	継続
		（事業概要、事業実績等） 児童扶養手当受給者等を対象に、各人の状況に応じた自立支援プログラムを策定し、きめ細やかで継続的な就労支援を実施した。 また、本庁舎２階ハローワーク高松・ジョブコーナーとの連携により、職業紹介や求人情報の提供などを行ったほか、こども家庭課内に開設している高松市ひとり親家庭無料職業紹介所から職業紹介をしたことにより、効果的に就労を支援した。 ◎自立支援プログラム策定件数　実績３２件（目標１００件） ◎高松市ひとり親家庭無料職業紹介所紹介件数　実績７件（目標５件）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容							
31	母子家庭等就業・自立支援事業 1,933千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			140.0%	126.7%	A	A	A	A	継続
	健康福祉局 こども家庭課	（事業概要、事業実績等） ひとり親家庭の父母等を対象とした母子家庭等就業・自立支援センター事業をＮＰＯ法人面会交流支援センター香川に委託し、面会交流支援事業等を実施した。 また、疾病や就職活動のため一時的に生活援助が必要となった場合に、高松市社会福祉協議会の家庭生活支援員を派遣し、家事等のサービスを一時的に提供するひとり親家庭等日常生活支援事業を実施したことにより、ひとり親家庭等の生活の安定につながった。養育費確保支援事業を実施することで、ひとり親家庭の生活の安定を促進することにつながった。 ◎債務名義取得促進事業補助件数　実績１４件（目標１０件） ◎ひとり親家庭等日常生活支援事業利用登録数　実績１９人（目標１５人）							
32	（評価対象外）母子家庭等自立支援給付金事業 35,230千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 こども家庭課	（事業概要、事業実績等） ひとり親家庭の父母等に対し、看護師等の資格取得を目的として養成機関で修業する場合に支給する高等職業訓練促進給付金（修業期間修了時には修了支援給付金）や、就職に役立つ技術を取得するための通信教育受講や専門学校への通学等、教育訓練施設等に支払った経費の一部を支給する自立支援教育訓練給付金の給付を行ったことにより、母子家庭の母又は父子家庭の父の主体的な能力開発を支援した。 高等職業訓練促進給付金（支給人数２７人、支給額３１，４７１千円） 高等職業訓練修了支援給付金（支給人数９人、支給額４２５千円） 自立支援教育訓練給付金（支給人数１０人、支給額３，１８７千円） 過年度収入精算返還金　　１４７千円							
33	（評価対象外）母子福祉資金等貸付事業 52,290千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 こども家庭課	（事業概要、事業実績等） ひとり親家庭の父母等に対し、母子福祉資金等を貸し付けることにより、対象世帯の経済的自立と生活意欲の向上が図られ、当該家庭の児童の福祉の増進につながった。 令和４年度より、貸付金の償還業務を外部委託することにより、償還率の向上と母子父子自立支援員による集金等の事務を軽減を図った。 令和２年度母子福祉資金特別会計決算余剰金の基準額超過に伴い、国庫償還金の支出を行った。 貸付件数　　２６件 貸付金額　　１８，９８６千円 貸付事務費　　１，５８７千円 国庫償還金　　２１，８６４千円 一般会計繰出金　９，８５３千円							
34	（評価対象外）児童扶養手当支給事業 1,708,085千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 こども家庭課	（事業概要、事業実績等） １８歳到達後最初の３月３１日までの間にある児童（政令で定める程度の障害の状態にある児童は２０歳未満）を養育しているひとり親家庭の父又は母等に、「児童扶養手当」を支給したことにより、ひとり親家庭の生活の安定及び自立の促進に寄与した。 受給者数　　３，１８７人 支給額　　１，６８８，５７０千円 支給事務費　　１６，５６４千円 過年度収入精算返還金　２，９５１千円							
35	発達障がい児等支援事業（こども保育教育課分） 25,993千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	A	B	A	継続
	健康福祉局 こども保育教育課	（事業概要、事業実績等） 発達障がい児を受け入れる私立保育所、認定こども園及び小規模保育事業所に対し、受入費用の一部を支援したことにより、発達障がい児の健やかな成長に寄与した。 ◎発達障がい児等受入率　実績１００％（目標１００％）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><td rowspan="4">36</td><td rowspan="3">医療的ケア児支援事業

15,195千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td>一般重点</td><td>100.0%</td><td></td><td>A</td><td>B</td><td>A</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
医療的ケア児の支援を実施することで、医療的ケア児の保育・教育環境の整備や保護者の就労支援、医療的ケア児の自立促進に貢献した。

◎希望者に対して医療的ケアを実施した割合　実績１００％（目標１００％）</td></tr>
<tr><td>教育局
総合教育センター</td></tr>
<tr><td rowspan="4">37</td><td rowspan="3">発達障がい児等支援事業（運営支援室分）

143,649千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>100.0%</td><td></td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
市立保育所、こども園及び市立幼稚園に支援員を配置し、関係機関と連携をしながら、早期に対応することで、支援を必要とする乳幼児一人一人のニーズに応じた教育・保育環境を提供することができた。

◎発達障がい児等支援員配置率　実績１００％（目標１００％）</td></tr>
<tr><td>健康福祉局
運営支援室</td></tr>
</table>

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	子育て家庭への支援

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
16,497,047千円	B	26.5%	78.9%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政　策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実
担当局	健康福祉局、教育局

対象	市内の１８歳未満の児童及びその保護者	意図	全ての子育て家庭が、心身共にゆとりをもって子育てができる環境を整える。

概要（実績）

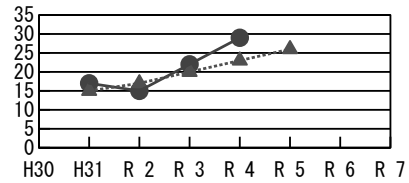
子ども医療費の助成や多子世帯の保育料の減免など、各種の経済的な支援を行ったほか、地域子育て支援拠点事業など、子育て家庭に対するサポート体制の充実を図り、子育てしている保護者の負担を軽減した。
また、延長保育、一時預かり、休日保育、病児保育など、子育て家庭のニーズに即した保育サービスを提供した結果、保護者が安心して就労できる環境を整え、子育てと仕事の両立支援に一定の効果が得られた。

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	子ども食堂等箇所数	29か所	23か所	126.1%

状況：子ども食堂の開設・運営に係る支援を行い、新規開設を促したため、目標を達成することができた。

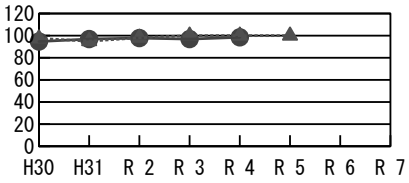
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
②	放課後児童クラブ入会率	98.5%	100%	98.5%

状況：「第２期高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、公立放課後児童クラブ１教室、民間放課後児童クラブ５教室を開室したことにより、受入可能児童数が増加したが、それを上回る利用希望があったため、目標を達成することができなかった。

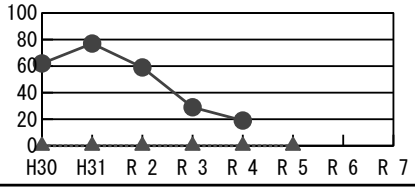
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
③	保育施設等待機児童数（４月１日現在）	19人	0人	34.5%

状況：「第２期高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、保育所の創設等により、受入れ枠を増やしたものの、地域ごとの需要に偏りがあることから、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



施策の課題

【健康福祉局】令和４年版「少子化社会対策白書」（内閣府）によれば、第１子出産後に就業を継続した女性の割合は５割を超えたものの、離職した女性の４分の１が仕事と育児の両立の難しさを理由としており、仕事と子育てが両立できる環境整備を、国・県・企業等と連携を図りながら、推進していくことが求められている。
【教育局】ボランティアや保健師等の連携・協力の下、引き続き、４か月児相談を活用したブックスタート事業を積極的に実施し、読書活動の更なる推進を図ることが必要である。

施策の方向性

令和２年３月に策定した「第２期高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、地域における子育て支援や、子育てと仕事の両立支援などに取り組むことにより、安心して子育てできる環境づくりを推進する。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	子育て支援対策推進事業 3,832千円 健康福祉局 子育て支援課		101.0%	141.1%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 子育てハンドブックの発行、らっこネットの運営などによる子育て支援情報発信のほか、こども未来ネットワーク会議の開催等による子育てに関するネットワークづくりを推進したことにより、地域ぐるみでの効果的な子育て支援につながった。 ◎ネットワーク会議参加者総数　実績１０１人（目標１００人） ◎らっこネットアクセス件数　実績７０，５５９件（目標５０，０００件）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
2	子ども食堂等支援事業 5,658千円 健康福祉局 子育て支援課	一般重点	126.1%	90.0%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 子ども達に無料又は安価で温かく栄養バランスの取れた食事を提供するとともに、地域住民とのつながりの強化や学習・生活習慣についての支援も行う子ども食堂に対して、開設や運営に係る費用の一部を補助することなどにより、子どもの孤食を防止するほか、安らげる場所を提供することができた。 また、子ども食堂ネットワーク及びフードパントリーの実施を通じて、支援に結びつけるつながりの場を提供することができた。 ◎子ども食堂等箇所数　実績２９か所（目標２３か所） ◎たかまつ子ども食堂ネットワーク参加団体数 実績１８団体（目標２０団体）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
3	（評価対象外）児童厚生施設管理運営事業 44,060千円 健康福祉局 子育て支援課								
		（事業概要、事業実績等） 児童厚生施設に関し、適正な施設管理と運営を行うことにより、子どもが安全・安心に遊べる場を提供し、子どもの健全育成に寄与した。 利用者数　３２，３０７人							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
4	（評価対象外）健やか子ども基金管理事務 17千円 健康福祉局 子育て支援課								
		（事業概要、事業実績等） 健やか子ども基金を適切に管理し、活用することにより、子育て家庭が安心して子どもを生み育てられる環境整備につながった。 【基金を用いた令和４年度の事業】 風しん予防接種補助事業 施設等遊具整備事業（保育所等） おたふくかぜ・三種混合任意予防接種助成事業 児童福祉団体等支援事業							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
5	地域子育て支援拠点事業（子育て支援課分） 134,222千円 健康福祉局 子育て支援課		106.1%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 地域の子育て支援拠点を開設し、親子が気軽に集い、相互に交流するための場を提供することにより、子育て家庭の抱える育児への不安・負担感、閉塞感を和らげ、安心して子育て・子育ちができる環境の整備につながった。 （実施か所数：委託１０か所、直営２か所） なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、行事や交流等の規模を縮小しており、コロナ禍前と比較して、利用者も大幅に減少した。 ◎利用者数　実績５６，２５０人（目標５３，０００人）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	（評価対象外）助産施設運営事業 10,351千円 健康福祉局 こども女性相談課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 保健上必要があるにもかかわらず、生活保護世帯及び市県民税非課税世帯の経済的理由により、入院助産を受けることができない妊産婦に対して、助産を援助することができた。 年間利用件数　１７件							
7	（評価対象外）子育て相談事業 3,378千円 健康福祉局 こども女性相談課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 養育に不安をもつ保護者等に対し、専門の相談員が、助言を行うだけでなく適切な窓口や専門機関を紹介することができた。 年間相談件数　１４３件							
8	子ども医療費助成事業 1,800,722千円 健康福祉局 こども家庭課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
					A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） １５歳の年度末までの子どもを対象に、保険診療に係る高額療養費までの自己負担分を助成することにより、対象世帯の経済的負担を軽減できた。 【受給者数（月平均）】 乳幼児　２４，３２６人 小学生　１８，６５８人 中学生　１１，６５８人 【支給額】 １，７３６，８４０千円							
9	（評価対象外）児童手当等支給事業 6,233,669千円 健康福祉局 こども家庭課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 中学校修了前の児童を養育している父又は母等に「児童手当」を支給したことにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に貢献した。 受給者数　２８，８６０人 支給額　６，２１２，８７０千円 支給事務費　２０，６９２千円 過年度収入精算返還金　１０７千円							
10	（評価対象外）子育て世帯臨時特別給付金給付事業 5,094千円 健康福祉局 こども家庭課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、その影響により苦しんでいる子育て世帯を支援する観点から、１８歳までの子どもがいる養育者に対し、臨時特別の給付金を支給したことにより、子育て世帯の負担軽減に寄与した。 支給者数　１人 支給額　３００千円 過年度収入精算返還金　４，７９４千円							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
11	（評価対象外）香川県子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 240,948千円 健康福祉局 こども家庭課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） コロナ禍における原油価格・物価高騰で厳しい状況にある低所得の子育て世帯を支援する観点から、緊急支援策として低所得のひとり親子育て世帯及び、ひとり親を除く低所得の子育て世帯に対し給付金を支給したことにより、生活の負担軽減に寄与した。 支給者数　５，６６９人 支給額　２３４，４５０千円 支給事務費　６，４９８千円							
12	（評価対象外）子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 688,046千円 健康福祉局 こども家庭課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、食費等による支出の増加の影響を勘案し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、緊急支援策として低所得のひとり親子育て世帯及び、ひとり親を除く低所得の子育て世帯に対し給付金を支給したことにより生活の負担軽減に寄与した。 支給者数　５，８５０人 支給額　４７７，４５０千円 支給事務費　２２，８８８千円 過年度収入精算返還金　１８７，７０８千円							
13	就園等奨励事業 536,743千円 健康福祉局 こども保育教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			34.5%		A	A	A	D	継続
		（事業概要、事業実績等） 私立幼稚園児保護者の経済的負担を軽減することにより、公・私立幼稚園間の費用負担における格差を是正し、子育て環境が向上した。 ◎待機児童数（４月１日現在）　実績１９人（目標０人）							
14	多子世帯保育料等減免事業 健康福祉局 こども保育教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			94.3%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 多子世帯に対し、保育料等を減免することにより、子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て環境が向上した。 ◎保育所・幼稚園等入所（園）児童数 実績１５，２２５人（目標１６，１４８人）							
15	地域子育て支援拠点事業（こども保育教育課分） 156,275千円 健康福祉局 こども保育教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			143.6%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 保育所等を拠点として、育児・保育に関する専門的知識・経験を有する保育士としての能力を活用し、子育て中の親子の支援を実施したことにより、子育て家庭の育児不安の解消に寄与した。 ◎地域子育て支援拠点事業相談件数 実績１７，０８８件（目標１１，９００件）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
16	ブックスタート事業 1,920千円		94.3%		A	A	B	A	継続
	教育局 中央図書館	（事業概要、事業実績等） ４か月児童相談時に、ブックスタートパック（絵本・ブックリスト・図書館案内）を配布したことにより、子育て支援と子どもの読書活動の推進につながった。 なお、新型コロナウィルス感染症の影響により、昨年度に引き続き、読み聞かせは中止した。 ◎ブックスタートパックを配布した人数 実績２，６８９人（目標２，８５３人）							
17	病児保育事業 105,925千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			203.4%		A	A	A	A	継続
	健康福祉局 子育て支援課	（事業概要、事業実績等） 児童が病気等のため、集団で保育することや家庭で育児することが困難な場合に、一時的に病児保育施設で保育することにより、保護者の子育てと仕事の両立支援やワーク・ライフ・バランスの推進など、安心して子育てができる環境の整備につながった。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、病児・病後児保育事業利用者数は目標を達成したものの、コロナ禍前と比較して、利用者は大幅に減少している。 病児保育施設：６か所 ◎病児・病後児保育事業利用者数　実績５，０８５人（目標２，５００人）							
18	ファミリー・サポート・センター事業 12,984千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			122.0%	88.9%	A	A	B	A	継続
	健康福祉局 子育て支援課	（事業概要、事業実績等） 地域において育児の援助を受けたい人と援助したい人がファミリー・サポート・センターの会員となり、相互に助け合うことにより、仕事と育児が両立できる環境を整備し、子育て家庭への支援に貢献した。 ◎ファミリー・サポート・センター事業利用件数 実績８，５３７件（目標７，０００件） ◎ファミリー・サポート・センター登録会員数 実績２，４９０人（目標２，８００人）							
19	放課後子ども教室事業 16,511千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	53.5%	60.5%	A	A	C	C	拡充
	健康福祉局 子育て支援課	（事業概要、事業実績等） 児童の安全安心な活動場所を確保し、学習や様々な体験・交流活動の機会を提供することにより、児童の健全育成に寄与した。 実施校区　３４校区 ◎参加児童数　実績２２，９９７人（目標４３，０００人） ◎登録児童数　実績１，９９５人（目標３，３００人）							
20	放課後児童クラブ事業 1,073,200千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	98.5%		A	A	C	A	拡充
	健康福祉局 子育て支援課	（事業概要、事業実績等） 就労等により、昼間、保護者が家庭にいない児童に対して、放課後の安全な居場所を提供するとともに、保護者が安心して就労できる環境を整え、子育てと仕事の両立支援に貢献した。 ◎放課後児童クラブ入会申請児童に対する入会児童数の割合 実績９８．５％（目標１００％）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
21	小規模保育事業等地域型保育給付事業 874,101千円 健康福祉局 こども保育教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			34.5%		A	A	B	D	継続
		（事業概要、事業実績等） 子ども・子育て支援新制度において、小規模保育事業等に対し、国で定める公定価格に基づき、地域型保育給付として給付することにより、保育サービスの充実につながった。 ◎待機児童数（４月１日現在）　実績１９人（目標０人）							
22	私立保育所運営支援事業 4,439,061千円 健康福祉局 こども保育教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			34.5%		A	A	B	D	継続
		（事業概要、事業実績等） 通常の保育事業に加えて、私立保育所が実施する各種特別保育事業に係る経費を支弁したことにより、保育所の安定的な運営につながった。 ◎待機児童数（４月１日現在）　実績１９人（目標０人）							
23	認可外保育施設支援事業 94,519千円 健康福祉局 こども保育教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			34.5%		A	A	B	D	継続
		（事業概要、事業実績等） 認可外保育施設に対して補助を実施したことにより、施設の保育水準及び入所児童の福祉の向上に一定の効果があったほか、施設に入所している第２子以降の児童の保護者に対して補助を実施したことにより、子育てに係る経済的負担の軽減につながった。 ◎待機児童数（４月１日現在）　実績１９人（目標０人）							
24	保育士確保対策事業 15,458千円 健康福祉局 こども保育教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	34.5%		A	B	A	D	継続
		（事業概要、事業実績等） 保育士の確保を図るため、国の補助制度を活用し保育士宿舎借上げ支援事業と、市独自の保育士就職一時金交付事業を実施した。 ◎待機児童数（４月１日現在）　実績１９人（目標０人）							

令和４年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
	政　策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成

総合評価
B

１　政策の概要

支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成を図るため、ユニバーサルデザインの普及啓発や、福祉施設の適正な運営など、地域福祉の推進に努めるとともに、高齢者が、住み慣れた地域で共に支え合い、自分らしく安心して暮らし続けられる社会の実現を目指し、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進します。

また、障がい者の自己決定を尊重し、適切な意思決定等を行えるよう支援するほか、障がい者の個別性に応じた支援を推進するとともに、ライフステージに応じた切れ目ない支援や、社会的障壁の除去と合理的配慮の普及に向けた取組を推進するなど、障がい者の自立支援と社会参加の促進に努めます。

また、生活困窮者等について、早期の自立に向けた支援等を推進します。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
地域福祉の推進	98%	A
地域包括ケアシステムの構築	100%	A
障がい者の自立支援と社会参加の促進	100%	A
生活困窮者等への自立支援	38%	D
平均	84%	B

３　政策の評価

支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成に向けて、４施策に取り組んだ。

「地域福祉の推進」、「地域包括ケアシステムの構築」及び「障がい者の自立支援と社会参加の促進」の３施策では、設定する７つの成果指標について、目標を達成又はおおむね達成した。

「生活困窮者等への自立支援」では、設定する２つの成果指標について、新型コロナウイルス感染症の影響により雇用情勢が悪化したことなどから、目標に届かなかった。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は８４％となり、政策全体として目指す方向におおむね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「Ｂ」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
地域福祉の推進	20.9%	18.9%	75.2%
地域包括ケアシステムの構築	26.3%	18.3%	76.7%
障がい者の自立支援と社会参加の促進	20.5%	16.7%	69.2%
生活困窮者等への自立支援	17.4%	16.8%	54.2%
平均	21.3%	17.7%	68.8%

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	地域福祉の推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
4,746,895千円	A	20.9%	75.2%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政　策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成
担当局	健康福祉局、市民政策局

対象	市民	意図	地域福祉の推進や福祉施設の適正な運営に関する各種事業を展開し、みんなで支え合う地域福祉を推進する。

概要（実績）

民生委員・児童委員の充足率を高めるため、欠員が生じている地区での補充推薦に努め、目標に対し９７．７％の達成率であった。

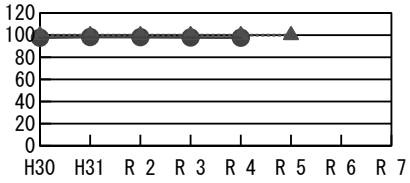
また、民生委員・児童委員に対する研修等、社会福祉法人の指導監督、ユニバーサルデザイン基本指針に基づくユニバーサルデザインの普及・啓発のほか、地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業として、まるごと福祉相談員を生活支援コーディネーターと兼務して１５名配置し、市民からの相談や情報提供を「まるごと」受け、様々な支援機関と連携して支援するなど、本市の地域福祉を推進した。

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	民生委員・児童委員の充足率	97.7%	100%	97.7%

状況：民生委員・児童委員は、全国的に、なり手不足の状況ではあるが、欠員が生じている地区での補充推薦に努めたことで、おおむね目標を達成することができた。

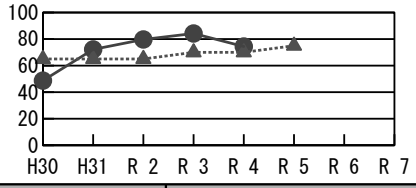
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
②	指導監査における文書指摘がない社会福祉法人等の割合	74.4%	70%	106.3%

状況：日頃からの社会福祉法人等への制度周知、実地監査の実施、積極的に相談を受けることなど、適正な運営を指導することにより、目標を達成することができた。

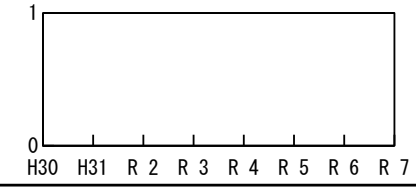
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
③				

状況：

達成度の推移



施策の課題

【健康福祉局】住民相互のつながりや信頼関係を築き、ともに助け合い支え合っていける地域社会を実現するために、今後さらに、避難行動要支援者名簿の登録率や民生委員の充足率を高めていく必要があるほか、地域住民が抱える複合的な課題にも対応できるよう、つながる福祉相談窓口を周知するなど、包括的な相談支援体制を充実させていく必要がある。

【市民政策局】年齢や性別、障がいの有無、国籍の違いなどにかかわらず、誰もが快適に生活できるように、市全体でユニバーサルデザインの考え方を広げていくことが必要である。

施策の方向性

引き続き、安全・安心に暮らせる福祉環境の整備に向けた、みんなで支え合う地域福祉を推進するほか、分野を超えた複合的な課題にも対応できるよう、包括的な相談支援体制を構築するなど、「地域共生社会」の実現を目指す。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）民生・児童委員活動支援等事業 119,039千円 健康福祉局 健康福祉総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 民生委員・児童委員の地区間連携強化のため、地区民生委員児童委員協議会会長研修や主任児童委員研修を実施した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年開催している、民生委員児童委員連盟大会及び民生委員児童委員研修会は中止した。							
2	災害援護事業 3,313千円 健康福祉局 健康福祉総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			43.0%		A	A	B	C	継続
		（事業概要、事業実績等） 避難行動要支援者の新規対象者に対して、登録希望調査票を個別に送付し、登録を直接呼び掛けたほか、広報高松等を通じた広報活動を積極的に行い、避難行動要支援者の更なる登録につなげた。 また、避難行動要支援者名簿に登録している者の個別避難計画の作成を推進するため、地域へ職員を積極的に派遣し、制度の説明を行い、地域力の向上支援に寄与した。 ◎避難行動要支援者新規登録率　実績８．６％（目標２０％）							
3	（評価対象外）社会福祉事業 10,807千円 健康福祉局 健康福祉総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 労働行政施策に必要な基礎資料のための調査を実施したほか、本市の社会福祉施設等の整備について、公平、公正かつ客観的に審査を行うための審議会を開催した。							
4	社会福祉団体活動助成事業 127,164千円 健康福祉局 健康福祉総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			114.3%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 行政では対応し難い福祉需要への多様な取組を行っている高松市社会福祉協議会に対して、補助金を交付することにより、地域福祉活動の充実に寄与した。 また、社会福祉諸団体に補助金を交付することにより、地域福祉を支える基盤づくりに寄与した。 ◎法人成年後見事業受任件数　実績５６件（目標４９件）							
5	小規模法人のネットワーク化による協働推進事業 8,000千円 健康福祉局 健康福祉総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 社会福祉法人が実施することが責務化されている「地域における公益的な取組」について、小規模法人への参画を促し、ネットワークを構築するとともに、生活困窮家庭に対する相談支援や学校用品のリユース、移動支援サービスに関する調査研究など、地域福祉の推進に寄与した。 ◎ネットワークにおいて実施した事業数　実績２件（目標２件）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	戦争犠牲者追悼式等事業 2,589千円 健康福祉局 健康福祉総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			518.5%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 戦争犠牲者の冥福を祈り、戦争の悲惨さと平和の尊さを再認識し、戦争を繰り返さない社会の実現を図るため、戦争犠牲者追悼式を開催した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を大幅に縮小して実施した。 ◎追悼式参列者率　実績４２．０％（目標８．１％）							
7	（評価対象外）臨時福祉給付金給付事業 348千円 健康福祉局 健康福祉総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 平成２６年４月からの消費税引き上げに際し、低所得者への影響に鑑み実施する臨時福祉給付金等給付事業を円滑に進めた。 なお、平成２９年度をもって事業は終了し、令和３年度まで国庫補助金の精算返還金が毎年あったが、令和４年度の返還はなかった。							
8	（評価対象外）法外援護事業 1,365千円 健康福祉局 健康福祉総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 原子爆弾の被爆者に対し、援護金及び弔慰金を支給することにより、対象者の健康の保持及び福祉の向上に寄与した。							
9	（評価対象外）住民税均等割のみ課税世帯臨時特別給付金事業 398,506千円 健康福祉局 健康福祉総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 物価高騰等の影響が長期化する中、国が実施する住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業の対象とならない、住民税均等割のみ課税世帯等に対し、１世帯当たり５万円の現金給付を行い、様々な困難に直面した方々への速やかな生活・暮らしの支援を行った。							
10	（評価対象外）住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業 3,847,875千円 健康福祉局 健康福祉総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、住民税非課税世帯等を対象に、１世帯当たり１０万円の現金給付を行い、様々な困難に直面している方々への速やかな生活・暮らしの支援を行った。 また、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯等）に対して、１世帯当たり５万円の現金給付を行い、速やかな生活・暮らしの支援を行った。 なお、前年度からの繰越事業である住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：１，１４５，７９９，０４２円）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
11	共助の基盤づくり事業 4,318千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	75.0%		A	A	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 地区社会福祉協議会を主体とし、様々な活動を行うことにより、地域サービスの担い手（ボランティア等）の確保や地域サービスを支える基盤となる組織等の育成を促進することができた。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、上半期は活動を行う地域が少なかったため、目標値を達成できなかった。 ◎実施箇所数　２４か所（目標３２か所）							
12	ほっとかんまち高松づくり事業（高松型地域共生社会構築事業） 44,016千円 健康福祉局 地域共生社会推進室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	302.8%	84.0%	A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） まるごと福祉相談員を市内全域に配置し、総合センター等に、つながる福祉相談窓口を設置して、地域に関わりながら、市民からの相談や情報提供を「まるごと」受け、様々な支援機関と連携して支援したほか、国の「重層的支援体制整備事業」への取組を開始したことに伴い、社会とのつながりが希薄な方への支援を行う「参加支援事業」も開始した。 また、子どもの未来応援コーディネーターを配置し、関係機関等と連携することにより、子どもの貧困対策について、関係機関相互の情報共有とネットワーク構築の重要性の周知・啓発を行った。 ◎アウトリーチ件数　実績１１，０３５件（目標３，６４４件） ◎研修会・勉強会等参加者数　実績８８６人（目標１，０５５人）							
13	若者育成支援推進事業 280千円 健康福祉局 地域共生社会推進室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 困難を有する若者やその家族を包括的に支援するため、高松市若者支援協議会を開催し、関係機関相互のネットワーク形成に寄与した。 ◎協議会の構成団体数　実績２７団体（目標２７団体）							
14	（評価対象外）社会福祉法人指導監督事業 70千円 健康福祉局 健康福祉総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 利用者に質の高い安定した福祉サービスを提供するため、社会福祉法人及び施設等の指導監査を実施し、利用者本位の健全な社会福祉法人の運営や、円滑な社会福祉事業の実施に寄与した。							
15	医療機関・高齢者施設等物価高騰対策事業 178,258千円 健康福祉局 介護保険課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			92.2%		A	B	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 医療・福祉施設等の運営負担を軽減し、サービスの質を確保することにより、市民が安心してサービスを利用することができるとともに、地域福祉の安定的な推進に寄与した。 ◎交付対象事業所等への支援率　実績８２．９９％（目標９０％）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><th rowspan="3">16</th><th rowspan="2">ユニバーサルデザイン推進事業

947千円</th><th>重点</th><th colspan="2">成果達成度</th><th>妥当性</th><th>有効性</th><th>効率性</th><th>総合評価</th><th>今後の方向性</th></tr>
<tr><td></td><td>81.7%</td><td></td><td>A</td><td>B</td><td>B</td><td>B</td><td>継続</td></tr>
<tr><td>市民政策局
男女共同参画・協働推進課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
一人一人の多様性が尊重され、年齢や性別、障がいの有無、国籍の違いなどにかかわらず、誰もが快適に過ごすことのできる、ユニバーサルデザイン社会の実現を目指すとともに、その考え方を周知啓発するため、ユニバーサルデザインマップに登録されている全施設を対象に、掲載情報の確認・更新を行った。
なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、心のユニバーサルデザイン啓発事業はオンラインにて開催した。

◎たかまつユニバーサルデザインマップの登録件数
実績８１７件（目標１，０００件）</td></tr>
</table>

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	地域包括ケアシステムの構築

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
2,240,458千円	A	26.3%	76.7%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政　策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成
担当局	健康福祉局

対象	高齢者等	意図	住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、医療・介護・予防・生活支援・住まいなどが一体的に切れ目なく提供される状態となる。

概要（実績）

「第８期高松市高齢者保健福祉計画」に基づき、各種施策・事業を実施し、地域全体で高齢者を支える体制づくりを推進した。高齢者保健福祉事業の取組として、シルバー人材センターや老人クラブへの補助による生きがいづくりの促進、在宅生活支援、認知症高齢者対策及び虐待防止、高齢者居場所づくり事業や、三層構造による地域で支え合う見守り体制の強化、介護予防教室などを行い、介護予防の取組を推進した。

介護保険対象施設等の充実への取組として、特別養護老人ホーム等の計画的な整備、軽費老人ホームへの運営補助、地域密着型サービス施設整備の補助等を行うとともに、老人福祉施設等の指導監査を行った。

地域包括支援センターにおいて、高齢者に関する総合相談支援、介護予防ケアマネジメント、権利擁護等のほか、認知症ケアの推進、地域ケア会議を開催した。

介護予防・日常生活支援総合事業を実施し、多様な主体による様々なサービス提供体制を構築するとともに、地域の在宅医療・介護関係機関との連携を推進した。

成果指標

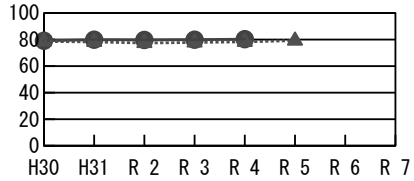
①

指標名	要介護者の在宅比率	R 4実績	R 4目標	達成度
		80.3%	78.3%	102.6%

状況

在宅で生活している要介護認定者の割合は、目標値の７８．３％を２ポイント上回り、目標を達成することができた。

達成度の推移



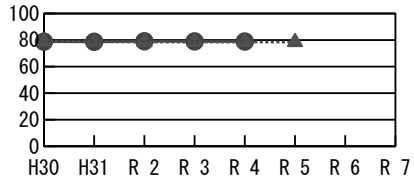
②

指標名	自立高齢者率	R 4実績	R 4目標	達成度
		78.9%	78.5%	100.5%

状況

介護・支援を必要としていない６５歳以上の高齢者の割合は、目標値の７８．５％を０．４ポイント上回り、目標を達成することができた。

達成度の推移



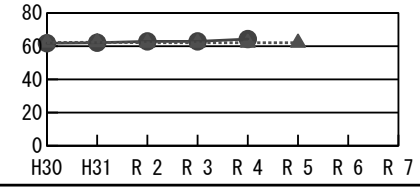
③

指標名	自立後期高齢者率	R 4実績	R 4目標	達成度
		64.3%	62.1%	103.5%

状況

介護・支援を必要としていない７５歳以上の高齢者の割合は、目標値の６２．１％を２．２ポイント上回り、目標を達成することができた。

達成度の推移



施策の課題

高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、切れ目のない医療と介護の提供体制の構築を推進するほか、介護保険サービス基盤の充実、介護予防の推進、地域全体で高齢者を支える体制づくりに取り組んでいる。

今後においても、高齢者一人一人の状態に応じて、様々な支援が切れ目なく提供される環境づくりや、共に支え合う社会づくりが求められている。

施策の方向性

住み慣れた地域で共に支え合い、高齢者が自分らしく安心して暮らし続けられる社会の実現を目指し、包括的な支援体制の構築や介護予防と社会参加の推進、生活環境の充実に努める。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

1

事務事業名及び事業費	担当課
在宅医療・介護連携推進事業 11,398千円	健康福祉局 長寿福祉課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
一般重点	80.0%		A	A	B	B	継続

（事業概要、事業実績等）

切れ目のない在宅医療と介護を、一体的に提供できる体制を構築するため、在宅医療・介護関係者の情報共有及び連携強化に係る事業を推進した。また、平成３０年１０月に在宅医療に関する相談や退院調整への支援などを行う在宅医療支援センターを庁内に開設した。

なお、令和４年度は、より多くの関係者と情報共有が出来るよう研修等の開催を工夫したが、関係者間の連携向上の大幅な改善にまでは至らなかった。

◎医療・介護関係者が多職種連携についてできていると評価した点数
（１０点満点）の平均　実績５．６点（目標７点）

2

事務事業名及び事業費	担当課
介護保険補助金等事業 6,814千円	健康福祉局 介護保険課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	80.0%		A	B	B	B	継続

（事業概要、事業実績等）

第８期高松市高齢者保健福祉計画に基づき施設整備事業を実施した。また、離島での介護サービス提供事業者に補助金を交付したほか、社会福祉法人等における介護サービス利用者のうち、生活困難者に対して利用額を軽減することにより、介護サービスを利用する高齢者の安全と安心を確保することができた。

◎社会福祉法人等利用者負担減額の対象となる登録率
実績８０％（目標１００％）

なお、施設整備事業については、補助金を受ける事業主体の関連事業が遅れたことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。
（繰越明許費繰越額：５７，９７７，０００円）

3

事務事業名及び事業費	担当課
生活支援・介護予防サービス提供体制構築事業 56,998千円	健康福祉局 地域共生社会推進室

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
一般重点	70.0%		A	A	B	B	継続

（事業概要、事業実績等）

国のガイドラインに基づき、サービスの提供体制構築に向けた、コーディネーター機能を果たす「生活支援コーディネーター」を中心に、地域の困りごとの把握や問題解決に向けた「地域福祉ネットワーク会議」を、市内４４地区のうち、４３地区に設置しており、地域の課題を解決する中で、住民主体のサービスが提供されるなど、地域で高齢者を支える体制づくりを推進することができた。

◎住民主体によるサービスを提供している（地域コミュニティにおいてサービスＢを提供している）地区数　実績２８地区（目標４０地区）

4

事務事業名及び事業費	担当課
介護予防推進等事業 16,979千円	健康福祉局 長寿福祉課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	81.7%	95.2%	A	A	A	A	継続

（事業概要、事業実績等）

６５歳以上の高齢者に対し、介護予防教室やフレイル予防講座などを開催し、介護予防に取り組めるよう支援した。

また、高齢者の身近な地域で、介護予防を推進するため、介護予防ボランティア「元気を広げる人」を養成し、介護予防の取組を広げた。

◎「フレイル予防講座」参加者数　実績８１７人（目標１，０００人）
◎「元気を広げる人」養成講座修了者数（累積）
実績９０７人（目標９５３人）

5

事務事業名及び事業費	担当課
６５歳からのプラチナ世代元気応援事業 3,651千円	健康福祉局 長寿福祉課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
一般重点	100.0%	100.0%	A	B	C	A	継続

（事業概要、事業実績等）

高齢者の健康づくりへの意識啓発と地域の介護予防活動を推進し、高齢になっても健康で活動的な状態を維持していくため、自ら運動や生活習慣の改善に取り組む高齢者への応援金の支給や、オンラインを活用した介護予防教室等を実施した。

◎元気支度応援金の支給を受けた者が介護認定を受けなかった割合
実績１００％（目標１００％）
◎オンラインの介護予防に取り組んだ居場所数
実績１０か所（目標１０か所）

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	（評価対象外）介護予防推進事業 （長寿福祉課分） 13,130千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 総合事業の実施に当たり、住民主体によるサービス提供を行う団体に対し、運営に要する費用等について補助を行い、地域での支え合い体制づくりを推進した。 また、閉じこもりや生活機能低下等が認められる対象者に専門職による居宅での助言・相談を行った。 実績　運営補助　訪問型サービス　２６団体 通所型サービス　７団体							
7	（評価対象外）介護予防推進事業 （介護保険課分） 694,949千円 健康福祉局 介護保険課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 香川県国民健康保険団体連合会に審査支払事務を委託するなどにより、適正な事業費の支給を行った。							
8	（評価対象外）介護予防支援事業 271,767千円 健康福祉局 地域包括支援センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 要支援認定者及び事業対象者に対し、自立支援に向けた介護予防サービス計画を作成し、適切なサービスが効果的に提供されるよう介護予防ケアマネジメントを行うことにより、介護予防の促進及び重症化防止に寄与した。							
9	（評価対象外）認知症高齢者等対策推進事業 4,245千円 健康福祉局 地域包括支援センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 小学生から高齢者まで幅広い年齢層の住民等を対象に認知症サポーター養成講座を開催し、認知症サポーターを継続して養成した。 また、認知症の高齢者等とその家族を支えるため、認知症の人を支える家族のつどいを実施し、認知症への理解を深める知識の普及及び啓発に寄与した。 認知症サポーター養成講座参加人数　実績１，９７９人							
10	瓦町健康ステーション事業 26,228千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			80.9%		A	A	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 平成２７年１０月にコトデン瓦町ビル８階ＩＫＯＤＥ瓦町内に開設した瓦町健康ステーションにおいて、各種講座を開催し、市民の健康づくりや生きがいづくりに寄与した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に引き続きフィットネスルームの利用時間の短縮や利用人数の制限を行ったが、利用者数は回復傾向にある。 ◎瓦町健康ステーションの年間来場者数 実績４０，４７２人（目標５０，０００人）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	軽度生活援助事業 19,112千円		89.0%		A	A	B	A	継続
	健康福祉局 長寿福祉課	（事業概要、事業実績等） ６５歳以上の一人暮らし高齢者等に、外出時の援助、家周りの掃除、家屋内の整理・整頓など、生活支援に資する軽易な日常生活上の援助を行うことで、自立した生活の継続を可能にするとともに、介護予防に資することができた。 令和２年度から、毎年度現況届の提出を求めることにより、利用予定のない対象者を整理している。 （登録者数　１，６１２人、延べ利用回数　１０，３４０回） ◎軽度生活援助利用率　実績１７．８％（目標２０％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
12	敬老事業 9,790千円		100.0%		A	A	B	A	継続
	健康福祉局 長寿福祉課	（事業概要、事業実績等） ８８歳、１００歳の高齢者及び市内男女最高齢の方に祝品を贈り、長寿をお祝いし、高齢者の生活の向上に努める意欲を高めた。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響等により、高齢者訪問を中止した。 （敬老会対象者数６５，２０２人、８８歳祝品贈呈者数２，１６９人、１００歳祝品贈呈者数１４９人） ◎敬老事業参加率　実績１００％（目標１００％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
13	高齢者居場所づくり事業 9,280千円	一般重点	96.5%		A	B	C	A	継続
	健康福祉局 長寿福祉課	（事業概要、事業実績等） 介護予防や健康増進、地域のボランティア活動、世代間交流など、様々な地域活動の場となる高齢者の居場所を設置することで、高齢者の孤立化防止や、介護予防を促進することができた。 また、小学生以下の子どもとの交流を行った場合に、子どもとのふれあい加算を実施することで、世代間交流の促進につながったほか、高松市内３医師会連合会、歯科医師会、医療系大学及び民間事業者との連携事業を実施し、居場所の活動支援を行うことで、高齢者の健康増進に資することができた。 ◎主観的健康感の維持向上率　実績９１．９％（目標９５．２％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
14	高齢者福祉施策推進事業 34,306千円		105.2%		A	A	B	A	継続
	健康福祉局 長寿福祉課	（事業概要、事業実績等） 高齢者が住み慣れた地域社会で、健康で生きがいを持って生活を送ることができるよう、高齢社会にふさわしい保健福祉施策を推進した。 また、様々なサービスをまとめた冊子の配布等を通じて、高齢者福祉サービスについて広く周知することができた。 （高齢者在宅福祉サービス冊子作成部数　３０，２００部（内長寿福祉課分１０，０２０部）） ◎施策に対する満足度（市民満足度調査）　実績２６．３％（目標２５％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
15	高齢者福祉タクシー助成事業 8,965千円		92.4%		A	A	A	A	継続
	健康福祉局 長寿福祉課	（事業概要、事業実績等） タクシー助成券を交付することで、外出することが難しい在宅の高齢者の外出を支援した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響が少し緩和され、利用人数が微増した。 （交付人数　２，０４０人） ◎タクシー助成券利用率　実績４６．２％（目標５０％）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
16	高齢者見守り事業 54,465千円 健康福祉局 長寿福祉課	一般重点	108.9%		A	A	B	A	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 地域で支えあう見守り協定、特別あんしん見守り事業の三層構造による見守り活動を推進するとともに、介護相談専用ダイヤルを継続することで、２４時間３６５日、介護や日常生活の不安を相談できる体制を維持した。 さらに、見守り機能を持つあんしん通報装置を積極的に起用しているほか、弁当配達時に安否確認を行い、異常時には関係機関に連絡を行うサービスを実施した。 （見守り協定に基づく通報件数　７１件、地域で支えあう見守り協力員約１２，５００人、介護相談専用ダイヤル相談件数　５０５件、あんしん通報装置設置件数　１，２５９件、配食見守り事業利用者数　１，０４５人） ◎見守り協定締結事業者数　実績９８事業者等（目標９０事業者等）						
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
17	在宅高齢者家族支援事業 45,277千円 健康福祉局 長寿福祉課		102.5%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 在宅で高齢者を介護している方に、寝たきり高齢者等介護見舞金、高齢者短期入所等のサービスを提供することで、家族の介護の負担を軽減することができた。 また、介護者が新型コロナウイルス感染症に感染し、介護を受けることができない在宅高齢者を、一時的に医療機関で受け入れる体制を整備し、新型コロナウイルス感染症への対策を講じた。 （介護見舞金支給人数　７５７人、短期入所事業利用日数延べ　１，０３７日、在宅老人短期保護事業利用日数延べ　５日） ◎在宅認定者率（要介護４、５）　実績５６．４％（目標５５％）						
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
18	シルバー人材センター運営補助事業 16,872千円 健康福祉局 長寿福祉課		88.0%		A	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 高齢者活躍人材育成事業の実施による高齢者への技能講習を行い、就業を通じて社会活動への参加の場を提供している高松市シルバー人材センターの運営を円滑にするため、補助金の交付により、高齢者の生きがいづくりを促進することができた。 （延べ受注件数　１６，０５３件、就業延べ人員１２７，７８９人） ◎シルバー人材センター会員数　実績１，４４３人（目標１，６４０人）						
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
19	寝たきり高齢者等支援事業 89,081千円 健康福祉局 長寿福祉課		105.2%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 寝たきり等の高齢者に紙おむつ給付等のサービスを提供することで、日常生活上の不安を和らげ、在宅での生活を支援することができた。 （寝たきり高齢者等紙おむつ給付事業登録人数１，８４６人　延べ給付人数２１，３４１人） ◎施策に対する満足度（市民満足度）　実績２６．３％（目標２５％）						
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
20	老人クラブ活動助成事業 25,572千円 健康福祉局 長寿福祉課		79.4%		A	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 地域でのボランティア活動や交通キャンペーンなどの社会奉仕活動、伝統文化の継承など、地域を豊かにする社会貢献活動を展開し、各地域において重要な役割を果たしている老人クラブの活動を支援することにより、高齢者の生きがいづくりと社会活動への参加を促進することができた。 ◎老人クラブ会員数　実績１２，４３９人（目標１５，６７４人）						

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
21	（評価対象外）老人福祉センター等運営事業 63,939千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 高齢者が、住み慣れた地域社会で安心して自立生活を営むことができるよう、老人福祉センター、老人いこいの家などの地域に密着した既存施設の有効活用を行うことで、高齢者の生きがいづくりと社会活動への参加を促進することができた。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ禍前より利用者数は減少した。 （香南ふれあい館等　延べ１，２２２人、ふれあい福祉センター勝賀　延べ３６，５５６人、老人いこいの家　延べ６，８２６人）							
22	介護サービス相談員派遣事業 355千円 健康福祉局 介護保険課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			0.0%		A	B	B	D	継続
		（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の影響により、原則、派遣施設で面会が禁止となったため、やむを得ず訪問活動は中止した。 ◎介護サービス相談員が受けた相談件数　実績０件（目標４，３２０件）							
23	地域ケア会議推進事業 709千円 健康福祉局 地域包括支援センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			97.7%	98.0%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 高齢者の自立支援に向けた個別ケアプランの検討や、複合化した問題を抱える高齢者の支援内容を検討し、課題解決を支援するとともに、地域課題の解決に向けた検討を行うことにより、地域包括ケアシステムの構築に寄与した。 ◎地域ケア小会議（地域課題）を開催している地区の割合 実績９７．７％（目標１００％） ◎地域ケア小会議（個別課題）における検討件数 実績４９回（目標５０回）							
24	認知症ケア推進事業 10,963千円 健康福祉局 地域包括支援センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	50.0%	100.0%	A	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられる社会の実現を目指し、「チームオレンジ」の設置、認知症の人や家族を支援する「認知症地域支援推進員」を配置、「認知症ケアパス」の普及を促進するとともに、「認知症初期集中支援チーム」が訪問支援等を行った。 また、成年後見制度中核機関事業では、成年後見制度が必要な人に支援が届くよう、周知啓発や相談支援等を行った。 ◎チームオレンジ設置数（累計）　実績１件（目標２件） ◎認知症初期集中支援チームの支援が医療や介護保険サービス等につながった割合　実積１００％（目標１００％）							
25	（評価対象外）地域包括支援センター運営事業 209,811千円 健康福祉局 地域包括支援センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員などが連携し、高齢者に関する総合相談支援、介護予防ケアマネジメント、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援等を行い、介護予防の取組を推進した。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容
26	地域包括支援センター民間委託推進事業 9,237千円	健康福祉局 地域包括支援センター

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
一般重点	0.0%		A	B	B	D	継続

（事業概要、事業実績等）
地域に密着した窓口とするため、サブセンターのうち１箇所の委託化に向け、公募型プロポーザル方式により委託事業者の選定を行い、令和５年４月１日から委託を開始するべく契約を締結した。

◎モデル事業を実施したサブセンター数　実績０か所（目標１か所）

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	94.6%		A	B	B	A	継続

（事業概要、事業実績等）
軽費老人ホームの運営に要する経費の一部を補助することで、自立した生活を営むことに不安のある高齢者が、収入に応じた低額な料金で利用できる施設を確保することができた。

◎入所者実数（延べ）　実績５０７人（目標５３６人）

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	84.2%		A	B	B	B	継続

（事業概要、事業実績等）
高齢者世話付住宅へ生活援助員を派遣し、日常生活の相談・指導、安否確認、緊急時の対応等のサービスを入居者に提供することにより、高齢の入居者が自立して安全かつ快適に生活できる場を確保することができた。

◎生活援助員への相談件数　実績５，４７２件（目標６，５００件）

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	83.3%		A	B	B	B	継続

（事業概要、事業実績等）
老人福祉施設整備に要する費用について、社会福祉法人に対し、補助金及び利子補給金を交付することにより、老人福祉施設の整備が促進され、入所者の生活の場を確保する効果があった。

◎補助金を交付した老人福祉施設数　実績５施設（目標６施設）

なお、前年度からの繰越事業である老人福祉施設整備支援事業については、対象法人の事業中止により、未執行となった。
（令和３年度繰越明許事業費：０円）

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性

（事業概要、事業実績等）
在宅において養護を受けることが困難な高齢者を、養護老人ホームで保護することができた。

（養護老人ホーム入所者数１３９人）

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
12,614,751千円	A	20.5%	69.2%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政　策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成
担当局	健康福祉局

対象	障がい者及び障がい児	意図	必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行うことにより、障がい者及び障がい児が自ら選択した場所に居住し、自立した日常生活を送ることができるようにする。

概要（実績）

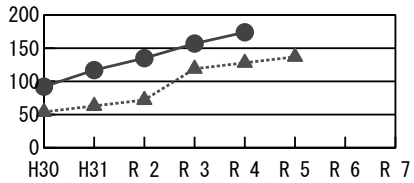
障がい者及び障がい児が、自立した日常生活又は社会生活を送ることができるよう、必要な支援を実施した。
障がい者サービス利用者数　　３，１１１人
障がい児サービス利用者数　　１，４４２人
障害者医療受給者　　１０，４３８人
更生医療支給認定者　　１，４４０人

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	施設入所者の地域生活への移行者数（累積）	174人	128人	135.9%

状況：障がい者の自立支援と社会活動への参加の促進を図るため、施設入所者の地域移行を推進した結果、目標を達成することができた。

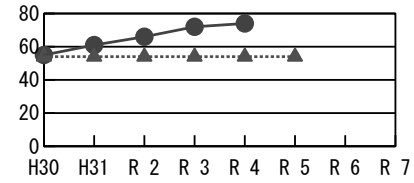
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
②	福祉施設から一般就労への移行者数	74人	54人	137.0%

状況：障がい者の自立支援と社会活動への参加の促進を図るため、地域生活支援拠点等を活用し、福祉施設から一般就労への移行を推進した結果、目標を達成することができた。

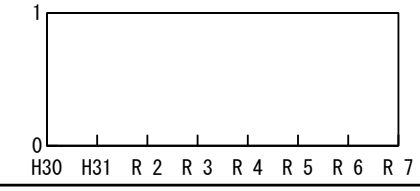
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
③				

状況：

達成度の推移



施策の課題

支援の対象となる障がいの多様化に伴い、障害福祉サービスコストの増加が予想されるため、より効果的なサービス提供について検討する必要がある。

施策の方向性

障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らし、積極的に社会活動に参加できる地域社会づくりを目指し、より一層、効果的で適正な施策の実施に取り組み、成果の向上を図る。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1 障害者福祉施設等整備事業 434千円 健康福祉局 障がい福祉課		149.8%	147.3%	A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 障がい者福祉施設等の整備費に利子補給したことにより、施設等の運営の安定に寄与した。 ◎共同生活援助事業所の定員数　実績４９６人（目標３３１人） ◎就労継続支援Ｂ型の定員数　実績１，２３４人（目標８３８人）							
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
2 （評価対象外）福祉手当支給等事業 274,572千円 健康福祉局 障がい福祉課								
	（事業概要、事業実績等） 特別障害者手当、障害児福祉手当等の支給を行ったことにより、障がい者及びその家族の経済的負担が軽減した。							
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
3 （評価対象外）障害者福祉施設等運営事業 3,462千円 健康福祉局 障がい福祉課								
	（事業概要、事業実績等） 障害者福祉施設等を運営し、障がい者（児）に対し、必要とされるサービスを提供したことにより、障がい者（児）の自立支援や社会活動への参加促進に寄与した。							
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
4 （評価対象外）介護給付費等審査会事業 3,801千円 健康福祉局 障がい福祉課								
	（事業概要、事業実績等） 障害者総合支援法の規定に基づき、障害者支援区分認定等に係る基準に照らして審査・判定を行い、また、支給要否決定を行うに当たり、意見を聴くために障害支援区分認定等審査会を開催した。 なお、三木町、綾川町、直島町の審査・判定についても委託を受け実施した。							
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
5 （評価対象外）障害支援区分認定事業 28,471千円 健康福祉局 障がい福祉課								
	（事業概要、事業実績等） 障害福祉サービス等の利用申請があった場合、障害支援区分の認定等の調査を実施するとともに、認定に係る市町村審査会での審査判定に当たって、医師に意見書作成を求めた。 また、障害福祉サービスを利用しようとする様々な相談に応じる認定調査員を配置した。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	障害者医療費助成事業 1,495,230千円 健康福祉局 障がい福祉課		102.4%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 障がい者を対象に医療費（保険診療の自己負担額（高額療養費及び入院時食事（生活）療養費に係る標準負担額は除く））の全部又は一部を助成したことにより、障がい者の医療費に係る経済的な負担を軽減した。 ◎受診率（助成件数／受給者数） 実績２３７．００％（目標２３１．５２％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
7	障害者権利擁護事業 3,713千円 健康福祉局 障がい福祉課		41.7%		A	A	B	D	継続
		（事業概要、事業実績等） 成年後見制度の利用、障がい者の虐待案件に対する支援等を行ったことにより、障がい者の権利擁護の促進に寄与した。成年後見制度の認知拡大に伴い、問合せは増加したが、市長申立件数及び決定人数は、目標数に達しなかった。 ◎成年後見申立決定人数　実績５人（目標１２人） （市長申立７件のうち家裁の審判が行われた人数）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
8	（評価対象外）障害者施策推進事業 67千円 健康福祉局 障がい福祉課								
		（事業概要、事業実績等） 令和３年３月に策定した、本市の障がい者施策に係る総合的計画となる「たかまつ障がい者プラン」の進捗管理等のため、高松市障害者施策推進懇談会を開催し、関係団体他、福祉に携わる人々の連携強化に効果があった。							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
9	障がい者就労支援促進事業 5,158千円 健康福祉局 障がい福祉課		50.0%	100.0%	A	A	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 中央商店街の空き店舗や市役所本庁舎を活用し、障がい者を雇用し事業を実施する事業者への支援等を行ったことにより、知的・精神障がい者の就労促進、社会的・経済的自立に寄与した。 ◎雇用契約をした障がい者数　実績３人（目標６人） （中央商店街） ◎「障がい者就労支援促進事業」における就労者数及び訓練者数 実績１０人（目標１０人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
10	（評価対象外）障害者自立支援医療事業 541,196千円 健康福祉局 障がい福祉課								
		（事業概要、事業実績等） 自立支援医療（更生医療）の支給認定や育成医療及び更生医療の自己負担費用を助成し、医療費の自己負担額の軽減を行ったことにより、障がい者の自立と社会参加の促進に効果があった。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	障害者相談支援事業 85,597千円		92.1%		A	A	B	A	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	（事業概要、事業実績等） 在宅福祉サービスの利用援助、社会資源を利用するための支援、ピアカウンセリング、介護相談及び情報の提供を総合的に実施したことにより、障がい者やその家族の不安解消、生活の利便性の向上に効果があった。 ◎障害者相談件数　実績９２１件（目標１，０００件）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
12	障がい者地域生活支援推進事業 110,698千円	一般重点	105.9%	209.9%	B	B	B	A	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	（事業概要、事業実績等） 障がい者の地域での生活を支援するため、基幹相談支援センター（中核拠点及び地域拠点）のほか、身体障がい者福祉の拠点として、高松市総合福祉会館から移転したコスモス園を運営した。 ◎障がい者福祉サービス利用者数　実績４，５５３人（目標４，３００人） ◎基幹相談支援センター相談件数　実績３，３５９件（目標１，６００件）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
13	障害者手帳交付事業 147,889千円		101.0%		A	A	B	A	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	（事業概要、事業実績等） 障がい者からの手帳交付申請に基づき、適正な障害認定の後、障害者手帳の交付や、再認定に当たり必要となる診断書作成料の助成等を行ったことにより、障がい者福祉の増進に寄与した。 ◎サービス提供による決算額 実績７０，９７５千円（目標７０，２５１千円） （過年度収入精算返還金を除いた決算額）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
14	障害児放課後支援事業 18,434千円		100.0%		A	A	B	A	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	（事業概要、事業実績等） 養護学校に通う児童のうち、放課後帰宅しても保護者の監護を受けられない児童に対し、放課後支援事業を実施したことにより、障がい児の健全な育成、保護者の負担軽減に効果があった。 ◎放課後支援事業利用者日数　実績２８１日（目標２８１日）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
15	発達障害者サポート事業 6,456千円		207.8%		A	A	A	A	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	（事業概要、事業実績等） 発達障害者支援コーディネーターを配置して、各種相談を行った結果、発達障がい者の福祉の向上に効果があった。 また、「発達障がい児・者サポーター養成講座」を開催したことにより、発達障がい児・者の基本的理解を深めるとともに、ライフサイクルに応じた支援や、地域で生活していくための支援ができる人材の育成に効果があった。 ◎障害児通所サービス受給者数　実績１，４１３人（目標６８０人）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
16	福祉用品助成等事業 22,593千円		68.9%		A	A	B	B	廃止
	健康福祉局 障がい福祉課	（事業概要、事業実績等） 障がい者（児）に対し、紙おむつの給付、福祉電話の貸与、住宅改造の助成等を行ったことにより、本人及びその家族の精神的・経済的負担を軽減した。 ◎紙おむつ支給件数　実績２，０６７件（目標３，０００件）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
17	補装具費・日常生活用具支給等事業 217,960千円		97.2%		A	A	B	A	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	（事業概要、事業実績等） 障がい者（児）に対し、補装具や日常生活用具の給付を行ったことにより、本人及びその家族の精神的・経済的負担を軽減した。 ◎補装具給付件数　実績９７２件（目標１，０００件）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
18	（評価対象外）障害福祉サービス給付事業 9,385,220千円								
	健康福祉局 障がい福祉課	（事業概要、事業実績等） 障害福祉サービスを給付したことにより、障がい者（児）の自立及び日常生活や社会生活の向上に効果があった。 障がい者サービス利用者数　３，１１１人 障がい児サービス利用者数　１，４４２人							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
19	手話言語・障がい者コミュニケーション手段の普及促進事業 3,140千円	一般重点	100.7%		A	A	C	A	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	（事業概要、事業実績等） コミュニケーション支援ボード事業として、避難所用に「たかまつあんしん楽楽ボード」を作成したほか、避難所用バンダナ「たかまつあんしんバンダナ」も新たに作成し、市内の全指定避難所に設置した。 手話通訳者育成研修は、当初の予定に沿って実施することができた。 また、手話学習の出前講座は、香川県聴覚障害者協会に委託し、希望のあった小・中学校６校に対して実施した。 ◎手話通訳者育成に向けた研修参加者数（累計） 実績４４３人（目標４４０人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
20	障がい者アートリンク事業 10,000千円		106.4%		A	A	A	A	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	（事業概要、事業実績等） 希望する障害福祉サービス事業所にアーティストを派遣し、障がい者が継続して芸術活動を行う中で、作品展などを通じて社会とつながったり、活動が認知されたりすることを通じて、障がい者の社会参加促進に寄与した。 ◎アートリンクに参加した障害者（児）延べ人数 実績３，２９９人（目標３，１００人）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
21	障害者社会活動支援事業 2,450千円 健康福祉局 障がい福祉課		68.8%		A	A	B	B	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 障がい者団体への支援を行ったことにより、障がい者（児）の自立支援や社会活動の参加促進に効果があった。 ◎利用人数　実績８９４人（目標１，３００人）							
22	障害者地域活動支援事業 108,358千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			94.2%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 地域活動支援センター事業や意思疎通支援事業等を行ったことにより、障がい者（児）の自立支援や社会活動への参加促進に効果があった。 ◎利用人数　実績１６，９５４人（目標１８，０００人）							
23	障害者福祉タクシー事業 27,168千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			58.8%		A	A	B	C	継続
		（事業概要、事業実績等） 障がい者（児）に福祉タクシー券を交付したことにより、障がい者（児）の外出機会を創出し、自立支援や社会参加の推進に効果があった。 ◎タクシー助成券使用率　実績２９．４２％（目標５０％）							
24	福祉のまちづくり推進事業 20千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			51.3%		A	B	B	C	継続
		（事業概要、事業実績等） 香川県福祉のまちづくり条例に基づき、特定施設新築等届出書等の提出を促し、審査・指導・助言を行ったことにより、市民の誰もが安全かつ円滑に利用できるような公共的建物等の、福祉的環境の整備促進に効果があった。 ◎特定施設整備主に対する指導及び助言件数　実績４１件（目標８０件）							
25	（評価対象外）障害者移動支援等事業 112,664千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 外出の際の移動の支援、創作活動及び生産機会の提供を行ったことにより、障がい者（児）の社会活動への参加の促進に効果があった。 サービス利用者数　６２４人							

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	生活困窮者等への自立支援

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
12,210,958千円	D	17.4%	54.2%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政　策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成
担当局	健康福祉局

対象	生活困窮者	意図	困窮の程度に応じ、最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長する。 生活保護に至る前の生活困窮者に対して、生活困窮者自立支援法に基づき早期的な支援を行うことにより、生活困窮状態からの早期自立を図る。

概要（実績）

生活困窮者に対し、困窮の程度に応じ、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長した。
生活保護に至る前の生活困窮者に対して、生活困窮者自立支援法に基づき、困窮者それぞれの状態に応じた包括的かつ継続的な自立相談支援事業等を実施した。

成果指標

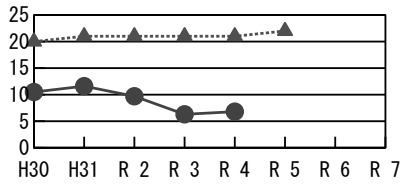
①

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
勤労収入の増加による生活保護廃止率	6.8%	21%	32.4%

状況

稼働能力のある者には、ハローワーク等と連携して就労指導するとともに、被保護者の状況を把握しながら、段階的に就労機会を増やすなど、経済的自立を目指した就労指導に取り組んだが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて悪化した雇用情勢の中、前年度から０．５ポイント増加したものの、目標を下回った。

達成度の推移



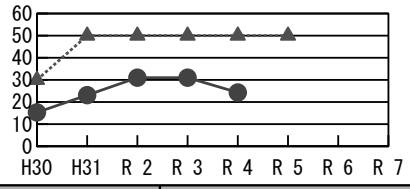
②

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
支援プラン作成率	24.3%	50%	48.6%

状況

生活困窮者それぞれの状況に応じて継続的かつ包括的な支援を実施するための支援プランを作成し、困窮者の早期自立を促したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や物価高騰の影響を受けて相談件数は増加した一方で、相談のみで支援プラン作成には至らない場合が多く、前年度より６．７ポイント減少し、目標を下回った。

達成度の推移

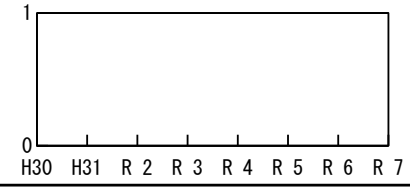


③

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度

状況

達成度の推移



施策の課題

生活保護受給世帯については、平成３０年度から令和４年度までは微増傾向が続いているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による景気悪化の影響から、生活保護申請への波及が今後も懸念されるため、ケースワーカーの充足を図るなど、実施体制の整備が必要である。
また、生活保護に至る前の生活困窮者の自立支援については、早期支援を実現するため、地域における生活困窮者の把握など、地域ネットワークを活用した包括的な取組が必要である。

施策の方向性

引き続き、生活困窮者等に対して健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立支援施策を推進することにより、自立を助長する。
また、生活困窮者自立支援事業については、ニーズに応じた支援を計画的かつ継続的に行う。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）行旅死亡人等取扱事業 1,205千円 健康福祉局 生活福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 行旅死亡人等に対し、適切に葬祭・埋葬や、旅費支給等の救済を行った。 （令和４年度実績　１５件）							
2	（評価対象外）生活保護扶助事業 11,975,576千円 健康福祉局 生活福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 要保護者に対して、生活保護の実施及び被保護者就労支援事業を通じて、日常生活への自立支援を行い、要保護者への最低生活の保障と、自立を助長することができた。 （令和５年３月３１日現在の生活保護受給世帯数　５，１０４世帯）							
3	（評価対象外）中国残留邦人生活支援事業 40,212千円 健康福祉局 生活福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 中国残留邦人等の置かれている特別な事情に鑑み、老後の生活の安定と地域での生き生きとした暮らしを実現するため、支援給付や日常生活の助言等を行うことで、対象世帯の生活の安定に寄与した。 （令和５年３月３１日の対象世帯数　１４世帯）							
4	（評価対象外）ホームレス自立支援事業 5千円 健康福祉局 生活福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 生活に関する相談及び指導並びに緊急に行うべき援助物資の支給等、ホームレスの状況に応じて必要な支援を行った。 （令和４年度援助物資購入実績　３件）							
5	（評価対象外）生活困窮者自立支援事業 193,960千円 健康福祉局 生活福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 平成２７年度から施行された生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者が抱える複合的な課題を十分に把握し、他の機関と連携して支援計画を作成するなど、それぞれの状態に応じた包括的かつ継続的な自立相談支援事業を実施し、困窮状態からの早期脱却に向けて支援した。 （令和４年度支援プラン作成件数　２０３件）							

令和４年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
	政　策	健康で元気に暮らせる環境づくり

総合評価
A

１　政策の概要

健康で元気に暮らせる環境づくりを図るため、健康寿命の延伸と生活の質の向上を目指し、健康づくりの普及啓発や生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底を推進し、乳幼児から高齢者までのライフステージに応じた健康づくりの推進に努めるほか、感染症の発生予防、まん延防止に努めます。
また、国民健康保険を始め、介護保険や後期高齢者医療などの社会保障制度の適切な運営に努めます。
また、医療人材の確保や監視指導などによる医療機関等の適正な運営の確保とともに、市立病院の充実や、救急医療体制の確保に努め、市民が安心できる医療体制の充実を図ります。
また、予防接種事業については、定期の予防接種のほか、新型コロナワクチン接種についても、地元医師会や関係機関と連携し、接種を希望される方が円滑に接種できるよう努めます。
さらに、新型コロナウイルス感染症の長期化に対応した保健所体制、相談体制等を整えるとともに、感染者が確認された場合は、速やかに積極的疫学調査や入院調整を行い、感染の拡大防止に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
健康づくりの推進	72%	B
医療体制の充実	98%	A
社会保障制度の適切な運営	98%	A
平均	89%	A

３　政策の評価

健康で元気に暮らせる環境づくりに向けて、３施策に取り組んだ。
「健康づくりの推進」では、設定する３つの成果指標のうち、内臓脂肪症候群該当者出現率（国保ベース）において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標をおおむね達成した。
「医療体制の充実」及び「社会保障制度の適切な運営」の２施策では、設定する６つの成果指標について、目標を達成又はおおむね達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は８９％となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
健康づくりの推進	44.0%	12.5%	73.0%
医療体制の充実	44.6%	16.8%	83.8%
社会保障制度の適切な運営	28.1%	21.7%	76.9%
平均	38.9%	17.0%	77.9%

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	健康づくりの推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
4,813,459千円	B	44.0%	73.0%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政　策	健康で元気に暮らせる環境づくり
担当局	健康福祉局

対象	市民	意図	健やかで心豊かに生活できる市民が増える。

概要（実績）

新型コロナウイルス感染予防対策を図りながら、各種検（健）診事業や相談事業、健康教室等を実施することにより、市民の心身両面の健康づくりを推進した。
また、予防接種事業については、定期の予防接種事業を、地元医師会や関係機関と連携して実施し、接種率の向上に取り組んだ。
さらに、新型コロナウイルス感染症の長期化に対応した保健所体制、相談体制等を整えるとともに、陽性者が確認された場合は、速やかに積極的疫学調査や入院調整を行い、感染の拡大防止に取り組んだ。

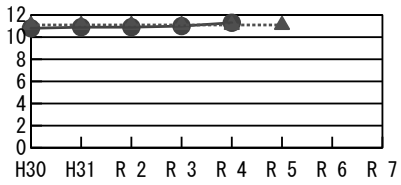
成果指標

① 指標名：介護保険の要介護２～５の認定率

R 4実績	R 4目標	達成度
11.3%	11.1%	98.2%

状況：介護サービスの利用控え等、コロナ禍において介護度が重度化し、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

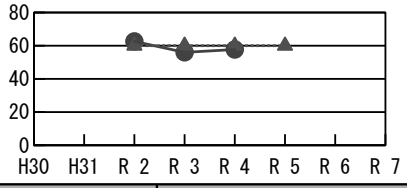


② 指標名：がん検診受診率（２０～６９歳）

R 4実績	R 4目標	達成度
57.7%	60%	96.2%

状況：コロナ禍において、検診は不要不急の外出ではないことの啓発等を行い、前年度よりがん検診受診率は上昇したが、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

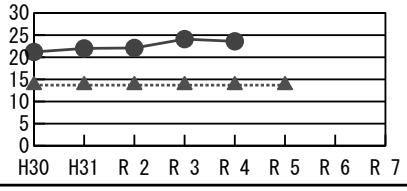


③ 指標名：内臓脂肪症候群該当者出現率（国保ベース）

R 4実績	R 4目標	達成度
23.6%	13.7%	27.7%

状況：コロナ禍による社会活動の減少等、市民の生活様式の変化に合わせ、一部、事業を縮小して実施したほか、動画・携帯アプリ等を活用し、生活習慣の改善を推進したが、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



施策の課題

新型コロナウイルス感染症により生活様式が大きく変化する中、各種がん検診の受診や生活習慣改善による健康寿命の延伸等に努めた。今後は、アフターコロナを見据えて、関係機関等と連携し、市民自身が主体的に健康づくりに向きあえるよう取り組んでいく。

施策の方向性

全ての市民が共に支えあい、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現のため、「高松市健康都市推進ビジョン」に基づき、ライフステージに応じた健康づくりを通じて、市民の健康への意識を高め、市民一人一人が健やかに暮らせる環境づくりを推進していく。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	骨髄等移植ドナー支援事業 300千円 健康福祉局 保健医療政策課				A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄等を提供した方（ドナー）等に対し、助成金を交付することにより、骨髄等移植の推進に寄与した。 （ドナーに対する助成件数　２件　事業所に対する助成件数　２件）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
2	（評価対象外）保健所管理運営事業（保健医療政策課分） 3,390千円 健康福祉局 保健医療政策課								
		（事業概要、事業実績等） 平成２６年３月に策定した「高松市健康都市推進ビジョン」の推進等を中心に、効率的な事業の運用等に努めた結果、適切な保健サービス等の提供に寄与した。							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
3	（評価対象外）保健センター管理運営事業（保健医療政策課分） 22,929千円 健康福祉局 保健医療政策課								
		（事業概要、事業実績等） 地域保健活動センターの運営に支障を来さぬよう、年間を通して計画的に各種保守点検業務等を実施したほか、地域の保健事業等の利用に供したことにより、各地域での市民の健康の保持及び増進に寄与した。							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
4	（評価対象外）保健統計調査事業 3,783千円 健康福祉局 保健医療政策課								
		（事業概要、事業実績等） 統計法に基づき実施される統計調査（人口動態調査等）の厚生労働省受託事務として円滑に実施した。							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
5	（評価対象外）ほっとぴあん運営事業 19,921千円 健康福祉局 保健医療政策課								
		（事業概要、事業実績等） 指定管理者に運営を委託し、適切に維持管理を行ったことにより、市民の健康増進に資することができた。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	（評価対象外）保健所管理運営事業（保健予防課分） 33,292千円 健康福祉局 保健医療政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 効率的な保守点検に努め、必要な修繕措置を行った結果、施設・設備とも適正に維持管理できた。							
7	（評価対象外）栄養改善指導事業 2,858千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の影響により、巡回指導は計画どおり実施できなかったものの、栄養管理報告書に基づく助言や、ホームページにおいて給食施設に関する情報提供を積極的に発信し、対象施設の適切な給食管理に資することができた。							
8	（評価対象外）原爆被爆者健康診断事業 28千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 原子爆弾被爆者を対象にした健康診断の通知等を行い、被爆者の健康の保持増進に寄与した。							
9	（評価対象外）国民健康・栄養調査事業 415千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 国からの委託を受け、国民健康・栄養調査を実施した。歯科疾患実態調査も調査該当地区となり、併せて実施した。							
10	自殺対策推進事業 4,651千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			34.8%	100.0%	A	A	A	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症対策を講じ、地域や職域で健康教育や対面での啓発事業を実施したが、参加者数は、依然として目標値を大幅に下回った。 令和３年度よりコロナ禍での新たなツールとして、プロバスケットボールチームの選手が出演する「ゲートキーパー啓発用動画」を作成し、ホームページ等に掲載することにより、自殺予防の啓発に寄与した。 また、高校の文化祭や２学期開始時（中学３年生）に「こころの体温計カード」を配布したほか、自殺予防や相談対応の知識・技術等の向上を図るため、職員及び相談従事者研修を一部リモートで実施するなど、自殺予防啓発を推進した。 ◎健康教育の参加者数　実績１，６３４人（目標４，７００人） ◎ひきこもり支援人数　実績６人（目標６人）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	精神障害者社会復帰支援事業 2,775千円		52.0%		A	A	A	C	継続
	健康福祉局 健康づくり推進課	（事業概要、事業実績等） デイケアを実施し、グループ活動を通して、精神障がい者同士の交流を図り、仲間づくりの場を提供したほか、当事者のための生活スキルアップセミナーを実施し、精神障がい者の社会参加や自立を促した。 なお、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、開催が２回中止となったが、全体の参加者数は大幅に増加した。 また、障がい者を支える家族会に対して運営補助を行い、家族活動の充実に資することができた。 ◎デイケア参加者延べ数　実績３６９人（目標７１０人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
12	精神保健福祉普及啓発・相談事業 347千円		52.7%		A	A	B	C	継続
	健康福祉局 健康づくり推進課	（事業概要、事業実績等） こころの健康相談やこころの健康セミナーを実施し、市民に対して、こころの健康づくりやこころの病気の理解と正しい知識の周知啓発活動を推進した。 また、統合失調症家族教室を実施し、家族に対して病気への対応と正しい知識の周知啓発を行い、精神保健福祉に係る普及啓発に寄与した。 なお、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、事業を実施したが、参加者数の減少傾向は継続している。 ◎啓発事業・家族教室の参加者数　実績２６９人（目標５１０人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
13	地域食育推進事業 1,378千円		86.2%	57.3%	A	A	A	B	継続
	健康福祉局 健康づくり推進課	（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の影響により、食育フェスタや伝達講習会等、食育啓発事業を縮小せざるを得なかったが、スーパーマーケット等との連携や、野菜たっぷり生活ラリーでのデジタル媒体の導入など、継続的に食育推進事業を実施し、市民へ「食」の大切さを伝えた。 ◎食育に関心をもつ人の割合　実績７７．６％（目標９０％） ◎伝達講習会参加者数　実績１，７１９人（目標３，０００人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
14	地域保健推進事業 1,520千円		67.1%	89.6%	A	B	B	B	継続
	健康福祉局 健康づくり推進課	（事業概要、事業実績等） 地域に密着した、きめ細かな保健事業を推進するため、保健委員会連絡協議会の運営を補助し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、ブロック研修会や「高松市民健康の日」パネル展を開催した結果、市民の健康意識向上につながった。 また、地域及び企業・事業所等の職域に対して、健康運動指導士を派遣する運動教室を開催し運動推進に寄与した。 なお、新型コロナウイルス感染症の感染対策による規模縮小や人数制限等により、参加者数は、コロナ発生前と比較し減少したものの、前年度より増加した。 ◎講演会等参加者数　実績１，０７４人（目標１，６００人） ◎講演会等参加者満足度　実績８９．６％（目標１００％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
15	難病患者地域支援ネットワーク事業 199千円		104.7%		A	B	B	A	継続
	健康福祉局 健康づくり推進課	（事業概要、事業実績等） 福祉の充実と連携を図るため、保健師等の家庭訪問及び健康相談により、在宅療養支援を行うとともに、相談会・講演会等を開催し、安定した療養生活の確保と生活の質の向上に寄与した。 ◎事業参加者満足度　実績９４．２％（目標９０％）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
16	８０２０（歯科保健）推進事業 健康福祉局 健康づくり推進課		188.5%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） ライフステージに応じた歯科保健事業を実施し、歯と口腔の健康づくりを推進した。新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の歯科健康教育・健康相談を中止したが、成人歯科健診の受診率は前年度より０．４％増加した。 幼児歯科健康診査はコロナ禍でも重要な健診で、不要不急でないことを啓発したこと等により、一定の受診者数維持につなげることができた。 ◎幼児歯科健康診査受診者数　実績２，０７３人（目標１，１００人）							
17	保健活動事業 20,553千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			89.6%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 保健師等による家庭訪問、健康相談、事務所相談、健康診査、健康教育、地区組織活動を実施したことにより、市民の健康づくりの気運が向上し、健康増進に寄与した。 ◎参加者の満足度　実績８９．６％（目標１００％）							
18	（評価対象外）保健センター管理運営事業（健康づくり推進課分） 52,571千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 施設運営に支障を来さないよう、年間を通して計画的に各種保守点検業務を実施したほか、修繕については、消防設備の不具合による緊急工事など、緊急性の高いものから順次取り組んだ結果、安全かつ良好な施設の維持管理ができた。							
19	がん対策推進事業 470,703千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	96.2%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） コロナ禍において検診受診は不要不急の外出ではないことの啓発や子宮頸・乳がん検診の再受診勧奨を実施するなど、関係組織と連携を図ったことにより、前年度に比べ、各種がん検診受診率は増加した。 ◎がん検診受診率（２０～６９歳）　実績５７．７％（目標６０％）							
20	健康づくり推進事業 63,401千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			45.7%	25.9%	A	A	C	D	継続
		（事業概要、事業実績等） コロナ禍において３密回避に努め、健康教育・健康相談、健康診査等を実施した。 前年度と比べ、健康教育・健康相談等の参加者数は増加したものの、目標には届いていない。 ◎健康教育の参加者数　実績６，４０２人（目標１４，０００人） ◎健康相談の参加者数　実績１，９４１人（目標７，５００人）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
21	感染症予防事業（長寿福祉課分） 54,538千円		362.6%		A	A	B	A	縮小
	健康福祉局 長寿福祉課	（事業概要、事業実績等） 市内の介護施設等の職員に対する一斉検査の実施等により、新型コロナウイルス感染の早期発見・感染拡大防止につなげることができた。 ◎本事業による検査実施件数　実績７７，５９３件（目標２１，４００件）							
22	（評価対象外）エイズ相談事業 150千円								
	健康福祉局 感染症対策課	（事業概要、事業実績等） 保健所でＨＩＶ抗体無料検査、相談等を行い、エイズについてのまん延防止、正しい知識の普及啓発を行った。 また、従来からの一般市民を対象とした活動に加え、ハイリスク層を対象とした啓発資材の配布、高校文化祭や瓦町ＦＬＡＧでのパネル展示等、積極的な啓発活動を行った。							
23	（評価対象外）予防接種事業 2,805,717千円								
	健康福祉局 感染症対策課	（事業概要、事業実績等） 子どもの定期予防接種及び高齢者に対する成人用肺炎球菌予防接種、インフルエンザ予防接種を実施することで、感染症予防等、市民の健康維持に寄与した。 また、子宮頸がん予防ワクチンについては、積極的勧奨を再開するとともに、キャッチアップ接種、償還払い等に対応した。 新型コロナワクチン接種事業については、４・５回目接種に着手したほか、乳幼児のワクチン接種も開始した。 なお、前年度からの繰越事業である新型コロナワクチン接種事業については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：１９，００５，６３０円）							
24	（評価対象外）感染症予防事業 1,227,715千円								
	健康福祉局 感染症対策課	（事業概要、事業実績等） 感染症発生時においては、積極的疫学調査やまん延防止対策等、迅速・適正な対応を行った。特に、新型コロナウイルス感染症対策として、昨年度に引き続き、診療・検査医療機関による検査のほか、夜間・休日発熱外来の開設、クラスター調査等を実施することにより感染症の拡大防止に寄与した。 また、適切な医療が提供できるよう医療機関等との連携強化を図るため、コロナ危機対策会議を定期的に開催した。 なお、新型コロナウイルス感染症に対応するため、全庁体制で疫学調査等を実施したほか、業務の一部を委託化するなど保健所の体制を強化した。							
25	（評価対象外）結核予防事業 20,325千円								
	健康福祉局 感染症対策課	（事業概要、事業実績等） 保健所と医療機関が連携を密にして、結核患者に対し適正な指導を行い、再発防止のために服薬支援を実施した。また、積極的疫学調査や接触者に対する健康診断を実施する等、早期発見に寄与した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民及び医師等に対する結核についての正しい知識の普及啓発を行う講演会等は中止した。 なお、Ｘ線一般撮影装置の更新については、部品の調達に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：３，４３２，０００円）							

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	医療体制の充実

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
2,462,851千円	A	44.6%	83.8%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政　策	健康で元気に暮らせる環境づくり
担当局	健康福祉局

対象	市民	意図	安定した医療供給体制を整えることにより、市民が安心して暮らすことができる環境づくりを目指す。

概要（実績）

医事監視指導事業　医療機関への立入検査について、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、書類審査とした。
医療安全支援センター運営事業　市民からの医療に関する相談対応など、医療安全の確保に寄与した。
薬事監視指導事業　薬局・医薬品販売事業者等の許認可申請に対する審査・薬事監視指導を実施することにより、医薬品等の有効性・安全性を確保し、市民の保健衛生の向上に寄与した。
高松市立病院運営事業　みんなの病院では、本市南部地域の中核病院として、「がん医療」、「救急医療」などの急性期医療に加え、「災害時や感染症に対する医療」、「地域包括ケア等の後方支援機能の強化」に重点的に取り組んだ。また、塩江分院では、保健、医療、福祉が一体となった「地域まるごと医療の実践」を基本方針として病院運営に当たり、地域医療に貢献した。
附属医療施設整備事業　附属医療施設については、塩江道の駅及び温浴施設と一体的に整備を進めており、建築実施設計に着手した。

成果指標

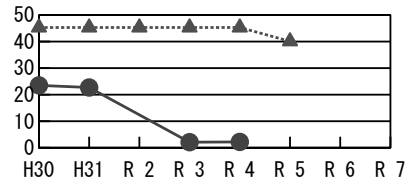
①

指標名	立入検査違反率	R 4実績	R 4目標	達成度
		2.2%	45.3%	195.1%

状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、病院及び新規開設診療所については書類審査を行い、必要と認められた病院について現地での立入検査を行うこととし、違反施設に関して改善計画書の提出を求めることで、目標を達成することができた。

達成度の推移



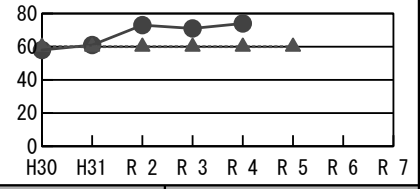
②

指標名	地域医療機関からの紹介率	R 4実績	R 4目標	達成度
		74%	60%	123.3%

状況

地域医療支援病院として、医師の同行による地域医療機関への訪問や地域医療連携カンファレンス、セミナー等の症例検討会を通して、顔の見える関係を築き、スムーズな連携・受入れを行うことで、目標を達成することができた。

達成度の推移



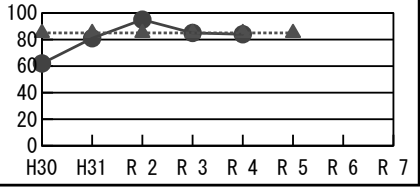
③

指標名	地域医療機関への逆紹介率	R 4実績	R 4目標	達成度
		84%	85%	98.8%

状況

後方支援病院として、かかりつけ医を推奨し、入退院のスムーズな連携に取り組んでおり、紹介いただいた地域の医療機関に対しては、逆紹介の徹底に努めたものの、逆紹介をしていない新型コロナウイルス感染症患者を３年度以上に受け入れたため、逆紹介率は低下し、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



施策の課題

【健康福祉局】医療現場においては、地域間・診療科間における医師の偏在等による医師不足や専門診療科不足が深刻であり、医師の確保や地域医療等の充実が必要である。また、災害時医療救護体制の整備を更に進めるため、市内３医師会等と連携しながら災害時医療救護活動マニュアルに沿った取組を行う必要がある。
【病院局】救急患者の積極的な受入れや、地域の医療機関との連携強化などを図ることで、新規患者の更なる獲得を図るとともに、可能な限り経費圧縮に努め、病院事業の健全経営に取り組む必要がある。また、附属医療施設については、できる限り早期に開所する必要がある。

施策の方向性

【健康福祉局】地域医療や救急医療体制を確保するため、地域間・診療科間の医師偏在を解消するなど、国・県主導の下、関係機関と連携しながら医師の確保に努める必要がある。また、災害時医療救護体制については、地域災害医療対策会議や災害医療コーディネーターと連携しながら、災害時医療救護活動マニュアルに沿った実践的な訓練・研修に取り組む必要がある。
【病院局】高度医療に対応した環境づくりに努めるとともに、引き続き、感染症への対応や、救急患者の積極的な受入れ、また、がん医療に重点的に取り組むなど、良質な医療の提供と経営の健全化に取り組む必要がある。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	医療安全推進事業 227千円 健康福祉局 保健医療政策課		113.0%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 医療安全支援センターの運営により、医療に関する市民の相談に対応したほか、医療機関へ医療安全に関する情報提供を行うなど、市民の医療に対する信頼の確保に寄与した。 ◎医療相談における相談者の納得度について「納得した」の割合 実績６７．８％（目標６０％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
2	看護師養成所運営補助事業 3,555千円 健康福祉局 保健医療政策課		94.3%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 看護師及び准看護師の養成所に対し、運営費の一部を助成することにより、医療人材の確保に努めるとともに、医療体制の充実に寄与した。 入学定員数　１４０人 卒業者数　１０５人 資格試験合格者数　９９人（合格率９４．３％） ◎養成所卒業生の資格取得率　実績９４．３％（目標１００％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
3	災害時医療救護事業 634千円 健康福祉局 保健医療政策課		100.0%	100.0%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 災害時に医療救護活動を円滑に行うため、高松市内３医師会連合会及び高松市歯科医師会の医療救護事業に対し、助成を行うことにより、医療救護班の派遣体制の確保に寄与した。 また、災害時に避難所・応急救護所等で使用する備蓄医薬品等のうち、期限切れのものについて更新を行った。 ◎備蓄医薬品のうち有効期限内である医薬品の割合 実績１００％（目標１００％） ◎医療救護活動の実施率 実績１００％（目標１００％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
4	産科医等確保支援事業 3,368千円 健康福祉局 保健医療政策課		80.4%		A	A	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 医療施設が産科医及び助産師に支給する、分娩手当に係る費用の一部を助成することにより、処遇改善を通じ、産科医等の確保に寄与した。 （負担割合は国・県１／２、市１／６、事業者１／３） 対象施設　３施設 医師・助産師従事者数　３７人 分娩件数　６１８件 ◎該当施設における産科医及び助産師の従事人数 実績３７人（目標４６人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
5	（評価対象外）薬事監視指導事業 372千円 健康福祉局 生活衛生課								
		（事業概要、事業実績等） 保健衛生上の見地から、医薬品医療機器等法に基づき、薬局、医薬品販売業者、医療機器販売業者等の許認可申請・届出に対する審査・指導及びこれらの施設に対する監視指導を実施することにより、医薬品、医療機器等の有効性及び安全性を確保し、市民の保健衛生の向上に寄与した。 医薬品・医療機器販売業者等への監視件数：１，２０８件							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	寄附講座開設事業 70,500千円		575.0%	266.7%	A	A	B	A	継続
	健康福祉局 保健医療政策課	（事業概要、事業実績等） 徳島大学医学部に寄附講座を設置し、高松市立みんなの病院において、フィールドワークとして専門性の高い消化器内科・総合内科、循環器内科、呼吸器・血液・代謝内科診療を行いつつ、医学生及び専門的診療能力を有する医師等の人材育成を行い、高松地域における医療レベルの向上に寄与した。 ◎大学からの医学生受入数　実績４６人（目標８人） ◎地域医療に関する講演会開催数　実績８回（目標３回）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
7	在宅当番医制等事業 21,059千円		100.0%	105.9%	A	A	B	A	継続
	健康福祉局 保健医療政策課	（事業概要、事業実績等） 地区医師会に委託し、各医師会調整の下、休日（日曜、祝日）に当番制で休日診療（原則９：００～１８：００）を行うことにより、休日における初期救急医療体制の確保に寄与した。 診療日数　７０日 患者数　２６，０９７人（綾歌地区医師会を除く。） ◎休日における休日当番医の開設稼働率 実績１００％（目標１００％） ◎市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度 実績４４．６％（目標４２．１％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
8	歯科救急医療センター休日・夜間救急歯科診療事業運営補助事業 12,000千円		100.0%	105.9%	A	A	B	A	継続
	健康福祉局 保健医療政策課	（事業概要、事業実績等） 休日及び夜間に、歯科救急医療センターにおいて歯科診療を行う高松市歯科医師会に対し、運営費の一部を助成することにより、休日・夜間における歯科救急医療体制の確保に寄与した。 （診療時間は休日９：００～１６：００（１２：００～１３：００は休憩）、夜間は月～土曜１９：３０～２２：００） 診療日数　（休日）７３日　（夜間）２９４日 患者数　（休日）１，０３２人　（夜間）８８９人 ◎休日・夜間における救急歯科診療の開設稼働率 実績１００％（目標１００％） ◎市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度 実績４４．６％（目標４２．１％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
9	病院群輪番制運営補助事業 64,410千円		100.0%	105.9%	A	A	B	A	継続
	健康福祉局 保健医療政策課	（事業概要、事業実績等） 夜間の二次救急医療体制を確保するため、輪番病院の運営・調整に係る費用に対し、助成をすることにより、夜間における重症患者の受入体制の確保に寄与した。 輪番制による受入患者数４，１８２人（補助対象外の県立中央病院を除く。） 夜間急病診療所からの転送患者数４５３人（県立中央病院を含む。） ◎夜間における輪番病院の開設稼働率 実績１００％（目標１００％） ◎市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度 実績４４．６％（目標４２．１％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
10	病院群輪番制病院設備整備費補助事業 16,380千円		100.0%	105.9%		A	B	A	継続
	健康福祉局 保健医療政策課	（事業概要、事業実績等） 輪番病院の設備整備に係る費用に対して助成を行い、診療に必要な設備を整備することにより、二次救急医療体制の充実に寄与した。 対象施設数　１病院 対象設備　汎用超音波画像診断装置・ディフィブリレータ・ポータブルエコー ◎夜間における輪番病院の開設稼働率 実績１００％（目標１００％） ◎市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度 実績４４．６％（目標４２．１％）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
11	（評価対象外）夜間急病診療所運営事業 197,076千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 保健医療政策課	（事業概要、事業実績等） 夜間における初期救急医療体制を確保するため、高松市医師会を指定管理者として、夜間急病診療所の運営を行った。診療の結果、重症患者は二次輪番病院に転送するなど、二次救急医療機関との連携体制を確保した。 診療日数　３６５日 診療時間　１９：３０～２３：３０ 患者数　７，１６２人 （内　科：毎日）３，０４４人 （小　児　科：毎日）３，９２４人 （耳鼻咽喉科：木）　７７人 （眼　科：土）　１１７人							

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	社会保障制度の適切な運営

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
104,735,236千円	A	28.1%	76.9%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政　策	健康で元気に暮らせる環境づくり
担当局	健康福祉局、市民政策局

対象	市民（国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険及び国民年金制度の各事業の対象者）	意図	市民が健やかにいきいきと暮らせるよう、安心して医療・介護・年金を受けることができる社会保障制度を適切に運営する。

概要（実績）

国民健康保険の保険料の賦課・徴収事務及び保険給付事務の適正な執行により、国民健康保険事業の適切な運営を行った。また、国民健康保険及び介護保険の保険給付費の適正化の周知活動を実施するとともに、各種事業に積極的に取り組んだことにより、市民の健康保持に対する意識が向上した。また、後期高齢者医療制度の適切な運営の支援・促進を行った。

更には、介護を必要とする高齢者が、地域において安心して必要なサービスを受けられるよう、介護保険料の賦課・徴収事務や、介護保険給付、要介護認定、サービス事業所の指定など事務の適正な執行とともに、介護給付費等適正化事業の推進やサービス提供事業所の指導監督の徹底など、介護保険事業の適切な運営を行った。

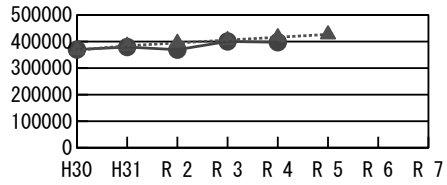
また、国民年金制度について広報高松等を通じて周知したことにより、市民の年金受給権の確保につながった。

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	国民健康保険の被保険者１人当たりの保険給付費	397,386円	416,250円	104.5%
②	介護保険サービス利用率	86.6%	84.1%	103.0%
③	１人当たり介護サービス費用額	152,856円	150,800円	98.6%

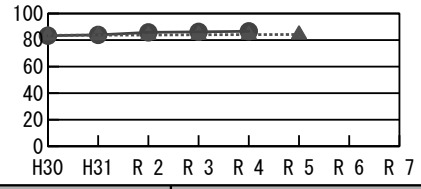
① 状況：特定健康診査等の受診率の向上、重症化予防対策事業等、保健事業に積極的に取り組んだ結果、前年度と同様に、目標を達成することができた。

達成度の推移



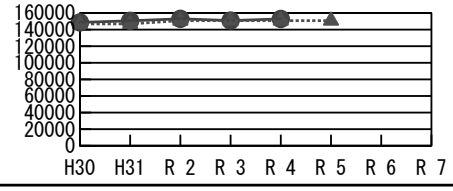
② 状況：適切な介護サービスの利用について助言や指導などを行い、適正に管理することができた。

達成度の推移



③ 状況：介護予防の推進やケアマネジャー及び事業所への指導・助言を行うなど、給付費の適正化を図ったものの、コロナ禍において、介護度が重度化するなど、一人当たりの介護サービス費用額は上昇する結果となり、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



施策の課題

【健康福祉局】国民健康保険・介護保険の被保険者一人当たりの保険給付費を抑制するため、生活習慣病予防や重症化予防、介護予防に取り組むとともに、地域包括ケアシステムの構築による、在宅医療・介護連携を推進する必要がある。後期高齢者の急増に伴い、介護給付費が増嵩する中、介護保険料の収納率の向上や、適正な保険給付が課題となっている。また、公正かつ的確な要介護（要支援）認定のほか、介護サービスの質の向上を始め、見込量の適切な把握に努めるとともに、これを充足する介護サービス提供体制を確保する必要がある。

【市民政策局】国民年金制度について、更に積極的な周知・啓発に努める必要がある。

施策の方向性

【健康福祉局】国民健康保険料の賦課・徴収及び保険給付事務の適正な執行と併せて、各種保健事業に積極的に取り組むことにより、国民健康保険事業の適切な運営を図るほか、後期高齢者医療制度の窓口業務を通じて適切な運営の支援を行う。また、介護保険制度の安定的な運営を図るため、介護保険料の賦課・徴収、保険給付事務や要介護（要支援）認定を適正に行うとともに、介護サービスの質の向上を図ることにより、介護や支援を必要とする高齢者が、適切かつ効果的に介護サービスを利用できるようにする。

【市民政策局】国民年金制度について広報高松等を通じて周知するなど、市民の年金受給権の確保に努める。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）後期高齢者医療事業 11,519,348千円 健康福祉局 国保・高齢者医療課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 香川県後期高齢者医療広域連合が保険者である後期高齢者医療制度の窓口業務等を行った。また、人間ドック・歯科ドックの助成等を行うことにより、後期高齢者等の健康保持に対する意識や生活習慣の変化（改善）に寄与した。							
2	（評価対象外）国民健康保険運営事業 10,892,466千円 健康福祉局 国保・高齢者医療課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 国民健康保険法等に基づき被保険者に保険証を交付したほか、適正な資格管理、保険料の賦課限度額の引上げ等、適正な賦課を行い、国民健康保険事業の安定かつ継続的な運営を行うことができた。 また、介護納付金等他の法律等に基づく費用等を納付することなどにより、社会保障制度の安定化及び市民福祉の向上に寄与した。							
3	（評価対象外）国民健康保険給付事業 29,963,689千円 健康福祉局 国保・高齢者医療課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 国民健康保険法に基づき、被保険者に対し、疾病・負傷・感染症等の治療を目的とした給付や出産・死亡に関する必要な保険給付を行うことにより、適切な事業運営を行うことができた。							
4	（評価対象外）国民健康保険直営診療施設運営事業 22,734千円 健康福祉局 国保・高齢者医療課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） オンライン診療を本格的に開始する等、診療所事業を適切に運営したことにより、女木島・男木島の住民の健康保持・増進に寄与した。また、離島における持続可能な医療体制の確保に関する検討を行った。							
5	国民健康保険保健事業 402,475千円 健康福祉局 国保・高齢者医療課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			104.5%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 生活習慣病の重症化を予防するため、特定健康診査及び糖尿病性腎症等重症化予防事業等の各種保健事業に積極的に取り組んだ結果、成果指標である国民健康保険の被保険者１人当たりの保険給付費については、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えの動きが弱まったこともあり、前年度からは上昇したものの、目標を達成することができた。 ◎１人当たりの保険給付費の上昇抑制 実績３９７，３８６円（目標４１６，２５０円）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	（評価対象外）国民健康保険料収納事業 26,524千円 健康福祉局 国保・高齢者医療課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 令和４年９月に、滞納発生の未然防止、滞納世帯への対応、納付困難世帯への対応を基本的方針として掲げる「高松市国民健康保険料収納率向上プラン」を策定した。具体的には、口座振替の推進やコンビニ収納及びスマホ収納の促進による収納利便性の向上、電話や文書での催告を機会としての納付指導、差押えを始めとする滞納処分等に取り組んだが、現年分収納率は前年度を下回る９１．３１％となった。							
7	（評価対象外）介護給付等費用適正化等事業（地域支援任意事業） 30,614千円 健康福祉局 介護保険課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） サービスの適正利用のため、介護給付費通知をサービス利用者及び家族に発送し、点検を促したほか、ケアマネジャーや事業所への指導・助言を行ったことなどにより、不適切な給付を抑制した。							
8	（評価対象外）介護保険運営事業 1,186,316千円 健康福祉局 介護保険課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 保険料の適正賦課や納付における口座振替制度の利用促進のほか、スマホ収納やコンビニ収納など支払方法の多様化を進めたことにより、保険料収入を確保することができた。							
9	（評価対象外）介護保険給付事業 39,190,604千円 健康福祉局 介護保険課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 香川県国民健康保険団体連合会に審査支払事務を委託するなどにより、適正な事業費の支給を行った。また、自己負担軽減等の制度を活用してもらうことにより、利用者にとっても使いやすい介護保険とすることができた。							
10	（評価対象外）介護保険認定事業 274,658千円 健康福祉局 介護保険課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 公正かつ的確な要介護（要支援）認定を行うために、介護認定審査会委員及び認定調査員の能力の向上を図り、介護認定審査会を適正に実施することができた。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><th>重点</th><th colspan="2">成果達成度</th><th>妥当性</th><th>有効性</th><th>効率性</th><th>総合評価</th><th>今後の方向性</th></tr>
<tr><td rowspan="3">11</td><td rowspan="2">（評価対象外）国民年金事務

13,668千円</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="8" rowspan="2">（事業概要、事業実績等）
国民年金に関する各種届出事務や相談業務等を適正に実施した。
また、市民の年金受給権を確保するため、国民年金制度について広報高松等を通じて周知した。</td></tr>
<tr><td>市民政策局
市民課</td></tr>
</table>

（2）心豊かで未来を築く人を育むまち

令和４年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
	政　策	男女共同参画社会の形成

総合評価
A

１　政策の概要

男女共同参画社会の形成を図るため、社会のあらゆる分野の政策・方針決定過程への女性の参画拡大を促進するとともに、基本的人権としての男女平等の実現に向けた取組を着実に推進します。
また、長時間労働の是正等による働き方改革を進め、仕事と家庭を両立できる環境を整備することなどにより、女性の活躍とワーク・ライフ・バランスを推進し、男女が共に、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画の推進に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
男女共同参画の推進	90%	A
平均	90%	A

３　政策の評価

男女共同参画社会の形成に向けて、１施策に取り組んだ。
「男女共同参画の推進」では、設定する３つの成果指標のうち、審議会等における女性委員の割合において、目標をおおむね達成した。
一方、事業所における女性従業員の割合及び男性の育児休業者がいた事業所の割合については、新型コロナウイルス感染症の影響により、アンケート調査を未実施のため、実績値を把握していない。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は９０％となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とするが、実績値を把握していない２つの成果指標については、実績値を把握できた令和元年度までは達成度が低い状況が続いていたことから、政策の目指す目標に向けて一層の取組が必要である。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
男女共同参画の推進	18.4%	16.8%	62.0%
平均	18.4%	16.8%	62.0%

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	男女共同参画の推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
41,976千円	A	18.4%	62.0%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政　策	男女共同参画社会の形成
担当局	市民政策局、健康福祉局

対象	市民	意図	男女共同参画社会を形成するため、男女共同参画市民フェスティバルなど、様々な機会を通じて意識啓発を図るとともに、男女共同参画センターを市民の活動拠点として、家庭や職場など、あらゆる分野への参画の促進や、共に豊かで安心できる生活・環境づくりを推進し、男女共同参画の社会づくりを進める。

概要（実績）

女性活躍推進法に基づく女性の活躍促進事業として、企業等の一般事業主行動計画策定支援のためのアドバイザー派遣や企業認定などを行うとともに、女性の就労相談事業を行った。
また、女性相談業務において、配偶者等からの暴力（ＤＶ）を受けた被害者を始め、様々な問題や悩みを抱える女性に対して事情に即した情報提供を行うとともに、必要性・緊急性に応じて、関係機関と連携しながら適切な保護をする等の支援を行った。

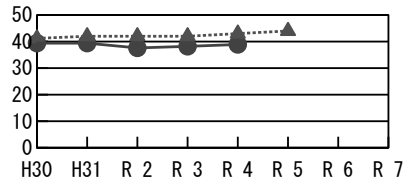
成果指標

① 指標名：審議会等における女性委員の割合

R 4実績	R 4目標	達成度
38.9%	43%	90.5%

状況：高松市における審議会等委員への女性の登用推進要綱等に基づき、女性委員の割合拡大を推進するため、審議会等における女性の登用推進に係る事前協議を行ってきた結果、実績値は上昇傾向にあるものの、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

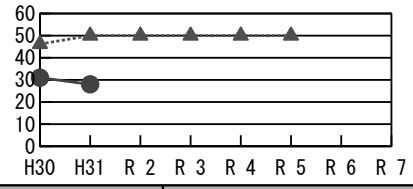


② 指標名：事業所における女性従業員の割合

R 4実績	R 4目標	達成度
— %	50%	—

状況：令和４年度調査については、新型コロナウイルス感染症の影響により、アンケートの実施ができなかった。

達成度の推移



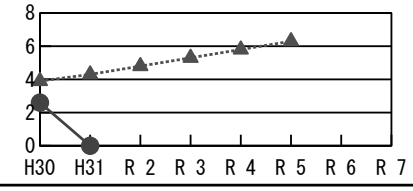
—

③ 指標名：男性の育児休業者がいた事業所の割合

R 4実績	R 4目標	達成度
— %	5.8%	—

状況：令和４年度調査については、新型コロナウイルス感染症の影響により、アンケートの実施ができなかった。

達成度の推移



—

施策の課題

【市民政策局】女性の活躍推進や子育て世代の女性の就労環境など、経済情勢や新たな社会問題から生じる課題に対応するため、男女共同参画への更なる意識啓発が必要である。
【健康福祉局】配偶者等からの暴力（ＤＶ）を受けた被害者を始め、離婚問題や生活困窮等、様々な悩みを抱える女性に対し、自立に向けた支援を行うためには、女性相談業務の専門性の向上や関係機関との連携強化等、更なる支援体制の充実を図ることが必要である。

施策の方向性

男女共同参画社会の形成に向け、これまでの取組を継承しつつ、「第５次たかまつ男女共同参画プラン」において取り組むこととしている各種啓発活動や相談事業などについて、市民参画の手法を用いながら、総合的・計画的に実施する。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	女性団体育成事業 740千円 市民政策局 男女共同参画・協働推進課		55.7%	165.0%	A	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 男女共同参画の視点から、地域社会の発展に寄与することを目的とした女性団体の活動を支援した。 ◎地域コミュニティ協議会における正副会長のうち女性の割合 実績１９．５％（目標３５％） ◎団体活動回数　実績３３回（目標２０回）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
2	女性の活躍促進事業 2,571千円 市民政策局 男女共同参画・協働推進課	一般重点	88.6%	100.0%	A	B	B	A	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 女性活躍推進法に関するセミナーの開催や女性活躍企業認定など、女性の管理職登用やワーク・ライフ・バランスに取り組む企業を増加させる事業を実施したことにより、女性の職業生活における活躍を推進し、男女が共に、あらゆる分野で活躍できる社会の形成に寄与した。 ◎女性活躍企業認定数（累計） 実績３９社（目標４４社） ◎本市の支援を受けて策定された一般事業主行動計画の数（年間） 実績７本（目標７本）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
3	女性の就労相談事業 2,475千円 市民政策局 男女共同参画・協働推進課		113.3%	134.5%	A	B	B	A	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 女性のための就労相談窓口において、働くことを希望する女性の就業機会を増加させる事業を推進したことにより、女性の職業生活における活躍を推進し、男女が共に、あらゆる分野で活躍できる社会の形成に寄与した。 ◎女性の就労相談窓口利用者のうち就業につながった人数 実績３４人（目標３０人） ◎女性の就労相談件数 実績２６９件（目標２００件）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
4	（評価対象外）女性相談事業 10,426千円 健康福祉局 こども女性相談課								
		（事業概要、事業実績等） 配偶者等からの暴力をはじめとする問題・悩みを抱える女性に対して、事情に即した情報提供を行うことや、必要性・緊急性に応じて、関係機関と連携しつつ適切な保護を実施する等の支援を行った。 令和４年度　　相談延べ件数：　３，６５７件 実人員：　５４３人 うち、ＤＶ被害相談延べ件数：　９１３件 実人員：　３４０人							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
5	男女共同参画社会推進事業 966千円 市民政策局 男女共同参画・協働推進課		80.8%		A	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 男女共同参画都市宣言の趣旨を踏まえ、男女共同参画週間において、弁護士による講座・相談、パネル展を実施したほか、男女共同参画市民フェスティバルなどの機会に、広く市民に対する啓発活動を行うなど、男女共同参画社会の推進に寄与した。 ◎事業に対する満足度（アンケートなど） 実績７９．２％（目標９８％）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><th rowspan="3">6</th><td rowspan="2">（評価対象外）男女共同参画センター管理運営事業

24,798千円</td><th>重点</th><th colspan="2">成果達成度</th><th>妥当性</th><th>有効性</th><th>効率性</th><th>総合評価</th><th>今後の方向性</th></tr>
<tr><td></td><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>市民政策局
男女共同参画・協働推進課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
男女共同参画社会の実現に向けた市民活動拠点である高松市男女共同参画センターの管理運営を、特定非営利活動法人たかまつ男女共同参画ネットに委託し、学習研修事業や相談事業を実施するなど、男女共同参画社会の実現に寄与した。</td></tr>
</table>

令和４年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
	政　策	社会を生き抜く力を育む教育の充実

総合評価
B

１　政策の概要

社会を生き抜く力を育む教育の充実を図るため、次代を担う青少年が、心豊かにたくましく育つよう、基礎・基本を身につける確かな学力の育成や豊かな心と体を育てる教育の推進など、学校教育の充実を図るとともに、学校教育施設の整備や教育機能と就学支援の充実などの学校教育環境の整備、大学等高等教育の充実に努めます。

また、家庭及び地域の教育力の向上を図るとともに、青少年の健全育成や、子どもの安全確保対策を推進します。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
学校教育の充実	91%	A
学校教育環境の整備	76%	B
子どもの安全確保	100%	A
青少年の健全育成	48%	D
家庭・地域の教育力の向上	78%	B
大学等高等教育の充実	93%	A
平均	81%	B

３　政策の評価

社会を生き抜く力を育む教育の充実に向けて、６施策に取り組んだ。

「学校教育の充実」、「子どもの安全確保」及び「大学等高等教育の充実」の３施策では、設定する６つの成果指標について、目標を達成又はおおむね達成した。

「学校教育環境の整備」では、設定する２つの成果指標のうち、学校施設長寿命化整備の進捗率において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。

「青少年の健全育成」では、設定する２つの成果指標のうち、少年人口千人当たりの補導人数において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標をおおむね達成した。

「家庭・地域の教育力の向上」では、設定する２つの成果指標のうち、地域交流事業を実施している割合において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標をおおむね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は８１％となり、政策全体として目指す方向におおむね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「Ｂ」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
学校教育の充実	25.4%	18.8%	76.7%
学校教育環境の整備	32.5%	12.6%	72.6%
子どもの安全確保	36.4%	13.7%	82.1%
青少年の健全育成	24.7%	18.3%	69.8%
家庭・地域の教育力の向上	25.0%	14.7%	67.2%
大学等高等教育の充実	19.2%	20.8%	59.9%
平均	27.2%	16.5%	71.4%

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	学校教育の充実

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
2,639,211千円	A	25.4%	76.7%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政　策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	市内の児童生徒、学校、家庭及び地域	意図	教員の資質の向上と教育指導体制の充実を図り、高松の子どもたちの確かな学力、豊かな心と体を育成するとともに、学校・家庭・地域が、その役割を十分に担い、相互に連携して学校教育を充実させる。

概要（実績）

学習指導要領の趣旨に沿った授業、少人数学級の推進等で、総合的な学力の向上を図り、また、特別支援教育、帰国児童生徒・外国人児童生徒指導援助、高等学校教育等を充実させ、確かな学力の育成に寄与した。
道徳教育や学校人権教育の推進、体験活動による地域の人々との交流、読書活動による本とのふれあい、児童生徒が運動に親しむ習慣づくりや家庭との連携による基本的生活習慣の育成により、豊かな心と体を育てる教育を推進した。
教員に対する研修を充実させ、教員の資質向上を図り、また、特別支援教育支援員配置や学校評価推進による学校運営の改善等により、教育指導体制の充実に寄与した。

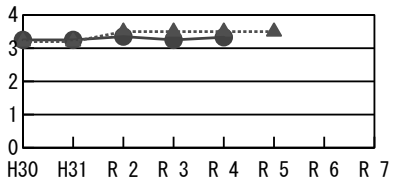
成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	学校評価平均評価得点（確かな学力の育成に関すること）	3.33点	3.5点	95.1%
②	学校評価平均評価得点（体力・運動能力の育成に関すること）	3.23点	3.5点	92.3%
③				

①状況

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や総合的な学力向上を図るため、学習指導要領の趣旨に沿った教育課程の編成や少人数学級編制の推進、学校ニーズに応じた特別支援教育支援員、英語指導補助員等を配置するなど、きめ細かな指導に取り組むことにより、概ね目標を達成することができた。

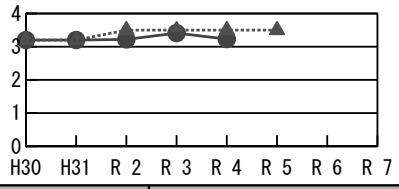
達成度の推移



②状況

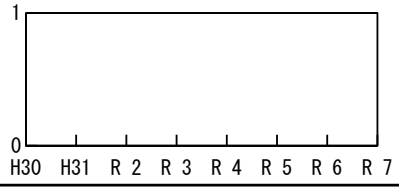
家庭や地域と連携して、体力の向上、食育の推進と心身の健康づくり等に取り組み、豊かな心と体を育てる教育の推進を図ることにより、概ね目標を達成することができた。

達成度の推移



③状況

達成度の推移



施策の課題

本施策については、日々教育活動を充実していくことが重要であり、また、子どもの健全育成のために、地域や家庭の教育力の向上を支援する取組の充実、さらには、確かな学力の定着や個性と創造性を伸ばす教育を更に進めるため、分かりやすい授業を創造し、授業内容を向上させる具体的な取組が課題として挙げられる。

施策の方向性

学校・家庭・地域の連携を基本に子どもの健全な育成を推進するとともに、教育環境の変化に対応した特色ある教育内容・方法の開発、学校図書館の充実などの学習環境を整備し、学校教育の充実を図る。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	英語教育推進事業 101,380千円 教育局 学校教育課		100.0%	101.1%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 「語学指導等を行う外国青年招致事業（ＪＥＴプログラム）」による外国語指導助手（ＡＬＴ）を市立小・中学校に、学級担任を補助する「英語指導補助員」を市立小学校に配置することにより、中学校英語教育や小学校英語活動、国際理解教育の充実につながった。 ◎外国語指導助手（ＡＬＴ）配置率　実績１００％（目標１００％） ◎英検３級相当の英語力を有する中学３年生の割合 実績３５．４％（目標３５％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
2	帰国児童等指導援助事業 4,857千円 教育局 学校教育課		100.0%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 市立小・中学校に在籍する児童生徒のうち、日本語指導を必要としている帰国児童生徒・外国人児童生徒に対して、学習や生活についての指導助言を行う指導者を派遣し、日本語指導を行った結果、外国人児童生徒等が日本語で学習に参加できるようになるなど、学校生活への適応を支援できた。 ◎帰国児童等の学校生活への適応率　実績１００％（目標１００％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
3	教育相談・就学指導委員会開催事業 652千円 教育局 総合教育センター		100.0%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 教育相談と就学指導委員会の適切な開催により、障がいのある児童生徒が個に応じた学びの場を選択でき、適切な教育を受けることができた。 なお、補助事業の活用により中学校の特別支援学級生徒に対する体験活動の充実を目指したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、宿泊学習は中止し、１日の体験学習を実施した。 ◎就学指導委員会判定率　実績１００％（目標１００％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
4	教材研究等事業 5,756千円 教育局 学校教育課		100.0%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 教職員が使用する教科書及び指導書等の整備を行い、義務教育の充実を図ったほか、新学習指導要領の移行措置に対応した教師用指導書を支給し、確かな学力を育てる教育の推進に寄与した。 ◎市立小・中学校教員への配布率　実績１００％（目標１００％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
5	高等学校英語教育推進事業 3,660千円 教育局 高松第一高等学校事務局		116.0%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 選抜コースの国際文科コースにおいて、外国からの招聘講師による授業や、外部講師による英語での授業などを実施したことにより、国際化に対応できる人材を育成した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外語学研修は中止した。 ◎国際文科コース卒業生の国公立大学合格者数　実績２９人（目標２５人）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	高等学校教材研究等事業 29,798千円 教育局 高松第一高等学校事務局		165.7%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 教師用教科書・指導用図書及び理科・数学などの教材の購入のほか、ピアノの調律、パソコン等の賃借など、教材等の管理・整備を行ったことにより、教育環境の充実に効果があった。 ◎国公立大学の合格率　実績５８％（目標３５％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
7	児童生徒副読本支給事業 6,322千円 教育局 学校教育課		100.0%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 学校教育における補助教材として、小学校道徳用、社会科用の副読本を支給することにより、教育の充実に寄与するとともに、保護者の負担を軽減した。 また、社会科用の副読本については、２学年を通して使用できる内容へと見直しを行い、事業成果を低下させることなくコスト削減を行うことができた。 ◎児童生徒副読本配布率　実績１００％（目標１００％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
8	学校教育推進事業 7,587千円 教育局 学校教育課		100.0%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 総合的な学習の時間の充実や地域等の教育力の有効活用のため、市立小・中学校全校に経費補助を行ったことにより、各学校において効果的な活用が図られ、家庭、学校、地域、行政などの緊密な連携づくりに寄与し、各学校ごとの特色ある教育が実現できた。 ◎総合的な学習の時間における地域人材活用率 実績１００％（目標１００％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
9	特別支援教育推進事業 158,696千円 教育局 学校教育課		99.3%		B	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 支援員の配置促進とともに、障がいの種別や程度に対応した適切な支援の充実を図ることにより、対象児童生徒の教育環境の整備、保護者や教員の負担軽減等につながり、学校教育の充実に寄与した。 ◎特別支援教育支援員配置率　実績９９．３％（目標１００％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
10	（評価対象外）教材整備事業 86,743千円 教育局 教育局総務課								
		（事業概要、事業実績等） 概ね計画どおりに小学校及び中学校の教材を整備したことにより、児童生徒の学習環境が充実した。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
11	（評価対象外）学校教育管理事業 16,477千円 教育局 学校教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 会計年度任用職員の雇用や、各種負担金の支出などにより、学校教育に対する様々なニーズに対応し、学校教育の円滑な運営につながった。							
12	（評価対象外）学校跡地・跡施設管理運営事業 7,051千円 教育局 教育局総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 旧鶴尾中学校跡施設を、本市をホームタウンとするプロスポーツチームの拠点とし、さらには、プロスポーツチームと地域との連携を深めるため、スポーツ教室や地域交流イベントを実施するなど、同施設を有効活用し、適切な管理運営を行った。							
13	いじめ等対策事業 3,640千円 教育局 学校教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			114.8%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） １２学級以上（特別支援学級は除く。）の小学校３６校に児童の臨床心理に対して高度に専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラー及びスクールカウンセラーに準ずる者を配置することにより、小学校におけるいじめ、不登校等の問題行動等の早期発見・早期対応につながった。 ◎小学校におけるいじめ、不登校等に関する相談件数 実績２，９８２件（目標３，５００件）							
14	学校給食推進事業 5,280千円 教育局 保健体育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			97.9%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 給食関係職員に対して、専門知識を深める研修会等を実施したことにより、職員としての資質が向上した。また、各種衛生検査の実施により、衛生管理の徹底に効果があった。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会の中止や参加者の欠席があり、目標参加率を達成できなかったものの、調理や食品衛生に関する知識を深め、調理技術の向上につながった。 ◎研修参加率　実績９３％（目標９５％）							
15	学校教育における食育推進事業 5,292千円 教育局 保健体育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			95.3%	50.0%	A	B	C	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 食育セミナー、私立幼稚園の巡回指導、調理場の状況に応じたアレルギー対応、地域の特色ある献立実施などに取り組んだ結果、食育の推進に効果があった。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校給食の提供が中止された期間があるため、県産食材が使用できず目標を達成できなかったものの、献立を通じて、食品の特徴や栄養バランス、郷土食などの食文化について学び、健全な食生活の実践に寄与することができた。 ◎学校給食における県産食材使用率　実績４４．２％（目標４６．４％） ◎食育セミナー開催回数　実績２回（目標４回）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
16	学校体育推進事業 32,528千円 教育局 保健体育課		121.4%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 児童生徒の交流の場として体育大会を開催したことにより、児童生徒の体力・運動能力が向上し、相互の友情が深められたとともに、教職員の体育指導の資質が向上し、健全な体育環境が強化された。 ◎全国調査において本市平均が全国平均を上回るか同等の項目 実績１７項目（目標１４項目）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
17	学校図書館活性化推進事業 173,985千円 教育局 学校教育課		105.7%	86.4%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 子ども読書活動の推進に当たり、全ての小・中学校に学校図書館指導員を配置し、読み聞かせや図書紹介等を行うことにより、学校図書館の活性化を図った。 ◎児童１人当たりの学校図書館図書の貸出冊数 実績６４．５冊（目標６１冊） ◎生徒１人当たりの学校図書館図書の貸出冊数 実績１２．１冊（目標１４冊）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
18	教育文化振興事業 3,665千円 教育局 学校教育課		92.9%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら開催することができた。 作品募集についても再開し、展示を行うことができ、児童生徒の作品発表の場を設けられたことで、豊かな創造力と表現力を育て情操を高める教育の充実に貢献した。 ◎展覧会の作品点数　実績１，３００点（目標１，４００点）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
19	高等学校カウンセラー配置事業 645千円 教育局 高松第一高等学校事務局		182.9%		A	A	C	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 生徒の不登校や問題行動等に対応するため、専門的知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、生徒や保護者等へのカウンセリングを行ったことにより、生徒の快適な学校生活を支援する効果があった。 ◎全校生徒に対する相談件数の率　実績３１．１％（目標１７％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
20	小中一貫・連携教育推進事業 教育局 学校教育課		100.0%	101.4%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 児童生徒や教員へのアンケート調査から、子どもたちの活動と交流の幅が広がるとともに、これまで以上に興味・関心を持って、意欲的に学習に取り組む状況が認められるなど、小中一貫教育が安定した学校生活につながっている。 ◎「英語」・「高松みらい」の授業についてのアンケート支持率 実績８０％（目標８０％） ◎小中連携教育の実践校数　実績７０校（目標６９校）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
21	児童生徒指導推進事業 89,317千円		0.0%	165.0%	A	A	B	C	継続
	教育局 学校教育課	（事業概要、事業実績等） 学習支援、生活支援、教育相談等にあたる学校生活支援員を小学校４０校に配置し、問題行動等の未然防止と解決に寄与した。 また、社会福祉士等の資格を有するスクールソーシャルワーカーを中学校２２校に配置し、専門的な知識や技術、関係機関とのネットワークを活用し、対応策を立てることにより、問題行動や不登校の未然防止と早期解消に寄与した。 ◎小学校における暴力行為の発生件数　実績１０４件（目標２５件） ◎中学校における暴力行為の発生件数　実績１４７件（目標４２０件）							
22	生徒等健康診断事業 153,357千円		84.5%		A	A	B	B	継続
	教育局 保健体育課	（事業概要、事業実績等） 児童生徒の定期健康診断を実施し、疾病の早期発見と適切な予防に役立てたほか、小学校４年生と中学校１年生の対象者に小児生活習慣病予防検診や小学校入学予定者の就学時健康診断を実施し、円滑な学校教育の推進と学校保健の向上につながった。また、県の学校感染対策検査事業に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、ＰＣＲ検査を実施した。 ◎二次検診の実施率　実績５４．９％（目標６５．０％） なお、前年度からの繰越事業である学校感染対策検査事業については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：１，０６９，０００円）							
23	高松市学校給食会補助事業 563,492千円		98.3%		A	A	A	A	継続
	教育局 保健体育課	（事業概要、事業実績等） 高松市学校給食会に補助金を交付することにより、学校給食の食材等給食用物資が適正かつ円滑に供給され、学校給食の質の向上及び安全安心な学校給食の提供に寄与した。 ◎給食実施延べ食数　実績６，５８５千食（目標６，７００千食）							
24	不登校対策事業 33,095千円		62.2%		A	B	B	C	継続
	教育局 総合教育センター	（事業概要、事業実績等） 教育支援センターを運営し、不登校傾向の児童生徒に学習のサポートや体験活動等を行うことで、学校復帰や社会的な自立に向けてサポートを行うことができた。 また、ＩＣＴを活用した学習システムの提供は、学業不振の解消や学習習慣の支援に役立った。 ◎教育支援センター通室児童生徒の学校復帰率 実績３１．１％（目標５０％）							
25	（評価対象外）学校保健推進事業 44,539千円								
	教育局 保健体育課	（事業概要、事業実績等） 環境衛生検査を実施したことにより、学校における教育活動が安全な環境の下で行われ、学校内の環境衛生が向上した。 また、教職員の健康診断、ストレスチェックを実施した結果、疾病の早期発見と教職員の健康の保持増進、ストレスへの気付き及びその対処の支援に効果があった。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
26	（評価対象外）日本スポーツ振興センター負担金事業 32,275千円 教育局 保健体育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 学校管理下における児童生徒等の災害に対して、独立行政法人日本スポーツ振興センターにおいて、災害共済給付を行ったことにより、学校教育の円滑な実施と保護者の経済的負担の軽減に寄与した。							
27	（評価対象外）給食センター管理運営事業 655,296千円 教育局 保健体育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 学校給食センターにおいて、適切な施設管理に努め、円滑な運営を行ったことにより、安全安心な学校給食の安定的な提供をすることができた。							
28	（評価対象外）給食調理場管理運営事業 268,623千円 教育局 保健体育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 学校給食センター以外の調理場において、機器類等を整備するなど、適切な維持管理を行ったことにより、安全安心な学校給食の安定的な提供をすることができた。							
29	（評価対象外）学校給食共同調理事業 49,165千円 教育局 保健体育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 学校給食センターから受配校への学校給食の配送及び回収を業務委託により、迅速・確実・安全に行うとともに、受配校における配膳用務に係る会計年度任用職員を任用したことにより、配膳用務が円滑に行われ、安全安心な学校給食を提供することができた。							
30	（評価対象外）共同調理給食運搬事業 61,831千円 教育局 保健体育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 学校給食共同調理場から受配校への学校給食の配送及び回収を業務委託により、迅速・確実・安全に行うとともに、受配校における配膳用務に係る会計年度任用職員を任用したことにより、配膳用務が円滑に行われ、安全安心な学校給食を提供することができた。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
31	（評価対象外）教育委員会事務 8,391千円								
	教育局 教育局総務課	（事業概要、事業実績等） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１４条に基づき、教育委員会定例会を年１２回開催したほか、教育振興基本計画の推進を図り、総合教育会議を開催するなど、教育水準の維持向上と地域の実情に応じた教育の振興につながった。							
32	教育に関する調査研究推進事業 128千円		100.0%		A	B	B	A	継続
	教育局 総合教育センター	（事業概要、事業実績等） オンライン活用による研修が有効であることが実証されたことから、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、集合研修の３分の１をオンライン研修で実施した。 なお、教員・教育関係者・保護者に向けて教育委員会の取組や成果を紹介する場である「教育フォーラムｉｎ高松」についても、新型コロナウイルス感染症感染拡大を考慮し、オンラインにより開催した。 ◎調査研究発表大会等参加人数（Ｈ２９年度から教育フォーラムに変更） 実績２００人（目標２００人）							
33	（評価対象外）教職員能力向上事業 18,288千円								
	教育局 総合教育センター	（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の影響により、研修の在り方を見直し、集合研修の３分の１をオンライン研修で実施するなど、オンラインを活用する機会が増えたことで、教職員のＩＣＴを利用する能力の向上に繋がった。							
34	研究指定校研究推進事業 574千円		109.1%		A	A	B	A	継続
	教育局 学校教育課	（事業概要、事業実績等） 国・県から研究指定校等事業を受けることにより、学校課題の解決及び学校教育活動の改善・充実や、教職員・能力の向上に一定の効果を得ることができた。 ◎研究指定校等事業の成果を生かしている学校数 実績１２校（目標１１校）							
35	高等学校教育研究研修事業 471千円		165.7%		A	A	B	A	継続
	教育局 高松第一高等学校事務局	（事業概要、事業実績等） 研究用の雑誌を購読したことにより、教員の資質が向上するとともに、授業の質が高まり、生徒の学力を向上させる効果があった。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種の研修会が中止又は遠隔での実施となった。 ◎国公立大学の合格率　実績５８％（目標３５％）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><td rowspan="4">36</td><td rowspan="3">高松型学校・地域連携システム推進事業

332千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>100.0%</td><td>94.7%</td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
高松型学校運営協議会に係る経費を補助することは、地域や社会に開かれた学校づくりをより一層推進することにつながり、地域と一体となって子どもたちを育むことに寄与した。

◎高松型学校・地域連携システム組織結成割合
実績１００％（目標１００％）
◎学校評価（家庭や地域との連携・協働に関すること）の評価平均得点
実績３．４１点（目標３．６点）</td></tr>
<tr><td>教育局
学校教育課</td></tr>
<tr><td rowspan="4">37</td><td rowspan="3">特別支援教育体制整備推進事業

103千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>100.0%</td><td></td><td>A</td><td>B</td><td>A</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
特別な教育的支援が必要な児童生徒への支援について、専門的な知識を有する大学教員や医師などの専門家から、より良い支援方法等について適切なアドバイスを得られたことにより、教育の質の向上に繋がった。

◎相談希望校等への相談訪問率　実績１００％（目標１００％）</td></tr>
<tr><td>教育局
総合教育センター</td></tr>
</table>

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	学校教育環境の整備

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
7,636,084千円	B	32.5%	72.6%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政　策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	市立小・中学校、高松第一高等学校の児童生徒	意図	児童生徒が、学校において、安全・安心に、健康的で、快適に学習・生活できる教育環境を整備する。

概要（実績）

計画的かつ効率的な老朽化対策を行うため、平成３０年５月に策定した「高松市学校施設長寿命化計画」に基づき、学校教育施設の整備として、トイレ整備（小学校６校、中学校３校）工事を実施したほか、施設の老朽化に対応するため、国分寺中学校大規模改修等を行っており、その他、外壁改修、防水改修を実施した。
国のＧＩＧＡスクール構想により整備した児童生徒の一人一台端末の活用を推進した。

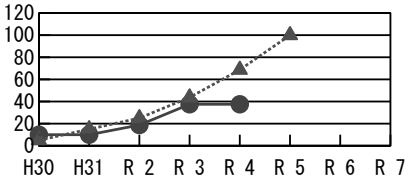
成果指標

①

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
学校施設長寿命化整備の進捗率	37.5%	68.7%	54.6%

状況：長寿命化計画による計画的かつ効率的な老朽化対策を行うため、国分寺中学校大規模改修等を実施しているが、令和４年度実施予定の植田小学校校舎大規模改修の実施設計は、斜面改修を先行することから先送りとなるなど、施設の安全性確保等を最優先した。

達成度の推移

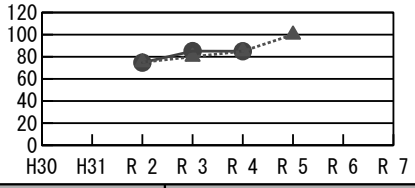


②

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
ＩＣＴを活用した授業を行っている教員の割合	85%	85%	100.0%

状況：ＧＩＧＡスクール構想により整備した１人１台端末の本格運用や、小・中学校全ての学年の教室に整備した電子黒板の活用が進んだことにより、目標を達成することができた。

達成度の推移

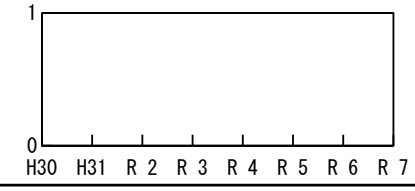


③

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

今後、学校施設の老朽化がさらに進行し、学校施設の改修・改築の需要が集中することが想定される中、施設の老朽化対策は喫緊の課題であり、計画的に実施する必要がある。
国のＧＩＧＡスクール構想により児童生徒一人一台端末の整備は完了したが、その活用を図っていく必要がある。

施策の方向性

「高松市学校施設長寿命化計画」に基づき、計画的かつ効果的な老朽化対策に取り組む。
令和２年度に改定した「高松市ＩＣＴ教育推進計画」に基づき、国のＧＩＧＡスクール構想によって整備した一人一台端末やＩＣＴ機器等を活用した個別最適な学びと、協働的な学びの充実を図る。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	小学校管理運営事業 1,033,928千円 教育局 学校教育課		100.0%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 学校施設の維持管理、運営のほか学校の現状を十分に把握して非常勤講師等の適切な配置を行うとともに、優れた知識や技術を有する地域人材を学校教育に活用したことで、学校運営の充実に貢献した。 ◎非常勤講師配置率　実績１００％（目標１００％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
2	小学校校舎等整備事業 261,486千円 教育局 学校施設整備室		90.5%		A	B	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 学校施設の整備を行い、良質な学校教育施設を維持するために、修繕・改修工事を実施した。 ◎施設修繕率　実績７２．４％（目標８０％） なお、工程調整に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：４０，５００，０００円） また、前年度からの繰越事業である改修工事などについては完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：８８，４４９，９００円）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
3	小・中学校施設老朽化対策事業 2,088,980千円 教育局 学校施設整備室	特別重点	54.6%		A	C	B	C	継続
		（事業概要、事業実績等） 長寿命化計画による計画的かつ効率的な老朽化対策を行うため、国分寺中学校大規模改修等を実施しているが、令和４年度実施予定の植田小学校校舎大規模改修の実施設計は、斜面改修を先行することから先送りとなるなど、施設の安全性確保等を最優先した。 ◎老朽化対策進捗率　実績３７．５％（目標６８．７％） なお、国の補正予算事業の執行に当たり、実施期間を確保するなどのため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：８４６，１３９，０００円） また、前年度からの繰越事業である外壁改修事業などについては完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：７６２，６８０，７２０円）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
4	小・中学校トイレ整備事業 1,235,466千円 教育局 学校施設整備室	一般重点	100.0%		B	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 洋式化を含めた学校トイレの環境整備及び避難所機能の強化を図るため、小学校等のトイレ整備を行った。 ◎小・中学校におけるトイレ改修完了率　実績８３％（目標８３％） なお、国の補正予算事業の執行に当たり、実施期間を確保するなどのため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１，２６６，０６２，０００円） また、前年度からの繰越事業であるトイレ改修工事などについては完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：１，２００，８７０，７４６円）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
5	高松第一高等学校校舎等改築事業 970,676千円 教育局 高松第一高等学校事務局	一般重点	95.3%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 生徒が安全で快適に学習できる環境を確保するため、老朽化した校舎等の全面改築に係る新体育館棟の建設を進め、学校教育環境の整備に寄与した。 ◎改築事業の進捗率　実績８１％（目標８５％） なお、工程調整に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１，０３５，５８４，０００円） また、前年度からの繰越事業については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：１１０，１２１，０００円）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	中学校管理運営事業 505,521千円 教育局 学校教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 学校施設の維持管理、運営のほか学校の現状を十分に把握して非常勤講師等の適切な配置を行うとともに、優れた知識や技術を有する地域人材を学校教育に活用したことで、学校運営の充実に貢献した。 ◎非常勤講師配置率　実績１００％（目標１００％）							
7	中学校校舎等整備事業 171,685千円 教育局 学校施設整備室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			88.3%		A	B	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 学校施設の整備を行い、良質な学校教育施設を維持するため、修繕・改修工事等を実施した。 ◎施設修繕率　実績７０．６％（目標８０％） なお、工程調整に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：４２，５００，０００円） また、前年度からの繰越事業である改修工事などについては完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：４８，５３３，１００円）							
8	（評価対象外）高等学校管理運営事業 75,778千円 教育局 高松第一高等学校事務局	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 安全で快適な学習環境を確保するため、施設の維持管理や管理用品の整備をしたほか、老朽化した施設の改修工事を実施し、生徒の学力の向上に寄与した。							
9	学校給食調理場整備事業 28,146千円 教育局 保健体育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	100.0%		A	B	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 施設の老朽化が著しい学校給食調理場について、「高松市学校給食調理場整備計画」等に基づき、計画的かつ効果的な整備に取り組むため、今後の整備方法の検討等を行った。 ◎ドライ施設として整備した調理場から給食が提供される学校の比率 実績２６％（目標２６％）							
10	遠距離児童・生徒等通学費助成事業 22,528千円 教育局 学校教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 遠距離通学児童生徒等の保護者の経済的負担を軽減することで義務教育の円滑な実施に寄与した。 ◎通学費補助率　実績１００％（目標１００％）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容
11	（評価対象外）学校図書館図書整備事業 32,875千円	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： **（事業概要、事業実績等）** 小・中学校の学校図書館図書標準達成率に基づき、図書整備費を配当し、計画的に廃棄も行いながら、各校において図書整備を進めたことから、全小・中学校の学校図書館図書標準達成率が、おおむね１００％を維持し、各校における読書や学習に必要な図書が整備された。
	教育局 学校教育課	
12	教育ＩＣＴ整備・活用推進事業 220,885千円	重点：特別重点 成果達成度：98.9%　100.0% 妥当性：Ａ 有効性：Ａ 効率性：Ｂ 総合評価：Ａ 今後の方向性：継続 **（事業概要、事業実績等）** 一人一台端末や小・中学校全ての学年の教室に整備した電子黒板を活用した学習に取り組むことで、児童生徒の情報活用能力や学習意欲の向上に寄与した。 ◎ＩＣＴを活用した授業を分かりやすいと回答した割合 実績８９％（目標９０％） ◎教員の授業でのＩＣＴ活用率　実績８５％（目標８５％） なお、国の補正予算事業の執行に当たり、実施期間を確保するため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１，０００，０００円） また、前年度からの繰越事業であるネットワークアセスメント事業については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：９，８７２，５００円）
	教育局 ICT教育推進室	
13	教育資金支援事業 26,013千円	重点： 成果達成度：100.0% 妥当性：Ａ 有効性：Ｂ 効率性：Ｂ 総合評価：Ａ 今後の方向性：継続 **（事業概要、事業実績等）** 就学者の経済的負担が軽減され、教育環境の充実に寄与した。 ◎高松市の奨学金受給希望者の高等学校等の進学率 実績１００％（目標１００％）
	教育局 学校教育課	
14	（評価対象外）教育情報通信ネットワークシステム（ＴＥＮＳ）管理運営事業 557,459千円	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： **（事業概要、事業実績等）** 教職員一人一台の校務用パソコンの活用と様々な教育情報の一元管理、校務支援システム及び管理システムの活用により、利便性や情報管理の徹底、校務の効率化につながった。
	教育局 ICT教育推進室	
15	（評価対象外）就学奨励事業 370,102千円	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： **（事業概要、事業実績等）** 経済的な理由によって、小・中学校に就学することが困難な児童生徒の保護者に対して、就学に必要な経費の援助を行い、保護者の経済的負担を軽減することにより、義務教育の円滑な実施に寄与した。
	教育局 学校教育課	

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><td rowspan="4">16</td><td rowspan="3">（評価対象外）高等学校図書整備事業

1,273千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
学校図書館法に基づき、生徒及び教員の利用に供する図書等を整備したことにより、学校教育の充実や調査研究等に寄与した。</td></tr>
<tr><td>教育局
高松第一高等学校事務局</td></tr>
<tr><td rowspan="4">17</td><td rowspan="3">高等学校ＩＣＴ環境整備事業

33,283千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>100.0%</td><td></td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
高松第一高等学校におけるＩＣＴ環境の整備を行ったことにより、教育環境の充実に寄与した。

◎生徒１人１台端末の導入率　実績６６％（目標６６％）</td></tr>
<tr><td>教育局
高松第一高等学校事務局</td></tr>
</table>

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	子どもの安全確保

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
4,302千円	A	36.4%	82.1%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政　策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	児童生徒及び関係機関・団体	意図	児童生徒を事件や事故、犯罪から守るための安全対策を推進する。

概要（実績）

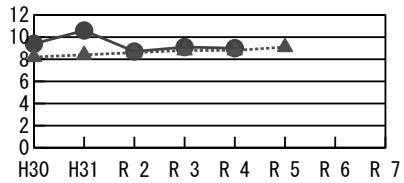
（概要）
子どもたちを事件や事故、犯罪から守り、地域ぐるみで子どもの安全確保を図るため、防犯の専門家である警察官ＯＢのスクールガード・リーダーを小学校等に派遣するとともに、不審者情報のメール配信、学校における相談体制の充実や安全教育の推進などに取り組む。
（実績）
安全体制の構築、安全教育の実施、不審者情報のメール配信等の安全対策を推進した。また、市内の各幼稚園・小学校などへのスクールガード・リーダーの派遣に伴い、地域の学校（園）安全ボランティア等への指導・助言を行った。

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	子ども人口千人当たりの不審者情報メール配信先件数	9件	8.8件	102.3%

状況：関係団体等の会合の場において、不審者情報メール配信の内容や登録について説明し、配信先の拡大に努めた結果、目標を達成することができた。

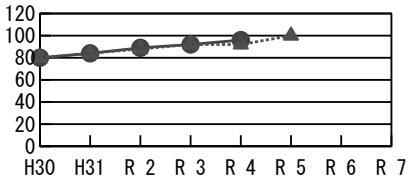
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
②	通学路合同点検計画における達成率	96%	92%	104.3%

状況：「高松市通学路交通安全プログラム」に基づき、関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図った結果、目標を達成することができた。

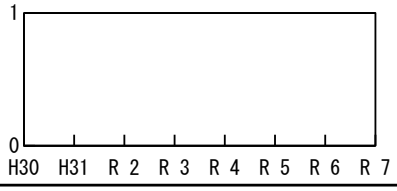
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
③				

状況：

達成度の推移



施策の課題

スクールガード・リーダーの人員確保やメール配信先の拡充、さらには、学校における相談体制の充実や安全教育の推進など、安全対策強化への取組が必要である。

施策の方向性

地域ぐるみで子どもを見守り育てる活動を推進するため、学校、家庭、地域、関係機関等がより一層、連携、協力して安全対策に取り組むことが求められている。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><th rowspan="3">1</th><td rowspan="2">学校安全対策事業</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>100.0%</td><td></td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
相談体制の充実、安全教育の推進、下校時の巡回強化などの安全対策の向上に寄与した。

◎学校安全対策事業実施割合　実績１００％（目標１００％）</td></tr>
<tr><td colspan="2">教育局
学校教育課</td><td colspan="8"></td></tr>
<tr><th rowspan="3">2</th><td rowspan="2">子どもの安全確保活動事業
4,302千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>102.3%</td><td></td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
安全体制の構築、安全教育の実施、不審者情報のメール配信等の安全対策を推進した。
また、市内の各幼稚園、小学校などへのスクールガード・リーダーの派遣に伴い、地域の警察派出所との情報交流を行うなど、子どもの安全確保に寄与した。

◎子ども人口千人当たりの不審者情報メール配信先件数
実績９．０件（目標８．８件）</td></tr>
<tr><td colspan="2">教育局
少年育成センター</td><td colspan="8"></td></tr>
</table>

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	青少年の健全育成

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
34,896千円	D	24.7%	69.8%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政　策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	意図
市内の青少年	子どもたちの創造性や積極性、社会性を養い、心豊かな人間の育成を目指す。

概要（実績）

青少年の非行防止活動を始めとする青少年健全育成活動やＰＴＡ・子ども会等の社会教育関係団体との協働による子どもたちの幅広い交流体験活動等を通じて、青少年が心身ともに健やかに成長できる取組を推進した。

少年育成センターでは、毎日の補導・巡視活動に加え、小学３・４年生とその保護者を対象とした「情報モラル出前授業」、香川大学サイバー防犯ボランティアとの連携による「インターネットセキュリティ教室」、幼稚園・こども園を対象とした「未就学児の保護者向け講話」など、安全・安心なインターネットの利用に向けた情報モラル教育推進事業を実施した。

二十歳のつどいでは、会場に隣接する玉藻公園を二十歳の方を対象に無料開放したほか、新たな取組となる高松市ＰＲプログラムを実施した。

新春フェスティバル２０２３のかるたとり大会では、令和３年度に作製した高松わくわくかるたを使用するなどシビックプライドの醸成を目的とした取組を実施した。

成果指標

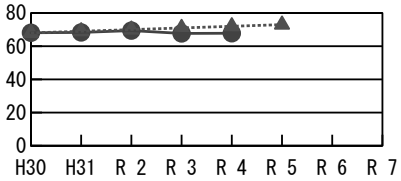
①

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
子ども会加入率	67.8%	72%	94.2%

状況

子ども会加入率は、令和３年度の６７．７％をやや上回る６７．８％となったものの、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



②

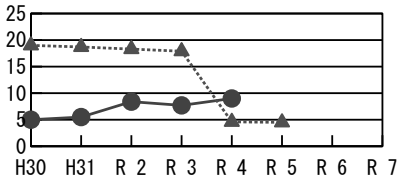
指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
少年人口千人当たりの補導人数	9人	4.6人	4.3%

状況

学校及び関係機関・団体等との連携を密にしながら、より効果的で温かい巡視・補導活動に努めた。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限の緩和等に伴い、児童生徒の外出機会が増加したことも一因となり、補導人数が増加したため、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

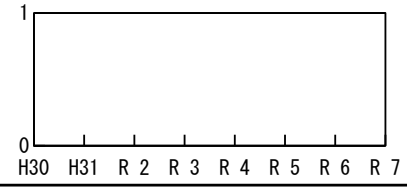


③

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度

状況

達成度の推移



施策の課題

地域、学校、関係機関などとの多面的かつ緊密な連携強化が必要である。

施策の方向性

引き続き、補導活動や情報モラル教育の推進により、非行やネットトラブルの未然防止に努め、地域での体験活動に取り組む機会を設定するなど、地域ぐるみで子どもを見守り育てる体制を構築するとともに、心豊かでたくましい子どもの育成を図る。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	社会教育団体育成支援事業 4,600千円 教育局 生涯学習課		66.7%		A	A	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松市ＰＴＡ連絡協議会や高松市子ども会育成連絡協議会等の社会教育関係団体を支援し、団体の自立を図ることにより、団体の自主的な活動を促進し、加入児童等の健全育成に寄与した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の行事が中止となった。 ◎社会教育団体１団体当たりの平均年間主催事業数 実績２２回（目標３３回）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
2	少年教育推進事業 2,067千円 教育局 生涯学習課		56.7%		A	A	B	C	継続
		（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら、関係団体との共催事業を実施することで、子どもの健全育成の推進に寄与した。 また、新春子どもフェスティバル２０２３のかるたとり大会においては、令和３年度に作製した、「高松わくわくかるた」を初めて使用することで、参加した子どもたちのシビックプライドの醸成に寄与した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業は参加人数を制限するなど、縮小して実施した。 ◎共催（主催を含む。）事業における子ども（３～１２歳）の参加率 実績１．７％（目標３％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
3	二十歳のつどい開催事業 4,945千円 教育局 生涯学習課		91.1%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 二十歳となる青年が、大人になったことを自覚するとともに、自立していく決意を新たにしてもらうため、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら、二十歳のつどいを開催した。 令和４年度はレクザムホールでの開催となったことから、対象者には隣接する玉藻公園を無料開放したほか、新たに高松市の魅力をＰＲするプログラムも盛り込んだ。対象者の約５９％、２，６６４人の出席者数は過去５年間で最高となり、大人になるという節目の行事として一定の役割を果たした。 ◎二十歳のつどい参加率　実績５９．２％（目標６５％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
4	青年教育推進事業 312千円 教育局 生涯学習課		50.9%		A	A	B	C	継続
		（事業概要、事業実績等） 青年教育の振興を図るため、関係団体を支援したほか、市民ボランティアの協力により、知的障がい者青年教室を実施し、知的障がいのある青年が人とふれあう喜びを実感し、様々な学習・体験活動を通じて知識・技能を習得するとともに、市民ボランティアが知的障がい者に対する理解を深める機会を提供した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、関係団体の一部の行事が中止となった。 ◎高松市青年連絡協議会の活動に参加した会員の延人数 実績８９人（目標１７５人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
5	非行防止活動事業 22,972千円 教育局 少年育成センター		4.3%	96.0%	A	A	A	C	継続
		（事業概要、事業実績等） 少年育成センターでは、市内を１０ブロックに分割し、職員が毎日２～３班に分かれての巡視活動を行っており、また、地域においては、少年育成委員を中心として、４６校区で月１回以上の巡視活動を実施した。 ◎少年人口千人当たりの補導人数　実績９．０人（目標４．６人） ◎児童の情報モラルについての理解度　実績９０．２％（目標９４％）							

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	家庭・地域の教育力の向上

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
1,699千円	B	25.0%	67.2%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政　策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	市民（家族に子どもがいる家庭、地域住民）	意図	学校・家庭・地域が連携し、地域ぐるみで子どもの健やかな成長を促す教育力が向上することを目指す。

概要（実績）

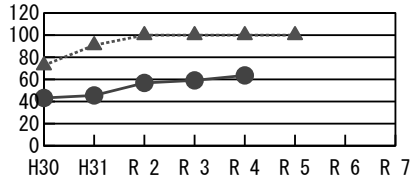
家庭教育応援講座を市立の小学校及び幼稚園・こども園等で実施し、家庭教育について学習する機会を提供した。
また、講座への参加が困難な方を対象に、家庭教育コラムの掲載や家庭教育についての動画の配信など積極的な情報発信を行った。
早寝早起き朝ごはん運動については、就学時健康診断時に市内の小学校で啓発資料を保護者に配布し、子どもたちの基本的生活習慣の形成を推進したほか、小・中学校の児童生徒を対象に「生活リズムチェックシート」を配布し、自らの生活習慣を見直す機会を提供した。
さらに、子どもを中心にした地域交流事業を通して、地域の子どもと保護者並びに地域の大人が交流することで、地域の一体感を醸成するとともに、地域の教育力の向上に寄与した。

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	地域交流事業を実施している割合	63.6%	100%	63.6%

状況：地域交流事業を実施した地域は、令和４年度に２地域増加し、２８地域となったが、目標を達成することができなかった。

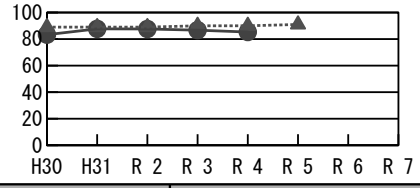
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
②	朝ごはん摂取率	85.3%	90%	94.8%

状況：「早寝早起き朝ごはん」生活リズムチェックシート調査において、朝ごはんを毎日摂取している小学６年生の割合は、令和３年度の８６．７％をやや下回る８５．３％となり、目標を達成することができなかった。

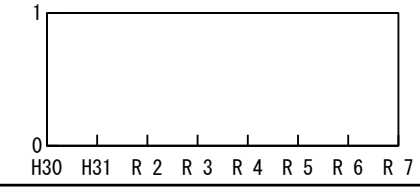
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
③				

状況：

達成度の推移



施策の課題

家庭の教育力向上を図るため、保護者を対象に効果的な情報発信を行うほか、地域の教育力向上を図るため、子どもを中心にした地域交流事業を実施している。
学校・家庭・地域における課題は複雑化・多様化しており、それぞれが連携・協働しながら子どもを育てていくことの意義がますます重要になっている。

施策の方向性

社会における環境変化や市民ニーズを的確に把握することで、家庭と地域の教育力の向上に向けた取組を効果的に推進する。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><th rowspan="3">1</th><td rowspan="2">家庭教育推進事業

678千円</td><th>重点</th><th colspan="2">成果達成度</th><th>妥当性</th><th>有効性</th><th>効率性</th><th>総合評価</th><th>今後の方向性</th></tr>
<tr><td></td><td>54.5%</td><td></td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>継続</td></tr>
<tr><td>教育局
生涯学習課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
小学校や幼稚園などにおいて、保護者を対象に、就学時健康診断等の機会を活用して、家庭教育に精通した専門の講師による「家庭教育応援講座」を実施した。
また、時間や場所を問わず、家庭教育について学べるよう「家庭教育コラム」の掲載と家庭教育についての動画の配信を行った。
なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の講座が中止となった。

◎講座の開催数　実績１２８件（目標２３５件）</td></tr>
<tr><th rowspan="3">2</th><td rowspan="2">子どもを中心にした地域交流事業

543千円</td><th>重点</th><th colspan="2">成果達成度</th><th>妥当性</th><th>有効性</th><th>効率性</th><th>総合評価</th><th>今後の方向性</th></tr>
<tr><td></td><td>90.3%</td><td>123.1%</td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td>教育局
生涯学習課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
地域の子ども会、ＰＴＡ、コミュニティ協議会など複数の各種団体で構成された実行委員会が実施する、子どもとその保護者並びに地域の大人が交流する事業を支援することにより、地域の一体感を醸成するとともに、地域ぐるみで子どもを育む機運が高まり、地域の教育力の向上に寄与した。
なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を縮小、中止した地域があった。

◎地域交流事業に参加した児童生徒の累計人数
実績６８，５４１人（目標７５，８８２人）
◎地域交流事業に参加した保護者の累計人数
実績２３，２０２人（目標１８，８４２人）</td></tr>
<tr><th rowspan="3">3</th><td rowspan="2">早寝早起き朝ごはん運動普及・啓発事業

478千円</td><th>重点</th><th colspan="2">成果達成度</th><th>妥当性</th><th>有効性</th><th>効率性</th><th>総合評価</th><th>今後の方向性</th></tr>
<tr><td></td><td>95.8%</td><td></td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td>教育局
生涯学習課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
子どもたちが生活リズムを向上させ、学習やスポーツなど様々な活動にいきいきと取り組めるよう、小学校の就学時健康診断を活用して、就学前の児童の保護者を対象に「早寝早起き朝ごはん」運動の普及・啓発を実施したほか、小・中学校の児童生徒に「生活リズムチェックシート」や啓発ちらしを配布したことにより、子どもたちの基本的生活習慣の形成に寄与した。
また、香川県の委託事業として「生活リズムでパワーＵＰ事業」を実施した。

◎生活リズムチェックシートで朝食を概ね食べていると回答した小学６年生の比率　実績９５．８％（目標１００％）</td></tr>
</table>

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	大学等高等教育の充実

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
339千円	A	19.2%	59.9%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政　策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	市民政策局、創造都市推進局

対象

大学等高等教育機関への進学者
大学等高等教育機関の在学者
大学等の高等教育機関

意図

高等学校卒業後の人材の流出を抑制し、本市への定着化を図るため、高等教育機関の充実と教育環境の整備を図り、市内及び近隣の高等教育機関への進学者を増加させる。

概要（実績）

県内大学等の高等教育機関の魅力向上につなげるため、県内の大学等に在籍する学生が、学生証等の提示により、市有文化施設等を無料で観覧できる「キャンパスメンバーズ制度」を運営するとともに、香川大学との連絡協議会や学長・校長と市長との懇談会を開催し、若者から選ばれる大学づくり・まちづくりについて、意見交換を行った。
また、大学等を基点とした産学官のネットワークの形成と、地域社会を支える人材の育成・定着を図るため、「大学・地域共創プラットフォーム香川」において、アイデアソン等の各種事業を実施した。
併せて、学校法人に対する旧高松テルサの貸付を継続し、専門職短期大学の設置・運営を支援した。

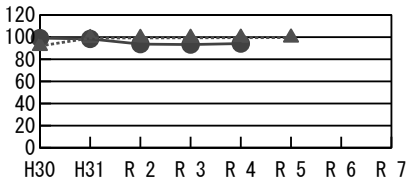
成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	包括協定を結んでいる大学等の学生・生徒の充足率	94.2%	99.5%	94.7%
②	包括協定を結んでいる大学等入学生の市内出身者割合	24.6%	25.9%	95.0%
③				

①状況

総定員２，８７１人に対し、入学者数は２，７０５人であり、目標を達成することができなかった。

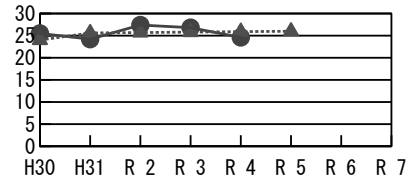
達成度の推移



②状況

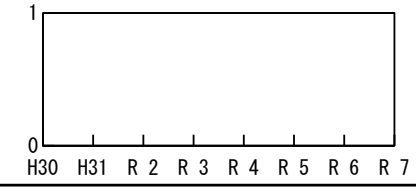
入学者数２，７０５人に対し、市内出身の入学者数は６６５人であり、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



③状況

達成度の推移



施策の課題

県内大学等や経済団体、行政が参画する大学・地域共創プラットフォーム香川の中で、県内高校生の県内大学等への進学や県内大学生の県内就職の促進に取り組んできたが、より効果的なものとなるよう、産学官の連携による新たな取組が必要である。

施策の方向性

県内大学等の研究者や学生と企業、行政が交流する機会を増加させることで、産学官の関係強化を図り、産学官が連携して、若者から選ばれ、若者が定着するための取組を行う。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><td rowspan="4">1</td><td rowspan="2">大学等連携による地域の魅力発信事業
339千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td>一般重点</td><td>94.7%</td><td>95.0%</td><td>A</td><td>B</td><td>B</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td rowspan="2">市民政策局
政策課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
香川大学との連絡協議会、市長と学長・校長との懇談会を開催し、若者から選ばれるまちづくり・大学づくりについての意見交換を行った。
また、「大学・地域共創プラットフォーム香川」で、若者が定着する香川を目指して、アイデアソン等の各種事業を実施した。

◎包括連携協定を結んでいる大学等の学生・生徒の充足率
実績９４．２％（目標９９．５％）
◎包括連携協定を結んでいる大学等入学生の市内出身者割合
実績２４．６％（目標２５．９％）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">2</td><td rowspan="2">専門職短期大学設置支援事業</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>18.3%</td><td></td><td>B</td><td>A</td><td>B</td><td>D</td><td>継続</td></tr>
<tr><td rowspan="2">創造都市推進局
産業振興課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
専門職短期大学の設置・運営を支援したことにより、地域の活性化を担う人材の輩出及び若者の県外流出の抑制に寄与した。

◎専門職短期大学入学手続完了者数　実績４４人（目標２４０人）</td></tr>
</table>

令和４年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
	政　策	心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成

総合評価
C

１　政策の概要

心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成を図るため、生涯学習センターを始めとした学習機会の充実や学習施設・機能の充実により、生涯学習を推進します。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
生涯学習の推進	66%	C
平均	66%	C

３　政策の評価

心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成に向けて、１施策に取り組んだ。
「生涯学習の推進」では、設定する２つの成果指標について、新型コロナウイルス感染症の影響による講座の中止やサービスの一部休止などから、目標に届かなかった。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は６６％となり、政策の目指す目標の達成に向けて一層の取組が必要であることから、本政策の総合評価は「C」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
生涯学習の推進	32.2%	15.5%	59.2%
平均	32.2%	15.5%	59.2%

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	生涯学習の推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
601,257千円	C	32.2%	59.2%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政　策	心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成
担当局	教育局

対象	市民	意図	心豊かな生涯学習社会の形成を図るため、学習機会の拡充や学びの場の充実と活用により、生涯にわたって学習することができる環境を整える。

概要（実績）

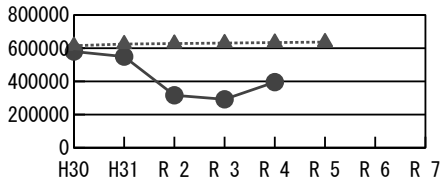
生涯学習センターと地域のコミュニティセンターが連携して様々な講座を開催したほか、市民の幅広い学習ニーズに応えるよう、市民と行政との協働によるまちづくりの実現を目指し、公募型企画講座を実施するなど市民の生涯学習の機会の充実に寄与した。
また、中央図書館及び地域館４館等でネットワークを形成し、図書館間での資料の貸出・返却の取次サービスを実施したほか、移動図書館車により、「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の形成に係る連携協約」に基づく直島町を含めた、８９か所の巡回の実施により、図書館サービスの利便性が向上した。
さらに、コミュニティセンター内にある図書館分室の利用促進を図った。

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	まなびＣＡＮ及びコミュニティセンターの講座の参加者数等	395,516人	634,000人	62.4%

状況：まなびＣＡＮ及びコミュニティセンターの講座数は前年度より増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の講座が中止になったことなどから、目標を達成することができなかった。

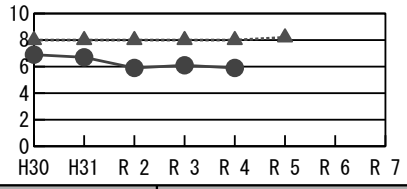
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
②	市民１人当たりの図書館図書貸出冊数	5.9冊	8冊	73.8%

状況：図書館機能の充実を始め、読書活動の推進につながる行事の実施や情報発信に努めたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、サービスの一部を休止したことなどから、コロナ禍前と比較して、貸出冊数は減少し、目標を達成することができなかった。

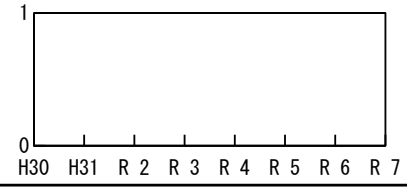
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
③				

状況：

達成度の推移



施策の課題

生涯学習センターやコミュニティセンターで実施する講座の開催回数や内容を精査し、地域の実情に合わせた生涯学習の推進を図るとともに、より実践的・効果的なものとする必要がある。
また、図書館で実施する各種行事等の情報発信を強化し、来館者数や図書貸出冊数の増加を図る必要がある。

施策の方向性

講座の回数や内容を精査し、改善を加えながら、地域における生涯学習の推進を継続して実施していく。
図書館においては、蔵書の充実など、サービスの向上に努め、市民の読書意欲・学習ニーズ等に応えていく。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	コミュニティセンター講座事業 16,455千円 教育局 生涯学習センター		84.6%		B	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） ５２か所のコミュニティセンターにおいては、人権・環境問題などの現代的課題に対応した各種講座を実施するとともに、自主的な学習活動の場を提供するなど、地域住民の学習意欲に応えることができた。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の講座を中止した。 ◎人口１人当たり受講回数　実績０．０１１回（目標０．０１３回）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
2	市民参画促進事業 105千円 教育局 生涯学習センター		63.6%		A	B	B	C	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 市民と行政との協働によるまちづくりの実現を目指し、地域で生涯学習を推進するコーディネーター養成講座のほか、公募型の自主企画講座である「学習成果発表の場事業」などを実施し、生涯学習事業等の企画・運営などに市民が積極的に参加できる環境の整備に寄与した。 ◎学習成果発表の場事業における講座開催回数　実績１４回（目標２２回）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
3	生涯学習推進事業 1,426千円 教育局 生涯学習センター		103.2%		B	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 少子高齢化や情報化、環境問題など現代的課題をテーマとした講座や大学等との連携による各種の専門的講座のほか、多様な団体と連携し、市民の学習ニーズに応じた様々な講座を開催するとともに、さらに幅広い市民の利用が得られるよう、まなび映画ＣＡＮや市民ギャラリーの活用事業等を行った。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の講座を中止した。 ◎受講者の満足度　実績９８％（目標９５％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
4	（評価対象外）ふれあい創作館管理事業 467千円 教育局 生涯学習課								
		（事業概要、事業実績等） ふれあい創作館の施設を適切に維持管理したことにより、地域活動拠点の場を提供した。							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
5	サンクリスタル高松在り方検討事業 146,807千円 教育局 中央図書館	一般重点	98.4%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 庁内検討委員会及び市民を対象としたワークショップで得られた貴重な意見等を参考として、サンクリスタル高松の将来的な在り方について、「サンクリスタル高松リニューアル基本構想」を策定した。 ◎サンクリスタル高松利用者数 実績２３３，２８９人（目標２３７，０００人）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	（評価対象外）生涯学習センター管理運営事業 41,208千円 教育局 生涯学習センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 市民により良い生涯学習の場を提供するよう施設設備及び備品の修繕を行った。また、Ｗｉ－Ｆｉ環境を令和３年４月から会議室４室に整備したのに加え、４年１０月からはＯＡ実習室等に整備し、利用者の利便性向上につながった。								
7	（評価対象外）図書館管理事業 154,419千円 教育局 中央図書館	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 開館後３０年を経過し老朽化が進んでいるサンクリスタル高松ほか各地域館の建物・設備について、費用対効果も考慮した適切な維持管理を実施したことにより、施設利用者へ安全・安心かつ快適な環境を提供することに効果があった。								
8	図書館文化活動事業 638千円 教育局 中央図書館	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 子どもの読書活動を推進するため、子ども向け講座を実施したほか、子どもを対象としたおはなし会を行うボランティアの技能向上等を図るため、講座・研修会を実施したことにより、読書活動の推進に寄与した。 また、令和４年度はサンクリスタル高松開館３０周年記念事業として魅力あるイベントを実施したこともあり、子ども読書まつり参加者数は目標を達成した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、子ども読書まつりを始め、イベントの開催に当たっては、十分な対策を行った上で実施した。 ◎子ども読書まつりの参加者数　実績２，０００人（目標２，０００人）								
9	図書館運営事業 237,009千円 教育局 中央図書館	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			71.9%	80.7%	A	B	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 中央図書館（瓦町サテライトを含む）及び地域館４館でネットワークを形成し、各館間での資料の貸出・返却の取次サービスを実施したほか、移動図書館車３台により市内８７か所と「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏形成に係る連携協約」に基づき、直島町２か所への巡回を行った。 ◎貸出冊数　実績２，４１６，３９８冊（目標３，３６０，０００冊） ◎図書館利用者数　実績５４８，４６９人（目標６８０，０００人）								

令和４年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
	政　策	基本的人権を尊重する社会の確立

総合評価
D

１　政策の概要

基本的人権を尊重する社会の確立を図るため、同和問題を始めとする様々な人権問題の解決に向け、人権教育・啓発を推進するとともに、人権啓発活動拠点の機能を充実し、人権を大切にする社会づくりを進めます。
また、平和意識の高揚を図るため、平和記念館を中心に、平和意識の普及啓発に取り組み、平和を大切にする社会づくりを推進します。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
人権尊重意識の普及・高揚	23%	D
平和意識の普及・高揚	73%	B
平均	48%	D

３　政策の評価

基本的人権を尊重する社会の確立に向けて、２施策に取り組んだ。
「人権尊重意識の普及・高揚」及び「平和意識の普及・高揚」の２施策では、設定する２つの成果指標について、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの中止などから、目標に届かなかった。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は４８％となり、政策の目指す目標の達成に向けて一層の取組が必要であることから、本政策の総合評価は「D」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
人権尊重意識の普及・高揚	25.2%	12.5%	62.6%
平和意識の普及・高揚	18.8%	11.8%	55.8%
平均	22.0%	12.2%	59.2%

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	人権尊重意識の普及・高揚

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
206,126千円	D	25.2%	62.6%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政　策	基本的人権を尊重する社会の確立
担当局	市民政策局、教育局

対象	市民	意図	同和問題を始め、様々な人権問題の解決に向け、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現を図る。

概要（実績）

人権啓発推進員への支援、ハンセン病を正しく理解する講演会、パネル・作品展、ＬＧＢＴに対する正しい認識を醸成する講座など、各種の啓発推進事業等を実施したことにより、市民の人権意識の普及・高揚につながった。

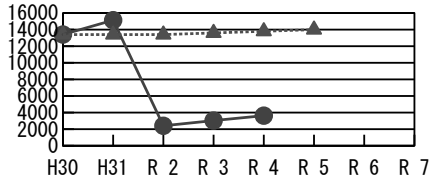
成果指標

①

指標名	人権啓発事業等参加者数	R 4実績	R 4目標	達成度
		3,629人	13,800人	26.3%

状況：人権啓発推進員による啓発事業において、推進員の工夫により様々な形態での啓発事業を実施し、広く市民の人権意識の普及・高揚に努めているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域でのイベント等が開催できなかったため、目標値を大幅に下回った。

達成度の推移

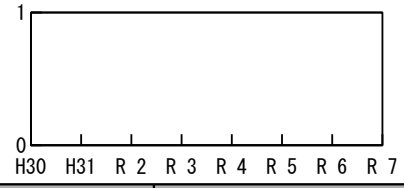


②

指標名		R 4実績	R 4目標	達成度

状況：

達成度の推移

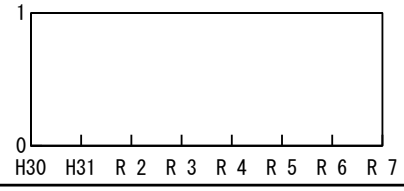


③

指標名		R 4実績	R 4目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

【市民政策局】同和問題を始めとする様々な人権問題が今なお解決に至っていないことから、今後とも、市民一人一人が正しい認識と理解を深めることができるよう、なお一層の効果的な取組が求められている。
【教育局】同和問題を始め、様々な人権問題に対し、学校人権教育・社会人権教育の関係組織と連携を図っているが、市民一人一人の人権教育に対する意識・関心が十分でないことから、今後も、人権教育の充実・発展を強力に推進していく必要がある。

施策の方向性

市民一人一人が、あらゆる人権問題に対して、正しい認識と理解を深めることができるよう、各種講座や研修会等を開催し、人権を尊重する社会の実現を推進していく。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	ＬＧＢＴ啓発等推進事業 90千円 市民政策局 男女共同参画・協働推進課		104.1%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） ＬＧＢＴなど性的少数者について、正しい理解と認識を深める講演会やパネル展などの啓発活動の実施やパートナーシップ宣誓制度の導入により、男女を問わず、全ての人々の人権が尊重され、差別や偏見のない社会、多様性を尊重する社会の形成に寄与した。 ◎講演会等で理解が深まった人の割合　実績９６．８％（目標９３％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
2	人権啓発推進事業 37,983千円 市民政策局 人権啓発課		126.0%	20.2%	A	A	A	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 人権啓発推進員への支援、ハンセン病を正しく理解する講演会及びパネル・作品展の開催など、各種啓発推進事業等を実施したことにより、市民の人権意識の普及・高揚につながった。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、人権啓発推進員による啓発事業が実施できなかったため、目標値を下回った。 ◎市民満足度（「人権尊重意識の普及、高揚」） 実績２５．２％（目標２０％） ◎参加人数（人権啓発推進員による啓発事業、講演会等） 実績１，００６人（目標４，９９０人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
3	文化センター・児童館整備事業 93,858千円 市民政策局 人権啓発課		94.6%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 文化センター・児童館改修計画に基づき、施設の適切な管理運営を図るため、修繕・改修工事等を実施したことにより、地域における福祉の向上や児童の健全育成につながった。 ◎文化センター・児童館改修進捗率（事業費） 実績７３．５２％（目標７７．７４％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
4	隣保館・児童館管理運営事業 39,469千円 市民政策局 人権啓発課		64.5%	115.2%	A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 各種相談事業や啓発・広報活動事業等を実施したことにより、地域住民の福祉の増進及び教育水準の向上並びに地域児童の健全育成に寄与した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、教養・文化活動などの各種講座が計画どおりにできなかったため、文化センターの施設利用者数は目標値を下回った。 ◎隣保館利用者数　実績３９，３２４人（目標６１，０００人） ◎児童館利用者数　実績３１，１１２人（目標２７，０００人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
5	学校人権教育推進事業 5,574千円 教育局 人権教育課		143.6%		A	B	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 市立こども園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校に対して、人権教育指導資料の作成・発行、人権教育教職員研修会の開催、人権教育研修・研究会への参加補助、人権教育資料の購入等を行ったことにより、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現に寄与した。 ◎研修会等参加者数　実績３５９人（目標２５０人）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	子ども教育推進事業 5,175千円		107.2%	60.0%	A	B	B	B	継続
	教育局 人権教育課	（事業概要、事業実績等） 地区小・中学生を対象とした補充学習や保護者も対象とした進路・進学等についての教育相談、大学生ボランティアによる学習支援等を行ったことにより、地区小・中学生の基礎学力や進学意欲の向上につながった。 なお、新型コロナウイルス感染症対策を行い、子ども学級の実施回数を増やしたことで、参加者数は増加した。また、教育相談の参加者数は前年度より微増した。 ◎子ども学級出席者数　実績３，２１５人（目標３，０００人） ◎教育相談出席者数　実績２１０人（目標３５０人）							
7	社会教育指導員設置事業 15,796千円		90.4%		A	A	B	A	継続
	教育局 人権教育課	（事業概要、事業実績等） 地域における子どもの学習指導、生徒指導を充実させ、進路保障を実現するために社会教育指導員を配置することにより、子ども達の基礎学力や進路意欲等の向上に寄与した。 また、課内配置の社会教育指導員を人権教育市民講座等に派遣したことにより、人権教育・啓発の推進や人権を尊重する社会の実現に寄与した。 ◎学習指導等出席者数　実績８，１３８人（目標９，０００人）							
8	社会人権教育推進事業 5,368千円		55.1%		A	B	B	C	継続
	教育局 人権教育課	（事業概要、事業実績等） 市民に対し、人権教育市民講座や人権教育研修会の開催、人権教育指導用資料の作成、人権尊重都市たかまつ市民会議への補助等を行ったことにより、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現に寄与した。 なお、新型コロナウイルス感染症対策を行い、事業を実施したものの開催できなかった事業もあることから、目標を下回る結果になった。 ◎人権教育市民講座受講者数　実績５５１人（目標１，０００人）							
9	（評価対象外）人権教育事務 200千円								
	教育局 人権教育課	（事業概要、事業実績等） 人権教育課職員が、多様化する人権・同和教育の正しい理解と実践について研究を行うため、全国人権・同和教育研究大会、四国地区人権教育研究大会等に参加することにより、知識の向上、新たな人権問題に対する理解が進み、市民に対し、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現に寄与した。							
10	人権啓発活動事業 110千円		37.5%		A	B	B	D	継続
	教育局 人権教育課	（事業概要、事業実績等） 人権をテーマとした公演やパネル展、幼児児童生徒、保護者等によるステージ発表などを内容とする「スマイルフェスティバルｉｎたかまつ」を開催し、広く市民の人権意識の高揚を図ることができた。 ◎人権啓発イベント参加者数　実績３００人（目標８００人）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><th rowspan="2">11</th><th rowspan="2">文化交流推進事業

2,503千円

教育局
人権教育課</th><th>重点</th><th colspan="2">成果達成度</th><th>妥当性</th><th>有効性</th><th>効率性</th><th>総合評価</th><th>今後の方向性</th></tr>
<tr><td></td><td>88.2%</td><td>50.3%</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>C</td><td>継続</td></tr>
<tr><td colspan="10">（事業概要、事業実績等）
地域住民を対象に、文化センターや児童館主催で、教養を高める各種講座（社会教育学級）、ボランティア活動、三世代交流、地域交流行事など様々な体験・交流の機会を提供する教室（ふれあい教室）を開催したことにより、地域住民の教育水準の向上や、家庭及び地域社会における人間関係の円滑化、自立意識の高揚などにつながった。
なお、新型コロナウイルス感染症対策を行い実施したが、コロナ禍前と比較して、参加者数は減少した。

◎社会教育学級受講者数　実績２，２０５人（目標２，５００人）
◎ふれあい教室受講者数　実績４０２人（目標８００人）</td></tr>
</table>

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	平和意識の普及・高揚

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
12,268千円	B	18.8%	55.8%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政　策	基本的人権を尊重する社会の確立
担当局	市民政策局

対象	市民	意図	平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭等の開催、小学校４年生などを対象とした平和学習の実施により、市民に戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和意識の向上を図る。

概要（実績）

平和記念館での戦争遺品等の常設展示や「高松市戦争遺品展」、「原爆パネル展」等の開催、平和記念だよりの発行などにより、市民に対して戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和意識の普及・啓発を推進することができた。

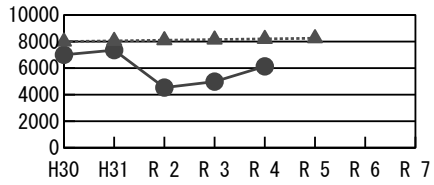
成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	平和意識の啓発に関するイベントなどの参加者数	6,131人／年	8,200人／年	74.8%

状況

高松市平和を願う市民団体協議会との共催による原爆パネル展の開催及び小・中学生のための平和講演会を開催した結果、参加者数が前年度に比べ増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標を達成することができなかった。

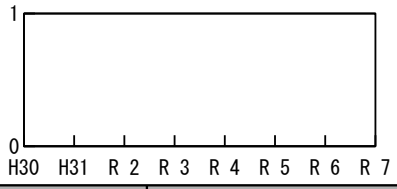
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
②				

状況

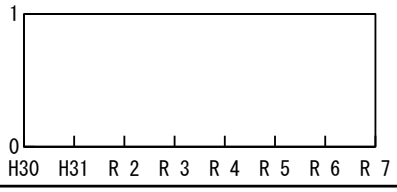
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
③				

状況

達成度の推移



施策の課題

戦争体験者が高齢化し、戦争を知らない世代が大半となっていることから、平和の意識を守り育てるため、平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、戦争遺品展などの各種普及・啓発事業や、小学校４年生などを対象とした平和学習を継続的かつ積極的に実施することが必要である。

施策の方向性

引き続き、平和意識の普及・啓発と向上を推進していく。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><th rowspan="3">1</th><th rowspan="2">平和啓発推進事業

12,268千円</th><th>重点</th><th colspan="2">成果達成度</th><th>妥当性</th><th>有効性</th><th>効率性</th><th>総合評価</th><th>今後の方向性</th></tr>
<tr><td></td><td>74.8%</td><td>89.5%</td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>B</td><td>継続</td></tr>
<tr><td colspan="2">市民政策局
人権啓発課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
平和記念館での平和学習の実施や「高松市戦争遺品展」、「小・中学校での平和講演会」、「原爆パネル展」等の開催、平和記念だよりの発行などにより、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和意識の普及・啓発を推進することができた。
なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、各事業への参加者数が減少したため、目標値を下回った。

◎平和意識の啓発事業の参加者数　実績６，１３１人（目標８，２００人）
◎平和意識の普及・高揚に対する市民満足度　実績１８．８％（目標２１％）</td></tr>
</table>

（3） 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち

令和４年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
	政　策	地域を支える産業の振興と経済の活性化

総合評価
B

１　政策の概要

地域を支える産業の振興と経済の活性化を図るため、市外からの企業の誘致及び市内の中小企業等の支援による雇用の創出や、商店街のにぎわいづくりを推進し、商工業の振興に努めるほか、農地や森林の保全や、安全・安心で良質な農水産物の生産を振興するとともに、生鮮食料品等の流通の強化など、農林水産業の振興を図ります。

また、庵治石や盆栽、漆器など特産品の育成と振興に努めるとともに、効果的な情報発信を行うなど、ブランド力の向上に向けた取組を推進します。

また、いきいきと働ける環境の充実のため、就業支援を推進するとともに、勤労者福祉の充実に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
商工業の振興	82%	B
農林水産業の振興	94%	A
特産品の育成・振興とブランド力の向上	63%	C
就業環境の充実	86%	A
平均	81%	B

３　政策の評価

地域を支える産業の振興と経済の活性化に向けて、４施策に取り組んだ。

「商工業の振興」では、設定する３つの成果指標のうち、中小企業経営講習会の年間受講者数及び中央商店街の空き店舗率において、新型コロナウイルス感染症の影響から目標に届かなかったものの、他の指標については目標を達成した。

「農林水産業の振興」では、設定する３つの成果指標について、目標を達成又はおおむね達成した。

「特産品の育成・振興とブランド力の向上」では、設定する３つの成果指標のうち、盆栽輸出登録申請者数（ＥＵ）及び伝統的ものづくり普及啓発事業等参加者数において、新型コロナウイルス感染症の影響などから、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。

「就業環境の充実」では、中小企業等表彰事業（働き方改革部門）の表彰事業者の延べ数において、新型コロナウイルス感染症の影響から、目標に届かなった。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は８１％となり、政策全体として目指す方向におおむね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「Ｂ」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
商工業の振興	17.2%	30.7%	73.5%
農林水産業の振興	22.8%	19.5%	67.6%
特産品の育成・振興とブランド力の向上	29.1%	16.1%	67.1%
就業環境の充実	17.5%	24.6%	72.6%
平均	21.7%	22.7%	70.2%

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	商工業の振興

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
2,119,741千円	B	17.2%	73.5%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政　策	地域を支える産業の振興と経済の活性化
担当局	創造都市推進局

対象	意図
市内の商工業者	経営の改善・向上を図る。

概要（実績）

新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰の影響を受ける事業者を対象に給付を行ったほか、中小企業等が行う新たな挑戦としての販路開拓・生産性向上への取組やデジタル化の取組に対する補助、また、キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーンを実施することにより、地域企業の経営を下支えし、地域経済の再活性化につながった。

関係機関との共催による中小企業経営講習会・合同就職面接会の開催、中小企業融資の実施等による経営支援に取り組み、市内中小企業等の育成と振興に寄与した。

商店街団体等が実施する安全安心対策事業等を県と共に助成したほか、空き店舗改装費の助成やにぎわい創出などにより、中央商店街の活性化に寄与した。

企業誘致・立地活動については、企業誘致専門員を中心に、県や関係機関と連携・情報共有を図り、助成措置対象企業の指定や助成金の交付を行った。

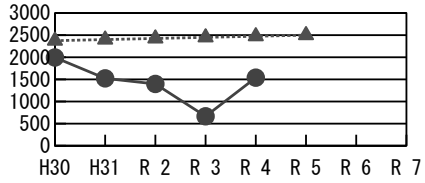
成果指標

① 指標名：中小企業経営講習会の年間受講者数

R 4実績	R 4目標	達成度
1,539人	2,475人	62.2%

状況：令和３年度と比較すると受講者数は大きく増加したが、依然として、新型コロナウイルス感染症の影響が見られ、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

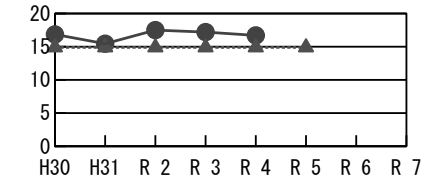


② 指標名：中央商店街の空き店舗率

R 4実績	R 4目標	達成度
16.7%	14.9%	87.9%

状況：利用者のニーズに沿った空き店舗活用支援策を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により悪化した空き店舗率は、令和４年度は改善が見られたものの、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が見られ、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

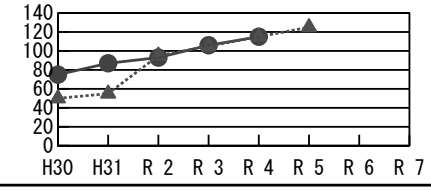


③ 指標名：企業誘致助成制度指定件数

R 4実績	R 4目標	達成度
115件	115件	100.0%

状況：企業誘致専門員を中心に、香川県や金融機関等と連携を図り、企業動向等の情報収集や立地、設備投資等を希望する企業への訪問などを行い、目標を達成することができた。

達成度の推移



施策の課題

事業者が本市で創業できるよう周辺環境の整備に努めるとともに、本市経済の持続的な発展のため、企業のデジタル化支援など、中小企業の育成と振興を図ることが求められている。

中央商店街のにぎわいを向上させるため、空き店舗率の改善に向けて取り組むとともに、地域経済の発展、産業の高度化及び雇用機会の拡大を図るため、企業誘致の強化が必要である。

施策の方向性

人口減少、少子・超高齢社会が進展する中、国際情勢の変化に伴う物価高騰等の影響やデジタル化・脱炭素化への対応等、本市商工業者を取り巻く環境は常に変化し続けていることから、引き続き、商工業の振興に取り組むことが必要である。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）新型コロナウイルス感染症特別経済対策事業 1,064,524千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けた中小企業者等に対し、経済対策事業を実施した。各時点での経済情勢に合わせた事業の実施により、地域経済の活性化に貢献した。							
2	中小企業金融対策事業 729,510千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
					A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 市内の中小企業者に事業資金（３件）と緊急経営安定対策特別融資（２５件）を融資した。 また、中小企業融資（緊急経営安定対策特別融資含む）を期限内に償還した者に対し、保証料の補給を行うとともに、緊急経営安定対策特別融資の貸付者で遅滞なく支払いをしている者に対し、０．８％（新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが減少しているものに対しては１．８％）の利子補給を行った。							
3	中小企業経営講習会等事業 1,635千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			62.2%		A	B	B	C	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松商工会議所と共催で中小企業経営講習会を開催した。 ◎講習会等受講者数　実績１，５３９人（目標２，４７５人）							
4	中小企業経営力強化支援事業 942千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	92.5%	65.0%	C	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 中小企業向けに、セミナーや経営相談の場を設けた。また、中小企業の人材育成のための補助金を交付した。 ◎経営相談会等の参加者数（累計）　実績７４人（目標８０人） ◎ＢＣＰ策定支援セミナー参加者数（累計）　実績３９人（目標６０人）							
5	中小企業指導団体等育成事業 32,327千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
					A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 中小企業等の経営の近代化・共同化及び地場産業の育成・指導の推進に努めるとともに、その構成員の文化的・経済的な改善向上を図っている指導団体に対して、高松市中小企業振興助成条例に基づき事業助成を行うことにより、その活動を支援した。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	中小企業人材確保・就業機会拡大事業 683千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			114.5%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 合同就職面接会を、香川県、高松商工会議所、香川労働局、高松公共職業安定所などとの共催により開催したことで、中小企業の労働力及び人材の確保を促し、経営の安定につながる効果が得られた。 かがわーくフェアの開催 対面方式：参加企業数９９社、参加求職者数１１１人 オンライン方式：参加企業数２２社、参加求職者数２８人 ◎就職面接会（かがわーくフェア）参加企業の満足度 実績９１．６％（目標８０％）							
7	中小企業等デジタルビジネス推進支援事業 28,705千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	116.7%		B	A	B	A	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 中小企業等デジタルビジネス推進事業補助や中小企業等デジタルシフト事業補助を実施し、市内中小企業等のデジタル化の推進に寄与した。 ◎デジタル技術を活用した新たなビジネスモデル創出のために支援した企業等の数（令和４年度からの累計）　実績７者（目標６者）							
8	貿易振興事業 2,458千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			0.0%		A	A	C	D	継続
		（事業概要、事業実績等） 貿易振興に係る事業を実施している独立行政法人日本貿易振興機構香川貿易情報センター（ジェトロ香川）に対して助成を行ったほか、関係団体等で組織された高松港コンテナターミナル振興協議会において、広報・宣伝ポートセールス等を行うことにより、地場産業を始めとする、関連中小企業の貿易振興を推進した。 ◎コンテナ取扱増加量　実績－３１１ＴＥＵ（目標２，７６６ＴＥＵ）							
9	中央商店街にぎわい促進事業 82,178千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	100.0%	119.8%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 商店街共同施設の改修事業等に助成し、商店街の環境整備を進めたほか、空き店舗改装費の助成や、南部三町商店街活性化事業の「マチカド・プラザ」を支援し、中央商店街の活性化に寄与した。 ◎中央商店街の新規出店数　実績４７店舗（目標４７店舗） ◎中央商店街の歩行者通行量　実績１１７，０５２人（目標９７，７２１人）							
10	企業誘致・起業支援による地域経済活性化促進事業 171,568千円 創造都市推進局 企業立地推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	100.0%		B	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 企業誘致専門員を配置し、企業誘致助成制度による助成のほか、企業の課題に対するワンストップサービスでの解決支援等により、企業立地を促進した。 また、支援機関と創業塾を共同開催したほか、「たかまつ創業サポートセンター」において、創業希望者からの相談を実施するなどの支援を行った。 ◎企業誘致助成制度指定件数（平成２１年度以降の累計） 実績１１５件（目標１１５件） なお、前年度からの繰越事業である企業誘致推進費事業については完了した。（令和３年度繰越明許事業費：２４，７３６，３２３円）							

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	農林水産業の振興

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
2,257,407千円	A	22.8%	67.6%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政　策	地域を支える産業の振興と経済の活性化
担当局	創造都市推進局、農業委員会事務局

対象	市内の農林漁業者	意図	農林漁業者の生産販売額の増加

概要（実績）

担い手への支援・農地集積推進事業による担い手への農地集積の加速化や、農業次世代人材投資事業、農業後継者育成事業等による新たな担い手の確保・育成、土地改良事業、土地改良施設管理事業、漁場保全補助事業等による生産基盤整備により、農林水産業の生産体制が整備された。また、スマート農業推進事業による生産の高度化の推進や農業経営安定対策事業、園芸産地育成推進事業、畜産振興事業、森林整備事業、水産振興事業等の各種振興施策の推進、中山間地域等直接支払事業、多面的機能支払事業、有害鳥獣被害対策事業等による農地や漁場環境等の適切な維持・保全活動を通じ、農林水産物の生産振興が図られた。さらに、グリーン・ツーリズム推進事業、水産教室開催事業等により、農業・農村への理解が促進されたとともに、卸売市場整備事業等により、生鮮食料品等流通の効率化が図られた。併せて、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、農業経営収入安定化支援緊急対策事業、肥料高騰対策堆肥購入事業を実施し、新型コロナウイルス感染症の影響や国際情勢の変化による原材料価格高騰の影響を受けた生産者を支援した。

成果指標

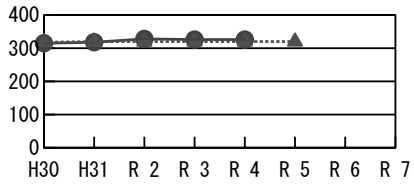
①

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
認定農業者数	326経営体	320経営体	101.9%

状況

令和４年度は、農業者の高齢化に伴い認定更新を行わない農業者が増加した一方、新たな認定農業者の確保に努めた結果、前年並みの経営体数となった。

達成度の推移



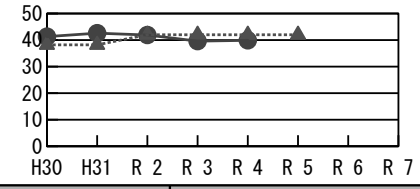
②

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
農畜産物販売額（ＪＡ取扱金額に限る）	39.9億円	42億円	95.0%

状況

肥料等の生産資材価格等の高騰による厳しい農業情勢の下、販売額については前年対比微増となったものの、新型コロナウイルス感染症の影響等により、花卉等の取扱高が低迷しているほか、米の生産量及び販売金額の減少により、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



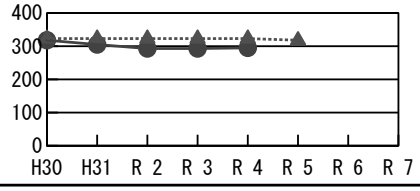
③

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
卸売市場の取扱金額	295億円	323億円	91.3%

状況

令和４年度は、取扱金額が前年度を上回ったが、依然として新型コロナウイルス感染症の影響があった令和３年度並みで、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



施策の課題

【創造都市推進局】農林水産業は、担い手の減少や高齢化に加え、原材料価格高騰が深刻化し、持続的な生産が困難な状況にある中、農業では基盤整備率や担い手への農地の集積率の低さ、遊休地の増加、ため池・水路・農道やイノシシ等による鳥獣被害への対応などが、林業では、森林や林道を管理する人材の確保が、水産業では、水産資源の維持・回復が課題である。また、卸売市場等の適切な維持管理や地産地消に関する情報発信も必要である。
【農業委員会事務局】農地等利用最適化の推進に向け、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入を促進するため、県農地機構等の関係機関との連携の一層の強化が必要である。

施策の方向性

農林水産業の振興のため、（１）担い手への農地集積、ほ場整備や生産機械導入、鳥獣被害の防止、漁業施設の整備等の効率的な生産のための条件整備や、中山間地域の農地、ため池・水路等の適切な維持管理、森林整備や林道管理、水産資源の回復などの生産体制の充実、（２）新たな生産技術の導入、農業の担い手や新たな林業技術者・水産事業者の確保・育成、スマート化による生産の高度化などの生産振興、（３）地元で生産された農畜水産物や地元木材の利用拡大や農林水産業に関する情報発信や体験などを通じた地産地消の推進、（４）卸売市場の施設整備と卸売市場・食肉センターの適切な管理運営による生鮮食料品等流通の強化に努める。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	漁場保全補助事業 4,662千円 創造都市推進局 農林水産課		64.3%		A	A	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 海底耕うん事業及び海浜清掃事業の実施や、老朽化した漁船漁具等の整備に対し補助することで、漁業の生産性向上に寄与した。 ◎生鮮水産物出荷量　実績２，５０８ｔ（目標３，９００ｔ）							
2	（評価対象外）財産区管理事務 240千円 創造都市推進局 農林水産課								
		（事業概要、事業実績等） ４財産区管理会（弦打財産区・雌雄島財産区・塩江財産区・上西財産区）を適切に運営することにより、その住民の福祉の増進に寄与した。							
3	森林団体育成事業 643千円 創造都市推進局 農林水産課		100.0%	75.0%	A	C	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 森林計画システム・林地台帳を活用し、山間地域の活性化と林業及び森林の適正な管理運営に寄与した。 ◎分収造林地において造林施業を実施した面積の比率 実績３％（目標３％） ◎人工造林地において造林施業を実施した面積の比率 実績１．５％（目標２％）							
4	水産団体育成事業 1,868千円 創造都市推進局 農林水産課		64.3%		A	A	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 水産団体に助成することで、栽培漁業や資源管理型漁業が促進された。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業は中止された。 ◎生鮮水産物出荷量　実績２，５０８ｔ（目標３，９００ｔ）							
5	畜産団体育成事業 837千円 創造都市推進局 農林水産課		111.8%	122.3%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松市畜産振興協議会の活動に助成し、畜産振興に寄与した。 また、高松市畜産共進会や肉牛枝肉共励会の開催を支援し、畜産農家の技術研鑽、情報収集及び地産地消に寄与した。 一方、国際情勢の変化に伴う飼料価格高騰の影響を受けた畜産農家を支援するため、「たかまつ食と農のフェスタ」において、牛乳消費拡大キャンペーンを展開した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染拡大防止のため、一部事業の縮小や簡略化を行い実施した。 ◎１戸当たりの乳用牛飼養頭数　実績１２３頭（目標１１０頭） ◎１戸当たりの肉用牛飼養頭数　実績１５９頭（目標１３０頭）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容

6

事務事業名及び事業費	担当課
中山間地域等直接支払事業 41,308千円	創造都市推進局 農林水産課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	97.9%		A	A	B	A	継続

（事業概要、事業実績等）

中山間地域などの農業生産条件が不利な指定区域内の農用地区域において締結された集落協定（５０集落）に基づき、５年以上農業を継続する農業者に交付金を交付したことにより、耕作放棄地の発生を防止し、農業の多面的機能が確保された。

◎協定面積　実績２７８ｈａ（目標２８４ｈａ）

7

事務事業名及び事業費	担当課
担い手への支援・農地集積推進事業 31,160千円	創造都市推進局 農林水産課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
一般重点	97.0%	90.6%	A	A	A	A	継続

（事業概要、事業実績等）

認定農業者等担い手の経営規模拡大と農地の有効利用を図るため、農地中間管理事業等を活用し、経営規模拡大を図る認定農業者等に対する支援策を実施することにより、農地の効率的な利用と担い手への利用集積が促進され、遊休農地の拡大を防止することで、地域農業の振興と生産性の向上に寄与した。

また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、農業経営収入保険への加入を促進することで、農業者の経営の安定化に寄与した。

◎担い手への農地集積率　実績２９．５％（目標３０．４％）
◎農地中間管理事業による農地集積面積
　　実績５５．２７ｈａ（目標６１ｈａ）

8

事務事業名及び事業費	担当課
農業後継者育成事業 308千円	創造都市推進局 農林水産課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	213.3%		A	B	B	A	継続

（事業概要、事業実績等）

若手農業者で構成する農業後継者クラブの活動を支援することで、市内の若手農業者相互の情報交換や交流が促進され、農業技術の向上や新規就農者の育成等に寄与した。

◎農業後継者クラブ主催事業参加者　実績３２人（目標１５人）

9

事務事業名及び事業費	担当課
農業次世代人材投資事業 31,486千円	創造都市推進局 農林水産課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	100.0%	103.6%	A	A	B	A	継続

（事業概要、事業実績等）

農業次世代人材投資事業等の実施により、新規就農者の確保及び経営安定が図られたとともに、人・農地プランの推進により、地域の担い手や農地集積に関する話合いが促進された。

◎地区「人・農地プラン」数　実績３３件（目標３３件）
◎人・農地プランへの参画者数　実績２５９人（目標２５０人）

10

事務事業名及び事業費	担当課
農業団体育成事業 6,138千円	創造都市推進局 農林水産課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	95.0%		A	A	A	A	改善継続

（事業概要、事業実績等）

農業協同組合、農業共済組合、県東讃農業改良普及センター等の関係機関と連携を図るとともに、各種農業団体への支援等を行い、農業技術の普及や自主的な活動を促進することにより農業振興に寄与した。

◎高松市内の農畜産物販売額（農協取扱分）
　　実績３９．９億円（目標４２億円）

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容							
11	（評価対象外）盆栽集出荷施設管理運営事業 660千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 国分寺町盆栽集出荷場の運営及び維持管理を委託し、盆栽の生産振興と流通の円滑化が促進された。 また、剪定枝のリサイクル作業を業者に委託し、資源の有効利用に寄与した。							
	創造都市推進局 農林水産課								
12	（評価対象外）林道施設管理事業 6,003千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 林道（５１路線、総延長８２ｋｍ）の維持管理として、危険箇所等の修繕、除草及び支障竹木の除去を実施し、利用者の安全の確保及び森林環境の維持に寄与した。							
	創造都市推進局 農林水産課								
13	（評価対象外）市有山林管理事業 2,619千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 市有山林の適切な維持管理を実施した。 また、生活環境保全林等にある遊歩道の草刈り等や市有林内にある公衆トイレの維持管理を行ったことにより、市有山林の保全と利用者の利便が向上した。							
	創造都市推進局 農林水産課								
14	土地改良施設管理事業 44,532千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			98.6%	86.1%	A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 農業生産性の向上、農業総生産の増大等に資するため、土地改良事業関係各種団体への負担、補助を行うとともに、土地改良施設の維持管理・環境整備を行うことにより、農業生産基盤の整備を促進した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、一宮新池農村公園グラウンドの利用者が減少した。 ◎土地改良区受益面積　実績１０，６９５ｈａ（目標１０，８５０ｈａ） ◎施設利用者数　実績１４，６４５人／年（目標１７，０００人／年）							
	創造都市推進局 土地改良課								
15	土地改良事業 745,202千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 団体営・県単・市単によるかんがい排水施設改修など３２１件の実施により、農業生産性の向上と農業の健全な発展に向け、支援を行った。 ◎補助金交付件数　実績３２１件（目標３２１件） なお、県単・市単補助土地改良事業補助金等については、施工内容の検討に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業費の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２４３，６９０，０００円） また、前年度からの繰越事業である県単・市単補助土地改良事業補助金等については完了した。（令和３年度繰越明許事業費：９３，９３４，９００円） 【４年度事業内訳（３年度繰越案件を含む）】団体営事業２件（内繰越１件）、単独県費補助事業９８件（内繰越１２件）、単独市費補助事業等２１９件（内繰越９件）、災害復旧事業費２件（内繰越２件）							
	創造都市推進局 土地改良課								

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
16 （評価対象外）農業委員会事務事業 8,669千円 農業委員会事務局 農政課								
	（事業概要、事業実績等） 農地転用等の各種申請について、適正な審査と迅速な処理を行い、議事録をホームページで公表し、審議過程等の透明性を確保した。 農地等利用最適化推進施策等の改善についての意見をとりまとめ、市長に提出したほか、農業経営管理能力の向上のため、簿記記帳講習会を２０回開催するとともに、「農業委員会だより」を２回（各１３，０００部）発行し、農業経営に役立つ情報を提供することにより、農業に意欲と誇りを持った４０３名の担い手（認定農業者・認定新規就農者）を始めとする人材の育成・確保を図り、地域を支えるさらに、農業委員会による目標地図の作成支援策として、農業委員等が現場で用いるタブレット端末を計８６台導入した。							
17 （評価対象外）農地利用最適化推進事業 39,865千円 農業委員会事務局 農政課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 改正農業委員会法の施行により必須業務となった、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等による農地利用の最適化の推進に積極的に取り組んだ。 ８月を「農地パトロール月間」と定め、全ての農地の利用状況調査を実施し、約６４５ｈａの荒廃農地の実態把握や分布地図の更新を行うとともに、再生利用が可能な遊休農地の所有者等に対し、香川県農地機構への貸付けを促す利用意向調査を実施するなど遊休農地対策を強化した。 また、利用権設定に係る農業相談会を９回開催し、認定農業者等担い手へ約２３８ｈａの農地を集積することにより農地の有効利用及び担い手等の経営確立を支援し、地域を支える農業を振興した。							
18 （評価対象外）農業振興事業 299千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 高松市農業基本対策審議会及び専門部会を開催し、高松市農業振興計画（計画期間：平成２８年度～令和５年度）における進捗状況の点検・評価及び農業経営改善計画等の審査、人・農地プランの検討、次期農業振興計画（令和６年度～）の策定等に向けて、本市農業施策に関する重点事項について審議された。							
19 園芸産地育成推進事業 59,371千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		95.7%	108.3%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 県オリジナル品種などの園芸作物等の生産拡大に取り組むための農業機械施設等の整備に対する支援をすることで、多様化する消費者ニーズに対応した品質と安定的な供給力を持った園芸産地の持続的発展に寄与した。 ◎高松市内の野菜販売額（農協取扱分） 実績１，４３５百万円（目標１，５００百万円） ◎高松市内の果実販売額（農協取扱分） 実績６５０百万円（目標６００百万円） なお、国補助事業については、国の補正予算事業の執行に当たり、実施期間を確保するため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：３，４６０，０００円）							
20 （評価対象外）食肉センター周辺施設管理運営事業 2,047千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 茜町会館を適正に管理運営（指定管理）することで、市民に集会、レクリエーション、文化活動等の場を提供し、市民福祉の増進に寄与した。 郷東海浜公園グラウンドの維持管理に努め、市民にスポーツ等の場を提供し、市民福祉の増進に寄与した。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
21	森林整備事業 49,902千円 創造都市推進局 農林水産課		7.5%	32.5%	A	A	B	D	継続
		（事業概要、事業実績等） 森林環境譲与税を活用した各種事業を着実に実施するとともに、松くい虫被害の防除をすることにより林業の振興に寄与した。 ◎年間松くい虫被害材積において、伐倒駆除事業を実施した面積の比率 実績１．５％（目標２０％） ◎間伐立木材積　実績６１８立米（目標１９００立米）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
22	水産振興事業 4,291千円 創造都市推進局 農林水産課		64.3%		A	A	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 栽培漁業推進事業、水産増養殖事業等に助成したことにより、水産資源の増殖及び養殖漁業の振興につながった。 令和３年度から取り組んでいるイカの増殖事業（産卵器具設置）については、良好な産卵状況を確認している。 ◎生鮮水産物出荷量　実績２，５０８ｔ（目標３，９００ｔ）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
23	スマート農業推進事業 494千円 創造都市推進局 農林水産課	一般重点	120.0%		A	A	B	A	拡充
		（事業概要、事業実績等） 認定農業者や認定新規就農者等の農業経営の高度化に必要なスマート農業技術の導入を支援することで、本市農業の持続的な発展に寄与した。 ◎高松市スマート農業推進事業実施件数 ※旧農業ＩＣＴシステム導入活用事業 実績２４件（目標２０件）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
24	畜産振興事業 6,603千円 創造都市推進局 農林水産課		111.8%	122.3%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 家畜法定伝染病予防事業への助成により、家畜法定伝染病の予防が図られた。 また、肉用牛生産振興事業への助成により、畜産経営の体質強化と上質肉牛の生産拡大に寄与した。 さらに、化学肥料原料の価格高騰に鑑み、堆肥の利用促進により化学肥料の使用量削減に資するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、堆肥の利用促進を通じ畜産経営の安定化に寄与した。 ◎１戸当たりの乳用牛飼養頭数　実績１２３頭（目標１１０頭） ◎１戸当たりの肉用牛飼養頭数　実績１５９頭（目標１３０頭）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
25	（評価対象外）鳥獣飼養許可等事業 142千円 創造都市推進局 農林水産課								
		（事業概要、事業実績等） 野生鳥獣の有害捕獲許可事務等を実施することで、農作物等の被害防止活動が促進された。 捕獲許可件数９４８件							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容							
26	農業経営安定対策事業 27,805千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			104.2%	122.4%	A	A	A	A	継続
	創造都市推進局 農林水産課	（事業概要、事業実績等） 農業協同組合、農業委員会、農業共済組合等の関係機関と連携して、国の経営所得安定対策事業を実施することで、米の計画的生産と畑作物の作付が推進された。 ◎経営所得安定対策等交付申請者数　実績５７３人（目標５５０人） ◎交付対象作物の作付面積 実績１０，７７２，８２１㎡（目標８，８００，０００㎡）							
27	有害鳥獣被害対策事業 27,058千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			113.9%	5.3%	A	B	A	C	継続
	創造都市推進局 農林水産課	（事業概要、事業実績等） 高松市鳥獣被害防止計画に基づき、猟友会の捕獲活動等に対する助成や、「獣害に強い市街地づくり支援事業」、農家への侵入防止柵等設置助成や狩猟免許取得を推進した結果、イノシシの捕獲数は目標を達成し、そのほかの有害鳥獣の捕獲数についてもおおむね目標を達成することができたが、農作物被害については、目標値達成に至らなかった。 ◎有害捕獲許可によるイノシシの捕獲頭数 実績１，９３６頭（目標１，７００頭） ◎野生鳥獣による農作物被害面積 実績１５．８７ｈａ（目標８．１５ｈａ）							
28	林業振興事業 6,714千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%	75.0%	A	C	B	B	継続
	創造都市推進局 農林水産課	（事業概要、事業実績等） 分収造林地において、満期を迎える事業地の収益試算を行った。造林事業助成については、木材価格が低迷し、森林所有者の造林意欲が低下している中、人工造林地について減少したものの、実施した施業に対し支援を行ったことで、林業の振興に寄与した。 ◎分収造林地において造林施業を実施した面積の比率 実績３％（目標３％） ◎人工造林地において造林施業を実施した面積の比率 実績１．５％（目標２％）							
29	多面的機能支払事業 145,500千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			97.0%		A	A	B	A	継続
	創造都市推進局 土地改良課	（事業概要、事業実績等） 水源涵養や景観整備、防災など、農業・農地が有する多面的な機能を維持発揮させるため、耕作継続に必要な農道・水路などの保全活動や施設の修繕、長寿命化を図る活動を促すことを目的として、農業者や地域住民で構成される活動組織へ支援を実施した。 令和４年度実績 農地維持活動組織数　３３組織 対象面積　２，４３４．１ｈａ 資源向上（共同）活動組織数　１９組織 対象面積　１，２０５．８ｈａ 資源向上（長寿命化）活動組織数　１４組織 対象面積　１，５５３．２ｈａ ◎対象農用地面積　実績２，４３４ｈａ（目標２，５０９ｈａ）							
30	（評価対象外）農村公園等運営事業 6,055千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 農林水産課	（事業概要、事業実績等） 農村公園等（１４施設）の日常的な維持管理（指定管理）を行い、市民に憩いとふれあいの場を提供し、市民の日常的な健康増進及び相互の交流に寄与した。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
31	グリーン・ツーリズム推進事業 創造都市推進局 農林水産課		97.9%	90.2%	A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） グリーン・ツーリズムの推進とともに、市民農園の利用促進を図ることで、都市と農村の交流が促進された。 ◎グリーン・ツーリズム実践団体来場者 実績１６１，５０４人（目標１６５，０００人） ◎市民農園利用率　実績７９．４％（目標８８％）							
32	（評価対象外）香南アグリーム管理運営等事業 18,456千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 農業体験施設である香南アグリームの運営管理（指定管理）を行い、園地を利用した農業体験、工房では園内で取れた野菜等を使った調理体験を実施し、来場者の農業に対する理解を深めるとともに食育が促進された。 また、香南朝市（産地直売所）では香南町を中心とした農家が出荷した農産物を販売するなど、地域農業の振興及び地産地消が促進された。							
33	水産教室開催事業 160千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			50.0%		A	A	B	C	継続
		（事業概要、事業実績等） 市内の小学生親子を対象とした漁業体験等を中心に水産教室や地場水産物の消費拡大等を実施し、後継者の育成や水産業への理解の醸成、水産物の消費拡大に寄与した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を中止した。 ◎開催回数　実績５回（目標１０回）							
34	（評価対象外）研修集会施設管理運営事業 11,498千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 研修集会施設の適切な維持管理を行い、農業振興のための研修、集会、レクリエーション・文化活動等の場を提供し、市民福祉の増進に寄与した。							
35	（評価対象外）食肉センター管理運営事業 352,692千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 本市食肉センターは、平成１８年４月１日に指定管理者制度を導入しており、指定管理者に指定された高松食肉事業協同組合により、円滑な施設管理が行われた。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容
36	卸売市場活性化推進事業 3,119千円	創造都市推進局 市場管理課
37	（評価対象外）卸売市場管理運営事業 252,082千円	創造都市推進局 市場管理課
38	卸売市場整備事業 38,792千円	創造都市推進局 施設整備室

36

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	6.7%	105.9%	A	A	B	C	継続

（事業概要、事業実績等）

新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた市場活性化推進事業を中止若しくは規模を縮小して実施した。一方で、ＥＣ活性化推進事業を行うことで、市場の活性化を推進した。

◎市場への一般市民の来場者数（既存イベント分）
　　実績　１，６１８人（目標２４，０００人）
◎当該年次取扱高を対前年比の９５％以上にする
　　実績　１００．６％（目標９５％）

37

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性

（事業概要、事業実績等）

中央卸売市場及び公設花き地方卸売市場施設・設備の維持管理、修繕及び保守点検を行った。また、市場内の清掃やごみの分別収集を徹底し、美化に努めるとともに、市場内警備を行い、安全を確保するなど、健全な市場運営を行った。

38

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
特別重点	91.3%	100.7%	A	B	C	A	継続

（事業概要、事業実績等）

新青果棟整備工事を進めるため、工事及び工事監理業務委託契約を行い、工事に着手した。
また、水産物棟等基本計画詳細検討業務を完了した。

◎卸売市場の取扱金額　実績２９５億円（目標３２３億円）
◎卸売市場整備進捗率（青果棟）　実績３０．４％（目標３０．２％）

なお、国の交付金について追加認証を受けたため、当該交付金に係る工事費及び工事監理費を追加要望するも、工期の関係上、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。
（繰越明許費繰越額：１，０３３，８４４，０００円）

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	特産品の育成・振興とブランド力の向上

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
47,670千円	C	29.1%	67.1%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政　策	地域を支える産業の振興と経済の活性化
担当局	創造都市推進局

対象	市内の特産品生産者・製造者及び購入者	意図	高松ブランドの確立に向けた取組を推進し、特産品の育成・振興を図る。

概要（実績）

本市の伝統的ものづくり製品や特産品・農作物について、体験教室の開催や各種展示会への支援等を通じて、普及啓発事業・販路拡大事業等を実施し、特産品の育成・振興とブランド化の推進及び地場産業の活性化に寄与した。

成果指標

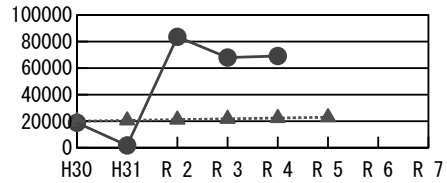
①

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
販路開拓事業等来場者数	69,117人	22,400人	308.6%

状況

特産品の育成・振興とブランド化の推進に寄与するため、販路開拓事業として展示会等への出展支援を実施しており、新型コロナウイルス感染症の影響による、一部展示会等の中止により参加者数が減少したものの、目標値を大幅に上回っている。

達成度の推移



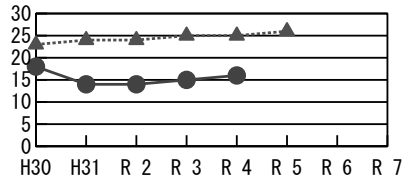
②

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
盆栽輸出登録申請者数（ＥＵ）	16人	25人	64.0%

状況

ＥＵ向け黒松盆栽の輸出解禁を受け、登録申請者数は前年比増となったものの、生産者の高齢化等による登録の取りやめもあることから、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



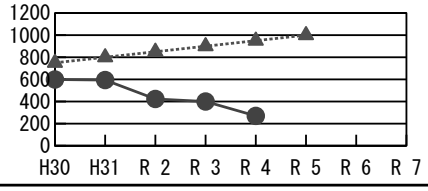
③

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
伝統的ものづくり普及啓発事業等参加者数	270人	950人	28.4%

状況

伝統的ものづくりに関する普及啓発事業を実施したが、夏休み親子体験教室は、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら、開催することができたものの、学校巡回教室については、休止したため、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



施策の課題

伝統的ものづくり製品や特産品、農産物について、一定の好評価は得られているものの、その価値や評価を更に高めることが求められている。今後も関係団体と連携し、販路拡大や後継者育成等に取り組むとともに、国内だけでなく、国外への輸出拡大を見据えた新たな取組が必要である。

施策の方向性

地域経済の活性化を図る上で、地場産業の振興は重要性を増しており、継続実施していく必要がある。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	伝統的ものづくり支援事業（産業振興課分） 6,285千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			28.4%	308.6%	A	A	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の影響により、中止を余儀なくされる事業もあった一方で、感染対策を講じながら、事業を継続的に開催することによって、特産品の育成・振興とブランド化の推進に寄与した。 ◎普及啓発事業等参加人数　実績２７０人（目標９５０人） ◎販路開拓事業等来場者数　実績６９，１１７人（目標２２，４００人）							
2	特産品育成・振興事業 1,450千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
					A	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じながら、本市において「姉妹城・親善都市と交流都市の観光と物産展」を開催し、特産品の育成や振興に寄与した。							
3	高松盆栽産地ブランド確立事業 7,482千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	64.0%	127.1%	A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 香川県、ＪＡ香川県及び盆栽事業者等と連携し、高松盆栽学校及び高松盆栽の郷フェスタや、アフターコロナを見据えた「盆栽サブスクリプション事業」、「盆栽ツーリズム事業」を実施し、高松盆栽の振興とブランド化に寄与した。 ◎盆栽輸出登録申請者数（ＥＵ）　実績１６人（目標２５人） ◎拠点施設における盆栽等販売金額 実績４１，９４３千円（目標３３，０００千円）							
4	高松ブランド農産物育成支援事業 32,453千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			151.7%	96.3%	A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） ＪＡ香川県等の関係機関と連携して、高松産ごじまん品を推進し、食育・地産地消等に寄与した。 また、地場産農畜水産物の消費を喚起するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、学校給食に「高松産ごじまん品」を中心とした食材を提供するとともに、量販店店頭にて「高松産ごじまん品」等の特売を行う「高松ごじまんフェア」の開催を支援した。 ◎食育・農業体験教室への参加者数　実績９１人（目標６０人） ◎たかまつ食と農のフェスタ出展者販売額 実績８，６７０千円（目標９，０００千円）							

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	就業環境の充実

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
293,745千円	A	17.5%	72.6%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政　策	地域を支える産業の振興と経済の活性化
担当局	創造都市推進局

対象	市内の事業所及び勤労者	意図	市内事業所の就業環境の充実及び勤労者の勤労意欲の向上を目指す。

概要（実績）

中小企業等表彰制度に基づき、令和４年度は３事業所を表彰・ＰＲするなど、市内事業所のワーク・ライフ・バランス推進の成果が得られた。

中小企業勤労者支援事業では、市内の勤労者の持ち家取得の促進を図るため、四国労働金庫との協調融資により住宅資金を貸し付けた。利用状況は好調であり、勤労者の就業意欲・環境の向上につながった。

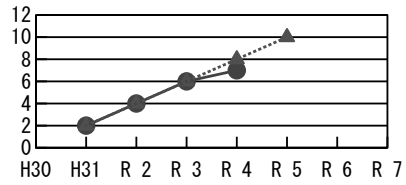
中小企業勤労者福祉共済事業においては、加入促進を行っているものの、新型コロナウイルス感染症の影響による景気後退などにより、被共済者数が８，１８４人と微減となった。福利事業については多くの利用を得るなど、市内の中小企業に働く勤労者の福利厚生が向上した。

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	中小企業等表彰事業（働き方改革部門）の表彰事業者の延べ数	7団体	8団体	87.5%
②				
③				

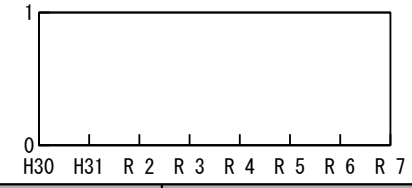
① 状況：新型コロナウイルス感染症対応のため、一部の課において推薦企業の選定を見合わせたことから、表彰事業者数は目標を達成することができなかった。

達成度の推移



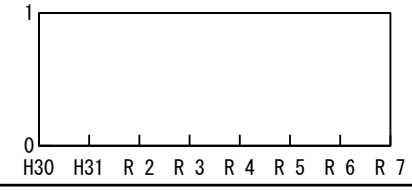
② 状況：

達成度の推移



③ 状況：

達成度の推移



施策の課題

経済の先行きが不透明な状況下において、就業環境の充実や雇用対策に取り組んでいくためには、これまで以上に市の関係部局や国・県・関係機関との連携・協力が必要である。

施策の方向性

市内企業における就業環境の向上を後押しすることや、市として市内の優良企業をＰＲすることは、勤労者福祉はもとより、企業の人材確保の面でも重要性を増しており、今後一層、市の関係部局や国、県、関係機関と連携しながら施策を継続していく必要がある。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	就業支援推進事業 1,763千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			87.5%		A	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 従業員の働き方改革に積極的に取り組み、また、産業の振興や本市施策への貢献度が高い企業を働き方改革部門として表彰した。 また、勤労者福祉に関する事業を行っている団体に補助を行った。これらのことにより、市内事業所の就業環境の向上等につながった。 ◎中小企業等表彰事業（働き方改革部門）の表彰事業者の延べ数 実績７団体（目標８団体）							
2	中小企業勤労者支援事業 180,000千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
					A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 四国労働金庫との協調融資により、住宅資金の貸付け（融資限度額は６００万円）を行うとともに、優遇措置として、融資額の０．１％（最高６千円）を１回還付（四国労働金庫が費用負担）することによって、勤労者の持ち家促進の成果が得られた。 融資件数：１４９件、融資額：８９３，６７０，０００円 利子還付件数：１８１件、利子還付額：１，０８２，７８０円 利用率：１２４．１％							
3	中小企業勤労者福祉共済事業 100,779千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			98.2%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 福利事業や給付事業等のほか、会報紙を年９回発行し、事業の案内や決算状況だけでなく、新規会員事業所の紹介などを行った。 また、未加入事業所の訪問勧誘や、加入事業所の要望を聴くなど、加入確保対策を実施した。 これらの取組により、市内の中小企業で働く勤労者の福祉の増進と中小企業振興の成果が得られた。 ◎加入被共済者数　実績８，１８４人（目標８，３３０人）							

令和４年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
	政　策	文化芸術の振興と発信

総合評価
C

１　政策の概要

文化芸術の振興と発信を図るため、瀬戸内国際芸術祭や高松国際ピアノコンクールの開催を始め、市民の近くに出向いて行う、文化芸術のアウトリーチ活動など、優れた文化芸術に触れる機会を拡充させるほか、文化芸術施設の整備と機能の充実に努めるとともに、学校と連携したプログラムの推進や菊池寛の顕彰事業など、教育普及活動や効果的な情報発信を図ります。

また、国の特別史跡讃岐国分寺跡や史跡高松城跡、史跡石清尾山古墳群の整備など、長い歴史と伝統に育まれ、伝承されてきた文化財の保存と活用に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
文化芸術の振興	70%	C
文化財の保存・活用	50%	D
平均	60%	C

３　政策の評価

文化芸術の振興と発信に向けて、２施策に取り組んだ。

「文化芸術の振興」では、設定する３つの成果指標のうち、文化芸術ホールにおける事業の参加者数については、当該施設が大規模改修工事中のため、利用実績がなかった。

また、アウトリーチ事業の参加者数において、新型コロナウイルス感染症の影響などから、目標に届かなかったものの、他の指標については目標を達成した。

「文化財の保存・活用」では、設定する２つの成果指標について、文化財学習会・体験講座参加者数において、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの中止などから、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標をおおむね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は６０％となり、政策の目指す目標の達成に向けて一層の取組が必要であることから、本政策の総合評価は「Ｃ」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
文化芸術の振興	40.6%	10.9%	54.9%
文化財の保存・活用	28.6%	10.0%	53.0%
平均	34.6%	10.5%	54.0%

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	文化芸術の振興

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
1,321,485千円	C	40.6%	54.9%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政　策	文化芸術の振興と発信
担当局	創造都市推進局

対象	市民	意図	優れた文化芸術に触れる機会の拡充や人材の育成・支援等を行うことにより、市民の自主的・創造的な文化芸術活動を推進する。

概要（実績）

・デリバリーアーツ事業　公演回数２１回、鑑賞者数１，９５６人
・文化芸術活動推進事業
　学校巡回芸術教室２０校、学校巡回能楽教室６校、文化芸術活動補助４４件、文化団体活動補助６件
・美術館運営事業　（市美）常設展４回　特別展５回、（塩美）常設展３回　企画展７回
・菊池寛顕彰事業　文学展、特別講演会の開催、香川菊池寛賞の作品募集選奨等
・文化芸術ホール管理運営事業　文化芸術ホール管理運営、自主事業等
・美術館管理事業　施設運営、建物の維持管理
・美術館資料収集事業　美術品購入等５１点（市美５１、塩美０）
・高松国際ピアノコンクール事業、瀬戸内国際芸術祭推進事業

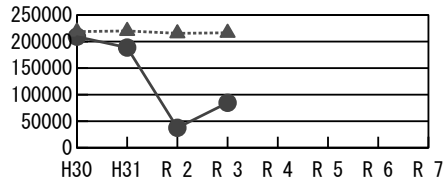
成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	文化芸術ホールにおける事業の参加者数	—	—	—
②	アウトリーチ事業の参加者数	51,993人	124,500人	41.8%
③	美術館来館者数	165,024人	164,000人	100.6%

①　状況

令和５年度までは、大規模改修工事を行っているため、ホールを活用した実績がない。リニューアルオープンの後においても、公演内容の充実や施設の整備を行いながら、利用者に、より満足していただけるホールを目指し、本市の文化芸術振興につなげる。

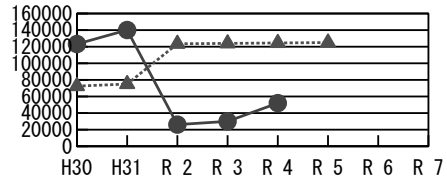
達成度の推移



②　状況

新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値を大きく下回ることとなったが、感染症拡大防止対策を講じながら可能な限り事業を実施したため、昨年度と比較すると、参加者数は増加した。

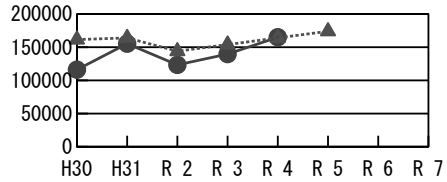
達成度の推移



③　状況

魅力的な展覧会ラインナップや教育普及活動の広がりに努めた結果、目標を達成することができた。

達成度の推移



施策の課題

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じながら、優れた文化芸術に触れる機会の拡充や人材の育成・支援等を行うことにより、市民の自主的・創造的な文化芸術活動を更に推進する必要がある。

施策の方向性

令和元年５月に策定した「第２期高松市文化芸術振興計画」に基づき、デリバリーアーツ事業や美術館運営事業等を実施することにより、効果的かつ継続的に文化芸術活動を推進していく。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容
1	アート・シティ高松推進事業 12,920千円	重点： 成果達成度：62.1% 妥当性：A 有効性：A 効率性：A 総合評価：B 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じながら、「第２期高松市文化芸術振興計画」に基づき、まちなかパフォーマンス事業や０才からのコンサート事業等を実施し、多様なアート展開により市民による文化芸術活動への参加や作品鑑賞の機会を創出し、文化芸術をいかしたまちづくりを推進した。 ◎まちなかパフォーマンス事業観覧者数 実績４３，４８５人（目標７０，０００人）
	創造都市推進局 文化芸術振興課	
2	市民文化祭開催事業 6,213千円	重点： 成果達成度：62.9% 妥当性：A 有効性：A 効率性：A 総合評価：B 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 市民が創造・参加する市民企画提案型の文化の祭典として、例年、市民文化祭「アーツフェスタたかまつ」を開催し、文化芸術活動団体の参加・発表・交流の場を提供するとともに、幅広いジャンルの作品鑑賞機会を提供している。 ◎アーツフェスタたかまつ２０２２観覧者数 実績５，６５９人（目標９，０００人）
	創造都市推進局 文化芸術振興課	
3	高松版文化芸術プラットフォーム構築事業 122千円	重点： 成果達成度：100.0% 妥当性：A 有効性：A 効率性：B 総合評価：A 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 交流事業として事例発表を定期的に行い、プラットフォーム構築に対する意見を聴取するとともに、同事業への参加希望の有無等を確認するため、市内で活動している文化団体等に対するアンケートを実施した。 また、アンケートでプラットフォームへの参加を希望した団体等を対象に、意見交換会や外部講師による研修会を行った。 ◎プラットフォーム関係団体数　実績４０団体（目標４０団体）
	創造都市推進局 文化芸術振興課	
4	デリバリーアーツ事業 3,577千円	重点： 成果達成度：93.1% 妥当性：A 有効性：A 効率性：A 総合評価：A 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 市民に身近な場所で、音楽や伝統芸能等の出前公演を実施したことにより、普段、ホール等で鑑賞する機会の少ない人に対しても、生の優良な文化芸術を鑑賞する機会を提供した。 また、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組として、さぬき市、東かがわ市、綾川町、土庄町においても実施した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、協力団体の応募数が回復せず、鑑賞者数が目標をやや下回った。 ◎デリバリーアーツ事業鑑賞者数 実績１，９５６人（目標２，１００人）
	創造都市推進局 文化芸術振興課	
5	文化芸術活動推進事業 19,218千円	重点： 成果達成度：87.1% 妥当性：A 有効性：A 効率性：B 総合評価：A 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 文化芸術団体の育成・支援を行うとともに、文化芸術活動への補助事業を実施したことにより、活動団体の自主的な活動の促進につなげた。また、学校巡回教室を実施したことにより、子どもたちに、優良芸術を鑑賞・体験する機会を提供した。 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策の費用を補助対象とするなど可能な限り文化団体の支援を行った。 ◎文化芸術活動補助事業における参加人数 実績２，１７７人（目標２，５００人）
	創造都市推進局 文化芸術振興課	

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	（評価対象外）文化奨励賞贈呈事業 554千円								
	創造都市推進局 文化芸術振興課	（事業概要、事業実績等） 本市を中心に活動し、本市における文化の振興に貢献している者で、将来において、更にその活躍が期待される者を奨励することを目的として、高松市文化奨励賞選考審議会の審議により、新人部門、顕彰部門の２部門から選考し、同賞を贈呈した。							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
7	菊池寛顕彰事業 5,178千円		69.5%	86.6%	A	B	B	B	継続
	創造都市推進局 文化財課	（事業概要、事業実績等） 文学展及び文芸講座等を開催したことにより、郷土が生んだ文豪「菊池寛」を顕彰するとともに、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与した。開催に当たり、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の観点からオンライン配信を一部導入した。 また、香川菊池寛賞募集選奨事業により、郷土において創作活動を続けている優れた新人の発掘及び育成並びに地元の文化の振興に寄与した。 ◎文芸講座及び読書感想文講座延べ参加者数（文芸講座１０回・読書感想文講座２回）　実績４１７人（目標６００人） ◎文学展観覧者数等　実績１，７３１人（目標２，０００人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
8	美術教育普及事業 1,409千円		404.2%		A	A	A	A	継続
	創造都市推進局 美術館美術課	（事業概要、事業実績等） 依然として、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、団体鑑賞の大幅な増加が見られ、また、ファミリー層向けの特別展に合わせたこどもアートスペースでのイベントやワークショップに多くの参加者があったほか、アートアドバイザー講座やその他イベントなどのリピーター効果もあり、目標値を大幅に上回った。 ◎美術講座参加者数　実績６，８７１人（目標１，７００人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
9	瀬戸内国際芸術祭推進事業 100,950千円		83.8%	100.0%	A	A	B	A	継続
	創造都市推進局 文化芸術振興課	（事業概要、事業実績等） ５回目となる瀬戸内国際芸術祭２０２２が、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で開催され、クラスター等の大きな問題もなく終えることができた。本市においては、女木島・男木島・大島及び高松港周辺でイベントを含む作品が展開された。高松港周辺については、屋島山上交流拠点施設「やしまーる」等の作品が新たに公開された。 ◎本市会場への年間来場者数 実績１５３，４２９人（目標１８３，０００人） ◎瀬戸内国際芸術祭２０２２開催準備進捗率　実績１００％（目標１００％） なお、前年度からの繰越事業である芸術祭準備事業については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：２，１４９，４００円）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
10	高松国際ピアノコンクール事業 27,860千円		32.7%	66.7%	A	A	B	C	継続
	創造都市推進局 文化芸術振興課	（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の影響により前年度から延期となった５回目となる高松国際ピアノコンクールを開催した。 なお、開催に当たっては、サンポートホール高松が改修中であったため、レクザムホールを会場とし、オンライン配信も行った。 また、推進事業の継続実施及び同コンクールのプレイベントにも取り組み、コンクール開催期間以外における関連イベントの充実を図り、より市民に親しまれ、地域に育まれていくコンクールとなるよう取り組んだ。 ◎ピアノコンクール入場者数　実績３，６００人（目標１１，０００人） ◎学校訪問リサイタル実施校数　実績４校（目標６校） なお、前年度からの繰越事業であるコンクールに関する事業は完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：２５，０６０，０００円）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
11	（評価対象外）瓦町アートステーション管理運営事業 5,544千円 創造都市推進局 文化芸術振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 本市の交通結節点における文化芸術活動の創造・発表・交流拠点としてコトデン瓦町ビル８階のＩＫＯＤＥ瓦町に整備している瓦町アートステーションの適切な管理運営を行った。また、業務委託により自主事業も実施した。							
12	（評価対象外）高松国分寺ホール管理運営事業 42,542千円 創造都市推進局 文化芸術振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 高松国分寺ホールは、本市西部地域における文化芸術活動の創造・発表・交流の拠点として整備したものであり、日本管財・ＪＴＢコミュニケーションデザイン共同事業体を指定管理者として指定し、同ホールの効果的な管理運営に努めるとともに、自主事業に対し、助成を行うことにより、本市における文化芸術の振興を推進した。							
13	高松市文化芸術ホール改修事業 314,808千円 創造都市推進局 文化芸術振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	100.0%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松市文化芸術ホールは、施設の老朽化等により大規模改修等の対応が必要になったため、令和３年度に改修及び更新実施設計業務を実施し、令和４・５年度に一部を除き休館の上で改修及び更新工事を実施している。 ◎文化芸術ホール改修進捗率　実績５８％（目標５８％） なお、予定していた支払時期が延期されたことなどにより、年度内に予算の執行が不可能となったため、事業費の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２１１，０５４，０００円）							
14	（評価対象外）文化芸術ホール管理運営事業 527,524千円 創造都市推進局 文化芸術振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） （公財）高松市文化芸術財団を文化芸術ホールの指定管理者として指定し、改修工事に伴う休館期間（一部除く）であることも考慮しながら、文化芸術ホールの効果的な管理運営に努めるとともに、同財団が実施するホームページ運用事業、財団自主事業に対し、助成を行うことにより、文化芸術の振興を推進した。							
15	（評価対象外）元香南陶芸館管理事業 4,319千円 創造都市推進局 文化芸術振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 令和２年度に建物を解体・除却した跡地について、隣接する池西農村環境改善センターとの一体的な利活用につなげるため、地上げ舗装、フェンス設置等の整備を行った。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
16	菊池寛記念館管理運営事業 14,792千円		132.3%		A	B	A	A	継続
	創造都市推進局 文化財課	（事業概要、事業実績等） 菊池寛の業績を顕彰し、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与するため、菊池寛や寛が創設した芥川賞・直木賞等に関する資料の収集、調査研究、保管及び展示を実施することにより、後世に残す適切な管理運営に効果があった。 ◎菊池寛記念館利用者数　実績６，６１４人（目標５，０００人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
17	美術館運営事業 65,927千円		118.2%	109.6%	A	A	A	A	継続
	創造都市推進局 美術館美術課	（事業概要、事業実績等） ファミリー向けの展覧会や、県外からの来館者を見込んだ展覧会に予想以上の集客があった。また、瀬戸内国際芸術祭との相乗効果も加わったことで、目標値を大幅に上回った。 ◎美術館主催展入場者数　実績６９，１５８人（目標５８，５００人） ◎展覧会鑑賞に満足した人の割合　実績９３．１３％（目標８５％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
18	（評価対象外）美術館管理事業 156,427千円								
	創造都市推進局 美術館美術課	（事業概要、事業実績等） 施設を適切に維持管理することで展覧会開催等の事業を実施し来館者の安全を確保した。 なお、部品の調達に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２，６４０，０００円）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
19	美術館資料収集事業 11,601千円		101.4%		A	A	A	A	継続
	創造都市推進局 美術館美術課	（事業概要、事業実績等） 質の高い作品を収蔵できたことに加え、これまでに購入・収蔵してきたコレクションに関わりの深い作品が寄贈され、一層コレクションが充実した。収集した美術品については、常設展等で公開しているが、本年度は特別展の集客が増加した影響や、瀬戸内国際芸術祭との相乗効果により、多数の集客があった。 ◎常設展入場者数　実績１８，５５５人（目標１８，３００人）							

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	文化財の保存・活用

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
510,333千円	D	28.6%	53.0%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政　策	文化芸術の振興と発信
担当局	創造都市推進局

対象	意図
本市の歴史文化遺産のなかで、国・県・市において指定する等、調査・保存・活用するのに相応しいもの	本市の歴史文化遺産の保存・管理と公開・活用を図る。

概要（実績）

史跡国分尼寺跡等で文化財的価値を明らかにするための確認調査や、開発事業に伴う事前の発掘調査を実施するとともに、指定等文化財の管理や伝承に係る補助金の支出、史跡地における除草や修繕等の維持管理を実施し、文化財の保存に寄与した。また、親子文化財教室や埋蔵文化財をテーマにした連載講座等の学習会を開催し、文化財の活用を進めた。

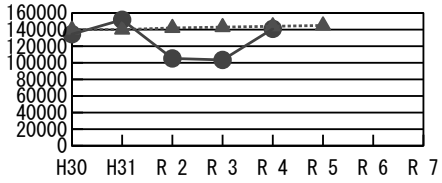
各施設においては、埋蔵文化財センターでは埋蔵文化財の情報発信、歴史資料館を始め各資料館・郷土館では、企画展及び講座等を開催し、適切な運営に努め、市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与した。史跡高松城跡・玉藻公園では、桜御門復元整備工事及び玉藻公園電気設備屋外配線路等工事を完了したほか、内堀仮設ヤード撤去工事、月見櫓改修工事を行うとともに、披雲閣大書院耐震補強工事実施設計を作成した。玉藻公園入園者数は、前年度比約２５９％増で、コロナ禍前の状況に戻りつつある。

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	歴史資料館等利用者数	140,927人	144,000人	97.9%

状況：歴史資料館ほか各館で企画展等の開催や教育普及活動等の充実を図るとともに、積極的な広報活動・周知に努め、前年度を大きく上回ったものの、目標を達成することができなかった。

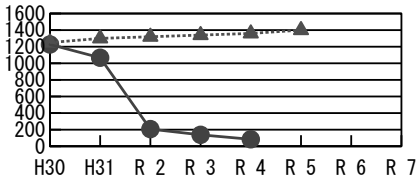
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
②	文化財学習会・体験講座参加者数	84人	1,360人	6.2%

状況：ふるさと探訪については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催できなかった。また親子文化財教室については、前年度と同様に午前・午後の２部制を取り入れたが、実施に相応しい広い会場の確保ができなかったことや、直前でのキャンセルが相次いだため、前年度の実績を下回る結果となった。

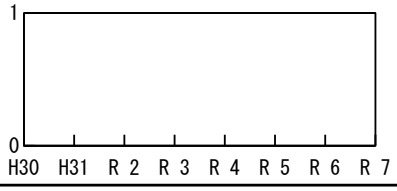
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
③				

状況：

達成度の推移



施策の課題

指定文化財の件数増加や披雲閣の耐震補強等により、適正に維持管理するためのコスト増が予想される。

施策の方向性

文化芸術の振興と発信という上位の政策を実現するためには、地域を特色づける文化財の保存と活用に関する事業を継続していくことは必要不可欠である。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	史跡石清尾山古墳群保存・整備事業 52,988千円 創造都市推進局 文化財課	一般重点	122.7%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 鶴尾神社４号墳保存対策については、前年度からの繰越事業である崖面補強工事実施設計を完了させるとともに、令和４年度事業として、空中レーザー測量及び図面作成業務委託を実施し、崖面補強工事に着手した。 ◎見学者数（累積）　実績２，４５４人（目標２，０００人） なお、崖面補強工事の着手に当たり地元関係者との協議に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：６６，２７０，０００円） また、前年度からの繰越事業である設計委託等については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：１０，３２１，３００円）							
2	（評価対象外）史跡讃岐国分寺・国分尼寺跡保存整備事業 13,639千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 史跡の内容を確認するため、公有化した土地において発掘調査を実施した。 なお、前年度からの繰越事業である史跡讃岐国分尼寺跡買上事業については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：１１，８５４，２８９円）							
3	史跡・天然記念物屋島保存・整備事業 1,725千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	A	B	A	統合
		（事業概要、事業実績等） 史跡・天然記念物屋島の価値の再確認及び新たな価値を発見するため、史跡・名勝・天然記念物の各分野において調査等を実施している。 また、令和４年度は、近代の凝灰岩石切丁場の調査に係る整理作業を実施するとともに、発掘調査報告書を刊行したほか、石の民俗資料館で調査成果に関する展示を行った。 ◎確認調査によって内容の詳細が判明した件数（累積） 実績６件（目標６件）							
4	高松城跡整備事業 196,502千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	102.2%	150.0%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 桜御門復元整備工事、披雲閣大書院耐震補強実施設計、月見櫓改修工事、天守等基礎調査事業等、文化財の確実な保存と活用のための取組を行った。 ◎玉藻公園の年間入園者数　実績２０６，５３８人（目標２０２，０００人） ◎披雲閣（大書院）耐震補強工事の進捗率　実績３０％（目標２０％） なお、月見櫓改修工事については、予定していた支払時期が延期されたことなどにより、年度内に予算の執行が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：３９，６５７，０００円） また、前年度からの繰越事業である桜御門復元整備事業については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：１２３，３２５，１６０円）							
5	玉藻公園整備事業 37,104千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			102.2%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 「高松市公園施設長寿命化計画」に基づき、玉藻公園の施設整備を行っており、令和４年度は屋外配線路等改修工事を実施した。 ◎玉藻公園の年間入園者数　実積２０６，５３８人（目標２０２，０００人）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
6	（評価対象外）文化財調査事業 19,882千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 市内の史跡及び埋蔵文化財包蔵地の内容を確認し、その保存・活用を通じて、地域の歴史や文化の顕在化を図ることができた。							
7	（評価対象外）文化財保存活用推進事業 17,559千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 指定文化財の管理・修理・伝承公開事業に対する補助金の支出、本市が所有する史跡地の除草及び施設修繕等、さらに、親子文化財教室等文化財学習会を開催し、文化財の保存と活用に寄与した。							
8	埋蔵文化財公開活用事業 1,909千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			136.7%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 市内に所在する史跡を始めとする埋蔵文化財を活用し、本市の新たな魅力発信や文化財保護に関する機運の醸成を行った。 ◎埋蔵文化財公開活用事業関連行事参加者数 実績８，７５１人（目標６，４００人）							
9	石の民俗資料館管理運営事業 25,847千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			120.1%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 石と人間の関わりの文化を観点に、資料の収集・保管・調査研究を行うとともに、展示等の情報発信、体験学習等の教育普及活動を実施した。 ◎利用人数　実績６７，２５８人（目標５６，０００人）							
10	香南歴史民俗郷土館管理運営事業 14,909千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			84.0%		A	A	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 香南地区の有力豪族由佐氏の居城跡という立地をいかし、高松南部地域の歴史資料館民俗資料の収集・保管・調査研究を行うとともに、展示等の情報発信、講座等の教育普及活動を実施した。 ◎利用人数　実績２６，０５０人（目標３１，０００人）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11 讃岐国分寺跡資料館管理運営事業 24,637千円 創造都市推進局 文化財課		102.0%		A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 特別史跡讃岐国分寺跡を保護し、文化財の保存及び活用を図るとともに、歴史的意義等を説明するため、展示等の情報発信、講座等の教育普及活動を実施した。 ◎利用人数　実績２２，９４３人（目標２２，５００人）							
12 （評価対象外）玉藻公園管理運営事業 67,789千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 玉藻公園の管理運営を指定管理者への委託等によって実施した。							
13 （評価対象外）四番丁スクエア等管理運営事業 11,338千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 埋蔵文化財の整理作業及び展示等の普及啓発を実施するとともに、コミュニティ連合会及び創造支援センターの複合施設並びに学校開放及び地域活動の場を維持する上で、必要な施設管理を実施した。							
14 （評価対象外）歴史資料館管理運営事業 16,220千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 本市の歴史民俗資料の収集・保管・調査研究を行うとともに、適切な管理運営を行い、歴史・考古・民俗等に関する市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与した。							
15 歴史資料館教育普及活動事業 2,451千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		88.8%	86.5%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） サンクリスタル学習等による来館型学習、展示関連講座等の開催、郷土の歴史や文化についての興味を喚起し、知識を深められる教育普及活動を実施した。 ◎教育普及活動の受講者数　実績４，２６１人（目標４，８００人） ◎サンクリスタル学習参加校数　実績３２校（目標３７校）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">16</td><td rowspan="2">歴史資料館常設展事業
5,834千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>81.1%</td><td>52.9%</td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>B</td><td>継続</td></tr>
<tr><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
本市の歴史民俗資料の収集・保管・調査研究のほか、資料整理による収蔵品システムへのデータ登録を実施した。また、企画展を４展、ロビー展等を８展開催した。

◎展覧会観覧者数　実績２０，２６６人（目標２５，０００人）
◎収蔵品システムＨＰアクセス数
実績１０，５７８回（目標２０，０００回）</td></tr>
<tr><td colspan="2">創造都市推進局
文化財課</td><td colspan="8"></td></tr>
</table>

令和４年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
	政　策	元気を生み出すスポーツの振興

総合評価
D

１　政策の概要

元気を生み出すスポーツの振興を図るため、スポーツ活動の促進や屋島競技場などスポーツ施設の整備を行うほか、市民スポーツフェスティバルの見直しやスポーツ関係団体間の連携強化に取り組むとともに、地域密着型トップスポーツチームの支援や、東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会に伴う事前合宿の誘致等により、市民が、スポーツを「する、観る、支える（育てる）」ことのできる環境を整えます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
スポーツの振興	55%	D
平均	55%	D

３　政策の評価

元気を生み出すスポーツの振興に向けて、１施策に取り組んだ。
「スポーツの振興」では、設定する３つの成果指標について、新型コロナウイルス感染症の影響による大会の入場制限などから、目標に届かなかった。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は５５％となり、政策の目指す目標の達成に向けて一層の取組が必要であることから、本政策の総合評価は「D」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
スポーツの振興	25.5%	14.2%	55.9%
平均	25.5%	14.2%	55.9%

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	スポーツの振興

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
1,086,021千円	D	25.5%	55.9%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政　策	元気を生み出すスポーツの振興
担当局	創造都市推進局

対象	市民	意図	スポーツ活動の推進やスポーツ施設の整備を行い、スポーツの振興を図る。

概要（実績）

スポーツ施設等管理運営事業については、指定管理者と連携し、各種ガイドラインに則り、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に努めるなど適切な管理運営を行った。また、国分寺橘ノ丘総合運動公園において照明灯改修工事等を行い施設環境を充実させた。全国高校総体（２０２２）推進事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、入場者の制限を行いながら４競技（バスケットボール、自転車競技、フェンシング、新体操）を開催し、延べ約１７，０００人の来場者があり、本市のスポーツ振興に寄与した。障がい者スポーツ推進事業については、「車いすラグビー合宿」の開催に合わせ「車いすラグビー体験教室」を実施し、多様性や共生社会の実現に向けて、関心を高めた。また、障がい者スポーツの普及・啓発の一環として、パラスポーツ用品を拡充させ、市民への貸出を行うことで意識の高揚や健康増進に寄与した。地域密着型トップスポーツチーム支援事業については、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上でホームタウンデー等を実施し、市民に試合観戦・応援機会の提供を通じて、認知度の向上やスポーツへの関心等につなげた。

成果指標

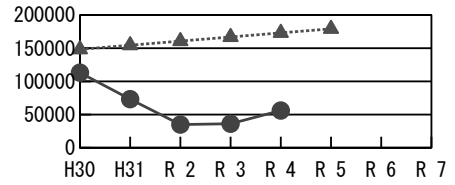
①

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
トップスポーツチーム試合観戦者数	56,092人	173,100人	32.4%

状況

新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ禍前と比較していずれのチームも観客数は下回ったが、前年度と比較して観客数は増加した。

達成度の推移



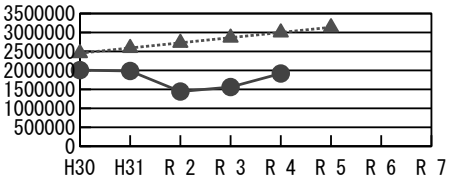
②

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
社会体育施設利用者数	1,917,984人	3,000,500人	63.9%

状況

かわなべスポーツセンタープール及び浴室の工事に伴う休業のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により、大会の入場制限の実施や合宿の中止等から、前年度と比較して増加したものの、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



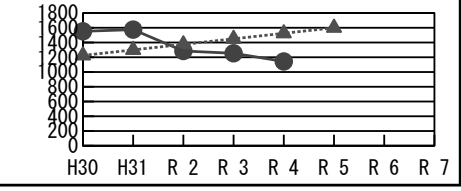
③

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
トップスポーツ４チームの後援会等会員（高松市民）数	1,143人	1,525人	75.0%

状況

前年度と比較して、いずれのチームも微減となった。なお、香川オリーブガイナーズは、令和２年度から後援会がなくなっている。

達成度の推移



施策の課題

市民ニーズが多様化する中、市民ニーズの的確な把握に努めるとともに、スポーツ振興の更なる推進のため、これまで以上に行政と市民が協働・連携する方策の検討が必要である。

施策の方向性

引き続き、高松市スポーツ推進計画に基づき、スポーツ振興の推進を図る。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	学校体育施設開放事業 17,536千円 創造都市推進局 スポーツ振興課		78.0%		A	A	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 利用者数は増加傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ禍前の利用者数の水準には回復しなかった。 ◎中学校体育施設開放利用者数　実績４２，０９６人（目標５４，０００人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
2	市民スポーツ活動推進事業 46,689千円 創造都市推進局 スポーツ振興課		86.3%		A	A	A	A	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 市、高松市スポーツ協会が主催し、高松市スポーツ推進委員連絡協議会が主管となり、地区対抗競技大会を開催している。 新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ禍前の参加チーム数の水準には回復しなかった。 ◎主催６大会参加者チーム数　実績６９チーム（目標８０チーム）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
3	障がい者スポーツ推進事業 8,878千円 創造都市推進局 スポーツ振興課		170.0%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） コロナ禍においても、参加者がイベントに安心して参加できるよう、人数制限や実施種目を見直す等、保健所とも協議・検討しながらイベントを実施した。 また、地区体育協会やコミュニティ協議会への働き掛けにより、各地域でのパラスポーツ体験のイベント件数が増加しており、障がい者スポーツの振興に寄与した。 ◎障がい者スポーツの振興に関するイベント件数　実績１７件（目標１０件）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
4	全国高校総体（２０２２）推進事業 39,796千円 創造都市推進局 スポーツ振興課	一般重点	100.0%		A	B	B	A	完了
		（事業概要、事業実績等） 令和４年度は、大会開催年度となるため、４月に本市実行委員会の総会を開催し、大会開催に向けて入札等の準備を進めた。 ７、８月に大会を開催し、無事に大会を終えることができた。大会終了後は、会計処理や報告書のとりまとめを行い、令和５年１月に本市実行委員会総会を開催し、事業報告等を行い、令和５年３月３１日に同実行委員会を解散し、事業を完了した。 ◎全国高校総体実施準備進捗率　実績１００％（目標１００％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
5	（評価対象外）スポーツ施設等管理運営事業 961,389千円 創造都市推進局 スポーツ振興課								
		（事業概要、事業実績等） スポーツ施設の維持管理を行い、管理経費の削減にも配慮する中でサービスの向上を図り、市民が気軽に気持ちよく安心して利用できるスポーツの場を提供した。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">6</td><td rowspan="2">地域密着型トップスポーツチーム支援事業

11,733千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>32.4%</td><td>130.9%</td><td>A</td><td>B</td><td>D</td><td>C</td><td>継続</td></tr>
<tr><td>創造都市推進局
スポーツ振興課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
地域密着型トップスポーツチームに対する支援として、ホームタウンデーや児童観戦誘致事業等、市民に試合観戦・応援の機会を提供し、チーム独自の教室開催により認知度の向上や市民の「観るスポーツ」「するスポーツ」への関心等につなげた。

◎地域密着型トップスポーツチームのホームゲームでの観客数
実績５６，０９２人（目標１７３，１００人）
◎地域密着型トップスポーツチームの市内でのスポーツ教室参加者数
実績２，２２６人（目標１，７００人）</td></tr>
</table>

令和４年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
	政　策	訪れたくなる観光・ＭＩＣＥ（マイス）の振興

総合評価
B

１　政策の概要

訪れたくなる観光・ＭＩＣＥ（マイス）の振興を図るため、観光に携わる様々な主体が連携・協力し、魅力あるイベントの振興など、観光資源の活用と創出に取り組むとともに、旅行者が安心して快適に、移動、滞在、観光ができる受入環境を整備します。

また、本市の観光都市としてのブランドイメージを創出するとともに、国内外への、様々な媒体を活用した効果的・戦略的な情報発信と、ＭＩＣＥ（マイス）による観光客誘致の推進に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
観光客受入環境の整備	95%	A
観光客誘致の推進	61%	C
平均	78%	B

３　政策の評価

訪れたくなる観光・ＭＩＣＥ（マイス）の振興に向けて、２施策に取り組んだ。

「観光客受入環境の整備」では、設定する２つの成果指標について、目標を達成又はおおむね達成した。

「観光客誘致の推進」では、設定する３つの成果指標のうち、まつり・イベント入込客数及びコンベンション数において、新型コロナウイルス感染症の影響による開催日数の減少や外国人の入国制限などから、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は７８％となり、政策全体として目指す方向におおむね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「Ｂ」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
観光客受入環境の整備	29.6%	13.5%	63.5%
観光客誘致の推進	25.9%	19.9%	60.9%
平均	27.8%	16.7%	62.2%

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	観光客受入環境の整備

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
729,710千円	A	29.6%	63.5%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政　策	訪れたくなる観光・ＭＩＣＥの振興
担当局	創造都市推進局

対象	意図
観光資源及び観光客・ＭＩＣＥに関わる全ての事業者、市民、行政機関等	受入態勢を充実させ、訪れる人の満足度が向上し、再来訪意向の割合が高まる。

概要（実績）

来訪者の滞在中の満足度を向上させるために、高松中央商店街等において公衆無線ＬＡＮサービスの面的な提供を継続した。また、同サービスは、災害発生時に災害情報を自動的に発信するもので、危機管理面でも有効な事業となっている。

また、本市の観光拠点である玉藻公園において、観光コンテンツであるバーチャル高松城や和船事業を継続しつつ、民間事業者と連携し、文化資源の高付加価値化促進事業として「ＳＡＮＵＫＩ　ＲｅＭＩＸ」において、桜御門のプロジェクションマッピングを実施し、夜型観光促進にも取り組んだ。

屋島活性化については、屋島山上交流拠点施設の令和４年８月供用開始を機に、施設の指定管理者や周辺の民間施設などと連携を図りながら、屋島地域ならではの魅力や特色をいかした、新たなコンテンツの造成等に取り組んだ。

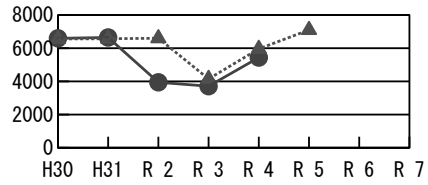
塩江温泉郷活性化については、施設建築物の実施設計を行うとともに、既存施設の解体工事、造成工事を実施した。

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	観光施設等利用者数	5,437千人	5,960千人	91.2%

状況：新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための移動制限や外国人の入国制限等の緩和により、令和３年度より大幅に回復したものの、目標を達成することができなかった。

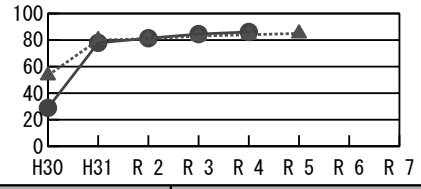
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
②	香川県への再来訪意向割合	86.1%	84%	102.5%

状況：「ぜひ来たい」の割合が令和３年度の４０．２％から３７．３％に減少、「来たいと思う」の割合が４４．３％から４８．８％に増加し、これらの合計は８６．１％となり、目標を達成することができた。

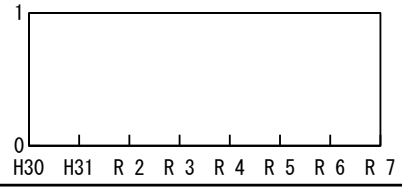
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
③				

状況：

達成度の推移



施策の課題

観光キャッチコピーやロゴマークの普及を推進するとともに、行政、民間、市民が一体となった観光まちづくりの推進体制を構築することによって、観光関連事業者による持続可能な事業の創出及び実施を積極的に促していく必要がある。

施策の方向性

高松ならではの歴史や文化などの地域特性を活用しながら、新たな観光資源の発掘及び情報発信、魅力あるハード整備の実施、ポストコロナを見据えて観光客を受け入れる市民等の機運の醸成などを通して、来訪者の満足度を向上する受入環境を形成し、魅力のある観光まちづくりを推進する。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	観光イベント振興事業 158,767千円 創造都市推進局 観光交流課		48.3%		A	A	B	C	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 各地域のまつり等に対し補助を行うことで、３９万人を超える入込客があり、地域のにぎわい創出、観光振興に寄与した。 ◎まつり・イベント入込み客数　実績３９０千人（目標８０８千人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
2	観光客受入環境整備事業 4,626千円 創造都市推進局 観光交流課		125.7%	102.5%	A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） サンポート高松地区及び高松中央商店街等において、平成２８年３月から導入している公衆無線ＬＡＮの運用を継続した。 香川県への再来訪意向割合は前年度の８４．５％から８６．１％と増加し目標値も上回った。 ◎Ｗｉｆｉ（外国語）アクセス数 実績１３，２９５件（目標１０，５８０件） ◎香川県再来訪意向（ぜひ来たい、来たい）　実績８６．１％（目標８４％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
3	観光ボランティアガイド育成事業 創造都市推進局 観光交流課		91.1%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松を訪れる観光客の満足度向上を図るため、市内の歴史・文化・自然及び特産品等の正しい知識を紹介できるよう、本市の観光地を案内・紹介する観光ボランティアガイドの育成を行った。 なお、新型コロナウイルス感染症の行動制限が落ち着き、県外からの観光客が一定数戻ったことにより、前年度と比べると、利用者数は増加した。 ◎観光施設等利用者数　実績５４３万人（目標５９６万人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
4	観光連携プラットフォーム推進事業 創造都市推進局 観光交流課		82.8%		A	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、高松観光まちづくりネットワーク推進委員会の会議は中止していたが、感染症収束後の令和５年２月に会議を開催し、関係者と委員会の意義について協議するとともに、体制の見直し、各団体の現状や今後の課題などの共有を行った。 ◎香川県の延べ宿泊者数　実績３２８万人（目標３９６万人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
5	高松城跡（玉藻公園）を活かした観光振興事業 4,657千円 創造都市推進局 観光交流課		102.2%		A	B	B	A	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 高松城跡（玉藻公園）の魅力向上を図るため、バーチャル高松城事業、和船乗船体験事業を始め、各種イベントを展開し、新型コロナウイルス感染症の影響が残りつつも観光客の移動も回復傾向にあり、来園者数は増加した。 ◎高松城跡（玉藻公園）入園者数 実績２０６，５３８人（目標２０２，０００人）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6 温泉をいかした塩江地域の観光振興事業 267,170千円 創造都市推進局 観光エリア振興室	特別重点	97.5%		A	A	B	A	拡充
	（事業概要、事業実績等） 塩江温泉郷を「オンリーワンの価値を持つ温泉郷」に磨き上げるための指針として、平成２９年３月に策定した「塩江温泉郷観光活性化基本構想」に基づき、各種取組を検討・実施した。 ◎塩江温泉郷観光入込客数　実績５８，５１９人（目標６０，０００人） なお、関係機関協議等に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２７６，１８７，０００円） また、前年度からの繰越事業である塩江道の駅エリア整備に伴う各種工事及び調査業務については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：１０６，７８１，５００円）							
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
7 屋島活性化推進事業 228,173千円 創造都市推進局 観光エリア振興室	一般重点	90.5%		A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 瀬戸内海国立公園及び史跡・天然記念物という特性をいかしながら、屋島全体の活性化を目指すため、平成２５年１月に策定した「屋島活性化基本構想」に基づき、屋島を訪れる観光客のニーズ等に応じた、新たな価値や魅力を創成する各種取組を展開した。 ◎屋島山上入込客数　実績６３３，５５６人（目標７００，０００人） なお、前年度からの繰越事業である高松市屋島山上交流拠点施設パノラマ展示室整備業務委託や屋島西町排水管布設工事等については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：８５，８６５，６７０円）							
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
8 男木島灯台資料館管理運営事業 2,585千円 創造都市推進局 観光交流課		72.1%		A	A	A	B	改善継続
	（事業概要、事業実績等） 男木島灯台資料館の管理運営を、地元の男木島観光協会に委託し、観光客からの施設観覧の要望に応じて開館し、案内を行った。 令和４年度は瀬戸内国際芸術祭開催年だったこともあり、当施設の利用者は前年度に比べ大幅に増加した。 しかしながら、高松空港の国際線再開が同芸術祭閉会後であったこと等から、海外からの観光客数が伸び悩んだため、目標値の達成には至らなかった。 ◎令和４年度施設利用者数　実績７，２１０人（目標１０，０００人）							
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
9 （評価対象外）鬼ヶ島おにの館管理運営事業 12,905千円 創造都市推進局 観光交流課								
	（事業概要、事業実績等） 女木港付近に、鬼に関する資料館及びフェリー待合所を兼ねた施設として整備した、高松市鬼ヶ島おにの館については、地元の特定非営利活動法人瀬戸内・女木アイランド振興会を指定管理者として、管理運営を行った。２０２２年は瀬戸内国際芸術祭の開催年であったため、例年よりも多くの観光客が当地を訪れた。 また、想定外の著しい原油・物価高騰の影響に対応するため、指定管理料の追加支出を行った。 令和３年度利用者数：　５６，８３５人 令和４年度利用者数：１４２，９３８人 指定管理料（当初）　：１２，３９５千円 指定管理料（増額分）：　　５１０千円 指定管理料（最終）　：１２，９０５千円							
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
10 （評価対象外）純愛の聖地庵治・観光交流館管理運営事業 4,384千円 創造都市推進局 観光エリア振興室								
	（事業概要、事業実績等） 映画のロケーション地としての観光資源をいかすこと等によって観光の振興を図り、観光客と市民に憩いと交流の場を提供するために設置した純愛の聖地庵治・観光交流館については、令和４年７月から、新しい指定管理者による管理運営を行った。 利用者数　実績１，５６６人							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
11	（評価対象外）太鼓の鼻オートキャンプ場等管理運営事業 創造都市推進局 観光エリア振興室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 瀬戸内海を望むロケーションで、自動車を利用したキャンプができる場所等を提供し、市民の健康増進と相互の交流の促進に寄与するために設置した太鼓の鼻オートキャンプ場については、当施設を活用する民間事業者を公募することとしたため、令和４年４月から休館し、直営で閉鎖管理を行った。 利用者数　実績０人							
12	（評価対象外）香南楽湯管理運営事業 18,703千円 創造都市推進局 観光エリア振興室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 市民に健康増進、保養及び憩いの場を提供し、市民福祉の向上を図り、あわせて市の産業と観光の振興に寄与するために設置した香南楽湯（道の駅を構成する物販・レストラン・公衆浴場部分）については、引き続き、指定管理者による管理運営を行うとともに、県整備部分（駐車場、手洗い場）の清掃等管理を委託した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことにより、利用者は昨年度より増加した。 また、想定外の著しい原油・物価高騰の影響に対応するため、指定管理料の追加支出を行った。 利用者数　実績１２５，７５６人							
13	（評価対象外）道の駅源平の里むれ管理運営事業 13,402千円 創造都市推進局 観光エリア振興室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 観光及び地場産業の振興並びに道路利用者の利便性の向上に資するために設置した「道の駅源平の里むれ」については、引き続き、指定管理者による管理運営を行うとともに、道の駅の国整備部分（駐車場、手洗い場）の清掃等管理を委託した。 また、想定外の著しい原油・物価高騰の影響に対応するため、指定管理料の追加支出を行った。 利用者数　実績３８２，１７６人							
14	（評価対象外）塩江湯愛の郷センター管理運営事業 10,274千円 創造都市推進局 観光エリア振興室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 温泉資源を活用して市民の健康を保持・増進し、レクリエーション等の場を提供した。また、観光及び地場産業の振興に資するために設置した塩江湯愛の郷センター（行基の湯、道の駅しおのえ）及び奥の湯公園については、指定管理者による管理運営を行うとともに、県整備部分（駐車場、手洗い場）の清掃等管理を委託した。 また、想定外の著しい原油・物価高騰の影響に対応するため、指定管理料の追加支出を行った。 利用者数実績 浴場施設（行基の湯）：３６，２６７人 道の駅しおのえ：１１３，２０１人 塩江奥の湯公園キャンプ場：９０３人（内日帰り：３７６人）							
15	（評価対象外）温泉水給水事業 4,064千円 創造都市推進局 観光エリア振興室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 観光の振興及び市民福祉の向上を図るため、塩江町上西地区にある奥の湯温泉１号井から塩江地区まで約７キロの給水管を配管して、公共施設のほか、地域の旅館・ホテルに温泉水を送水している。 送水箇所　　１０か所 使用量　　１９，３６９トン							

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	観光客誘致の推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
248,190千円	C	25.9%	60.9%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政　策	訪れたくなる観光・ＭＩＣＥの振興
担当局	創造都市推進局

対象	国内外の観光旅行及びＭＩＣＥを予定している人	意図	本市への観光客及び交流人口が増加する。

概要（実績）

コロナ禍で苦境の宿泊事業者を中心とする市内観光関連産業の活力維持を目的とした、本市への再来訪及び宿泊を促進する、独自の宿泊助成キャンペーン事業を実施した。また、新しい生活様式の実践を踏まえた、サステナブルな観光コンテンツを造成を促すため、採択１３事業に対する補助金の給付を実施した。

本市観光情報サイト「エクスペリエンス高松」において、同サイトのトップページで芸術祭をＰＲする仕様とし、その中で、アート作品の魅力のみならず、上記のお役立ち情報や集約した飲食店情報を発信した。

（公財）高松観光コンベンション・ビューローや香川県ＭＩＣＥ誘致推進協議会と連携しながら、ＭＩＣＥ誘致に取り組んで来た結果、Ｇ７香川・高松都市大臣会合の誘致を実現し、香川県と共同で令和５年度の開催に向けて、会合の準備を行った。

成果指標

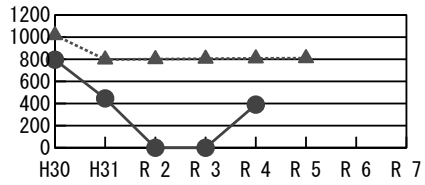
①

指標名	まつり・イベント入込客数	R 4実績	R 4目標	達成度
		390千人	808千人	48.3%

状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策として、開催日数を少なくするなど、規模を一部縮小して開催したため、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



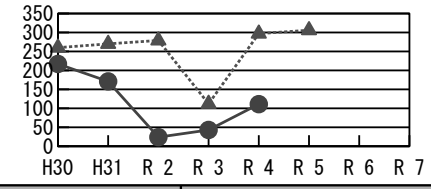
②

指標名	コンベンション数	R 4実績	R 4目標	達成度
		111件	297件	37.4%

状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための移動制限や外国人の入国制限の影響を受け、目標を達成することができなかったものの、前年度から大幅に回復している。

達成度の推移



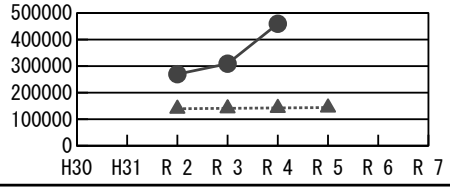
③

指標名	エクスペリエンス高松（ホームページ）閲覧件数	R 4実績	R 4目標	達成度
		459,531件	142,500件	322.5%

状況

本市ならではの体験型コンテンツや観光資源を紹介する記事を蓄積するとともに、旅ナカでのお役立ち情報の充実を図る等、サイトのクオリティの底上げを図り、令和４年度は瀬戸内芸術祭の情報発信も加わり、ホームページ閲覧数は目標を達成することができた。

達成度の推移



施策の課題

香川県ＭＩＣＥ誘致推進協議会の発足に伴い、政府系国際会議や大規模ＭＩＣＥの誘致及び開催支援体制の強化が図られているところであり、政府系国際会議の誘致に向けて県との連携を更に緊密にする必要がある。

また、参加者向けプロモーション映像を効果的に活用し、ＭＩＣＥ誘致を促進する。

また、「エクスペリエンス高松」やＳＮＳ、観光パンフレットにおいて、更なる観光資源の発掘や効果的な観光情報発信を行う方法について検討を行うとともに、インスタグラムを効果的に活用することで、本市の魅力を若い世代にも拡散していく。

施策の方向性

平成２９年３月に策定した高松市ＭＩＣＥ振興戦略に基づき、（公財）高松観光コンベンション・ビューローや香川県ＭＩＣＥ誘致推進協議会と連携しながら、本市ならではのＭＩＣＥ振興を図る。あわせて、「エクスペリエンス高松」や観光パンフレットにおいて、本市ならではの体験型コンテンツの紹介及び旅ナカでのお役立ち情報の充実を図ることで、高松の魅力を発信する観光宣伝活動を行うとともに、県や（公財）高松観光コンベンション・ビューロー等と連携した誘客促進策を展開する。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	観光客誘致宣伝事業 48,980千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			91.1%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） ポストコロナにおける旅行需要の高まりを見据え、高松が旅の目的地として選定されるよう誘客型観光パンフレットを刷新し、都市部に設置した。 なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、目標達成には至らなかった。 ◎観光施設等利用者数　実績５４３万人（目標５９６万人）							
2	「気持ち高まる、高松。」シティプロモーション事業 5,158千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			71.8%	86.2%	A	A	B	B	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 日・英・韓・繁体・簡体の５言語に対応した本市観光サイト「エクスペリエンス高松」において、本市ならではの体験型コンテンツや観光スポット、旅ナカでのお役立ち情報など、地域資源の魅力を広く発信した。 ◎地域魅力度市区町村順位（地域ブランド調査） 実績１０９位（目標８５位） ◎高松市への愛着度（１８～２９歳）（市民満足度調査） 実績８１．０％（目標９４％）							
3	共同観光宣伝事業 5,098千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			91.1%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 他自治体と連携して国内誘客キャンペーンを実施したほか、わがかがわ観光推進協議会のパンフレット制作を実施することができた。 ◎観光施設等利用者数　実績５４３万人（目標５９６万人）							
4	誘客促進事業 80,602千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	82.8%	91.1%	A	A	D	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 香川県、香川県観光協会、（公財）高松観光コンベンション・ビューローなどと連携して、定期路線のある東アジアからのインバウンド誘客について、情報発信を中心に取り組んだ。 なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、不要不急の移動の自粛などにより観光客数が激減したことで、目標数を下回った。 ◎香川県の延べ宿泊者数　実績３２８万人（目標３９６万人） ◎観光施設等利用者数　実績５４３万人（目標５９６万人）							
5	観光コンベンション振興推進事業 60,783千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			74.4%		A	A	B	B	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 観光客及びＭＩＣＥ誘致を図るために、（公財）高松観光コンベンション・ビューローに運営補助金を交付し、サンポート地区でのイベント開催やＭＩＣＥ振興に取り組み、前年度比１７．２％の増加となった。 ◎高松シンボルタワー来場者数 実績１，５０５，０００人（目標２，０２４，０００人）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><td rowspan="4">6</td><td rowspan="3">国際観光都市推進事業

300千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>18.2%</td><td></td><td>A</td><td>A</td><td>C</td><td>D</td><td>継続</td></tr>
<tr><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
日本のインバウンド市場拡大を目的とした国際観光振興機構に加盟し、インバウンド誘致や宣伝活動に取り組んだものの、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により海外路線が運休となったため、昨年度同様、観光客は激減した。

◎観光案内所利用者数（外国人）　実績４，０００人（目標２２，０００人）</td></tr>
<tr><td>創造都市推進局
観光交流課</td></tr>
<tr><td rowspan="4">7</td><td rowspan="3">ＭＩＣＥ振興事業

47,269千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>37.4%</td><td></td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>D</td><td>改善継続</td></tr>
<tr><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
平成２９年３月に策定した高松市ＭＩＣＥ振興戦略に基づき、（公財）高松観光コンベンション・ビューローや香川県ＭＩＣＥ誘致推進協議会と連携して、ＭＩＣＥ誘致及び開催支援に取り組んだが、コンベンション数は、目標数を下回った。

◎コンベンション数　実績１１１件（目標２９７件）</td></tr>
<tr><td>創造都市推進局
観光交流課</td></tr>
</table>

令和４年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
	政　策	国際・国内交流の推進と定住の促進

総合評価
D

１　政策の概要

海外の姉妹・友好都市等との親善交流や民間団体への助成を通して、国際交流の推進を図るとともに、地域に暮らす全ての人々が文化や習慣の違いを認めながら、共に生活していく多文化共生のまちづくりを進めます。
また、国内の各都市との交流を推進することにより、交流人口の増加や地域の活性化に努めます。
また、たかまつ移住応援隊による市民目線での本市の魅力発信など、移住・交流の促進に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
国際・国内交流の推進	21%	D
移住・交流の促進	63%	C
平均	42%	D

３　政策の評価

国際・国内交流の推進と定住の促進に向けて、２施策に取り組んだ。
「国際・国内交流の推進」では、設定する２つの成果指標において、新型コロナウイルス感染症の影響などから、目標に届かなかった。
「移住・交流の促進」では、設定する２つの成果指標のうち、年間社会増において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は４２％となり、政策の目指す目標の達成に向けて一層の取組が必要であることから、本政策の総合評価は「D」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
国際・国内交流の推進	17.9%	12.0%	44.6%
移住・交流の促進	14.5%	20.1%	51.4%
平均	16.2%	16.1%	48.0%

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	国際・国内交流の推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
16,189千円	D	17.9%	44.6%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政　策	国際・国内交流の推進と定住の促進
担当局	創造都市推進局

対象	市民	意図	海外の姉妹・友好都市や国内の提携都市等との多彩な交流活動を推進し、国内外の様々な地域との相互理解を深める。

概要（実績）

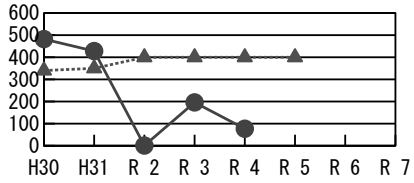
国際交流については、海外の姉妹・友好都市等との間で交流事業を推進するとともに、（公財）高松市国際交流協会の実施する事業に対して助成することにより、市民レベルでの交流活動を促進した。
また、英語及び中国語に専門性を有する職員を配置し、翻訳業務を行ったほか、在住外国人への情報提供や市役所を訪れる外国人に対して通訳支援を行った。
国内交流については、都市提携をしている都市との交流を行うことにより、交流人口の増加につなげた。

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	姉妹・友好都市等との交流事業参加者数	77人	400人	19.3%

状況：新型コロナウイルス感染症の影響により、姉妹・友好都市等との交流がオンラインでの実施にとどまったことなどから、目標を達成することができなかった。

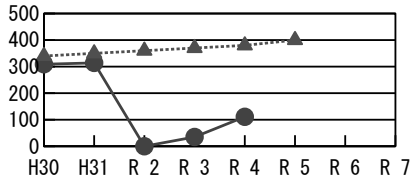
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
②	国内の提携都市との交流事業参加者数	111人	380人	29.2%

状況：新型コロナウイルス感染症の影響により、国内の提携都市との相互訪問による交流事業を、人数制限を設けて実施したことから、交流事業参加者数は前年度より増加したものの、目標を達成することができなかった。

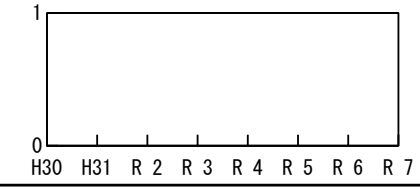
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
③				

状況：

達成度の推移



施策の課題

国際交流・国内交流ともに、新型コロナウイルス感染症の影響により、交流事業を計画どおりには実施することができなかった。今後、新型コロナウイルス感染症の収束状況を踏まえた、交流事業の在り方等について検討する必要がある。

施策の方向性

国際交流においては、姉妹・友好都市等との交流を推進することにより、市民が異なる文化や習慣を理解し、尊重することのできる国際感覚の醸成を図る。
国内交流においては、提携都市との交流を推進することにより、人が行きかう、活力あるまちづくりを進める。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）魅力にあふれ人が輝く創造都市推進事業 557千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 創造都市推進審議会及び創造都市推進懇談会を開催し、委員の意見を反映させながら策定した「第２次高松市創造都市推進ビジョン」に掲載される、各種創造的事業の進捗管理を行ったほか、国内の創造都市の普及・発展を図ることを目的に設立された創造都市ネットワーク日本の活動にも積極的に参画するなど、「創造都市高松」の実現に寄与した。							
2	国際交流推進事業 3,251千円 創造都市推進局 都市交流室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			19.3%		A	A	C	D	継続
		（事業概要、事業実績等） 海外の姉妹・友好都市等との間で、交流事業を推進するとともに、（公財）高松市国際交流協会の実施する事業に対して助成を行うことにより、国際交流を推進した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、姉妹・友好都市等との交流がオンラインでの実施にとどまったことなどから、目標を達成することができなかった。 ◎姉妹・友好都市等との交流事業参加者数　実績７７人（目標４００人）							
3	多文化共生推進事業 10,631千円 創造都市推進局 都市交流室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			27.6%		A	A	D	D	継続
		（事業概要、事業実績等） 高い外国語能力を有する職員３人を配置し、行政情報等の翻訳業務を行ったほか、市役所を訪れる外国人に対して通訳支援を行った。 また、「外国人対応に係る庁内連絡会議」を開催し、庁内において、外国人対応を円滑に行うための情報共有や意見交換等を行った。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響による外国人来庁者の減少などにより、通訳・翻訳の機会が減少したことから、目標を達成することができなかった。 ◎通訳・翻訳回数　実績２０４回（目標：７４０回）							
4	姉妹城都市等観光交流事業 1,250千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			66.7%		A	A	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 本市において物産展を開催するとともに、姉妹城都市において開催される物産展に参加することにより、本市の観光や特産品のＰＲ及び都市間の交流を推進した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった交流イベントがあったことから、目標を達成することができなかった。 ◎交流イベント等開催回数　実績２回（目標３回）							
5	国内交流推進事業 500千円 創造都市推進局 都市交流室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			29.2%		A	A	B	D	継続
		（事業概要、事業実績等） 国内の提携都市との間で、相互訪問による交流事業を実施したことにより、地域間交流を推進した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、交流事業を、人数制限を設けて実施したことから、交流事業参加者数は前年度より増加したものの、目標を達成することができなかった。 ◎交流事業参加者数　実績１１１人（目標３８０人）							

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	移住・交流の促進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
37,424千円	C	14.5%	51.4%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政　策	国際・国内交流の推進と定住の促進
担当局	市民政策局

対象

市外に居住しており、地方への移住を考えている人

意図

首都圏に居住している若い世代を中心に、本市への移住者を増加させることにより、たかまつ創生総合戦略に掲げる数値目標の一つである「令和６年に１年間の社会増を１，０００人」の実現を目指す。

概要（実績）

令和２年度及び３年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県外の移住希望者を対象とする交流会や移住フェアなどのイベントをオンラインで開催したが、４年度においては、対面又は対面とオンラインのハイブリッド型で実施することができ、イベント等への参加者数が増加した。

また、「瀬戸・たかまつ移住＆キャリアサポートセンター」において、首都圏から瀬戸・高松広域連携中枢都市圏への移住や就職に関する相談対応を継続して実施した。

成果指標

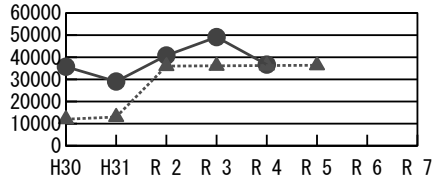
①

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
高松市移住ナビ（ホームページ）閲覧件数	36,684件	36,260件	101.2%

状況

高松市移住ナビの閲覧件数は、前年度より減少したものの目標を達成することができた。

達成度の推移



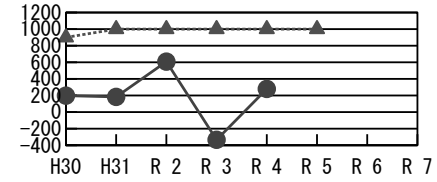
②

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
年間社会増	279人	1,000人	27.9%

状況

令和４年の社会動態は、令和３年の社会減から社会増に転じたが、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

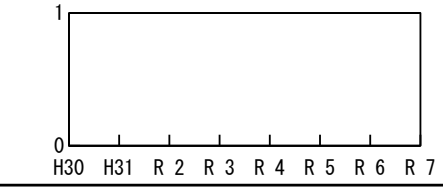


③

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度

状況

達成度の推移



施策の課題

働き方の多様化や転職なき移住に対する関心の高まりなど、移住・定住促進施策を取り巻く環境の変化を踏まえ、これまでの「高松市移住・定住促進方策」を見直し、令和５年３月に「たかまつライフ促進プラン」を策定した。

若い世代を中心に、本市から大都市圏への転出超過の傾向が継続しているため、今後、同プランに基づく、大都市圏在住者の転職なき移住の促進や市内出身の若者のＵターンにつながる効果的な取組の推進、東京圏等におけるシティプロモーションの取組と連携した関係人口の更なる創出・拡大に取り組む必要がある。

施策の方向性

本市が移住先として選ばれるよう、テレワークを活用した柔軟で多様な働き方の広がりなど、社会情勢の変化を踏まえながら、転職なき移住や二地域居住の促進、関係人口の創出・拡大につながる独自性のある取組のほか、若者や子育て世代のＵターン移住や地元定着につながる取組を積極的に推進する。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	政策コンテスト開催事業 3,600千円 市民政策局 政策課	一般重点	105.3%		A	B	C	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 本市が将来も若者から選ばれるまちとなるよう、将来を支える若者のアイデアを本市の政策に取り入れるとともに、若者の地元への愛着を深め、地元に定着させることを目的として、政策コンテストを開催した。 ◎コンテスト参加者アンケートによる愛着が高まったとする割合 実績１００％（目標９５％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
2	移住・定住促進事業 33,824千円 市民政策局 移住・定住促進室	特別重点	27.9%	71.7%	A	B	B	C	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 対面による移住促進イベントの開催機会が増加し、東京・大阪における移住フェア等に積極的に参加した。 また、テレワークの普及を背景とした働き方の多様化等、社会情勢の変化を踏まえ、新たな課題にも対応するため、令和５年３月に「たかまつライフ促進プラン」を策定した。 ◎年間社会増（１月～１２月）　実績２７９人（目標１，０００人） ◎本市主催の移住・定住促進イベント等への参加者数 実績１６５人（目標２３０人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
3	生涯活躍のまちづくり推進事業 市民政策局 移住・定住促進室		97.9%	25.0%	B	C	B	C	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 平成３０年度に策定した「高松版生涯活躍のまち構想」の考え方をコミュニティプランに取り入れるよう、地域コミュニティ協議会がコミュニティプランを見直す際に、随時、相談対応を行った。 ◎５０代及び６０代の市民における「住みやすさ」に対する市民満足度 実績８８．６６％（目標９０．６％） ◎コミュニティプランに生涯活躍のまちの考え方を盛り込んだコミュニティ協議会の数　実績１地区（目標４地区）							

（4）安全で安心して暮らし続けられるまち

令和４年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
	政　策	**安全で安心して暮らせる社会環境の形成**

総合評価
B

１　政策の概要

安全で安心して暮らせる社会環境の形成を図るため、防災体制の整備・充実により、南海トラフ地震を始めとする各種災害への対応能力の向上を図るとともに、災害・緊急時において、迅速かつ的確に対応できる消防・救急の充実強化や防災・減災対策の充実に努めます。
また、交通事故のない社会を目指し、市民及び警察等関係機関と連携した取組など、交通安全対策の充実を図ります。
また、防犯体制の整備や食品・環境衛生対策など生活衛生の向上、消費者の権利保護と自立促進に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
消防・救急の充実強化	71%	B
防災・減災対策の充実	90%	A
交通安全対策の充実	93%	A
防犯体制の整備	100%	A
生活衛生の向上	56%	C
消費者の権利保護と自立促進	96%	A
平均	84%	B

３　政策の評価

安全で安心して暮らせる社会環境の形成に向けて、６施策に取り組んだ。
「防災・減災対策の充実」、「防犯体制の整備」及び「消費者の権利保護と自立促進」の３施策では、設定する３つの成果指標について、目標を達成又はおおむね達成した。
「消防・救急の充実強化」では、設定する２つの成果指標について、要請者の高齢化による身体的要因の影響などにより、目標に届かなかった。
「交通安全対策の充実」では、設定する２つの成果指標のうち、人口１０万人当たりの交通事故による死者数において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。
「生活衛生の向上」では、設定する２つの成果指標のうち、食品衛生等違反指導率において、改正食品衛生法の施行等に伴う許可施設数の減少などから、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標をおおむね達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は８４％となり、政策全体として目指す方向におおむね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「Ｂ」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
消防・救急の充実強化	55.0%	7.1%	80.3%
防災・減災対策の充実	33.2%	14.6%	78.5%
交通安全対策の充実	30.0%	29.0%	78.4%
防犯体制の整備	24.2%	22.7%	74.6%
生活衛生の向上	31.1%	10.1%	59.1%
消費者の権利保護と自立促進	20.9%	8.0%	46.3%
平均	32.4%	15.3%	69.5%

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	消防・救急の充実強化

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
903,523千円	B	55.0%	80.3%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	消防局

対象	市民	意図	生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行う。

概要（実績）

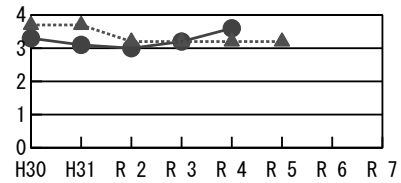
「消防体制の整備」においては、総合的な消防力の充実強化を図るため、老朽化した消防車両を計画的に更新したほか、北部分団消防屯所、前田分団第１部消防屯所及び庵治分団第４部新開消防屯所（仮称）の移転整備に着手するなど、消防屯所整備を計画的に進めることで、消防体制及び地域防災力を充実・強化した。

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	出火率	3.6%	3.2%	87.5%

状況：枯草火災が増えるなど、火災件数が前年比１４．７％増加したことにより、目標を達成することができなかった。

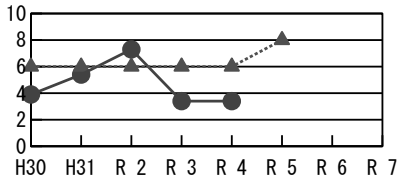
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
②	救命率	3.4%	6%	56.7%

状況：救命率は昨年と同値であり、目標の６％を大幅に下回った。要請者の高齢化による身体的要件が影響していると考えられる。

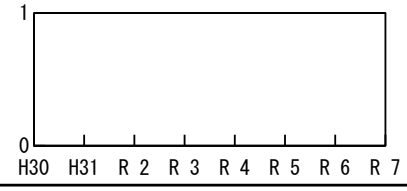
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
③				

状況：

達成度の推移



施策の課題

ハード面における消防力の充実・強化を図るため、老朽化した消防署所の再整備及び消防車両の更新等を計画的に進める必要がある。また、消防屯所の整備においては、地域防災の拠点であることから、地震、津波、高潮及び洪水等の対応も考慮した整備を行う必要がある。

一方、ソフト面では、消防需要の多様化に対応するため、消防団を始めとする地域コミュニティなど関係団体との連携を強化し、地域が持つ防災力を高め、総合的な消防力の強化に努める必要がある。

施策の方向性

ハード面における消防力の充実・強化を図るため、老朽化した消防署及び消防屯所の再整備並びに消防車両の更新等を計画的に進める必要がある。

一方、ソフト面では、地域コミュニティの変容や高齢化、人口減少等による消防需要の多様化に対応するため、消防団を始めとする関係団体との連携強化により地域防災力を高め、総合的な消防力の強化に努める必要がある。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	（評価対象外）消防活動事業 91,161千円 消防局 消防局総務課								
		（事業概要、事業実績等） 消火防災・救急救助における災害現場活動に必要な資器材の購入及び修繕などを計画的に実施するとともに、重大な違反のある防火対策物の是正を重点的に行うなど、安全安心に暮らせるまちづくりに寄与した。 なお、前年度からの繰越事業である塩江無線中継所修繕工事については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：２，２６９，３００円）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
2	（評価対象外）消防署所管理事業 137,474千円 消防局 消防局総務課								
		（事業概要、事業実績等） 消防署所の電気、ガス、水道、電話等に係る経費を適正に管理するとともに、電気工作物等設備の保守点検、ごみの収集、庁舎等清掃、庁舎修繕を行うなど、消防署所の適正管理を行った。							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
3	（評価対象外）消防屯所管理事業 9,646千円 消防局 消防局総務課								
		（事業概要、事業実績等） 市内９６か所の消防屯所の維持管理を適切に行うとともに、必要な施設の修繕等を計画的に実施するなど、消防屯所の適正管理を行った。							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
4	（評価対象外）消防車輌整備事業 262,644千円 消防局 消防局総務課								
		（事業概要、事業実績等） 常備消防車両７４台と非常備消防車両１０９台の点検、修繕、保険、燃料関係等を計画的に実施するとともに、老朽化した消防車両を計画的に更新整備し、消防体制を充実強化した。 なお、前年度からの繰越事業である水槽付消防ポンプ自動車整備事業及び小型動力消防ポンプ付積載自動車整備事業については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：５６，３７５，０４０円）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
5	（評価対象外）消防水利整備事業 17,434千円 消防局 消防局総務課								
		（事業概要、事業実績等） 消防水利の基準に基づき、消防活動に必要な消火栓４９個を整備するなど、消防力を向上させた。 なお、設計内容の検討に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２，８３４，０００円）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	（評価対象外）消防職員研修事業 16,070千円 消防局 消防局総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 高度化・複雑化する災害活動に、適切に対応できる消防職員を育成するため、消防大学校及び消防学校に職員を派遣するとともに、救急救命士を養成するための研修に派遣するなど、職員の資質を向上させた。							
7	（評価対象外）消防事務管理事業 79,173千円 消防局 消防局総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 会計年度任用職員報酬を始め、職員の福利厚生や被服費、事務に関する経費を適切に管理するとともに、消防施設整備基金の適正な運用を行い、消防事務を円滑に実施した。							
8	北消防署再整備事業 消防局 消防局総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点			A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 老朽化・狭あい化に伴う再整備のための整備用地について、土地の広さ、高さ、進入路等を考慮した検討を行った。							
9	（評価対象外）消防屯所整備事業 12,156千円 消防局 消防局総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 建物の老朽度、狭あい度など総合的に勘案して策定した消防屯所整備計画に基づき、前田分団第１部消防屯所の建設用地を取得したほか、北部分団消防屯所の建築に係る造成工事に着手した。 なお、設計内容の検討に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２２，２５７，０００円） また、翌年度からの繰越事業である塩江分団第１部長野消防屯所解体工事については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：１，１５５，０００円）							
10	（評価対象外）消防業務受託事業 47,738千円 消防局 消防局総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第２５２条の１４第１項の規定に基づき、三木町、綾川町からの委託を受けている消防事務を、適切に管理し執行した。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><th>重点</th><th colspan="2">成果達成度</th><th>妥当性</th><th>有効性</th><th>効率性</th><th>総合評価</th><th>今後の方向性</th></tr>
<tr><td rowspan="3">11</td><td rowspan="2">（評価対象外）消防団活動推進事業

196,914千円</td><td></td><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
消防団活動に必要な報酬及び旅費を始め、退職・災害補償及び福祉共済に関する経費や、団員の研修、表彰、被服費等を適正に管理することにより、地域防災力を維持した。</td></tr>
<tr><td>消防局
消防局総務課</td></tr>
<tr><td rowspan="3">12</td><td rowspan="2">（評価対象外）救急艇等管理事業

33,113千円</td><td></td><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
女木・男木・大島などの本市島しょ部における、迅速な救急搬送体制を構築するため、救急艇を運航する船長等の報酬を始め、燃料、修繕費及び保険料などを適正に管理するなど、島しょ部における救急搬送体制等を維持向上させた。</td></tr>
<tr><td>消防局
消防局総務課</td></tr>
</table>

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	防災・減災対策の充実

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
249,784千円	A	33.2%	78.5%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	総務局、都市整備局、消防局

対象	市民等	意図	市民等の防災意識を高めるとともに、地域及び国・県等防災関係機関と連携し、防災・減災対策の充実を図る。

概要（実績）

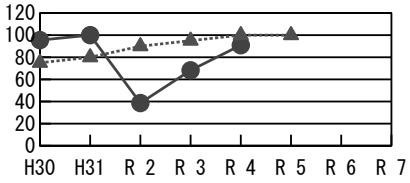
【総務局】災害情報や避難に関する情報などを発信するため、防災ラジオの電波を受信しにくい地域の改善に努め、災害時の緊急放送体制の整備を進めた。
【都市整備局】民間住宅及び耐震診断が義務化された建築物などの耐震化に取り組むほか、鉄道事業者が実施する老朽化施設の長寿命化事業に要する費用の一部を助成し、今後発生が予測される大規模地震や劣化による鉄道施設の被害の軽減に寄与した。
【消防局】新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に配慮した小規模・分散型訓練を実施するよう訓練指導を行った。

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	地域における防災訓練の実施率	90.9%	100%	90.9%

状況：令和３年度は新型コロナウイルス感染症の影響が依然として大きく、訓練実施を見合わす地域が多かったが、令和４年度は感染症対策に配慮して訓練を再開するよう指導したことにより、実施率が前年比２２．７ポイント向上した。

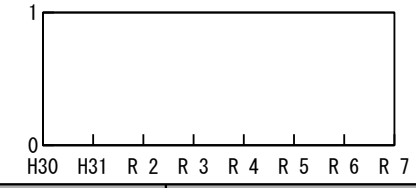
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
②				

状況：

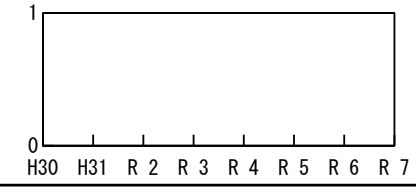
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
③				

状況：

達成度の推移



施策の課題

【総務局】防災ラジオの電波を受信しにくい地域の改善など、災害時の緊急放送体制の整備を進める。
【都市整備局】大雨の発生頻度が高まっており、県と連携した急傾斜地崩壊防止事業を推進する。また、住宅・建築物について、国の補助制度を活用し、耐震化を促進する。さらに、鉄道事業者が実施する長寿命化事業の費用の一部を助成し、鉄道施設の長寿命化を推進する。
【消防局】従来型の訓練に加え、新たな訓練企画を提案するなど、実効性のある訓練の実施を推進する。

施策の方向性

安全で安心して暮らせる環境整備のため、着実に各事業を継続し実施する。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	デジタル式同報系防災行政無線整備事業 9,412千円 総務局 危機管理課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 屋島コミュニティセンター、山田総合センター及び十河コミュニティセンターの建て替えに伴い、デジタル式防災行政無線の戸別受信機を設置した。 ◎デジタル式同報系防災行政無線屋外拡声子局 実績１５７か所（目標１５７か所） なお、前年度からの繰越事業である香川町、香南町及び国分寺町にあるアナログ無線撤去修繕工事については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：８，６７３，５００円）							
2	防災ＩｏＴ利活用事業 1,985千円 総務局 危機管理課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			40.2%	110.0%	A	A	B	B	拡充
		（事業概要、事業実績等） 令和４年９月の水防本部設置時には、防災ＩｏＴを活用し、市内各所の観測データを確認することで本市職員の迅速な防災対応に寄与し、同時に、オープンデータとして公開して市民へのリアルタイムの情報提供を実施した。 ◎水防本部等設置時の共通プラットフォームへのアクセス件数 実績１，４０６件／日（目標３，５００件／日） ◎ＩｏＴ共通プラットフォーム上に表示する防災関連データソース数 実績１１件（目標１０件）							
3	（評価対象外）防災行政無線事業 29,936千円 総務局 危機管理課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） デジタル式同報系防災行政無線が円滑に作動するよう保守点検を実施した結果、災害時における市民への情報伝達及び災害対策本部の情報収集・伝達等に係る機器の適切な運用・維持に効果があった。							
4	住宅建築物耐震改修等事業 111,895千円 都市整備局 建築指導課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	82.9%	103.9%	B	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 住宅・建築物の耐震化を推進し、地震時の建物の倒壊等により発生する人的、経済的被害を軽減するため、住宅のほか、緊急輸送道路沿いや耐震診断が義務化された民間建築物に対し、耐震診断・改修等に要する費用の一部を補助した。 ◎民間住宅の耐震診断実施済棟数（累積） 実績１，２６０棟（目標１，５２０棟） ◎民間住宅の耐震改修実施済棟数（累積）　実績５０９棟（目標４９０棟） なお、前年度からの繰越事業である民間建築物の耐震診断、耐震改修事業については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：６８，６８９，０００円）							
5	鉄道施設安全対策事業 32,112千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%	110.8%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 鉄道事業者が実施する老朽化施設の長寿命化事業に要する費用の一部を助成したことにより、今後発生が予測される大規模地震や劣化による鉄道施設の被害の軽減に寄与した。 ◎耐震補強化率（事業費ベース）　実績１００％（目標１００％） ◎長寿命化率（事業費ベース）　実績７２％（目標６５％）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	急傾斜地崩壊防止事業 29,028千円 都市整備局 河港課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 香川県急傾斜地崩壊対策事業補助要綱に基づく採択基準に合致した市内２か所において、急傾斜地崩壊による災害から市民の安全を守るため、崩壊防止対策事業を実施した。また、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律に基づき、県が施行する急傾斜地崩壊対策事業に対し、費用の一部を負担した。 ◎完成までの進捗率　実績１００％（目標１００％） なお、県が施行する急傾斜地崩壊対策事業については、事業主体である県が事業の一部を繰り越したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１８，０５０，０００円） また、前年度からの繰越事業である、県が施行する急傾斜地崩壊対策事業については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：５，７９７，０００円）						
7	災害時緊急物資備蓄事業 5,823千円 総務局 危機管理課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松市災害時緊急物資備蓄計画に基づき、南海トラフを震源とする最大クラスの地震が発生した場合に必要不可欠な緊急物資を備蓄するとともに、保存期限を有する備蓄物資について、計画的に更新を行った。 ◎賞味期限切れ前備蓄物資の総数 実績６０，６０９個（目標６０，６０９個）						
8	（評価対象外）水防対策事業 16,019千円 都市整備局 水路対策調整室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 水防法に基づき市域内の水防責任を十分に果たすため、水防本部を設置し、水災害の軽減を図るため水防活動を推進したほか、水防用資機材の購入整備等を実施し、安全で安心して暮らせる環境整備に寄与した。						
9	（評価対象外）国民保護推進事業 総務局 危機管理課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 「高松市国民保護計画」について、修正等の必要が生じた場合に開催する高松市国民保護協議会について、任期満了等に伴う手続きを進めるとともに、計画及び協議会の内容を広く市民へ周知するため、広報紙及び市ホームページなどに掲載した。						
10	市民防災力向上推進事業 2,026千円 総務局 危機管理課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			42.8%		B	A	B	D	継続
		（事業概要、事業実績等） ４月及び１２月を除いて毎月まちカフェを開催するとともに、令和４年５月からは防災啓発ラジオ番組を作成、放送することで、市民の防災力向上に寄与した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、まちカフェの開催については、防災プラザとＷｅｂとのハイブリッド開催とした。 ◎ぼうさいまちカフェ年間参加人数　実績１１３人（目標２６４人）						

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	（評価対象外）地震災害等救援事業 215千円								
	総務局 危機管理課	（事業概要、事業実績等） 令和４年３月１６日福島県沖を震源とする地震により被害を被った福島県相馬市に対し、り災証明の発行に係る家屋調査の用務にあたる職員２名を派遣し、被災地の復旧に寄与した。							
12	（評価対象外）地域防災計画見直し事業	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	総務局 危機管理課	（事業概要、事業実績等） 市民の迅速な避難行動や被害の軽減を目的として策定されている地域防災計画の見直し等を諮る防災会議の委員について、任期満了に伴う委嘱に係る手続きを進めた。							
13	地域防災対策事業 1,146千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			56.0%		A	A	B	C	拡充
	総務局 危機管理課	（事業概要、事業実績等） 行政による災害対策はもとより、市民一人一人が「自らの命は自らが守る」意識を持って、防災・減災に向けた具体的な取組を進めていくことが求められていることから、地域における防災力及び市民の防災意識の向上を目的として、令和５年１月２５日に市民防災講演会を開催した。 ◎高松市民防災講演会参加人数　実績５６人（目標１００人）							
14	（評価対象外）防災事業 5,184千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	総務局 危機管理課	（事業概要、事業実績等） 災害時における避難が迅速に行えるよう、指定避難所、指定緊急避難場所に設置してある避難標識柱の修繕等維持管理等を行い、防災啓発の向上に寄与した。 なお、前年度からの繰越事業である高松商業高校の避難標識柱取替工事については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：１６５，０００円）							
15	自主防災組織等育成事業 5,003千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			115.4%		B	A	A	A	継続
	消防局 消防局予防課	（事業概要、事業実績等） 地域コミュニティ協議会が実施する防災訓練に非常食品を助成するとともに、職員を派遣するなど支援を行うことで、新型コロナウイルス感染症の影響により実施率が低下していた従来型防災訓練を再開する地域が増加した。 ◎避難所運営訓練又は安否確認訓練実施率　実績７５％（目標６５％）							

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	交通安全対策の充実

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
116,063千円	A	30.0%	78.4%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	市民政策局、都市整備局

対象	意図
市民	交通安全教育・啓発活動を推進し、交通安全意識の向上を図り、市民が道路を安心して、安全に通行できる環境を整える。

概要（実績）

高松市交通安全都市推進協議会や交通安全母の会連絡協議会等の交通安全活動団体に対して助成を行ったほか、交通安全教室（１，６９３回）や交通安全啓発街頭キャンペーン、高齢者運転免許証返納促進事業（１，２９４回）を実施したことにより、市民の交通安全意識の向上と、高齢者の交通事故防止に寄与した。

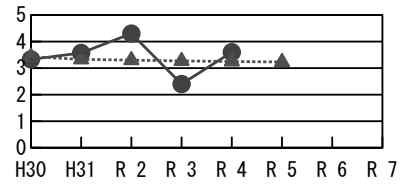
また、道路反射鏡（カーブミラー）などの交通安全施設を整備したほか、番町地下道や荷捌き駐車スペースの管理を関係機関と連携して行うとともに、放置自動車対策にも取り組むなど、交通環境を整備した。

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	人口１０万人当たりの交通事故による死者数	3.6人	3.25人	89.2%

状況：交通事故による死者数は、令和３年の１０人（うち高齢者５人）から、令和４年は１５人（うち高齢者１３人）と５人増加し、人口１０万人当たりの交通事故死者数が１．５倍の３．６となっていることから、更なる交通安全教育・啓発及び交通環境の整備の推進が必要である。

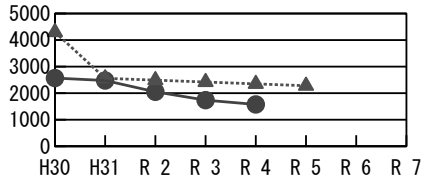
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
②	交通事故発生件数	1,575件	2,350件	133.0%

状況：平成１８年をピークに交通事故発生件数は年々減少しており、令和４年も対前年比９０．７％の件数と順調に推移している。

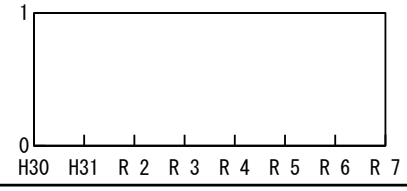
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
③				

状況：

達成度の推移



施策の課題

高齢者に対する交通安全対策を推進するとともに、地域との協働で交通マナーの一層の向上に取り組んでいるほか、交通安全施設整備による安全対策を図るなど、安全な道路環境整備を推進している。

今後も、交通安全教育や啓発活動に取り組むとともに、道路環境整備の効果的な推進により、交通事故防止に努める必要がある。

施策の方向性

令和４年度は、市民満足度調査において満足度が向上したものの、不満度は現状維持であるため、引き続き、交通安全対策の充実に向け、各種事業を推進する。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	交通安全教育等推進事業 22,131千円 市民政策局 くらし安全安心課		56.7%	40.2%	A	A	C	C	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 高松市交通安全都市推進協議会等に助成するほか、市内の幼稚園児、小学生などを対象に、年齢や心身の発達状況に応じた交通安全教室を開催するとともに、その講師となる交通指導員を養成するなど、交通安全教育と啓発活動を推進し、市民の交通安全意識の向上につながった。 ◎幼稚園、保育所、小学校、中学校交通安全教室参加者数 実績２０，４２０人（目標３６，０００人） ◎高齢者交通安全教室等参加者数 実績２，００８人（目標５，０００人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
2	交通安全啓発推進事業 148千円 市民政策局 くらし安全安心課		24.3%	73.3%	A	A	C	C	改善継続
		（事業概要、事業実績等） フラワーフェスティバルと合同開催していた交通安全フェアについて、時期、場所及び内容を見直し、規模を縮小して実施した。年３回の街頭キャンペーンは、目標どおり実施したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加人数は減少した。 ◎交通安全フェア参加者　実績１，２１７人（目標５，０００人） ◎統一街頭キャンペーン参加者数　実績５，８６２人（目標８，０００人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
3	高齢者等交通安全啓発推進事業 14,900千円 市民政策局 くらし安全安心課	一般重点	65.0%	40.2%	A	A	C	C	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の影響により、高齢者を対象とした交通安全教室等の開催回数は減少した。また、高齢者運転免許証返納促進事業を実施し、高齢者の自動車運転中の事故発生の抑止に寄与した。なお、持続可能な制度となるよう、対象年齢を６５歳以上から７０歳以上に見直した。 ◎６５歳以上の運転免許証自主返納者数 実績１，６９１人（目標２，６００人） ◎高齢者交通安全教室等参加者数 実績２，００８人（目標５，０００人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
4	違法駐車防止対策事業 都市整備局 交通政策課		132.8%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 違法駐車防止重点地域に指定する５路線及び周辺８路線を含めた市街地中心部において、定期的に違法駐車の状況を調査するとともに、関係機関と協力して啓発活動を実施した。 また、荷捌き駐車スペース及びタクシーベイの管理等に関係機関と連携して取り組むとともに、利用促進に向けた情報の発信を実施したことにより、違法駐車の防止に寄与した。 「高松市駐車対策基本計画」の中間見直しに係る、「高松市における駐輪場及び駐車場の機能強化に向けた基盤整備検討調査」の結果を踏まえ、今後の施設の在り方について協議した。 ◎違法駐車防止重点区域における平均瞬間違法駐車台数 実績１６．８台（目標２５台）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
5	（評価対象外）交通安全施設整備事業 76,241千円 都市整備局 道路管理課								
		（事業概要、事業実績等） 道路反射鏡（カーブミラー）、防護柵、道路区画線、道路照明灯などの交通安全施設の設置及び補修を行ったことにより、交通安全対策を充実させた。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">6</td><td rowspan="2">（評価対象外）放置自動車等対策事業</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">都市整備局
交通政策課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
放置自動車の発生の防止に関する指導、啓発を実施し、公共の場所における機能の保全と生活環境の維持向上に寄与した。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">7</td><td rowspan="2">（評価対象外）番町地下道管理事業
2,643千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">都市整備局
都市計画課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
クリエイティブ高松・中央通りプロムナード事業により整備された番町地下道において、エレベーター監視設備やモニュメント類の保守点検業務を実施したことにより、安全な歩行空間の確保、憩い・安らぎの場の提供に寄与した。</td></tr>
</table>

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	防犯体制の整備

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
83,836千円	A	24.2%	74.6%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	市民政策局

対象	市民	意図	犯罪の未然防止や、犯罪などを発生させない環境づくりを推進し、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組むとともに、各地域コミュニティ協議会が主体となった防犯活動を活性化する。

概要（実績）

地域コミュニティ協議会等に対し、防犯カメラの設置費用や電気料金の補助を実施し、安全で安心なまちづくりに寄与した。

地域の単位自治会が管理する防犯灯の新設、移設などに係る経費や、電気料金など維持管理上必要な経費の助成を一般社団法人高松市コミュニティ連合会を通じて行ったことにより、夜間における犯罪の防止と通行の安全に寄与した。

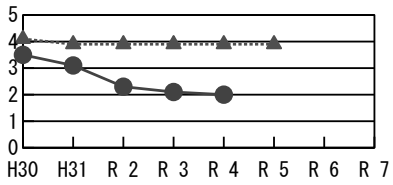
防犯協会の行う防犯活動事業に対する補助金の交付を行うとともに、公益財団法人香川県暴力追放運動推進センター・公益社団法人かがわ被害者支援センターへの負担金を拠出した。

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	人口千人当たりの街頭犯罪等発生件数	2件	3.9件	148.7%

状況：全国の刑法犯認知件数は前年比５．８％増で２０年ぶりに増加に転じたものの、防犯活動の推進等の効果もあり、目標は達成した。

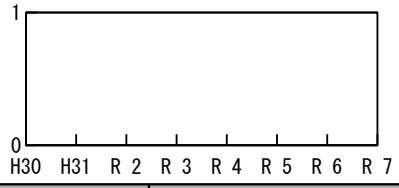
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
②				

状況：

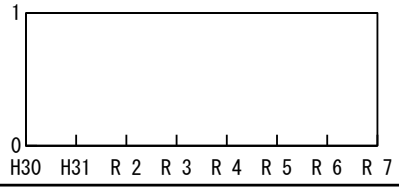
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
③				

状況：

達成度の推移



施策の課題

単位自治会の加入率が年々低下し、高齢者世帯が増加する中、個々の防犯意識の高揚を図りつつ、地域コミュニティが主体となった犯活体制を構築する必要がある。

施策の方向性

犯罪の未然防止や犯罪などを発生させない環境づくりを一層進めるため、引き続き、地域の単位自治会が管理する防犯灯の新設や維持管理に要する費用に対し、支援を行うほか、防犯協会とも連携し、防犯意識の高揚を図るための取組を推進する。

また、防犯カメラの設置については、事業元である香川県警察の予算の縮小傾向が継続する場合、今後の補助内容について見直しを図っていく。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><td rowspan="4">1</td><td rowspan="2">防犯活動推進事業
3,054千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>57.0%</td><td>148.7%</td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>B</td><td>継続</td></tr>
<tr><td rowspan="2">市民政策局
くらし安全安心課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
地域の防犯体制を確保し、市民の安全と安心を守る環境維持のため、香川県警察防犯カメラ設置促進事業補助金を活用して、地域コミュニティ協議会等が設置・管理する防犯カメラについて、設置費の一部と稼働に係る電気料金を補助した。

◎青色防犯活動助成達成率　実績５７％（目標１００％）
◎人口千人当たりの街頭犯罪等発生件数　実績２．０件（目標３．９件）</td></tr>
<tr><td colspan="9"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">2</td><td rowspan="2">防犯組織・環境整備事業
80,782千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>109.9%</td><td></td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td rowspan="2">市民政策局
くらし安全安心課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
防犯協会の行う防犯活動事業に対する補助金の交付を行うとともに、公益財団法人香川県暴力追放運動推進センター・公益社団法人かがわ被害者支援センターへの負担金を交付することにより、活動を支援した。
地域の単位自治会が管理する防犯灯の新設、移設などに係る経費や、電気料金など維持管理上必要な経費の助成を一般社団法人高松市コミュニティ連合会を通じて行ったことにより、夜間における犯罪の防止と通行の安全に寄与した。

◎総防犯灯数　実績２９，８８１灯（目標２７，１８８灯）</td></tr>
</table>

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	生活衛生の向上

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
512,113千円	C	31.1%	59.1%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	健康福祉局、市民政策局

対象	市民	意図	飲食店営業施設等の食品関係営業施設や毒物劇物営業施設、旅館業営業施設等諸営業施設、ペットショップ等の動物取扱施設における監視・指導や流通食品の収去検査等を行うほか、墓地、斎場の安定的な維持・運営等を実施することにより、衛生水準の向上に努め、安全で快適な市民生活の推進に寄与する。

概要（実績）

- 墓園・墓地整備事業　　新規墓所使用許可数：７５区画
- 市民葬儀事業　　市民葬儀利用件数：１６０件
- 食品衛生監視指導事業　　食品営業施設の監視件数：４，８８２件
- 衛生試験検査事業　　食品の収去等検査件数：２８６件
- 食肉衛生検査事業　　と畜検査頭数：１１，６９１頭
- 毒物劇物監視指導事業　　毒物劇物販売業者等への監視件数：２０１件
- 動物愛護管理事業　　動物愛護推進員数：２７人
- 環境衛生諸営業等監視指導事業　　環境諸営業監視件数：１７３件

成果指標

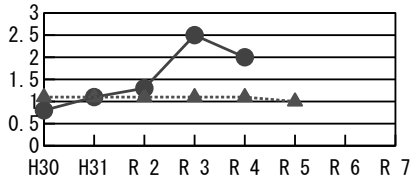
①

指標名	食品衛生等違反指導率	R 4実績	R 4目標	達成度
		2%	1.1%	18.2%

状況

令和３年６月に食品衛生法が改正され、許可制度の見直しにより許可施設数が減少した一方、ＨＡＣＣＰに沿った衛生管理の義務化等により、指導件数が増加したため、違反指導率の目標を達成することができなかった。

達成度の推移



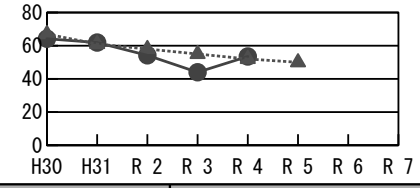
②

指標名	犬・猫の殺処分率	R 4実績	R 4目標	達成度
		53.5%	52%	97.1%

状況

新型コロナウイルス感染症の影響で抑制されていた社会活動が再開し、野犬の目撃情報等が多くなったことなどにより、犬の収容数が増加した。また、多頭飼育等に起因する猫の引取り数が増加した。このような犬猫は譲渡困難なものが多く、譲渡数が減少し、殺処分率の目標を達成することができなかった。

達成度の推移

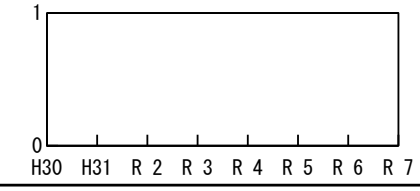


③

指標名		R 4実績	R 4目標	達成度

状況

達成度の推移



施策の課題

【市民政策局】墓地環境の適正な維持管理及び需要に応じた墓所の供給が求められている。また、施設の適正な維持管理により、斎場業務を円滑に実施するほか、市民葬儀制度については、事業開始当初と比べ、葬儀形態も大きく変化し、定型的な葬儀スタイルが市民ニーズに沿わなくなってきていることから、令和４年７月末をもって廃止とした。

【健康福祉局】食に関する市民の関心が高まったことなどから、食品の安全確保対策を、より一層強化するほか、各種衛生対策や動物愛護の普及啓発等を積極的に実施する。

施策の方向性

【市民政策局】直ちの新規区画の整備は行わないこととするが、高松市営墓地の整備及び管理についての方針に基づき、今後の墓地整備の検討を進める。また、市斎場施設の修繕を計画的に実施する等、適正な維持管理に努め、斎場業務を円滑に実施する。

【健康福祉局】食品衛生法に基づく各種営業施設等に対する監視・指導などの食品衛生対策を推進するほか、動物愛護の推進を図ることにより、引き続き、生活衛生の向上に取り組んでいく。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	（評価対象外）食肉衛生検査事業 25,457千円 健康福祉局 生活衛生課								
		（事業概要、事業実績等） 高松市食肉センターで処理される獣畜のと畜検査及びと畜場の衛生指導を行い、安全で安心な食肉の流通に寄与した。 また、当センターにおいて、と畜検査員による外部検証を実施し、施設の衛生管理の実施状況の確認等を行うことにより食肉衛生の向上に寄与した。 大規模食鳥処理場に対しても、食鳥検査員による外部検証を実施することにより、施設の衛生管理及び食鳥肉衛生の向上に寄与した。 と畜検査頭数：１１，６９１頭 各食鳥処理場立入検査：施設数６件　立入総数３８件							
2	（評価対象外）食品衛生監視指導事業 8,342千円 健康福祉局 生活衛生課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 食品関係営業施設における監視指導や流通食品の収去検査等を行うことにより、衛生水準の向上に努め、安全で快適な市民生活の推進に寄与した。 また、食品による事故を防ぎ、安全な食生活を確保するため、年度計画に基づく監視指導事業を強化して実施した。 営業施設数：１０，４４９件 監視指導施設数：４，８８２件							
3	（評価対象外）衛生試験検査事業 13,885千円 健康福祉局 生活衛生課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 食品衛生法に基づき、高松市内で製造又は流通する食品、輸入食品の理化学・微生物の検査を実施し、安全な食生活の確保に寄与した。 また、有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律に基づき、家庭用品等の理化学検査を実施し、健康被害の防止に寄与した。 さらに、高松市食中毒対策実施要綱や感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、食中毒や感染症発生時の原因究明及び蔓延防止のための試験検査を実施し、健康被害の防止に寄与した。 食品の収去等検査件数：２８６件							
4	（評価対象外）毒物劇物監視指導事業 2,313千円 健康福祉局 生活衛生課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 毒物及び劇物取締法に基づき、保健衛生上の見地から毒物劇物販売業者等の登録申請・届出に対する審査及び監視指導を実施することにより、毒物劇物の適正な販売及び管理等の体制を確保し、保健衛生上の危害の未然防止に寄与した。 毒物劇物販売業者等への監視件数：２０１件							
5	（評価対象外）環境衛生諸営業等監視指導事業 6,385千円 健康福祉局 生活衛生課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 環境衛生監視員の資質向上に努めることで、監視指導における内容充実を図り、計画的な立入調査を行った。 施設数（旅館、公衆浴場、興行場、理容所、美容所、クリーニング所、特定建築物、温泉施設）：２，５３１件 監視件数：１７３件 さらに、水道施設等の立入指導等を通して、法定検査等の受検徹底を周知するとともに、登録検査機関からの情報をもとに、台帳整理を行った。 施設数（簡易専用水道、専用水道）：９５７件 監視件数：１５件							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	害虫駆除事業 32,281千円 健康福祉局 生活衛生課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 感染症の原因となる蚊の駆除を行うことにより、感染症の蔓延を未然に防止した。 ◎衛生害虫（主に蚊）媒介感染症罹患者数（海外渡航後発症等を除く） 実績０人（目標０人）							
7	公衆浴場施設改善事業等助成事業 17,796千円 健康福祉局 生活衛生課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			83.3%		A	A	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 風呂のない家庭や地域住民の交流の場としての機能を持つ公衆浴場施設の活性化を図るため、公衆浴場業者等へ助成事業を行い、公衆衛生の向上に寄与した。 また、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰等の影響を受けている一般公衆浴場事業者に対し、緊急支援事業として燃料費の価格高騰相当分の支援金を交付した。 対象施設：８施設 （一般公衆浴場（その他公衆浴場を併設する一般公衆浴場を含む）） 支援金交付額：１１，９０６千円 ◎一般公衆浴場数（銭湯）　実績５か所（目標６か所）							
8	犬猫一時保管施設整備事業 23,804千円 健康福祉局 生活衛生課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	97.1%		A	A	C	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 一時保管施設整備地において確認された産業廃棄物の処分を行った。 ◎犬猫の殺処分率　実績５３．５％（目標５２％） なお、契約の締結に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：８，０００，０００円） また、前年度からの繰越事業である造成工事や水道管布設工事については、計画の見直しにより、実施を見送った。 （令和３年度繰越明許事業費：０円）							
9	（評価対象外）動物愛護管理基金積立事業 5,317千円 健康福祉局 生活衛生課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） クラウドファンディング型ふるさと納税の目標金額を上回った寄附金を積み立て、動物愛護管理基金を適正に管理した。 また、基金を取り崩し、事業の円滑な実施に活用することにより、人と動物との調和のとれた共生社会の実現に寄与した。 【令和４年度　動物愛護管理基金取崩額】 ・飼い主のいない猫の不妊去勢手術支援事業：１，５００千円 【令和４年度　基金積立金】 ・飼い主のいない猫を増やさないプロジェクト：７０９千円 ・殺処分ワーストから脱却するプロジェクト：４，６０６千円							
10	（評価対象外）動物愛護管理事業 78,892千円 健康福祉局 生活衛生課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 狂犬病予防法に基づく犬の登録及び狂犬病予防注射、野犬捕獲を行うことにより、狂犬病の発生・蔓延を防止した。 また、飼い犬猫の不妊去勢手術費補助事業に加え、飼い主のいない猫の不妊去勢手術支援事業を実施し、みだりな繁殖による犬猫の増加を防止した。 さらに、適正な動物の取扱いを推進するため、適正飼養についての啓発や動物取扱業の登録、監視指導を実施した。 【基金・寄附金活用事業】 ・飼い主のいない猫の不妊去勢手術支援事業：２，４８０千円 ・ミルクボランティア事業等：７９４千円 狂犬病予防注射済票交付件数：１７，０５８件 飼い犬猫の不妊去勢手術費補助件数：１，８７９件 飼い主のいない猫の不妊去勢手術支援件数：２５３件							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
11	（評価対象外）動物愛護センター管理運営事業 37,543千円 健康福祉局 生活衛生課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 香川県と共同で整備した、さぬき動物愛護センターにおいて、保健所に収容された犬猫を馴らし、新しい飼い主等への譲渡を行った。 また、校外学習の受入れや、出前教室の実施等、動物愛護の醸成に寄与した。 さらに、各種動物愛護イベントやパネル展を実施し、動物愛護管理に関する普及啓発に努めた。 【寄附金活用事業】 ・「しっぽの森」で行う譲渡事業：２，７４４千円 ・犬猫譲渡数：２０１頭							
12	市民葬儀事業 68千円 市民政策局 市民やすらぎ課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			90.8%		D	B	C	B	廃止
		（事業概要、事業実績等） 簡素な葬儀を普及させるため、葬儀に対する経済的負担の軽減を図り、市が葬儀の種類及び料金を定め、市民葬儀取扱指定業者に取り扱わせた。 また、火葬料及び市斎場の式場使用料（一定時間）を免除した。 なお、事業開始当初と比べて、葬儀形態も大きく変化しており、定型的な葬儀スタイルが、市民ニーズに沿わなくなっていることから、令和４年７月末をもって廃止とした。 ◎市民葬儀利用率　実績１０．８％（目標１１．９％）							
13	墓園・墓地整備事業 11,117千円 市民政策局 市民やすらぎ課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			95.6%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 市民の需要に応じて墓所を供給するため、返還墓所の整備及び通路修繕等の環境整備を実施し、７５区画の墓所を貸し出した。 ◎新規墓所使用許可数（累計）　実績１，４４９区画（目標１，５１５区画） なお、地元関係者との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：５，２４３，０００円）							
14	（評価対象外）斎場等管理運営事業 208,061千円 市民政策局 市民やすらぎ課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 斎場公園ほか３施設の斎場業務等を円滑に実施するため、斎場公園火葬炉（１系列３炉）の大規模改修、やすらぎ苑の換気設備の修繕工事を実施、施設の適正な維持管理を行った。（火葬件数　５，３０４件　人体のみ） また、福岡会館及び木太北部会館については、適正に管理運営することで、市民に集会、レクリエーション及び文化等の場を提供し、市民福祉の増進に寄与した。							
15	（評価対象外）墓園・墓地管理事業 40,852千円 市民政策局 市民やすらぎ課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 市営墓地内の、清掃、植栽剪定、塵芥収集を定期的に実施することにより、墓地環境の向上に寄与した。							

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	消費者の権利保護と自立促進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
12,951千円	A	20.9%	46.3%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	市民政策局

対象	市民	意図	消費者が安心・安全に暮らせるために、賢い消費者として自立促進を行う。

概要（実績）

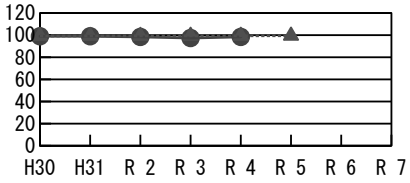
第３８回消費者ウイーク・第４３回暮らしをみなおす市民のつどい、夏休み親子消費者教室、金融教育講座及び出前講座等の各種啓発事業を実施するとともに、消費者団体への支援を行い、自立した賢い消費者を多く育成した。
消費生活相談においても、利用した覚えのない有料サイト等の未納料金と称して高額な料金を請求される「架空請求」を始めとする「不当請求」に関する苦情・被害への対応だけでなく、相談員の助言・情報提供等により相談者自身で自主的に対応できる賢い消費者を増やすとともに、特殊詐欺等防止のため、市広報、市ホームページなどにより啓発を行った。

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	消費生活相談における解決割合	98.4%	99.4%	99.0%

状況：全体の相談件数は、前年度に比べ２９３件増加し、相談内容も多様化・複雑化していることから、最新の傾向を把握し、消費者に対する適切な助言等の対応が必要である。また、相談員が、適切な助言等を行えるよう研修等に参加し相談業務等のスキルアップを行う。なお、目標はほぼ達成することができた。

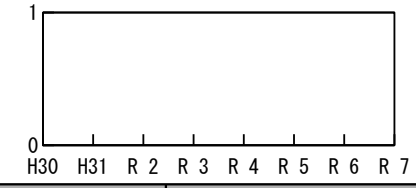
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
②				

状況：

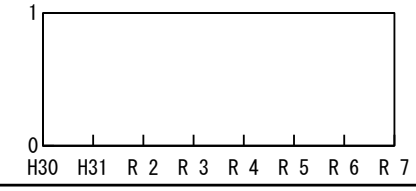
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
③				

状況：

達成度の推移



施策の課題

今後も消費者団体を支援しながら、より連携を強化していく。また、年々手口が巧妙化している悪質商法に対応できるよう、消費生活センターの相談体制堅持及び機能強化を行い、消費生活における安全安心を確保していくことが求められている。特に、消費生活相談については、相談件数が令和３年度に比べて２９３件増加しており、多様化・複雑化する相談内容に対し、適切な助言等の対応を行うため、最新の傾向を把握する必要がある。また、４名の相談員の資質向上のため、全国規模の研修に参加し、知識・スキルのアップデートが求められている。

施策の方向性

消費者の利益の確保及び消費者被害のより一層の救済を目指す。そのために、消費者が参加できるイベント・機会の提供、消費生活相談員による相談事業はもとより、出前講座の実施及び消費者団体の支援等を実施し、賢い消費者の育成を行い、消費者保護を推進する。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1 （評価対象外）消費生活相談事業 9,658千円 市民政策局 くらし安全安心課								
	（事業概要、事業実績等） 消費者からの相談による商品及び役務に関し、事業者と消費者との間に生じた苦情・紛争等について、その解決のために、消費者からの相談に相談員が対応した。 また、消費被害を防ぐため、民生委員、事業者、警察等が連携して見守り活動を行う「消費者安全確保地域協議会」の取組を推進し、それぞれが把握した消費被害の動向等を情報共有するとともに、被害防止に向けた対策を協議するなど、消費被害の未然防止につなげた。							
2 （評価対象外）計量検査事業 1,255千円 市民政策局 くらし安全安心課								
	（事業概要、事業実績等） 小規模な事業所等が廃業しており、廃業に伴い特定計量器の数が減少してきている中、定期検査が必要な特定計量器の未受検者数を減らすために、コンビニエンスストアを中心に受検を促した。							
3 消費者啓発事業 1,300千円 市民政策局 くらし安全安心課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		108.8%	248.5%	A	B	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 高松市消費者団体連絡協議会と連携し、消費者被害に遭わないための啓発行事等を行うほか、市内の小学校高学年を対象に消費者教育リーフレットを配布することにより、自立した賢い消費者の育成に寄与した。 ◎消費者月間事業等の満足度　実績８７％（目標８０％） ◎高松市消費者団体連絡協議会主催事業の参加者数 実績６７１人（目標２７０人）							
4 消費者団体支援事業 738千円 市民政策局 くらし安全安心課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		248.5%		A	B	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 消費生活に関する各種の調査・研究の諸活動や啓発活動を推進するとともに、加入団体相互の交流を行うため、消費者ウイーク・暮らしをみなおす市民のつどい事業の実施や研修会の開催などについて支援した。 ◎高松市消費者団体連絡協議会主催事業の参加者数 実績６７１人（目標２７０人）							

令和４年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
	政　策	**環境と共生する持続可能な循環型社会の形成**

総合評価
A

１　政策の概要

環境と共生する持続可能な循環型社会の形成を図るため、ごみの減量と再資源化を推進するとともに、一般廃棄物、産業廃棄物の適正処理や不法投棄の防止に努めます。
また、環境保全意識の啓発等の環境保全活動を推進するとともに、再生可能エネルギーの利用促進などの地球温暖化対策を行い、低炭素社会の構築を目指します。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
ごみの減量と再資源化の推進	91%	A
廃棄物の適正処理	91%	A
不法投棄の防止	95%	A
地球温暖化対策の推進	81%	B
環境保全活動の推進	80%	B
平均	87%	A

３　政策の評価

環境と共生する持続可能な循環型社会の形成に向けて、５施策に取り組んだ。
「ごみの減量と再資源化の推進」では、設定する２つの成果指標のうち、１人１日当たりの資源化量において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標をおおむね達成した。
「廃棄物の適正処理」では、設定する２つの成果指標のうち、一般廃棄物の年間埋立処分量において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。
「不法投棄の防止」では、設定する２つの成果指標について、目標を達成又はおおむね達成した。
「地球温暖化対策の推進」では、設定する２つの成果指標のうち、地球温暖化防止のための取組実施率において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標をおおむね達成した。
「環境保全活動の推進」では、設定する１つの成果指標について、目標に届かなかった。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は８７％となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
ごみの減量と再資源化の推進	30.6%	18.6%	72.6%
廃棄物の適正処理	39.8%	10.1%	75.8%
不法投棄の防止	24.1%	23.0%	69.2%
地球温暖化対策の推進	21.5%	17.1%	62.8%
環境保全活動の推進	25.6%	13.4%	61.4%
平均	28.3%	16.4%	68.4%

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	ごみの減量と再資源化の推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
356,948千円	A	30.6%	72.6%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
担当局	環境局

対象	意図
ごみを排出する市内の家庭や事業所	ごみの減量と再資源化の推進により、環境と共生する持続可能な循環型社会の形成を目指す。

概要（実績）

ごみの減量と資源化に向け、世界的な問題となっているプラスチックごみを削減するため、市民に対して、プラスチックごみの発生を抑制する２Ｒを中心とした情報発信に加え、フィールドワーク等による意識啓発を実施した。

食品ロス対策等推進事業では、フードドライブなどの食品廃棄物削減に向けた事業を実施した。

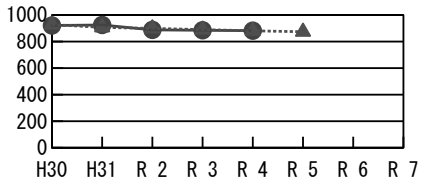
次に、家庭系ごみ有料化事業では、有料指定収集袋５種類により家庭系ごみの減量・再資源化を促進した。また、事業系ごみでは多量排出事業者に事業系一般廃棄物減量等計画書の提出により、ごみ減量を働きかけた。ごみ減量・資源化啓発事業では、スマートフォンやタブレット利用者向け「ごみ分別アプリ」を配信し、ごみの減量・再資源化を促進したほか、小型家電等リサイクル推進事業及びごみ再資源化事業において、資源の適正な循環的利用を推進した。

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	１人１日当たりのごみ排出量	882ｇ／人・日	881ｇ／人・日	99.9%

状況：ガイドブック等により正しい分別やリサイクルの推進等の周知啓発を行い、市民・事業者の「ごみの減量と再資源化」に対する意識向上を図った結果、概ね目標を達成することができた。

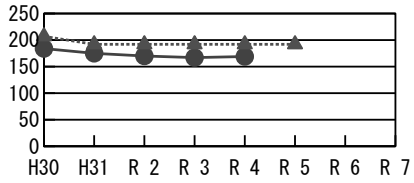
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
②	１人１日当たりの資源化量	169ｇ／人・日	192ｇ／人・日	88.0%

状況：資源ごみや小型家電等のリサイクル、正しいごみの分別方法の周知等、各種事業の実施により実績は向上したものの、目標を達成することができなかった。

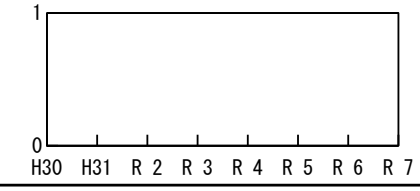
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
③				

状況：

達成度の推移



施策の課題

プラスチック製品由来の廃棄物については世界的な問題となっており、市民・事業者・行政など幅広い主体が連携・協力してレジ袋有料化を機に市民のライフスタイルの変革を促し、プラスチックごみの削減につなげていくよう取り組む必要がある。

また、食品ロス削減に向け、「高松市食品ロス削減推進法」に基づき、令和４年２月に「食品ロス削減推進計画」を策定した。国を挙げて社会全体での取組が進められている中、積極的な事業展開が必要である。

施策の方向性

環境と共生する持続可能な循環型社会の実現に向け、ごみの発生を抑制する２Ｒを中心とした積極的な情報発信を行い、市民・事業者等と連携してプラスチックごみや食品ロスの削減を始めとしたごみの減量・再資源化に資する事業を推進する。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	食品ロス対策等推進事業 76千円 環境局 ゼロカーボンシティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			104.0%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 令和４年２月に策定した「高松市食品ロス削減推進計画」に基づき、食品ロスに関するアンケート調査を行うとともに、家庭での未利用食品の活用を推進するフードドライブを実施したほか、フードドライブ実施団体に備品貸出等の支援を行った。また、食品ロス削減月間にスーパーマーケットにおいて来店者等へ食品ロス削減を呼びかけるキャンペーンを実施するなど、食品廃棄物削減に向けた事業を推進した。 ◎食品ロス認知度　実績８８．４％（目標８５．０％）							
2	事業系ごみ減量推進事業 環境局 ゼロカーボンシティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			72.6%		A	A	B	B	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 事業の用に供する延べ面積３，０００㎡以上の建物を所有・占有する事業者を「多量排出事業者」として、毎年、事業系一般廃棄物減量等計画書の提出を依頼し、取りまとめを行い公表することで、意識啓発を行った。 ◎多量排出事業者の廃棄物リサイクル率　実績４７．９％（目標６６％）							
3	プラスチックごみ対策事業 285千円 環境局 ゼロカーボンシティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	105.4%		A	A	A	A	拡充
		（事業概要、事業実績等） プラスチック製品由来の廃棄物については世界的な問題となっており、国において令和元年度に策定された「プラスチック資源循環戦略」を踏まえ、海ごみ清掃体験と環境学習を組み合わせたフィールドワーク、コミュニティセンター等での学習会や啓発パネル展を開催し、プラスチックごみ削減に向けた意識啓発を推進した。 ◎プラスチック容器包装ごみの再資源化割合（家庭ごみ） 実績８３．９％（目標７９．６％）							
4	レジ袋等削減推進事業 環境局 ゼロカーボンシティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			90.6%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 環境負荷の少ない循環型社会を構築するため、事業者、市民団体、市の三者でレジ袋等の削減に関する協定を締結し、協働してレジ袋の削減に取り組み、意識の啓発等に寄与した。 また、多量排出事業者、地球にやさしいオフィス・店、本市職員に対しても使い捨てプラスチック製品の使用自粛について周知を行い、レジ袋等削減事業を推進した。 ◎協定締結事業者の年間レジ袋削減枚数 実績３０，１６３，０００枚（目標３３，３０９，０００枚）							
5	家庭系ごみ有料化事業 176,143千円 環境局 ゼロカーボンシティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			94.9%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 定期収集家庭ごみのうち、「燃やせるごみ」「破砕ごみ」は、大・中・小・特小・超特小の５種類の有料指定収集袋での運用を実施し、ごみの減量化・再資源化を促進した。 ◎有料指定収集袋使用枚数（特小換算） 実績４５，１９５，７５０枚（目標４３，０００，０００枚）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><td rowspan="4">6</td><td rowspan="2">小型家電等リサイクル推進事業

61千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>129.2%</td><td></td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td rowspan="2">環境局
環境業務課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
市内２３か所に設置した回収ボックスで９，８２９ｋｇ、また、南部クリーンセンター及び西部クリーンセンターで実施しているピックアップ回収やイベントでの回収で、５，６８６ｋｇを回収し、合計１５，５１５ｋｇのパソコンや携帯電話など３２品目の使用済小型家電を回収したことにより、希少金属の再資源化や埋立てごみの減量化に着実な効果があった。

◎使用済小型家電の年間収集量　実績１５．５トン（目標１２トン）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">7</td><td rowspan="2">ごみ減量・資源化啓発事業

1,120千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>99.9%</td><td>88.0%</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td rowspan="2">環境局
ゼロカーボンシティ推進課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
「ごみ分別ガイドブック」、スマートフォンやタブレット利用者向けの「ごみ分別アプリ」の配信により、広く市民にごみ処理等に対する啓発を実施した。
また、高松市リサイクル推進員の各校区への配置により、地域ぐるみの主体的なリサイクルの推進に効果があった。

◎１人１日当たりのごみ排出量
実績８８２ｇ／人・日（目標８８１ｇ／人・日）
◎１人１日当たりの資源化量
実績１６９ｇ／人・日（目標１９２ｇ／人・日）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">8</td><td rowspan="2">ごみ再資源化事業

179,263千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>89.6%</td><td>98.1%</td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td rowspan="2">環境局
ゼロカーボンシティ推進課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
日々家庭から出される缶・びん・ペットボトル、プラスチック、紙類等の資源ごみを、再資源化のための中間処理を行い、プラスチック、色つきのびんについては日本容器包装リサイクル協会に引き渡したほか、缶・びん・ペットボトル、紙類など有価にて売払いできるものは専門業者に売却を行った結果、目標を概ね達成した。

◎缶・びん・ペットボトル資源化量
実績２，０１６，１６０ｋｇ（目標２，２５０，０００ｋｇ）
◎プラスチック資源化量
実績２，９６７，２７０ｋｇ（目標３，０２６，０００ｋｇ）</td></tr>
</table>

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	廃棄物の適正処理

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
4,839,514千円	A	39.8%	75.8%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
担当局	環境局

対象	意図
一般廃棄物（し尿を含む）を排出する市民及び市内の事業者並びに産業廃棄物を排出する事業者や廃棄物の収集運搬・処分を行う者等	一般廃棄物及び産業廃棄物の排出を抑制し、適正かつ効率的な処理を推進するとともに、将来に向けた安定した処理体制を構築することにより、生活環境保全及び公衆衛生の向上を図り、循環型社会の形成に寄与する。

概要（実績）

一般廃棄物処理基本計画に基づき、一般廃棄物（し尿を含む）の適正処理を行うとともに、ごみの減量・資源化を推進した。また、家庭から排出されたごみについて経済的で効率的な収集・運搬を行った。ごみステーションの適正管理を行うため、パトロールや看板配布等の啓発活動を行った。南部・西部クリーンセンターの適正かつ効率的な維持管理を行い、再資源化や廃棄物の減容化を行った。専門家等による検討委員会を開催し、次期ごみ処理施設整備基本計画を取りまとめた。し尿及び浄化槽汚泥については、し尿等を衛生センターから東部下水処理場へ移送し、下水道との共同処理を行った。一般廃棄物処理基本計画について、社会経済情勢やごみ処理の状況を踏まえ、中間見直しを行った。許可事務や苦情処理等を通じて、産業廃棄物の排出抑制、適正処理等を促進した。

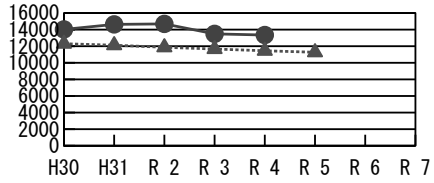
成果指標

① 指標名：一般廃棄物の年間埋立処分量

R 4実績	R 4目標	達成度
13,346 t	11,450 t	83.4%

状況：家庭ごみの適正処理について、ホームページや広報紙等で周知・啓発に努めた。前年度と比較すると、ごみの焼却量はほぼ横ばいであり、そのため、焼却灰等の年間埋立量も同様となり、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

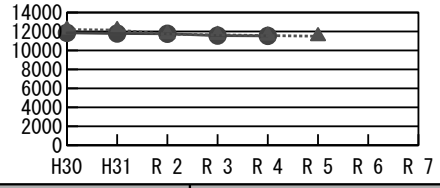


② 指標名：産業廃棄物の不適正保管量

R 4実績	R 4目標	達成度
11,536 t	11,570 t	100.3%

状況：廃棄物処理法に基づく立入検査や指導を継続的・定期的に行ったことにより、前年度と比較し、不適正保管量が減少した。

達成度の推移

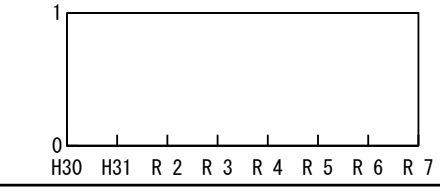


③ 指標名：

R 4実績	R 4目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

ごみの適正処理を確保した上で、より経済的で効率的な収集運搬体制を検討する必要がある。西部クリーンセンター等施設の適切な維持管理と効率的な運転管理を図る必要がある。今後も安定したごみ処理運営を行うため、次期ごみ処理施設の整備に取り組む必要がある。し尿等の処理については、下水道との共同処理を行っており、引き続き、適正に処理を行う必要がある。排出事業者の責任や収集運搬・処分を行う者の責務について、更に理解を深めてもらい、適正処理を推進していく必要がある。

施策の方向性

中間見直しを行った一般廃棄物処理基本計画に基づき、一般廃棄物の発生抑制、適正処理、資源化を推進し、ごみ処理施設の適切な維持管理を図るとともに、公衆衛生の向上及び循環型社会の形成に貢献していく。また、今後も安定したごみ処理運営を行うため、次期ごみ処理施設の整備に取り組む。し尿等の処理については、下水道との共同処理を安定的かつ適正に推進していく。産業廃棄物については、排出事業者や許可業者等に対する指導や啓発活動により、排出抑制や適正処理及び再生利用の推進を図る。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）南部クリーンセンター管理運営事業 1,666,675千円 環境局 南部クリーンセンター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 特別目的会社との間に締結した、令和１４年度までの長期一括委託契約により、ごみ処理施設、廃棄物再生利用施設、埋立処分地等について、一体的かつ効率的な管理運営を行った。 また、不適物の混入防止及び排除、ごみ処理の適正化のため、ごみの搬入検査を行った。							
2	（評価対象外）ごみ収集運搬事業 1,584,013千円 環境局 環境業務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） ごみ収集運搬計画に基づき、旧高松市の家庭から排出された破砕ごみを始め、缶・びん・ペットボトル、プラスチック容器包装の資源ごみ、また、市全域から排出された臨時粗大ごみなど約５，５４４ｔを直営で収集するとともに、旧高松市の可燃ごみ及び紙・布類の資源ごみのほか、破砕ごみや缶・びん・ペットボトル、プラスチック容器包装の資源ごみに加え、合併地区の定期収集ごみ等約７５，５３４ｔを委託により収集した。							
3	（評価対象外）西部クリーンセンター管理運営事業（焼却処理） 503,034千円 環境局 西部クリーンセンター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 焼却施設を適正に維持管理しながら、可燃ごみを焼却（中間）処理し、廃棄物の減容化を行うことにより、最終処分量を削減し、最終処分場の延命化を推進した。 なお、前年度からの繰越事業である無停電電源装置更新事業については完了した。 （令和３年度事故繰越し事業費：３，７６０，０００円）							
4	（評価対象外）西部クリーンセンター管理運営事業（破砕処理） 286,380千円 環境局 西部クリーンセンター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 有害物等を除去した後の破砕ごみを、破砕・選別（中間）処理し、有価物の再資源化（リサイクル）や、廃棄物の減容化に取り組む等、破砕施設の適正な維持管理を行った。							
5	（評価対象外）ごみ最終処分場管理事業 83,767千円 環境局 西部クリーンセンター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 陶最終処分場では、リサイクルや減容化を推進した上でなお残る廃棄物については、埋立処分を行った。 また、綾川町一般廃棄物最終処分場（綾川町西分）の整備に伴う設計業務の一部を負担した。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6 ごみ適正処理指導事業 3,846千円 環境局 適正処理対策室		96.7%		A	B	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 市内全域のごみステーションをパトロールし、不適正なごみが日常的に出されているごみステーションの管理者や使用者に対して、ごみステーションの適正管理指導や看板を掲示する等の啓発活動を行い、ごみステーションが適正に管理されるよう指導した。 また、海底堆積ごみの回収事業について、令和４年度は、３，８００ｋｇを回収し、海ごみ対策の推進に寄与した。 ◎不適正管理ごみステーション対応件数　実績８１６件（目標７９０件）							
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
7 次期ごみ処理施設整備事業 24,821千円 環境局 環境施設対策課	一般重点	100.0%		A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 次期ごみ処理施設整備基本計画を取りまとめた。 ◎次期ごみ処理施設整備基本計画策定までの進捗率 実績１００％（目標１００％）							
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
8 （評価対象外）西部クリーンセンター施設改良事業 3,910千円 環境局 環境施設対策課								
	（事業概要、事業実績等） 西部クリーンセンター基幹的設備改良事業の周辺対策として、地元の土地改良事業に関する補助を行った。 なお、実施主体の事業が遅れたことにより、年度内に補助金の支出が一部不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：６，４８１，０００円） また、前年度からの繰越事業である土地改良事業に関する補助事業については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：１，８５０，０００円）							
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
9 （評価対象外）南部クリーンセンター場内整備事業 12,452千円 環境局 環境施設対策課								
	（事業概要、事業実績等） 南部クリーンセンター周辺に位置する総合防災調整池の浚渫工事、雨水調整池堰堤の補修工事等を行った。							
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
10 （評価対象外）南部クリーンセンター施設整備事業 302,508千円 環境局 南部クリーンセンター								
	（事業概要、事業実績等） 南部クリーンセンター個別施設計画に基づき、施設の個別機器更新を実施しており、令和４年度は電気室空調設備更新を実施した。 また、令和５年度にかけて、焼却施設計装・自動制御装置更新工事及び屋上防水改修工事を遅延なく実施している。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
11	（評価対象外）一般廃棄物最終処分場整備事業 環境局 環境施設対策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 陶最終処分場第３処分地未買収地に関する用地交渉等を行った。							
12	（評価対象外）ごみ処理関連施設統廃合整備事業 90,485千円 環境局 環境施設対策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 廃止した最終処分場の適正な管理を行った。 旧庵治清掃工場等の解体撤去に向けて、アスベスト含有調査及びダイオキシン類等調査業務を行った。 また、旧庵治最終処分場緑化復元工事を行った。							
13	（評価対象外）ごみ処理計画推進事業 1,840千円 環境局 環境総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 廃棄物減量等推進審議会を開催し、廃棄物減量・再資源化等について審議するとともに、高松市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しを行った。 また、高松市一般廃棄物処理実行計画を策定し、一般廃棄物の適正処理や減量・再資源化の推進を行った。							
14	災害時し尿処理事業 594千円 環境局 衛生センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%	100.0%	A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松市災害物資備蓄計画に基づく、避難所への簡易トイレ等緊急物資の配備が完了し、計画的にし尿凝固剤を更新している。 ◎簡易トイレ備蓄率　実績１００％（目標１００％） ◎し尿凝固剤備蓄率　実績１００％（目標１００％） （参考） 簡易トイレ備蓄数　　１，８１５箱 し尿凝固剤備蓄数　１７６，４００個							
15	し尿処理施設跡地利用事業 1,693千円 環境局 衛生センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	A	A	A	完了
		（事業概要、事業実績等） 跡地整備工事が、すべて完了し、し尿処理施設跡地利用事業を終了した。 ◎解体・跡地整備進捗率　実績１００％（目標１００％） なお、前年度からの繰越事業である追加遊具等設置工事についても完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：１，６９３，３４０円）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
16 （評価対象外）離島し尿収集事業 8,084千円 環境局 衛生センター								
	（事業概要、事業実績等） 離島のし尿収集の円滑化と住民負担軽減を行うため、収集業者に補助金を交付した。 また、定期の収集時に合わせて、浄化槽清掃を行う場合の航送料について補助金を交付した。							
17 （評価対象外）し尿中継貯留槽管理事業 5,954千円 環境局 衛生センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 合併地区（塩江町、庵治町、香川町、国分寺町）及び離島地区（女木町、男木町）に設置している、し尿中継貯留槽の維持管理を適切に実施することにより、各地区から衛生センターへのし尿等運搬を効率的に行うことができた。 また、庵治町貯留槽について劣化が進んでいたため、防食被膜工事を行った。							
18 （評価対象外）衛生センター管理事業 241,000千円 環境局 衛生センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 本市及び処理を受託している三木町・綾川町で収集したし尿及び浄化槽汚泥を下水処理施設で下水と共同処理するため、前処理施設の運転維持管理を適切に行った。 令和４年度においては、７４，９６１m^3の共同処理を効率的に行うことができた。							
19 （評価対象外）衛生処理センター跡地管理事業 4,593千円 環境局 衛生センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 跡地管理事業における委託業務等の執行により、北側埋立地管理等を適切に行った。							
20 （評価対象外）産業廃棄物適正処理指導事業 13,865千円 環境局 環境指導課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 廃棄物の適正処理の推進を図るため、収集運搬業、処分業及び処理施設設置の許可事務を通じて、処理業者に対して廃棄物の適正処理の指導を行うとともに、巡回パトロールによる不適正処理の未然防止や、事業場への立入検査による改善指導を行った。							

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	不法投棄の防止

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
776千円	A	24.1%	69.2%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
担当局	環境局

対象	高松市内全域における不法投棄が見られる地域	意図	不法投棄を防止するとともに、市民の環境美化意識が高まることにより、清潔で美しい高松を実現する。

概要（実績）

高松市内全域において、定期的に、また通報等による臨時的に行う監視パトロールにより発見された不法投棄に早期に対応した。また、不法投棄監視カメラや啓発看板を設置することで、不法投棄の未然防止に寄与した。
なお、山間地や海岸線などの広範囲にわたる不法投棄ごみが見られる地域において、行政と住民が連携する、不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全て中止した。

成果指標

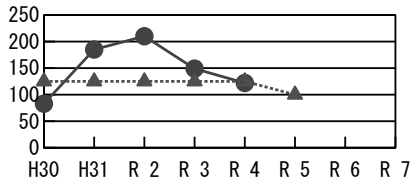
①

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
不法投棄通報、相談件数	122件	125件	102.4%

状況

令和元年度以降、香川県からの本市域における不法投棄に関する情報提供により、通報・相談件数が増加しているが、本市における対策等により、歯止めがかかってきていると思われる。

達成度の推移



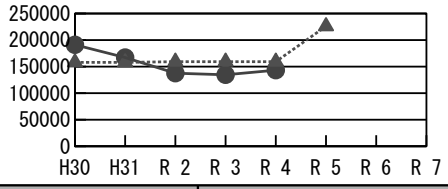
②

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
ボランティア清掃の参加者数	143,299人	159,300人	90.0%

状況

予定されていた不法投棄撲滅クリーン作戦は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全て中止となった。
また、地域のボランティア清掃活動は、新型コロナウイルスの影響が徐々に薄らいだことにより、参加者数が昨年に比べ、若干増加した。

達成度の推移

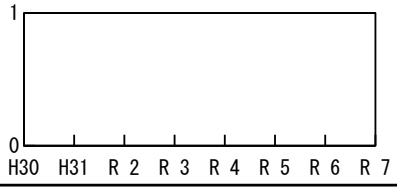


③

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度

状況

達成度の推移



施策の課題

香川県から得られる不法投棄の情報の活用や、監視パトロールの強化等による不法投棄の早期発見、早期対応を図るとともに、地域の一斉清掃活動を支援することにより、環境美化の実現に取り組む必要がある。

施策の方向性

関係課や関係機関、各種団体等と緊密に連携し、市民の環境美化意識を高め、地域における不法投棄の防止を図る。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><th rowspan="3">1</th><td rowspan="2">高松ふれあいクリーン事業

58千円</td><th>重点</th><th colspan="2">成果達成度</th><th>妥当性</th><th>有効性</th><th>効率性</th><th>総合評価</th><th>今後の方向性</th></tr>
<tr><td></td><td>0.0%</td><td>102.4%</td><td>A</td><td>B</td><td>B</td><td>C</td><td>継続</td></tr>
<tr><td>環境局
適正処理対策室</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
不法投棄が特に多くみられる山間部や海岸線地域において、不法投棄の撲滅に向けて、行政と市民及び企業ボランティアが協働する「不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての事業が中止となった。

◎不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦参加者数
実績０人（目標３，６００人）
◎不法投棄苦情処理件数　実績１２２件（目標１２５件）</td></tr>
<tr><th rowspan="3">2</th><td rowspan="2">不法投棄防止対策事業

718千円</td><th>重点</th><th colspan="2">成果達成度</th><th>妥当性</th><th>有効性</th><th>効率性</th><th>総合評価</th><th>今後の方向性</th></tr>
<tr><td></td><td>140.0%</td><td></td><td>A</td><td>B</td><td>B</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td>環境局
適正処理対策室</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
市内全域における不法投棄が多くみられる地域の監視パトロールを強化し、不法投棄行為者の特定調査や指導を行い、不法投棄ごみに対する対策を講じた。また、不法投棄の抑止効果が高い監視カメラや啓発看板を設置して、不法投棄の未然防止・早期発見を行ったほか、小学校で次世代を担う子ども達に対し、環境啓発の取組を行った。

◎不法投棄書類送検件数　実績３件（目標５件）</td></tr>
</table>

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	地球温暖化対策の推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
28,545千円	B	21.5%	62.8%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
担当局	環境局、財政局

対象	市民・事業者	意図	市民・事業者との協働を進めながら、温室効果ガスの排出抑制となる施策を推進し、地球温暖化対策を進める。

概要（実績）

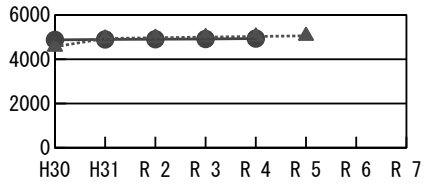
カーボンニュートラルや脱炭素型ライフスタイルへの転換に対する市民意識を高めるため、「ゼロカーボンシティ展」等でパネルを展示するなど、普及啓発を行った。
また、再生可能エネルギー普及を促進するため、スマートハウス等普及促進補助（１９５件１９，５００千円）、ＺＥＨ化上乗補助（５件２５０千円）、居住誘導上乗補助（１５件７５０千円）を実施したほか、東部下水処理場において、下水汚泥の処理過程で発生する消化ガスを燃料としてバイオマス発電（発電量３，２４１千ｋＷｈ／年、売電量２，４３１千ｋＷｈ／年、売電額９４，８２２千円）を実施した。さらに、電気自動車等の普及を促進するため、急速充電設備（３か所）の運営を実施した。

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	市有施設における再生可能エネルギー発電設備の発電出力	4,936ｋＷ	5,030ｋＷ	98.1%

状況：これまで、小・中学校、コミュニティセンターを中心に設置しており、令和４年度は屋島コミュニティセンター、十河コミュニティセンターに設置したが、目標を達成することができなかった。

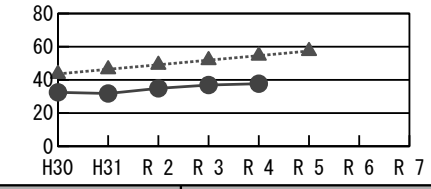
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
②	地球温暖化防止のための取組実施率	37.7%	54.6%	69.0%

状況：広報媒体（広報紙、ケーブルテレビ等）やＨＰ、啓発展等で、温暖化防止に向けた普及啓発を実施した。
地球温暖化対策に関する市民アンケートの内容では、１３項目中７項目で取組実施率が増加しており、特に「次世代自動車の導入済み」の増加率が大きい。

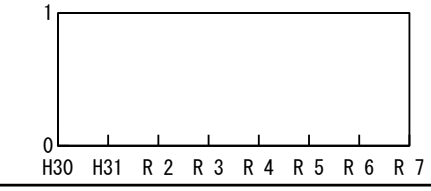
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
③				

状況：

達成度の推移



施策の課題

本市は、令和２年１２月に高松市「ゼロカーボンシティ」宣言をし、２０５０年までの二酸化炭素排出実質ゼロを目指し取り組むこととしており、その実現のためには、再生可能エネルギーの更なる拡充や市民・事業者と連携したライフスタイル転換の推進が課題となっている。

施策の方向性

「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、令和４年３月に改定した地球温暖化対策実行計画に基づき、２０５０年までに二酸化炭素排出実質ゼロを達成するため、市民・事業者のライフスタイル転換に向けた周知啓発など、具体的な取組を推進する。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	低排出ガス・低公害車・省エネルギー車公用車導入事業 3,591千円 財政局 財産経営課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			115.9%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 公用車の更新等において、平成１７年度排出ガス基準７５％低減レベル以上の環境性能に優れた車両１８台を導入した。 ◎低公害車等占有率　実績６３．７３％（目標５５％）							
2	再生可能エネルギー普及促進事業 20,450千円 環境局 ゼロカーボンシティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	115.7%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） スマートハウスの普及促進のため、蓄エネルギー機器（定置用リチウムイオン蓄電システム又は電気自動車等充給電設備）、住宅用太陽光発電システム及びＨＥＭＳの一式の導入に助成を行った。また、ＺＥＨ化を行う場合と居住誘導区域外から誘導区域内に住所が移る場合の、上乗せ補助を行った。 ◎蓄電システムへの助成件数（延べ件数）　実績８７９件（目標７６０件）							
3	（評価対象外）市有財産を活用した再生可能エネルギーの普及促進事業 環境局 ゼロカーボンシティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 市有地（４か所）を太陽光発電事業者に有償で貸し出した。 賃料年額　８７４，２８９円							
4	（評価対象外）地球温暖化対策推進事業 2,783千円 環境局 ゼロカーボンシティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 「高松市地球温暖化対策実行計画推進協議会」を開催し、温室効果ガス排出量の削減に向けた協議を行うとともに、地球温暖化問題についての認識を深め、取組を進められるよう、「ゼロカーボンシティ展」などによる情報発信・啓発活動を実施した。							
5	電気自動車等普及促進事業 1,043千円 環境局 ゼロカーボンシティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			57.1%	105.8%	A	A	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 市域における温室効果ガス排出量の抑制を図るため、走行時に二酸化炭素を排出しない電気自動車（公用車）に車体ラッピングを施し、市内を走行させることで、普及啓発につながった（累計９台）。 また、電気自動車の利用促進を図るため、市内３か所の道の駅（隣接地を含む）に設置した急速充電設備の運営を行った。 ◎市内の電気自動車保有台数（個人、法人等所有） 実績４６６台（目標８１６台） ◎市内における次世代自動車保有台数 実績４６，２９３台（目標４３，７７３台）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><td rowspan="4">6</td><td rowspan="2">緑のカーテン事業

62千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>170.0%</td><td></td><td>A</td><td>B</td><td>B</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td rowspan="2">環境局
環境総務課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
緑のカーテン講座を開催し、家庭、事業所及びコミュニティセンター等の公共施設で緑のカーテンを普及、実施したことにより、夏の日差しを和らげ、電力エネルギーの節約に寄与した。

◎緑のカーテン講座参加者数　実績１７０人（目標１００人）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">7</td><td rowspan="2">ゼロカーボンシティ推進事業

616千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td>特別重点</td><td>51.3%</td><td>128.5%</td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>B</td><td>継続</td></tr>
<tr><td rowspan="2">環境局
ゼロカーボンシティ推進課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
市民・事業者を対象とした「脱炭素型ライフスタイル推進リーダー」養成講座を４回開催したほか、３団体の企画提案により自ら脱炭素に向けた取組を行う「脱炭素型ライフスタイル推進モデル事業」を実施するなど、脱炭素型ライフスタイルへの転換を図る各種取組を実施した。

◎脱炭素型ライフスタイル推進リーダー登録人数（延べ人数）
実績４１人（目標８０人）
◎本市域の温室効果ガス排出量
実績２，２６５千ｔ－ＣＯ２（目標３，１６９千ｔ－ＣＯ２）</td></tr>
</table>

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	環境保全活動の推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
68,969千円	B	25.6%	61.4%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
担当局	環境局、創造都市推進局、都市整備局

対象	意図
市民・事業者	市民・事業者・行政の協働を進めながら、一人一人が環境問題を考え、行動することにより、環境に配慮した持続可能な社会の実現を目指す。

概要（実績）

環境保全推進事業においては、市民の環境意識向上を図るため、環境展や環境学習講座を実施した。環境ワークショップや出前講座等の実施回数が増えたことから、環境学習講座の参加者数が前年比約６００人の増となった。

「いざ里山」市民活動支援事業においては、市民が身近な自然を見直すきっかけづくりのため、従来、生活の一部として利用されていた里山を保全する地域住民等の活動に対し補助（１団体　３００千円）し、また、「ため池守り隊」市民活動支援事業においても、用途地域内のため池について、ため池管理者だけでなく地域住民も参加する清掃活動等に対し補助（１１団体　１，６５９千円）した。

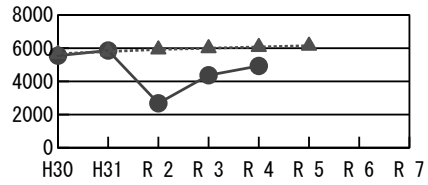
たかまつマイロード事業においては、市が管理する道路の清掃等を自発的に行う道路愛護団体の活動を支援するとともに、新たに３団体を認定したことなどにより、団体数は１２８となった。

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	環境学習参加者数	4,930人	6,075人	81.2%

状況：新型コロナウイルス感染防止のため、参加人数を制限した事業もあったため、参加者数は前年を上回ったものの、目標を達成することができなかった。

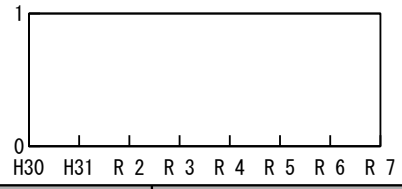
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
②				

状況：

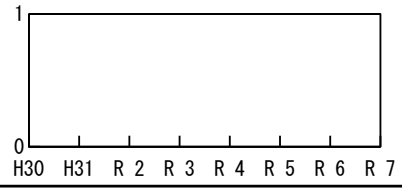
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
③				

状況：

達成度の推移



施策の課題

【環境局】環境学習活動や清掃活動など、市民・事業者・行政が、連携して環境保全活動に取り組む必要がある。
【創造都市推進局】補助事業終了後も、里山やため池の保全活動が継続して実施されるよう、地域住民へ里山やため池に対する保全の大切さを認識していただくことが必要である。
【都市整備局】市が管理する道路等の施設管理には、地元市民団体の協力が不可欠であることから、市民との協働事業として、環境意識の向上を図る必要がある。

施策の方向性

環境展や環境学習講座の実施などの啓発事業や、清掃活動などの環境美化、公害への対策などを継続実施することにより、環境保全活動の推進を図るとともに、ゼロカーボンシティの実現に向けて、環境と共生する持続可能な循環型社会の形成を目指す。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	環境保全推進事業 6,483千円 環境局 環境総務課		74.1%		A	A	C	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 環境展を開催するとともに、環境学習の実施により、市民に対し環境意識の向上を図り、環境問題全般に関する啓発を行った。環境ワークショップや出前講座等の実施回数が増えたことから、環境学習参加者数は前年より増加した。 また、本市の環境の状況や環境保全に関する施策の実施状況等を取りまとめた環境白書の発行を行った。 ◎環境学習講座参加者数　実績１，７６０人（目標２，３７５人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
2	南部クリーンセンター環境学習事業 271千円 環境局 南部クリーンセンター		82.6%		A	A	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 施設見学を通じて、ごみ処理の現状と課題を学習する機会を提供した。 また、展示ギャラリーでは、環境パネル、環境に関する図書、パソコンなどを使い、環境問題を考える機会を提供し、地球規模での温暖化対策の必要性を啓発するとともに、学習室では、紙すきや工作などにより、楽しみながらリサイクル体験をしてもらい、参加者の環境意識の向上に寄与した。 エコホタル利用者　３，０１５人 自主企画講座回数（見学会等を含む）実績２０回 ◎エコホタル自主企画講座参加者数　実績４１３人（目標５００人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
3	（評価対象外）環境基本計画推進事業 169千円 環境局 環境総務課								
		（事業概要、事業実績等） 環境審議会を開催し、現計画に基づく取組の状況や環境基本計画改定に向けて実施した市民・事業者アンケートなどについて審議した。 また、本市の環境の状況や環境保全等のための施策を取りまとめた環境白書を市ＨＰに掲載するなど、広く市民に公表することで、市民の環境意識の向上を推進した。							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
4	「いざ里山」市民活動支援事業 300千円 創造都市推進局 農林水産課		100.0%		A	C	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 従来から生活の一部として利用されていた里山を保全する地域住民等の活動に対し補助（１団体　３００千円）し、市民が身近な自然を見直すきっかけ作りとなった。 ◎里山・保全活動面積　実績１．２ｈａ（目標１．２ｈａ）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
5	「ため池守り隊」市民活動支援事業 1,659千円 創造都市推進局 土地改良課		82.4%		A	A	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 事業開始３年間で補助金上限を毎年５万円ずつ漸減する中で、前年と同様の事業を実施しており、地域住民も参加した自主的かつ継続的な美化保全活動が継続されている。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施箇所数が目標を下回った。 ◎事業実施箇所　実績１４か所（目標１７か所）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	衛生組合活動促進事業 2,864千円 環境局 環境総務課		100.0%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松市衛生組合連合会の運営、各地区衛生組合協議会の清掃活動参加者を対象にした保険料及び啓発活動について、補助金を支出し、地域住民が主体となった環境美化活動やごみの適正排出等の活動を推進した。 ◎清掃活動（河川清掃等）を実施する地区衛生組合協議会数 実績３７協議会（目標３７協議会）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
7	環境美化推進事業 636千円 環境局 環境総務課		131.7%	71.7%	A	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 「高松クリーンデー“たかまつきれいでー”」、「サンポート高松・中央通り等一斉清掃」及び「環境美化推進運動功労者表彰」等を、高松市環境美化都市推進会議と共催することにより、自治と連帯の精神に根ざした、清潔で美しいまちづくり活動を推進した。 ◎高松クリーンデーでのごみの回収量　実績７１．１ｔ（目標５４ｔ） ◎高松クリーンデー参加者数　実績２５，８０６人（目標３６，０００人）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
8	たかまつマイロード事業 2,021千円 都市整備局 道路管理課		99.1%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 市が管理する道路の清掃等を自発的に行う道路愛護団体の活動を支援することにより、道路の環境美化だけでなく、道路への愛護意識の高揚を図るとともに、道路利用者のマナー向上の啓発を行った。 また、令和４年度は３団体が新たに加入し、２団体が廃止したことから、団体数は１２８に増加し、清掃延長は前年度から１．５ｋｍ増となった。 ◎清掃延長　実績１３９．７１ｋｍ（目標１４１．０ｋｍ）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
9	（評価対象外）公衆便所管理等事業 12,218千円 環境局 環境施設対策課								
		（事業概要、事業実績等） 市内２３か所に設置する公衆便所の維持管理を行った。							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
10	（評価対象外）コミュニティ広場管理事業 596千円 都市整備局 道路管理課								
		（事業概要、事業実績等） まちのオアシスとして、美観上・風致上のモデル地区として位置付けられた、北部コミュニティ広場、兵庫町広場、田町コミュニティ広場を市民の憩いの場として提供するとともに、道路空間の環境保全に寄与した。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	（評価対象外）公害対策事業 162千円 環境局 環境指導課								
		（事業概要、事業実績等） 複雑多様化する住民ニーズ等に適切に対応するため、公害苦情相談員による苦情処理を行った。							
12	（評価対象外）大気汚染防止対策事業 33,876千円 環境局 環境指導課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 大気環境保全の促進のため、市内の大気環境の常時監視により、その状況を把握するとともに、事業場の立入検査や苦情対応による改善指導等を行った。							
13	（評価対象外）水質汚濁防止対策事業 7,601千円 環境局 環境指導課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 水質環境保全の促進のため、市内の河川等の水質検査の実施により、水環境の状況を把握するとともに、事業場の立入検査や苦情対応による改善指導等を行った。							
14	（評価対象外）騒音・振動・悪臭規制事業 113千円 環境局 環境指導課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 騒音、振動及び悪臭に係る生活環境の保全の促進のため、騒音、振動調査を行い、その状況を把握するとともに、苦情対応による改善指導等を行った。							

令和４年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
	政　策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上

総合評価
A

１　政策の概要

豊かな暮らしを支える生活環境の向上を図るため、生活道路・公園の整備、緑の保全・創造を始め、良好な居住環境の整備や地籍調査の推進など、生活基盤の整備・充実を図ります。
また、自己処理水源の確保を始め、浄水場の老朽設備等の更新や耐震化、香川県広域水道企業団との連携などに取り組み、安定給水の確保を図るとともに、水質検査体制の充実による安全で良質な水の供給や持続可能な水環境の形成に努めます。
また、汚水・雨水対策の充実を図るとともに、港湾・漁港の整備や河川・水路環境の保全に努めるなど、都市基盤の充実・強化を図ります。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
居住環境の整備	96%	A
身近な道路環境の整備	100%	A
河川・港湾の整備	90%	A
みどりの保全・創造	100%	A
水の安定供給	96%	A
汚水・雨水対策の充実	98%	A
平均	96%	A

３　政策の評価

豊かな暮らしを支える生活環境の向上に向けて、６施策に取り組んだ。
「居住環境の整備」、「身近な道路環境の整備」、「みどりの保全・創造」、「水の安定供給」及び「汚水・雨水対策の充実」の５施策では、設定する８つの成果指標について、目標を達成又はおおむね達成した。
「河川・港湾の整備」では、設定する２つの成果指標のうち、津波・高潮対策施設の整備率において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は９６％となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
居住環境の整備	19.5%	23.4%	59.8%
身近な道路環境の整備	33.0%	23.1%	69.3%
河川・港湾の整備	28.9%	14.0%	62.8%
みどりの保全・創造	34.9%	12.4%	55.5%
水の安定供給	48.0%	11.8%	82.3%
汚水・雨水対策の充実	36.8%	15.4%	71.0%
平均	33.5%	16.7%	66.8%

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	居住環境の整備

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
841,486千円	A	19.5%	59.8%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	都市整備局、市民政策局、創造都市推進局

対象

市民（市営住宅の入居者及び入居申込者、住居表示実施区域内の住民、地籍調査計画区域内の関係権利者、開発行為をしようとする者、建築物を建築しようとする者、空き家所有者等）

意図

市営住宅の適切な維持管理、住居表示設定、地籍調査の実施、開発行為や建築に係る許認可事務の適正な実施、空き家等対策の実施をすることにより、居住環境の整備水準の向上を目指す。

概要（実績）

・市営住宅の維持管理、空き家修繕を行うことにより、低廉な家賃の住宅を供給した。
・住居表示実施区域内での新規表示設定を実施したことにより、住所の明確化に効果があった。
・地籍調査の実施により、生活基盤の整備と充実及び居住環境の整備に役立てた。
・開発行為の許可等の事務を適正に実施したことにより、良好な居住環境の向上に寄与した。
・建築確認、完了検査等の事務を適正に実施したことにより、良好な居住環境の向上に寄与した。
・空き家等の除却に対する支援や空き家の利活用を推進するなど、総合的な空き家対策を実施したことにより、良好な居住環境の向上に寄与した。

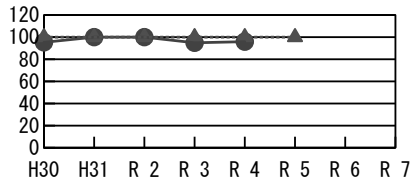
成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	建築物等の完了検査済証交付率	95.9%	100%	95.9%
②	老朽危険空家除去支援件数	255件	255件	100.0%
③				

① 状況

建築主や建設業者等に完了検査の受検を周知したほか、追跡調査を実施した結果、完了検査済証交付率は高い値を維持している。

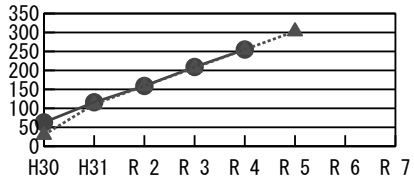
達成度の推移



② 状況

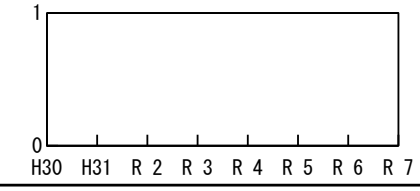
老朽危険空家の除却について、補助制度を活用し、４６件の除却支援を行った。

達成度の推移



③ 状況

達成度の推移



施策の課題

【市民政策局】倒壊の危険性や環境衛生面で問題のある空き家等には、防災、防犯、衛生、環境面などで多くの問題が含まれており、対策が急がれる。
【創造都市推進局】地籍調査は、災害時の復興事業を円滑に進めるためにも有効な事業であるものの、人員及び財源確保が事業進捗率の向上を図る上での課題となっている。
【都市整備局】市営住宅においては、老朽化による維持管理費等の増加が課題であり、「第２期高松市市営住宅長寿命化計画」に沿った効果的な事業実施が必要である。

施策の方向性

豊かな暮らしを支える生活・居住環境の向上のため、各事業を引き続き継続し、着実に推進する。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	（評価対象外）住居表示管理事業 6千円 市民政策局 市民課								
		（事業概要、事業実績等） 市内中心部において、土地の分合筆により、欠番や飛び番が多くなり、住所が分かりにくいことに対応するため、土地所在地とは別に、住居ごとに番号を付す住居表示制度を昭和３９年から実施している。 この住居表示実施区域について、新旧証明書発行事務や住居新築時等における住居表示の新規設定を行ったことにより、住所の明確化に寄与した。							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
2	（評価対象外）開発指導事業 486千円 都市整備局 建築指導課								
		（事業概要、事業実績等） 都市計画法に基づく開発許可制度の適切な運用により、無秩序な市街化を抑制するとともに、一定の開発行為に対して、道路、公園等の公共施設等の整備を義務付けることなどにより、良好な居住環境の形成に寄与した。							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
3	（評価対象外）建築指導事業 22,953千円 都市整備局 建築指導課								
		（事業概要、事業実績等） 建築基準法等の関係規定に基づき、建築確認申請等の審査、検査、許可、認定、届出、承認、指導、取締り、相談、閲覧、定期報告、統計調査、道路調査及び狭あい道路の整備事業を実施し、良好な居住環境の形成に寄与した。							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
4	（評価対象外）市営住宅管理事業 736,984千円 都市整備局 市営住宅課								
		（事業概要、事業実績等） 住宅困窮者に対し、住宅セーフティネットとしての公営住宅の役割を担うため、空き家募集用住宅の改修工事や、浄化槽・給排水施設・エレベーター・消防設備の保守等、市営住宅の維持管理を行ったことにより、良好な居住環境に寄与した。 なお、地元関係者との協議に時間を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、中村団地及び旭ヶ丘団地の外壁その他改修工事を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１９４，５６７，０００円） また、前年度からの繰越事業である木太町Ｂ団地外壁その他工事については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：３２，８１６，３００円）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
5	空き家等対策事業 44,214千円 市民政策局 くらし安全安心課	特別重点	95.8%	80.0%	A	A	B	A	拡充
		（事業概要、事業実績等） 空家等対策の推進に関する特別措置法に規定する特定空家等の措置を行ったほか、老朽危険空家等の除却や、空き家の利活用と高松市内への移住の促進を図るため、香川県空き家バンク登録物件の改修工事に対し、補助金を交付するとともに、空き家所有者と不動産取引業者をつなぐ、空き家等マッチング事業を新たに開始するなど、総合的な空き家対策に取り組んだ。 ◎老朽危険空家除却支援件数　実績４６件（目標４８件） ◎空家改修支援件数　実績８件（目標１０件）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><th rowspan="2">6</th><th rowspan="2">（評価対象外）地籍調査事業
36,843千円
創造都市推進局
地籍調査室</th><th>重点</th><th colspan="2">成果達成度</th><th>妥当性</th><th>有効性</th><th>効率性</th><th>総合評価</th><th>今後の方向性</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
平成１７年度の本市及び６町の合併に伴い、合併前より地籍調査事業に着手していた塩江町、牟礼町、庵治町の調査業務を、合併前の建設計画、合併基本計画に基づき継続して事業を行い、塩江町は２１年度末で牟礼町は令和２年度末で、庵治町は４年度末で、全地域の事業を完了した。
令和４年度については、庵治町及び合併時の建設計画、地域審議会の意見により平成２３年度から事業に着手した香川町において継続して事業を実施した。
事業実施により、豊かな暮らしを支える生活環境の向上（政策）、住環境の整備（施策）等に基礎的、根幹的部分で大きく貢献している。</td></tr>
</table>

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	身近な道路環境の整備

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
2,546,289千円	A	33.0%	69.3%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	都市整備局

対象	市道利用者	意図	道路の点検、修繕及び適切な道路改良などを行うことにより、良好な道路環境を確保するとともに、その整備・充実を図る。

概要（実績）

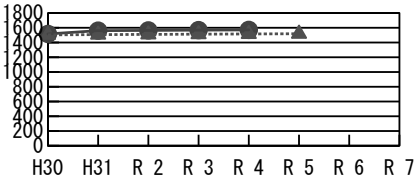
・道路橋りょう維持管理事業　○工事件数：６７件　○舗装修繕面積：約７万㎡
・道路新設改良事業（単独）　○工事路線数：３２路線
・道路整備事業（建設計画等登載路線）　○道路整備進捗率の伸び：約５％
・県施行道路整備事業地元負担金　○負担路線数：１８路線２８工区
・橋りょう改築修繕事業　○修繕等橋りょう数：１５橋

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	市道改良延長	1,571ＫＭ	1,516ＫＭ	103.6%

状況：建設計画登載路線や生活道路の整備を進め、目標を達成できた。
橋りょう長寿命化修繕計画に基づく橋りょうの修繕や、舗装の補修等を適切に行い、良好な道路環境を確保することができた。

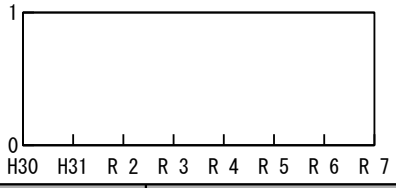
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
②				

状況：

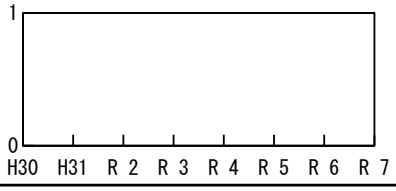
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
③				

状況：

達成度の推移



施策の課題

道路の維持管理は、近隣６町との合併による管理区域の拡大から、より一層のコスト縮減が求められており、今後、橋りょうのみならず、舗装についても、維持管理コストの縮減を図っていく必要がある。
また、道路の整備についても、財源を確保しつつ、平成２８年度に創設した生活道路整備事業により効率的な整備が求められている。

施策の方向性

道路や橋りょうの点検、修繕及び適切な道路改良などを行うことにより、安全で安心できる道路環境の整備、充実を図る。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1 （評価対象外）道路橋りょう維持管理事業 1,526,729千円 都市整備局 道路管理課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 道路を保全するための点検、修繕を行ったことにより、安全で安心できる道路環境を確保した。 なお、設計内容の検討に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：８２，７３６，０００円） また、前年度からの繰越事業である道路修繕工事等については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：２７４，３７１，９３０円）							
2 橋りょう改築修繕事業 271,569千円 都市整備局 道路整備課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	特別重点	97.7%	0.0%	A	B	B	C	継続
	（事業概要、事業実績等） 高松市橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、計画的に橋りょうの修繕等を行ったことにより、管理コストを縮減するとともに、道路交通の安全性を確保した。 ◎５年以内の事後修繕等措置着手率　実績９７．７％（目標１００％） ◎予防保全修繕数　実績０橋（目標１橋） なお、関係機関との協議の結果、農繁期、出水期を避けて施工することとなり、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１１０，００９，０００円） また、前年度からの繰越事業である橋りょう修繕工事等については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：１２６，０５５，５００円）							
3 （評価対象外）県管理河川改修関連橋りょう架替事業 都市整備局 道路整備課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 本事業は、県の河川改修に併せ、橋りょうをグレードアップすることにより、生活環境の向上に寄与するものであり、橋りょう架替工事について、事業主体である県に委託料を支出した。 なお、県が事業を翌年度に繰り越したことにより、年度内の支出が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：６，７３０，０００円）							
4 （評価対象外）県施行道路整備事業地元負担金事業 70,298千円 都市整備局 道路整備課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 県が施行する道路整備について、道路法第５２条の規定に基づく地元負担金として、事業費の１０％を負担したことにより、地域住民の利便性の向上や安全で安心できる道路環境の創出を推進した。 なお、事業主体である県が事業の一部を翌年度に繰り越したことにより、年度内に支出が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：３５，３８７，０００円） また、前年度からの繰越事業である道路整備に係る負担金の支出については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：３５，６５７，１８３円）							
5 道路新設改良事業 642,163千円 都市整備局 道路整備課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		99.1%		A	B	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 適切な道路構造への改良を行ったことにより、地域住民の利便性の向上や安全で安心できる道路環境の創出を推進した。 ◎幅員４ｍ以上の市道整備率　実績６５．７％（目標６６．３％） なお、地元関係者との協議に日時を要したこと等により、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２６１，２６１，０００円） また、前年度からの繰越事業である道路改良工事等については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：３４３，４８３，６１０円）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">6</td><td rowspan="2">道路整備事業（建設計画等登載路線）
35,530千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>100.0%</td><td></td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>完了</td></tr>
<tr><td>都市整備局
道路整備課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
建設計画等に位置付けられている２車線以上の道路の整備を行ったことにより、地域住民の利便性の向上や安全で安心できる道路環境の創出を推進した。
◎道路整備率　実績１００％（目標１００％）
また、前年度からの繰越事業である道路改良工事等については完了した。
（令和３年度繰越明許事業費：３２，９６０，５００円）</td></tr>
</table>

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	河川・港湾の整備

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
592,818千円	A	28.9%	62.8%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	都市整備局

対象	河川・生活排水路・港湾・漁港・海岸などの施設	意図	各施設の適正管理及び計画整備を行い、その機能を十分に発揮させる。

概要（実績）

今後発生が予想される南海トラフ地震等の大規模地震を想定し、総合的かつ計画的に浸水被害の解消を図るため、「香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画」に基づき、市管理漁港・港湾において、発生頻度の高い津波に対して、人命と財産を守る防災を目指した施設整備を推進するとともに、最大クラスの津波に対しては、粘り強い構造により減災を目指した施設整備事業を進めており、房前漁港においては、地震津波対策工事が完了した。
また、久通港については、海岸保全区域や港湾隣接地域の指定を行い、令和５年度より地質調査を行う。

成果指標

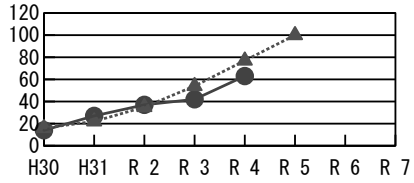
①

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
津波・高潮対策施設の整備率	63%	77%	81.8%

状況

国の交付金の活用により、目標値の整備率をおおむね達成できた。

達成度の推移



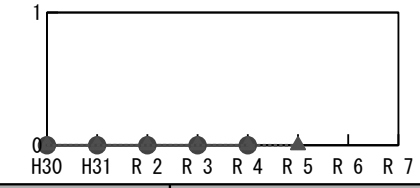
②

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
治水施設の不具合による浸水発生件数	0件	0件	100.0%

状況

老朽化した河川の護岸や排水路の改修及びポンプの更新のほか、適時に堆積土砂のしゅんせつを実施したことで、施設の不具合による浸水発生件数は０件となり、目標を達成した。

達成度の推移

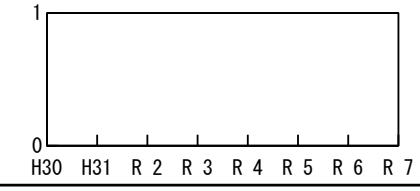


③

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度

状況

達成度の推移



施策の課題

事業の実施に当たり、厳しい財政状況を踏まえて、国・県に対し、引き続き補助要望を行い、予算確保に努める必要がある。

施策の方向性

引き続き、豊かな暮らしを支える生活環境の向上を図るため、計画的に河川・港湾の整備事業を推進する。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容
1	（評価対象外）河川改良事業 143,390千円	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： **（事業概要、事業実績等）** 市管理準用河川及び普通河川において、大雨や台風時の通水機能を確保し、洪水被害を未然に防ぐため、老朽化した護岸構造物の改修やしゅんせつ工事を実施した。 なお、地元関係者との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：９５，３１９，０００円） また、前年度からの繰越事業である中ノ川改修工事等については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：８１，６２８，４７０円）
	都市整備局 河港課	
2	（評価対象外）ポンプ場等整備・維持管理事業 73,848千円	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： **（事業概要、事業実績等）** 大雨や台風時等における河川の氾濫・浸水を防ぐため、ポンプ場、水門等の点検整備や維持修繕を実施し、施設の機能維持を行った。 なお、部品の調達に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：６７，４６９，０００円） また、前年度からの繰越事業である汐入川ポンプ場吐出管更新工事等については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：３，４００，８００円）
	都市整備局 河港課	
3	（評価対象外）生活排水路整備事業 49,397千円	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： **（事業概要、事業実績等）** 生活排水等による水質の悪化や、通水不良が発生している生活排水路の改修及びしゅんせつ工事を行うことにより、生活環境の改善に寄与した。 なお、地元関係者との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：３１，５００，０００円） また、前年度からの繰越事業である生活排水路整備工事等については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：２０，９９３，０００円）
	都市整備局 水路対策調整室	
4	（評価対象外）漁港施設管理事業 33,311千円	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： **（事業概要、事業実績等）** 市管理漁港の修繕、改良等を行うとともに、漁港内清掃の実施や漁港施設の適正な使用を求めるなど、環境の改善を図り、管理１２漁港の機能を維持した。 なお、関係機関との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：７８，７８０，０００円） また、前年度からの繰越事業である庵治漁港イ号浮桟橋付帯改良事業については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：１，８６５，０００円）
	都市整備局 河港課	
5	（評価対象外）港湾施設管理事業 155,002千円	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： **（事業概要、事業実績等）** 市管理港湾の修繕、改良等を行うとともに、港湾内清掃の実施や港湾施設の適正な使用を求めるなど、環境改善を図り、管理９港湾の機能を維持した。 なお、関係機関との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２０６，４９６，０００円） また、前年度からの繰越事業である大島港改修設計業務委託等については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：９１，３５４，４００円）
	都市整備局 河港課	

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">6</td><td rowspan="2">地震・津波海岸堤防等対策事業

137,870千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td>一般重点</td><td>81.8%</td><td></td><td>B</td><td>B</td><td>A</td><td>B</td><td>継続</td></tr>
<tr><td>都市整備局
河港課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
今後発生が予想されている南海トラフ地震等による浸水被害の解消を図るため、「香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画」に基づく、改良工事等を行った。

◎地震・津波海岸堤防等対策事業の進捗率　実績６３％（目標７７％）

なお、前年度からの繰越事業である房前漁港水門下部建設工事等については完了した。
（令和３年度繰越明許事業費：１３７，８６９，６００円）</td></tr>
</table>

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	みどりの保全・創造

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
522,096千円	A	34.9%	55.5%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	都市整備局

対象	市民	意図	公園の整備や緑地の保全等により、生活環境の向上を目指す。

概要（実績）

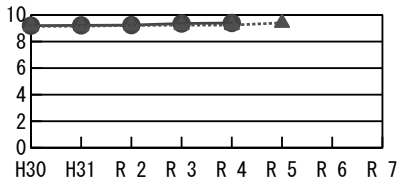
・第２次高松市緑の基本計画に基づき、檀紙公園（仮称）の供用開始に向けて公園整備を行い、小学校区に公園が少ない地域に、気軽に憩いふれあえる場の創出事業の進捗を図ることができた。
　また、人口減少により、市民一人当たりの公園面積を増やした。
・ちびっこ広場の修繕等により、利用者の安全性・利便性が向上した。
・公園・街路樹の維持管理により、緑豊かで美しい景観の維持に寄与した。
・名木の指定や管理支援などにより、地域のシンボルである名木の保存・育成に寄与した。
・花壇づくりの開催により、快適な生活環境づくりや緑化意識の高揚に寄与した。
・公共公益施設、民有地の緑化により、温暖化対策に寄与するとともに、市民が憩え、楽しめる空間を創出することができた。

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	市民１人当たりの都市公園等の面積	9.4㎡	9.24㎡	101.7%
②				
③				

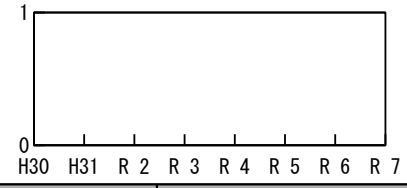
① 状況：人口減少に伴い、目標値を上回った。

達成度の推移



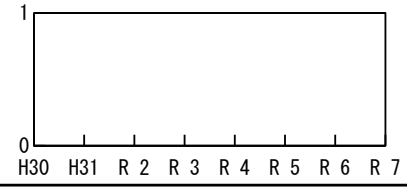
② 状況：

達成度の推移



③ 状況：

達成度の推移



施策の課題

「第２次高松市緑の基本計画」に基づき、緑の保全・創造に取り組んでおり、檀紙公園（仮称）や鬼無公園（仮称）等の身近な公園整備に取り組むなど、緑豊かなまちづくりを計画的に進めている。引き続き、基本計画の主要事業である「１小学校区１公園」の身近な公園整備事業については、各小学校区の公園面積の拡充に向け、地元コミュニティ協議会と連携を図りながら、整備していく必要がある。

施策の方向性

環境保全機能、レクリエーション機能、防災機能、景観形成機能等の多様な機能を持つ都市公園の整備や公園・街路樹の維持管理等の緑の保全に関する施策は、潤いと安らぎのある生活環境の創出に不可欠であることから、今後とも継続していくものとする。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）公園・街路緑化事業 103,612千円 都市整備局 公園緑地課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 公園の高木や街路樹の剪定、病害虫の駆除等を行うことにより、市民に緑あふれる快適な環境を提供することができた。							
2	（評価対象外）名木保護事業 891千円 都市整備局 公園緑地課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 郷土の景観やシンボルである貴重な古木・巨木３９本を、高松市の名木として指定し、樹木の照会や管理を支援するなどにより、市民に自然の恵みを与えてきた名木の保存に寄与した。							
3	（評価対象外）公園施設管理運営事業 337,679千円 都市整備局 公園緑地課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 公園愛護会による公園の清掃活動のほか、公園施設の安全点検及び修繕並びに樹木の剪定などの愛護活動を支援したことにより、公園の適切な維持管理を行った。 なお、公園等再整備事業等については、設計内容の検討に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：４８，７２４，０００円） また、前年度からの繰越事業である公園等再整備事業については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：３４，０９６，４００円）							
4	身近な公園整備事業 58,056千円 都市整備局 公園緑地課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			96.9%		B	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 第２次高松市緑の基本計画に基づき、小学校区に公園が少ない地域に、気軽に憩いふれあえる場を創出するため、檀紙公園（仮称）、鬼無公園（仮称）、香川町川東公園（仮称）整備事業の進捗を図り、市民一人当たりの公園面積の増加に寄与した。 ◎全体進捗率（公園整備件数累計）　実績７２．７％（目標７５．０％） なお、整備内容の協議に、日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：４，７４１，０００円） また、前年度からの繰越事業である身近な公園整備事業については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費４９，６８５，６００円）							
5	Ｐａｒｋ－ＰＦＩ導入事業 都市整備局 公園緑地課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	100.0%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 中央公園において、「民間活力をいかした中央公園再整備方針」及び「公募設置等指針」を作成し事業者を募集することにより、事業の進捗を図った。 ◎Ｐａｒｋ－ＰＦＩ導入公園数　実績１件（目標１件）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><td rowspan="4">6</td><td rowspan="2">（評価対象外）ちびっこ広場整備事業
1,084千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">都市整備局
公園緑地課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
第２次高松市緑の基本計画に基づき、地域に都市公園等が無く、当分の間、公園整備が見込めない地区の公園を補完するちびっこ広場の適切な維持管理を行った。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">7</td><td rowspan="2">花いっぱい推進事業
20,774千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>79.8%</td><td></td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>B</td><td>継続</td></tr>
<tr><td rowspan="2">都市整備局
公園緑地課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
駅前広場や道路、商店街の街角の公共花壇やポケットパーク等の地区花壇の草花の管理を推進するとともに、快適な生活環境や潤いのあるまちづくりを推進した。
◎ボランティア管理花壇箇所数　実績９１か所（目標１１４か所）</td></tr>
</table>

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	水の安定供給

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
106,497千円	A	48.0%	82.3%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	環境局、都市整備局、総務局

対象	市民、事業者	意図	限りある水資源を有効利用することで、持続可能な水環境を形成するとともに、安心して、いつでも使える水道水を供給する。

概要（実績）

県が行う椛川ダム建設事業に対する負担金の支出を始め、浄水場整備事業や配水管布設工事、布設替工事などを施工し、安定給水に寄与した。さらに、水道水を将来にわたり、安定的に供給するため、県と市町で協力しながら、県内水道事業の広域化に取り組んだ結果、平成２９年１１月に香川県広域水道企業団が設立され、３０年４月から、水道事業が同企業団に移管された。安全で良質な水の供給においては、浄水場の適正な運転管理や水質検査を実施するとともに、あらゆる工事機会を捉えた鉛管の取替えや助成制度の利用促進など、鉛製給水管の解消にも積極的に取り組み、安全な水道水を供給してきた。なお、給水対象外の居住者に対しては、自家用給水装置の費用の一部を補助し、飲用水を確保する事業に取り組んだ。持続可能な水環境の形成においては、「水環境基本計画」の進行管理を「環境基本計画」において一体的に行い、取組を進めた。さらに、引き続き、我が家の水がめづくり事業など、水の有効利用促進に取り組むことにより、市民等の自発的・積極的な節水行動や節水意識の向上に寄与した。

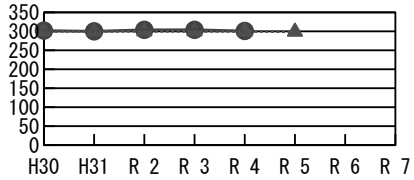
成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	１人１日当たり水道平均使用水量	301 L	300 L	99.7%
②				
③				

① 状況

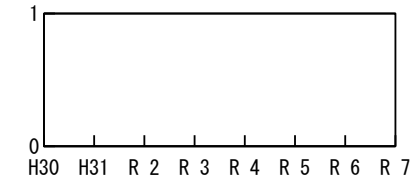
給水人口は、顕著な減少が続いている一方、給水戸数は増加傾向であるが、令和２年度からのコロナ禍の影響で在宅時間が増えたことによる家庭用水量の増加については、４年度はその影響も少なくなり、全体的に使用水量の減少につながった結果、指標の目標値に近づくこととなった。（参考）香川県広域水道企業団実績

達成度の推移



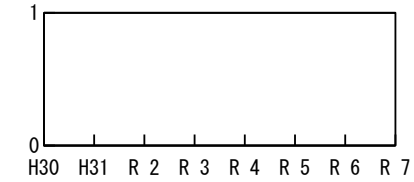
② 状況

達成度の推移



③ 状況

達成度の推移



施策の課題

【環境局】水環境に関する取組は広範囲に及ぶため、市内部はもとより、香川県広域水道企業団・関係機関等の相互理解の下、連携・協力体制を強化することが必要である。生活用水等確保対策事業については、利用件数が少ないことから、制度の周知を広く図り、自己の用に供する飲用水の安定的な確保を図る必要がある。
【都市整備局】椛川ダム整備事業については、令和４年度で完了した。再生水利用下水道事業の既存施設有効活用や雨水利用助成制度の周知により、再生水利用などの活用について、引き続き、啓発する必要がある。

施策の方向性

香川県広域水道企業団との連携を図り、引き続き、自己処理水源の確保に取り組むとともに、施設の耐震化や老朽化した施設の更新を計画的に実施して、安全で安定した水道水の供給に努める。
今後は、環境基本計画の進行管理に合わせて、水源域との連携も踏まえ、持続可能な水環境の形成の実現に向けた取組を進める。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）渇水対策事業 664千円 総務局 危機管理課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 渇水対策について、国、県及び関係機関から通知を受けたときや、気象状況等により渇水対策を講じる必要があると認められたときに、渇水対策本部を設置し、渇水災害に係る災害予防、応急対策等を講じる。							
2	生活用水等確保対策事業補助事業 環境局 環境総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			88.2%	28.6%	A	B	B	C	継続
		（事業概要、事業実績等） 香川県広域水道企業団が実施する水道事業の給水対象外の区域に居住する者に対し、自己の用に供する飲用水の安定的な確保を推進するため、自家用給水装置の費用の一部を補助する制度の周知を行い、相談などにも対応した。 生活用水等確保対策事業補助件数：新規０件 ◎生活用水確保対策事業補助累積件数（平成２１年度以降） 実績１５件（目標１７件） ◎飲用水給水ホース等設置事業補助累積件数（平成２１年度以降） 実績２件（目標７件）							
3	椛川ダム整備事業（建設事業、水源地域整備事業） 96,158千円 都市整備局 河港課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	B	B	A	完了
		（事業概要、事業実績等） 県が施行する治水、利水、渇水対策機能を持つ多目的ダムの建設に対し、費用の一部を負担した。 また、ダム建設による水源地域への影響を緩和し、関係住民の生活の安定と福祉の向上を図るため、本市が施行する道路新設改良事業及び林道整備事業に対して、費用の一部を負担した。 ◎ダム本体整備率　実績１００％（目標１００％） なお、前年度からの繰越事業については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：９５，５１３，１００円）							
4	我が家の水がめづくり事業 環境局 環境総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			99.7%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 節水に関する事業や啓発活動等を総称する我が家の水がめづくりの取組の一環として、巧水スタイル推進チームと連携し、周知啓発を行った。 また、土佐町等と連携している「広域連携ＳＤＧｓモデル事業」について協議を行った。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、水源地域交流物産市は中止した。 ◎一人一日当たりの水道水平均使用量　実績３０１Ｌ（目標３００Ｌ）							
5	（評価対象外）水環境基本計画推進事業 410千円 環境局 環境総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 「環境基本計画」と一体的に進行管理を行い、各種施策に取り組んだ。							

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	汚水・雨水対策の充実

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
4,131,983千円	A	36.8%	71.0%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	都市整備局

対象	意図
市民	生活環境の改善や公衆衛生の向上、浸水被害の軽減・解消、さらには、河川、海域等の公共用水域の水質保全を図る。

概要（実績）

汚水管きょの整備を実施し、新たに３．０ｈａの供用を開始し生活環境改善に寄与するとともに、浸水対策整備事業として、浸水被害の軽減を目的に、西部バイパス幹線への接続工事や周辺市街地において、宮川幹線の整備等を実施した。

また、下水道ストックマネジメント計画に基づき、下水処理場やポンプ場など老朽化の進んだ設備を改築することにより、処理等の機能を確保した上で適切な運転・維持管理を行うとともに、処理過程で発生する消化ガスや再生水などの下水道資源を有効に活用した。

さらに、２３４基の単独処理浄化槽からの転換を始め、２５０基の合併処理浄化槽の設置経費に助成を行ったことにより、生活環境が向上した。

成果指標

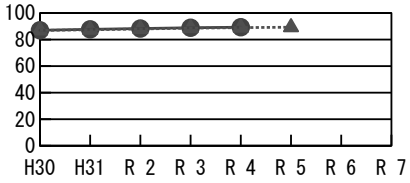
①

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
汚水処理人口普及率	89.3%	89%	100.3%

状況

下水道汚水管きょの整備による３．０ｈａの供用を始め、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進等により、汚水処理人口普及率が前年度から０．４ポイント上昇の８９．３％となり、目標を達成することができた。

達成度の推移



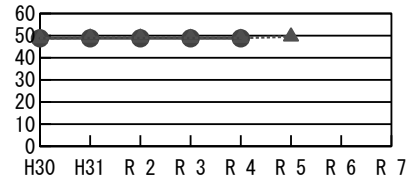
②

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
雨水対策整備率	48.8%	49%	99.6%

状況

中心市街地の浸水対策として西部地区において既設管きょから整備が完了した雨水幹線への接続工事を進めるとともに、周辺市街地において宮川雨水幹線の整備を行うなど、施設整備に取り組んだが、雨水対策整備率は４８．８％と目標を僅かに下回った。

達成度の推移



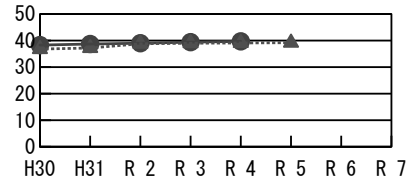
③

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
下水道管路耐震化率	39.7%	39.1%	101.5%

状況

耐震性を確保した下水道管路の新設及び改築・更新を４．７ｋｍ行い、耐震化率が前年度から０．３ポイント上昇の３９．７％となり、目標を達成することができた。

達成度の推移



施策の課題

下水道事業計画区域内の汚水対策については、生活排水対策を更に推進するため、私道への下水道管布設承諾に係る地元関係者の合意形成を図るとともに、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進や、下水道未接続世帯の解消に努めるなど具体的な取組を継続的に行う必要がある。

施策の方向性

多核連携型コンパクト・エコシティの取組との整合を図りながら、高松市下水道事業基本計画や第４次高松市生活排水対策推進計画に基づき、公共下水道の整備や合併処理浄化槽の設置促進により、計画的かつ効果的な生活排水対策に取り組む。

また、中心市街地において、西部バイパス幹線接続工事や日新ポンプ場等の整備を進めるとともに、周辺市街地においても、宮川幹線を始めとする雨水幹線の整備を行うなど、安全で安心なまちづくりを推進する。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><th rowspan="3">1</th><td rowspan="2">合併処理浄化槽設置整備事業

189,434千円</td><th>重点</th><th colspan="2">成果達成度</th><th>妥当性</th><th>有効性</th><th>効率性</th><th>総合評価</th><th>今後の方向性</th></tr>
<tr><td></td><td>100.8%</td><td></td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td>都市整備局
下水道業務課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
下水道事業計画区域外における合併処理浄化槽の設置に対し補助を行った。
令和元年度から単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に重点を置く国の方針に従い、新設に対する補助を廃止した上で、転換の配管費用に対する補助への上限額を３０万円に引き上げて転換を促進しており、継続的な取組の結果、汚水処理人口普及率（合併処理浄化槽）が０．３％上昇し、生活環境が改善された。
合併処理浄化槽設置補助　２５０基
（単独処理浄化槽撤去・配管費補助　２３４基）

◎合併処理浄化槽による汚水処理人口普及率
実績２４．９％（目標２４．７％）</td></tr>
<tr><th rowspan="3">2</th><td rowspan="2">（評価対象外）浄化槽管理指導事業

2,700千円</td><th>重点</th><th colspan="2">成果達成度</th><th>妥当性</th><th>有効性</th><th>効率性</th><th>総合評価</th><th>今後の方向性</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>都市整備局
下水道業務課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
浄化槽の法定検査未受検の管理者に対して、香川県浄化槽協会と連携して受検指導を行ったほか、浄化槽管理士を対象とした研修会や新たに浄化槽を設置した管理者を対象とした講習会の開催などにより、浄化槽の適正な管理に寄与した。</td></tr>
</table>

（5）環瀬戸内海圏の中核都市として
ふさわしいまち

令和４年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
	政　策	コンパクトで魅力ある都市空間の形成

総合評価
A

１　政策の概要

コンパクトで魅力ある都市空間の形成を図るため、人口減少、少子・超高齢社会においても、活力を失わず、市民がいきいきと暮らせるコンパクトで持続可能な集約型都市の構築に向け、都市計画制度等の的確な運用により、適正な土地利用を推進するとともに、地域における拠点性の確保を図るなど、多核連携型コンパクト・エコシティの推進に努めます。
また、自然・都市・歴史・文化の調和した、誰もが暮らしたい、訪れたいと感じる、美しいまちの実現に向け、景観の保全・形成・創出に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
多核連携型コンパクト・エコシティの推進	93%	A
景観の保全・形成・創出	100%	A
平均	96%	A

３　政策の評価

コンパクトで魅力ある都市空間の形成に向けて、２施策に取り組んだ。
「多核連携型コンパクト・エコシティの推進」及び「景観の保全・形成・創出」の２施策では、設定する３つの成果指標について、目標を達成又はおおむね達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は９６％となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
多核連携型コンパクト・エコシティの推進	20.3%	22.4%	59.1%
景観の保全・形成・創出	23.4%	19.2%	57.0%
平均	21.9%	20.8%	58.1%

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	多核連携型コンパクト・エコシティの推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
22,911千円	A	20.3%	59.1%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政　策	コンパクトで魅力ある都市空間の形成
担当局	都市整備局

対象	市民	意図	平成３０年４月に改定した多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画に基づき、集約拠点への都市機能の集積と市街地の拡大抑制による、コンパクトで持続可能な都市構造「多核連携型コンパクト・エコシティ」の実現を目指す。

概要（実績）

人口減少、少子・超高齢社会の本格的な到来を見据え、集約拠点への都市機能の集積と市街地拡大を抑制し、コンパクトで持続可能なまちづくりを進めるため、道路等の社会基盤情報のデジタル化・オープンデータ化により、業務改善と新規サービス創出の両方を可能とする地理空間データ基盤を構築するとともに、都市計画マスタープラン及び関連計画の見直しに向けた調査・検討を行った。さらに、本市の住宅関係施策の統一した指針となる「高松市住生活基本計画」に基づき、既存マンションの適正な管理や流通促進、管理の適正化意識の醸成を促すため、「高松市マンション管理適正化推進計画」を策定した。

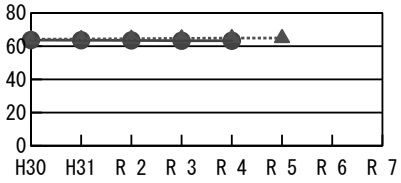
成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	用途地域内の人口比率	63.3%	64.9%	97.5%
②	中心市街地の居住人口の割合	4.7%	5.1%	92.2%
③				

① 状況

前年度と同値の６３．３％となり、目標をおおむね達成した。

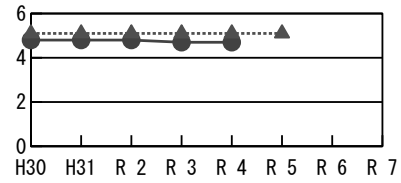
達成度の推移



② 状況

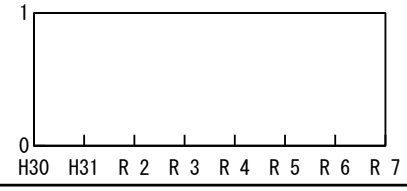
前年度から９２人減の１９，９６８人とほぼ横ばいで、居住人口の割合としても前年度と同値の４．７％となり、概ね目標を達成した。

達成度の推移



③ 状況

達成度の推移



施策の課題

平成３０年３月に策定した立地適正化計画に基づき、今後、デジタル技術も活用しながら、実効性のある誘導施策・事業を実施し、市街地の更なる拡大の抑制と都市機能の集約を図るとともに、コンパクトで持続可能なまちづくりを目指す。

また、都市計画マスタープランを改定し、公共交通を基軸とした集約型都市の構築に向けた効果的な施策・事業を推進する。

施策の方向性

今後とも、立地適正化計画やコンパクト・エコシティ推進計画に基づき、人口減少、少子・超高齢社会を見据え、３０年後、５０年後においても活力を失わず、市民がいきいきと暮らせるコンパクトで持続可能なまちづくりを実現するために継続して事業を推進する。

５年度は、シーフロントゾーンを始めとする、用途地域の見直しについて検討を進め、次期総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画に、将来のまちづくりの方向性を見据えた土地利用の考え方を反映する。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	多核連携型コンパクト・エコシティ推進事業 9,485千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	96.8%	92.2%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 平成２９年度に策定した立地適正化計画や多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画に基づき、コンパクト・エコシティ推進懇談会を開催し、事業の進捗状況を確認することで、集約拠点への都市機能の集積や市街地の拡大抑制によるコンパクトで持続可能な「多核連携型コンパクト・エコシティ」の実現に寄与した。 ◎居住誘導区域内の人口密度 実績４４．９人／ｈａ（目標４６．４人／ｈａ） ◎中心市街地の居住人口の割合　実績４．７％（目標５．１％）							
2	豊かな住まいづくり事業 1,254千円 都市整備局 住宅・まちづくり推進室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	83.7%	96.8%	A	A	A	A	拡充
		（事業概要、事業実績等） 本市の住宅関係施策の統一した指針となる「高松市住生活基本計画」に基づき、既存マンションの適正な管理や流通促進、管理の適正化意識の醸成を促すため、「高松市マンション管理適正化推進計画」を策定した。 ◎市民満足度調査（居住年数１０年未満の対象者における、住みよい・まあまあ住みよいの割合）　実績７２．３％（目標８６．４％） ◎居住誘導区域内の人口密度 実績４４．９人／ｈａ（目標４６．４人／ｈａ）							
3	（評価対象外）都市計画制度運用事業 11,548千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 都市の健全な発展と秩序のある整備を図るため、土地利用における地域地区及び都市施設など都市計画を定める都市計画審議会の運営を行った。							
4	（評価対象外）新病院を核としたまちづくり推進事業（北側エリア整備事業）（住宅・まちづくり推進室分） 624千円 都市整備局 住宅・まちづくり推進室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 農業試験場跡地北側エリアにおいて、北側エリア内の管理業務（草刈）を遂行した。							
5	地理空間データ基盤整備事業 都市整備局 デジタル社会基盤整備室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			3,100.0%		A	A	A	A	拡充
		（事業概要、事業実績等） 新たなサービスの創出を図るため、だれでも利活用が可能な社会基盤として、道路台帳をデジタル化するとともに、データ連携基盤を整備した。 ◎マイセーフティマップの延べユーザー数 実績３，１００人（目標１００人）							

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	景観の保全・形成・創出

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
3,877千円	A	23.4%	57.0%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政　策	コンパクトで魅力ある都市空間の形成
担当局	都市整備局

対象	市民	意図	良好な景観の保全・形成・創出と環境美化を一体的に推進するため、美しいまちづくり条例を制定し、条例に基づく景観施策の指針となる美しいまちづくり基本計画を策定するとともに、景観法に基づく景観計画を策定することにより、地域に即した都市景観の形成を目指す。

概要（実績）

良好な都市景観を保全・形成・創出するとともに、まちの環境美化に取り組むことで美しいまちづくりを推進するため、平成２８年４月１日から屋島地区及び讃岐国分寺跡周辺地区を景観計画で定める景観形成重点地区に追加指定した。

また、令和４年度は景観条例に基づく届出対象行為（１１９件）に対する審査を行ったほか、既存不適格広告物の広告主に対し屋外広告物改修補助制度の活用による早期撤収・改修を促す（利用件数：１２件）とともに、はり紙などの違反屋外広告物について、関係者と連携して簡易除去（１０件）を行ったことにより、良好な景観の保全・形成・創出に寄与した。

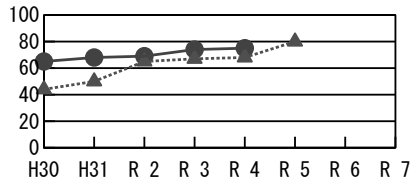
成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	特別な区域における既存不適格広告物の適正化率	75%	68%	110.3%
②				
③				

① 状況

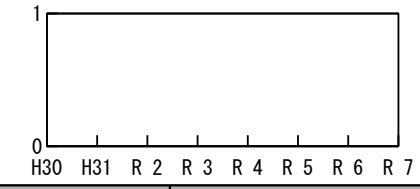
平成２７～２８年度にかけて、特別な区域のうち特に栗林公園内の眺望地点から望見される広告物が改修され、令和４年度についても、引き続き主要交差点における広告物が除却され、目標を達成することができた。

達成度の推移



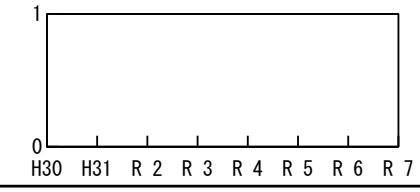
② 状況

達成度の推移



③ 状況

達成度の推移



施策の課題

美しいまちづくりの実現に向けては、市・市民・事業者が適正な役割分担の下で、三者が一体となって地域の魅力や特性を活かしたまちづくりを進めていく必要がある。

施策の方向性

良好な都市景観の形成に向け、美しいまちづくり条例に基づく基本計画で定めた目標を達成するため、平成２８年４月に一部変更した景観計画の周知・啓発と、一定規模以上の建築物等に対する指導・助言により、良好な景観の保全・形成を図るとともに、２５年度に改正した高松市屋外広告物条例に基づく、屋外広告物の規制・誘導を行い、建築物等と一体となった良好な景観形成を推進する。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><td rowspan="4">1</td><td rowspan="2">美しいまちづくり推進事業
3,005千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>83.6%</td><td>83.3%</td><td>A</td><td>B</td><td>A</td><td>B</td><td>継続</td></tr>
<tr><td rowspan="2">都市整備局
都市計画課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
（事業概要、事業実績等）
景観施策の指針である「美しいまちづくり基本計画」に定める目標を実現するため、一定規模以上の建築物等に対して指導・助言を行うことなどにより、良好な景観形成を誘導した。

◎施策全体の満足度　実績２３．４％（目標２８％）
◎景観形成重点地区数　実績５地区（目標６地区）

なお、実施主体の事業が遅れたことにより、年度内に補助金の支出が不可能となったため、事業費の一部を翌年度に繰り越した。
（繰越明許費繰越額：３０８，０００円）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">2</td><td rowspan="2">屋外広告物対策事業
872千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>166.7%</td><td></td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td rowspan="2">都市整備局
都市計画課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の表示や掲出物件の設置を規制・誘導したほか、市民との協働により簡易な違反広告物の除去活動を行うことにより、良好な景観形成に寄与した。

◎違反広告物簡易除去件数　実績１０件（目標３０件）</td></tr>
</table>

令和４年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
	政　策	快適で人にやさしい都市交通の形成

総合評価
B

１　政策の概要

多様な交通が有機的に連携した快適で人にやさしい都市交通の形成を図るため、過度に自動車に依存せず、誰もが安全で快適に移動することができるよう、生活バス路線の確保、離島航路への支援など、公共交通機関の充実・強化や主要な駅等におけるパーク・アンド・ライドの推進など、公共交通の利便性の向上を図ります。
また、自転車利用者と歩行者の双方が道路を安全で快適に利用できるよう、駐輪場や自転車走行空間の確保を始め、レンタサイクルや放置自転車対策などの事業を進めるとともに、自転車利用者のマナー向上に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
公共交通の利便性の向上	85%	B
自転車の利用環境の向上	63%	C
平均	74%	B

３　政策の評価

快適で人にやさしい都市交通の形成に向けて、２施策に取り組んだ。
「公共交通の利便性の向上」では、設定する２つの成果指標のうち、公共交通機関利用率において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標をおおむね達成した。
「自転車の利用環境の向上」では、設定する２つの成果指標について、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少などから、目標に届かなかった。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は７４％となり、政策全体として目指す方向におおむね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「Ｂ」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
公共交通の利便性の向上	15.0%	47.0%	77.4%
自転車の利用環境の向上	20.5%	27.5%	56.7%
平均	17.8%	37.3%	67.1%

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	公共交通の利便性の向上

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
1,150,109千円	B	15.0%	77.4%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政　策	快適で人にやさしい都市交通の形成
担当局	都市整備局

対象	市民、来訪者	意図	市民の活動を支える多様な移動手段を確保するとともに、公共交通の利便性の向上により、公共交通の利用促進を図る。

概要（実績）

持続可能な公共交通ネットワークを構築していく観点から、太田～仏生山駅間の新駅整備や現行バス路線の再編に取り組んでおり、伏石駅については、４月１日から高松西高線及び鹿角線の２路線が乗り入れ、運行を開始した。
また、高松市公共交通利用促進条例の理念などに基づき、高齢者割引や鉄道・バスなど乗り継ぎ割引事業を継続した。新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者は落ち込んでいるが、徐々に回復傾向にある。

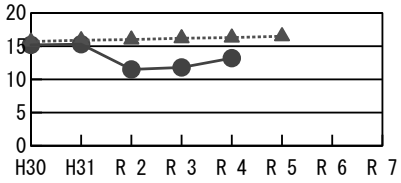
成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	公共交通機関利用率	13.2%	16.3%	81.0%
②	交通結節拠点におけるバス路線の結節数（都心部を除く）	9路線	10路線	90.0%
③				

①状況

当該指標は、平成１９年度を基準年度とし、毎年度一定の利用者増を目標に掲げている。平成２０年代半ばから増加傾向にあった公共交通利用者は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少に転じた。令和４年度は、１日当たり５，１４８人増加し、回復傾向にあるが、利用率の目標を達成することができなかった。

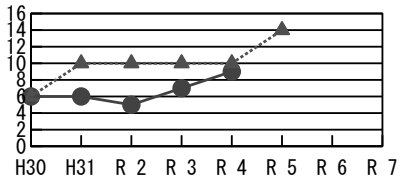
達成度の推移



②状況

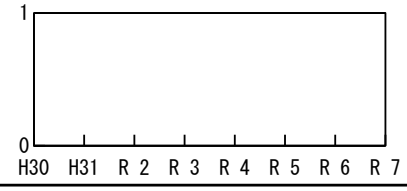
当該指標は、平成２４年度の交通結節拠点におけるバス路線の結節数を目標に掲げている。新たな公共交通の結節拠点整備に併せ、バス路線再編を進める、公共交通ネットワークの再構築の進捗を確認するものであり、令和４年度は、２路線を伏石駅に結節させたが、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



③状況

達成度の推移



施策の課題

過度な自動車利用から公共交通利用への転換を図るため、利便性が高く持続可能な公共交通ネットワークの再構築に当たっては、新たな交通結節拠点整備やバス路線再編と併せて、快適に公共交通を利用できる環境を整えることが必要である。

施策の方向性

公共交通の利便性の向上に当たっては、市全域を対象とした公共交通体系の再編とハード・ソフトの両面から公共交通の利便性の向上に資する施策を積極的に推進するとともに、都市計画マスタープランに掲げる、「多核連携型コンパクト・エコシティ」の観点から、拠点地域等への都市機能の集約を進めるなど、集約型の都市構造への転換を図り、公共交通の利用を促進していく必要がある。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

1

事務事業名及び事業費：ＪＲ端岡駅周辺整備事業　90千円

担当課：都市整備局　交通政策課

事業内容

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
一般重点	81.0%		A	B	B	B	継続

（事業概要、事業実績等）
本市が目指す「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりの考えの下、持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指し、本市西部南地域の核となる駅として利便性向上と交通結節拠点機能を強化するため、ＪＲ端岡駅の駅舎や駅前広場、国道からのアクセス道路等を一体的に整備する基本計画（素案）に基づき、鉄道事業者と協議・調整を図った。

◎公共交通機関利用率　実績１３．２％（目標１６．３％）

2

事務事業名及び事業費：地域公共交通再編事業　300,064千円

担当課：都市整備局　交通政策課

事業内容

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
特別重点	47.9%	81.0%	A	B	B	C	継続

（事業概要、事業実績等）
「高松市地域公共交通利便増進実施計画」に基づき、令和４年４月１日よりバス路線再編による２路線の運行を開始し、太田～仏生山駅間の新駅整備については、物件補償等を行った。また、タクシーを活用した新しい交通モード「バタクス」の創出に向けた実証事業の運行形態を一部見直した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者は、徐々に回復傾向にある。
◎本施策の市民満足度　実績１５．０％（目標３１．３％）
◎公共交通機関利用率　実績１３．２％（目標１６．３％）
なお、関係機関との協議に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。
（繰越明許費繰越額：５４，２０３，０００円）
また、前年度からの繰越事業である用地取得等については完了した。
（令和３年度繰越明許事業費：１６０，５６８，４５７円）

3

事務事業名及び事業費：公共交通維持改善事業（都市計画課分）

担当課：都市整備局　都市計画課

事業内容

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
一般重点	100.0%		A	A	B	A	継続

（事業概要、事業実績等）
令和４年度においては、事業の実施はなかったものの、次年度以降の事業計画を作成したことにより、公共交通の維持、良好な交通環境の確保に寄与した。

◎バリアフリー化率　実績５２．４％（目標５２．４％）

4

事務事業名及び事業費：公共交通維持改善事業（交通政策課分）　153,266千円

担当課：都市整備局　交通政策課

事業内容

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
一般重点	81.0%	40.0%	A	B	B	C	改善継続

（事業概要、事業実績等）
公共交通の維持や利便性の向上を図り、快適に公共交通を利用できる環境を確保するため、県と共に赤字路線に対する補助金を交付した。また地域主体のコミュニティバスの導入を促進するため、多肥・仏生山地区において試験運行事業を開始した。

◎公共交通機関利用率　実績１３．２％（目標１６．３％）
◎地域と連携したコミュニティ交通路線数　実績２路線（目標５路線）

なお、ユニバーサルデザインタクシー導入促進事業補助金について、車両の生産遅延により、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。
（繰越明許費繰越額：４００，０００円）

5

事務事業名及び事業費：公共交通利用促進事業　109,371千円

担当課：都市整備局　交通政策課

事業内容

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
一般重点	47.9%	81.0%	A	A	B	B	継続

（事業概要、事業実績等）
「高松市総合都市交通計画」及び「高松市公共交通利用促進条例」の理念を踏まえた施策である、電車・バス及びバス・バス乗り継ぎ割引や高齢者公共交通運賃半額事業を継続実施した。
なお、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者は、徐々に回復傾向にある。

◎本施策の市民満足度　実績１５．０％（目標３１．３％）
◎公共交通機関利用率　実績１３．２％（目標１６．３％）

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
6	（評価対象外）地域公共交通サービス水準向上支援事業 25,488千円 都市整備局 交通政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通の利用者が減少している状況の中、瀬戸内国際芸術祭の開催に併せ、観光需要を喚起するため、高松空港リムジンバス往復乗車券とめおん乗船券をセットで割引販売したほか、限定デザインのＩｒｕＣａカード販売、ＩｒｕＣａ加盟店での公共交通利用者の物品購入に対するイルカポイントの付与により事業者支援を行い、公共交通の維持、利用回復に寄与した。 また、運行事業者に対し、市役所及びＪＲ高松駅へデジタルサイネージを導入する費用を支援することにより、公共交通利用者の利便性向上を図った。							
7	（評価対象外）駐車場管理運営事業 478,612千円 都市整備局 交通政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 引き続き指定管理者による、市営駐車場８施設の管理・運営を行い、利用者の利便性の向上と経費節減につなげた。 なお、前年度からの繰越事業である中央駐車場及び瓦町駅地下駐車場改修事業については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：２４，６４４，４００円）							
8	（評価対象外）地域公共交通運行特別支援事業 57,650千円 都市整備局 交通政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通の利用者が減少し運賃収入が落ち込んでいることに加え、燃料価格の高騰による運行経費の増加が交通事業者に更なる負担を強いている状況に鑑み、当該交通事業者に対する運行継続のための支援を行うことにより、市民等の移動手段を確保することができた。							

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	自転車の利用環境の向上

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
189,004千円	C	20.5%	56.7%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政　策	快適で人にやさしい都市交通の形成
担当局	都市整備局

対象	意図
市民	市民が安全で快適に、自転車を利用するための環境を整備し、自転車利用の促進を目指す。

概要（実績）

平成２０年１１月に策定した「高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針」及び令和３年３月に改定した計画路線網図に登載している路線のうち、１路線の整備を行った。
また、放置自転車を利活用したレンタサイクル事業では、スマートフォンアプリによる登録申請やキャッシュレス決済などを取り入れた、新たなレンタサイクルシステムでの運用を開始するとともに、管理手法を見直したこと等により、事業収支の健全化に寄与した。

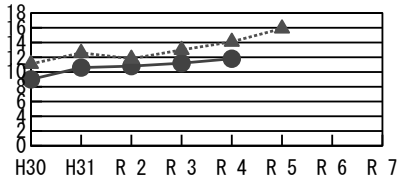
成果指標

①

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
自転車道等整備済延長（累積）	11.8km	14.1km	83.7%

状況：三番町築地線において、車道混在（矢羽根型路面標示）を０．６ｋｍ整備したが、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

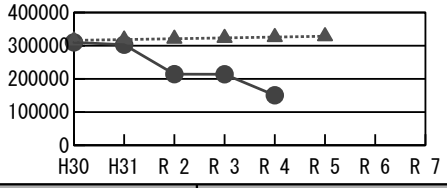


②

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
レンタサイクル利用者数	150,625人	326,000人	46.2%

状況：レンタサイクルのシステムを更新し、新たにスマートフォンのアプリを活用し、利便性の向上を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響による外出の自粛などで、各ポート利用者が減少したことにより、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

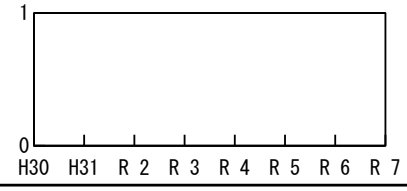


③

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

自転車の利用環境の向上を図るため、道路管理者・鉄道事業者や商店街などが、各々の役割分担に基づき、関係機関と連携し計画的に事業の推進に努めているが、利害関係者間の意見調整に時間を要する。

施策の方向性

自転車の走行空間と駐輪スペースの確保を最優先に取り組むとともに、自転車事故対策やマナーアップ等について警察やその他の関係機関と連携して取り組む。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	自転車利用環境整備事業 14,834千円 都市整備局 道路整備課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			83.7%		A	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 「高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針」に示された対象路線のうち、１路線の整備を実施した。 ◎自転車道等整備済延長　実績１１．８ｋｍ（目標１４．１ｋｍ） なお、地元関係者との協議に日時を要したこと等により、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：５，２５６，０００円）							
2	レンタサイクル事業 61,961千円 都市整備局 交通政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	117.5%	59.7%	B	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 自転車整備員４名による点検整備を行うとともに、平成２６年度に公募により決定した新デザインを５０台の車両に塗装（累計１，２４４台）した。 また、新たなレンタサイクルシステムでの運用を開始するとともに、管理手法を見直す等、事業収支の健全化を進めた。 ◎放置自転車撤去台数（禁止区域） 実績１，１１０台（目標１，３４５台） ◎レンタサイクルの利用延べ人数 実績１５０，６２５人（目標２５２，２００人）							
3	駐輪場整備事業 9,179千円 都市整備局 交通政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.1%	87.6%	B	C	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 「高松市自転車等駐車対策総合計画」等に基づき、中央商店街における民間自転車等駐車場の確保に対する支援を行った。 また、ことでん円座駅においては、自転車利用者の利便確保及び放置自転車の削減のため、自転車駐車場を新たに整備した。 ◎鉄道駅周辺公共駐輪場の収容台数 実績１１，２６４台（目標１１，２５２台） ◎補助駐輪場の収容台数 実績３３３台（目標３８０台）							
4	放置自転車等対策事業 36,201千円 都市整備局 交通政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			145.7%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 「第３期高松市自転車等駐車対策総合計画」等に基づき、引き続き、放置自転車の警告、移送、保管、返還、処分等を行った。 警　告　３５，２６５台 移　送　２，５９５台 返　還　１，２３９台 処分等　１，４５９台 ◎放置自転車警告件数　実績３５，２６５台（目標６５，０００台）							
5	（評価対象外）駐輪場管理事業 66,829千円 都市整備局 交通政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 引き続き、自転車等駐車場の維持・管理を行い、自転車等利用者の利便性の確保に寄与した。							

令和４年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
	政　策	**拠点性を発揮できる都市機能の充実**

総合評価
A

１　政策の概要

激しさを増す都市間競争において、本市の優位性を更に高め、拠点性を発揮できる都市機能の充実を図るため、高松空港や高松港の機能強化、四国への新幹線の導入促進など、拠点性を高める交通網の整備と利用促進に取り組みます。
また、都市計画道路等の整備により、道路交通の円滑化・安全性の向上など、拠点性を高める道路ネットワークの整備を進めます。
また、ウォーターフロントの魅力をいかしながら、サンポート高松など中心市街地の機能強化を図るとともに、魅力ある商業・業務空間の形成やまちなか居住を促進し、人々の回遊性を高めるなど、中心市街地の活性化に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
拠点性を高める交通網の整備と利用促進	71%	B
拠点性を高める道路ネットワークの整備	100%	A
中心市街地の活性化	92%	A
平均	87%	A

３　政策の評価

拠点性を発揮できる都市機能の充実に向けて、３施策に取り組んだ。
「拠点性を高める交通網の整備と利用促進」では、設定する３つの成果指標について、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、目標に届かなかった。
「拠点性を高める道路ネットワークの整備」では、設定する１つの成果指標について、目標を達成した。
「中心市街地の活性化」では、設定する３つの成果指標のうち、中央商店街の空き店舗率において、前年度までの新型コロナウイルス感染症の影響による飲食店の撤退などから、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成又はおおむね達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は８７％となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
拠点性を高める交通網の整備と利用促進	18.7%	33.7%	67.9%
拠点性を高める道路ネットワークの整備	27.5%	23.5%	63.5%
中心市街地の活性化	21.6%	27.9%	60.9%
平均	22.6%	28.4%	64.1%

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	拠点性を高める交通網の整備と利用促進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
558,690千円	B	18.7%	67.9%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政　策	拠点性を発揮できる都市機能の充実
担当局	都市整備局

対象	地域経済・産業（人・物・情報）	意図	環瀬戸内海圏の中核都市としての機能を発揮できる陸海空の交通ネットワークの整備と利用促進により、交流人口の拡大、物流の円滑化を促進し、地域経済及び産業の活性化を目指す。

概要（実績）

高松空港においては、国内で新型コロナウイルス感染症に係る行動制限が解除されたことや、ソウル線及び台北線の運航再開により、定期路線利用者数が前年度から倍増となった。
また、高松港においては、４航路週７便の海上輸送網を維持しているが、高松港に入港した外国貿易船の年間延べ純トン数について、目標の達成には至らなかった。

成果指標

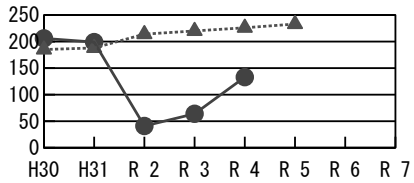
①

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
高松空港の利用者数	133万人	226万人	58.8%

状況

国内で新型コロナウイルス感染症に係る行動制限が解除されたことや、ソウル線、台北線の運航再開により、前年度比２０７％となったが、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



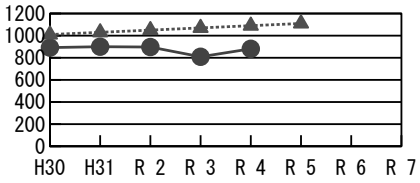
②

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
高松港に入港した外国貿易船の年間延べ純トン数	881千純トン	1,090千純トン	80.8%

状況

平成９年に韓国釜山航路が開設されて以降、順次航路開設が進み、現在４航路週７便の海上輸送網を維持しているが、目標を達成することができなかった。
（中国航路２便、韓国航路４便、フィーダー航路１便　計７便）

達成度の推移



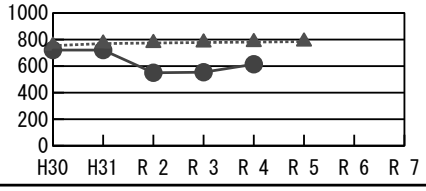
③

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
市内ＪＲ駅の乗降客数	614万人	781万人	78.6%

状況

当該指標は、平成１９年度を基準年度として、毎年一定の利用者増（累積）を見込み、目標として掲げている。
なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



施策の課題

高松空港においては、コロナ前の需要への早期回復を図るため、高松空港振興期成会の一員として、高松空港株式会社と連携し、今後を見据えた対応が必要である。
高松港においては、４航路週７便という海上輸送網を維持しているが、今後の航路拡充・物流量の増加に向けた地域経済の活性化に取り組む必要がある。
また、四国新幹線の実現を目指し、関係機関との連携により、整備計画への格上げに向けて取り組む必要がある。

施策の方向性

高松空港の航空路線については、航空ネットワークの拡充に向けて、チャーター便の誘致促進など、高松空港振興期成会の一員として、高松空港株式会社と連携して取り組む。
高松港の交通・物流拠点性の向上については、事業主体である香川県と連携し、より効率の良い施設整備及び運営に努める。
四国新幹線の整備計画への格上げに向けて、関係機関と連携し、国等への要望活動とともに、市民意識の醸成に努める。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1</td><td rowspan="2">航空路線網拡大促進事業

52,332千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>87.5%</td><td></td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td>都市整備局
交通政策課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
高松空港振興期成会に対する負担金や、国が施行する滑走路端安全区域（ＲＥＳＡ）整備事業に対する地元負担金を支出し、航空機の安全性の確保に寄与した。

◎定期路線数　実績７路線（目標８路線）
なお、高松空港関連整備事業地元負担金について、実施主体である国が事業の一部を翌年度に繰り越したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業費の一部を翌年度に繰り越した。
（繰越明許費繰越額：２１，６１２，０００円）
また、前年度からの繰越事業については、完了した。
（令和３年度繰越明許事業費：１，４１６，７０５円）
（令和２年度事故繰越事業費：５，５９１，９８７円）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2</td><td rowspan="2">（評価対象外）県施行港湾建設事業

505,799千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>都市整備局
河港課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
県が施行する高松港（玉藻、朝日地区）における津波等対策整備事業等に対し、費用の一部を負担した。

なお、事業主体である県が事業の一部を翌年度に繰り越したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。
（繰越明許費繰越額：１８２，９９５，０００円）
また、前年度からの繰越事業である港湾建設に係る負担金の支出については完了した。
（令和３年度繰越明許事業費：１０９，２６６，０３７円）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">3</td><td rowspan="2">（評価対象外）広域輸送交通機関整備促進事業

559千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>都市整備局
交通政策課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
四国新幹線の導入が早期に図られるよう、「四国新幹線整備促進期成会」や「香川県ＪＲ四国線複線電化・新幹線導入期成同盟会」等を中心として、国への要望や勉強会の開催により、機運醸成に寄与した。</td></tr>
</table>

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	拠点性を高める道路ネットワークの整備

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
814,624千円	A	27.5%	63.5%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政　策	拠点性を発揮できる都市機能の充実
担当局	都市整備局

対象

対象施設：都市計画道路
対象者：道路利用者（歩行者・自転車利用者・自動車利用者）及び道路周辺住民

意図

中枢拠点都市としての道路ネットワークを強化し、安全安心な市民生活と機能的な都市活動を確保する。

概要（実績）

コンパクトな都市構造への転換に向けて、中心市街地地区を中心とした集約拠点間のアクセスを向上させるため、都市計画道路の整備により、道路ネットワークの強化を図った。
・高松海岸線（玉藻工区）、木太鬼無線（木太工区）、朝日町仏生山線　道路改良工事等
・木太鬼無線（三条工区）、朝日町仏生山線　用地補償等
・県施行街路事業地元負担金等

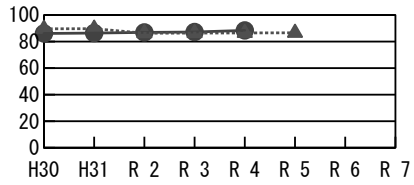
成果指標

①

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
都市計画道路整備率	88.4%	86.5%	102.2%

状況：高松海岸線をはじめ、木太鬼無線、朝日町仏生山線等の都市計画道路の整備を進め、目標を達成することができた。

達成度の推移

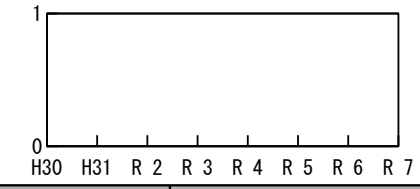


②

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度

状況：

達成度の推移

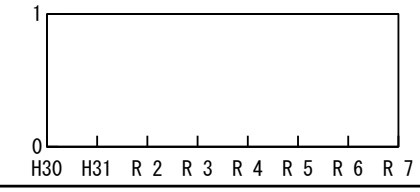


③

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

多額の事業費が必要な街路事業においては、将来を見据えたコンパクトで持続可能なまちづくりの視点など、更なる費用対効果の分析・検討が必要である。

施策の方向性

本市が目指す、多核連携型コンパクト・エコシティの実現に向け、立地適正化計画との整合性を図りつつ、都市の骨格を成す街路や集約拠点間を結ぶ道路ネットワークの強化が必要となっている。このようなことから、都市計画道路整備プログラムの見直しを進めており、令和５年度に完了する予定としている。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1</td><td rowspan="2">街路事業（都市計画課分）

1,904千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td>一般重点</td><td>100.0%</td><td></td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td>都市整備局
都市計画課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
前回の都市計画道路網の見直しから１０年以上が経過しており、将来の都市像を形成する都市計画道路ネットワークとしての必要性に変化が生じていることに加え、公共交通を基軸としたコンパクト・プラス・ネットワークの構築に向けた取組が、より一層求められていることから、都市計画道路網の見直しを行い、路線の廃止に係る都市計画決定を行った。

◎計画策定までの進捗率　実績１００％（目標１００％）
なお、関係機関との協議に日時を要したこと等により、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。
（繰越明許費繰越額：７，７８６，０００円）
また、前年度からの繰越事業である県施行負担金については完了した。
（令和３年度繰越明許事業費：１，９０３，８８０円）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2</td><td rowspan="2">街路事業（道路整備課分）

812,720千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td>一般重点</td><td>102.2%</td><td></td><td>A</td><td>B</td><td>A</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td>都市整備局
道路整備課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
都市交通の円滑化及び良好な都市環境の形成により、安全で快適な都市機能を確保するため、高松海岸線、木太鬼無線、朝日町仏生山線等、都市計画道路の整備を進めた。

◎都市計画道路整備率　実績８８．４％（目標８６．５％）

なお、地元関係者との協議に日時を要したこと等により、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。
（繰越明許費繰越額：１６５，５７３，０００円）
また、前年度からの繰越事業である道路改良工事、用地取得等については完了した。
（令和３年度繰越明許事業費：４３６，４７１，１５７円）</td></tr>
</table>

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	中心市街地の活性化

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
1,206,268千円	A	21.6%	60.9%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政　策	拠点性を発揮できる都市機能の充実
担当局	都市整備局、市民政策局

対象	中心市街地	意図	中心市街地の機能強化を図るとともに、魅力ある商業・業務空間の形成や、まちなか居住を促進する再開発等の事業を推進することにより、中心市街地の活性化を目指す。

概要（実績）

本市を取り巻く環境の変化に伴い、中心市街地の人口減少や商店街の空き店舗の増加など、にぎわい・活力の低下が見られており、にぎわいを戻すために、国の交付金等を活用するべく、平成１９年５月に「第１期高松市中心市街地活性化基本計画」、２５年６月に第２期計画、令和元年６月に第３期計画の国の認定を受けた。

第３期計画では、７年３月までを計画期間とし、昨今のインバウンド需要等、域外からの流入を喚起する取組のほか、まちなか居住の推進につながる施策の展開などを盛り込んでおり、基本計画に登載された事業の適正な進捗管理を図っている。

令和４年度は瀬戸内国際芸術祭２０２２や、全国旅行支援の実施など来街機会も増え、可能な限り従来の形式でのイベント・行事等を実施できたことから、歩行者通行量は目標を達成した。空き店舗率は、近年の原材料の高騰や物価上昇の影響を受けたが、改善傾向にあり、目標達成に近づいてきている。

成果指標

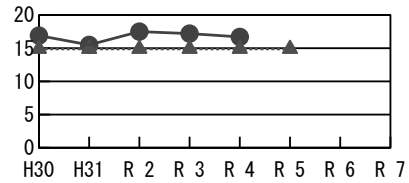
①

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
中央商店街の空き店舗率	16.7%	14.9%	87.9%

状況

近年の原材料の高騰や、物価上昇の影響を受けたが、空き店舗数は前年から１０店舗減少し、空き店舗率は改善傾向にあり、目標達成に近づいてきている。

達成度の推移



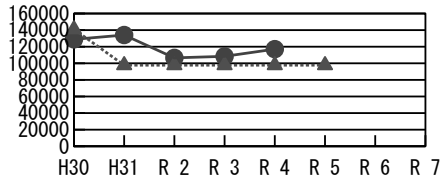
②

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
中央商店街の歩行者通行量	117,052人	97,721人	119.8%

状況

令和４年度の歩行者通行量は、瀬戸内国際芸術祭２０２２の開催や、全国旅行支援の実施など、来街機会も増え、可能な限り従来の形式でのイベント・行事などを実施できたことから、目標を達成することができた。

達成度の推移



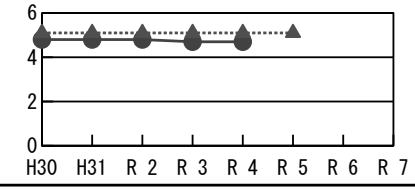
③

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
中心市街地の居住人口の割合	4.7%	5.1%	92.2%

状況

前年度から９２人減の１９，９６８人とほぼ横ばいで、居住人口の割合としても前年度と同値の４．７％となり、概ね目標を達成することができた。

達成度の推移



施策の課題

民間主導により丸亀町商店街等で計画された再開発のうち、未着手の街区において、より魅力のある空間を創出することにより、中央商店街全体のにぎわいを取り戻すことを目指しており、事業化に向けた関係者の合意形成や事業スキームの確立が課題である。また「第３期高松市中心市街地活性化基本計画」に掲げた３つの指標のうち目標達成が厳しい指標もあるが、計画期間全体の検証を行い、引き続き、掲載事業の進捗に取り組む。今後はインバウンドの大幅な増加も予測されており、経済活動が活発化することにより、新しい生活様式に対応した中心市街地のにぎわいが創出できるよう、官民が連携を図りながら、一体となって取り組んでいく必要がある。

施策の方向性

中心市街地は、地域住民等の生活と交流の場であり、都市全体のまちづくりに関連するものであることから、その活性化は重要な継続課題である。社会経済情勢を見極めながら、各事業の進行管理や精査・検討を行い、効果的に事業に取り組むとともに、拠点性を発揮できる都市機能の充実を図るため、たかまつ創生総合戦略、高松市立地適正化計画等を踏まえた第３期計画に基づき、民間事業者等との情報共有や連携を図りながら施策・事業を展開する。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）瓦町駅ビル利活用事業 109,828千円 市民政策局 市民課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 中心市街地における公共交通の結節点であるコトデン瓦町ビルの利活用を図るため、同ビル内に整備した市民交流プラザ「ＩＫＯＤＥ瓦町」を適正に維持管理した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、開館以来、増加傾向にあった利用者数は令和２年度に大きく減少したが、３年度以降、回復傾向にあり、４年度の年間利用者は前年度比４．８％増の１９７，２６４人となった。							
2	（評価対象外）サンポート高松管理事業 669千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） サンポート高松の高松駅南線用地及びペデストリアンデッキ等の適切な維持管理を行った。							
3	サンポート地区等都市再生推進事業 6,293千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	5.0%		A	A	B	D	継続
		（事業概要、事業実績等） 県立アリーナ周辺環境整備については、駅や港からの歩行者の通行動線に係る施設整備について県・市で検討を行った。 官民連携による新たなまちづくりについては、持続可能なにぎわいと活力あるまちづくりを推進するため、エリアの将来像となる未来ビジョンを関係者で共有し、公共空間を活用した社会実験の実施に向けて、検討を行った。 ◎県立アリーナ開設に合わせた地域生活基盤施設、道路整備の進捗率 実績１％（目標２０％） なお、関係機関との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：４２，２４７，０００円） また、前年度からの繰越事業である業務委託については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：４，８４０，０００円）							
4	（評価対象外）中央商店街調査事業 110千円 都市整備局 住宅・まちづくり推進室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 高松中央商店街の店舗立地動向調査は、高松商工会議所が年２回調査を行っており、現状の把握やこれまでの調査結果との比較分析のほか、中央商店街のにぎわい向上を図るために実施する事業の基礎データを整理している。本事業において、その調査費用の一部を負担した。							
5	中心市街地活性化推進事業（住宅・まちづくり推進室分） 9,896千円 都市整備局 住宅・まちづくり推進室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	119.8%	74.6%				A	継続
		（事業概要、事業実績等） 令和元年６月に国の認定を受けた第３期中心市街地活性化基本計画に基づき、継続的な中心市街地の活性化を図るため、同計画に登載された事業に取り組んでいる。 また、同計画の進捗報告には、中心市街地活性化協議会の意見を聴取することとなっており、本事業において同協議会の運営に対する負担金を支出した。 ◎中央商店街の歩行者通行量　実績１１７，０５２人（目標９７，７２１人） ◎中心市街地活性化基本計画区域内の主要観光施設年間入込客数 実績１，８３４千人（目標２，４６０千人）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	（評価対象外）中心市街地活性化推進事業（交通政策課分） 169千円 都市整備局 交通政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） ＩｒｕＣａ電子マネー取扱手数料を支出することにより、中心市街地における施設利用者の利便性が向上した。							
7	高松丸亀町商店街再開発事業 869,503千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	111.4%	90.9%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 大工町・磨屋町地区における再開発事業を実施する再開発組合に対して、補助金を交付することにより、事業の進捗に寄与した。 ◎丸亀町商店街の通行量　実績２３，８８４人（目標２１，４３９人） ◎事業進捗率（事業費ベース）　実績８０．０％（目標８８．０％） なお、再開発組合の事業が遅れたことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：３１０，９００，０００円） また、前年度からの繰越事業である共同施設整備等への補助については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：３０３，９２０，０００円）							
8	南部３町商店街における優良建築物等整備事業 209,800千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	87.4%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 常磐町地区における、優良建築物の整備を実施する民間事業者に対して、補助金を交付することにより、事業の進捗に寄与した。 ◎事業進捗率（事業費ベース）　実績７８．９％（目標９０．３％） なお、民間事業者の事業が遅れたことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：７０，２０８，０００円） また、前年度からの繰越事業である共同施設整備等への補助については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：２０９，８００，０００円）							

（6）市民と行政がともに力を発揮できるまち

令和４年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
	政　策	参画・協働によるコミュニティの再生

総合評価
C

１　政策の概要

参画・協働によるコミュニティの再生を図るため、新しい公共の担い手として、地域コミュニティ協議会が地域社会の中心的な役割を果たし、地域のまちづくりが活性化するよう、組織体制の充実を図るとともに、地域のリーダー養成や地域コミュニティ協議会事業への財政支援などを行い、地域コミュニティの自立・活性化に努めます。

また、多様なパートナーシップの下、市民や市民活動団体と行政との協働によるまちづくりを進めるため、市民活動センター機能の拡充や協働の担い手の育成など、協働事業を充実させるとともに、広聴・広報活動の充実、情報の公開・提供などによる行政の透明性の向上を図り、参画・協働の推進に努めます。

また、女木島、男木島及び大島、それぞれの島の特性や瀬戸内国際芸術祭の経験をいかし、多様な主体が参加・協働して島の魅力をいかした島づくりに取り組むことにより、交流・定住人口の拡大を目指し、離島の振興に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
地域コミュニティの自立・活性化	83%	B
参画・協働の推進	33%	D
離島の振興	55%	D
平均	57%	C

３　政策の評価

参画・協働によるコミュニティの再生に向けて、３つの施策に取り組んだ。

「地域コミュニティの自立・活性化」では、設定する２つの成果指標について、目標に届かなかった。

「参画・協働の推進」では、設定する２つの成果指標について、新型コロナウイルス感染症の影響などから、目標に届かなかった。

「離島の振興」では、設定する２つの成果指標のうち、イベント参加者数において、新型コロナウイルス感染症の影響による渡航の自粛により、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標をおおむね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は５７％となり、政策の目指す目標の達成に向けて一層の取組が必要であることから、本政策の総合評価は「Ｃ」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
地域コミュニティの自立・活性化	28.1%	15.5%	49.5%
参画・協働の推進	19.1%	12.9%	43.8%
離島の振興	22.3%	10.2%	43.7%
平均	23.2%	12.9%	45.7%

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	地域コミュニティの自立・活性化

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
1,838,284千円	B	28.1%	49.5%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政　策	参画・協働によるコミュニティの再生
担当局	市民政策局

対象	市民	意図	各地域コミュニティ協議会及び高松市コミュニティ連合会の活動を支援するとともに組織強化を促すほか、地域コミュニティ活動の拠点整備を促進することにより、地域コミュニティの自立・活性化を目指す。

概要（実績）

１１月の自治会加入促進月間における啓発活動などの種々加入促進活動に加え、自治会の在り方等検討プロジェクトチームにおいて検討を重ねた魅力ある自治会の姿について、最終報告書による周知・啓発を行ったが、自治会加入率低下に歯止めはかからなかった。
また、コミュニティプランの見直しに対応するため、担当課による出前講座や、関係各課からの情報提供を行いコミュニティプラン見直しの支援を行ったが、目標達成には至らなかった。
このほか、人材育成としての人材養成事業の実施、活動拠点づくりとしてのコミュニティセンターの整備等の実施、活動支援としての地域まちづくり交付金の交付など、地域コミュニティ協議会及び自治会に対する支援を行った。

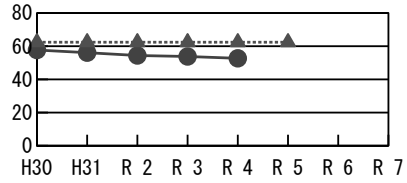
成果指標

①

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
自治会加入率	52.7%	62.4%	84.5%

状況：種々の自治会加入促進活動に加え、地域で自主的に設置する自治会の在り方等検討プロジェクトチームに市も参画し、魅力ある自治会づくりの効果的な活動などについて検討し、報告書を作成するとともに、それを活用した周知・啓発にも取り組んだが、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

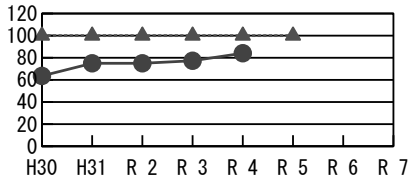


②

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
コミュニティプランの見直し率	84.1%	100%	84.1%

状況：各地域コミュニティ協議会における課題や特性に合った事業が実施できるよう、コミュニティプランの見直しの支援に取り組んだが、目標値１００％に対し、実績は８４．１％であり、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

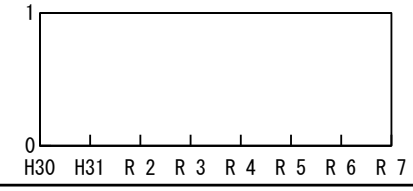


③

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

地域コミュニティ協議会の中核組織である自治会の加入率低下が課題となっている。
また、地域コミュニティ組織の構築からおおむね１０年以上が経過し、各地域コミュニティ協議会で活動への理解や取組状況に温度差がでてきている。

施策の方向性

魅力ある自治会に近づくための効果的な施策を検討し、自治会の再生及び活性化に向けて、行政と地域が共に新たな自治会再生支援策に取り組む。
また、コミュニティ組織の強化・充実に向けて、高松市コミュニティ連合会や各地域コミュニティ協議会への支援を行うとともに、地域の裁量をいかした地域まちづくり交付金等によるコミュニティの活動支援を行う。
また、活動拠点となるコミュニティセンター施設について、平成３０年度から始動した新整備計画に基づき、計画的な改築及び改修を行う。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	地域コミュニティ協議会事務局体制強化支援事業 107,450千円 市民政策局 コミュニティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	100.0%	84.1%	A	B	D	B	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 地域コミュニティ協議会の事務局職員に対する人件費を補助することにより、事務局体制の強化に寄与した。 ◎事務局体制を構築・強化した地域コミュニティ協議会数 実績４４協議会（目標４４協議会） ◎コミュニティプランの見直し率　実績８４．１％（目標１００％）							
2	（評価対象外）コミュニティ活動支援システム整備事業 13,973千円 市民政策局 コミュニティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 令和３年度に、地域コミュニティ協議会にタブレット端末を配布したほか、クラウドサービスを導入したことで、会議や研修のＷｅｂ参加や、協議会同士の情報共有を促進し、コミュニティ協議会の事務効率化に寄与した。							
3	コミュニティ推進事業 33,991千円 市民政策局 コミュニティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			136.6%		A	B	A	A	改善継続
		（事業概要、事業実績等） （一社）高松市コミュニティ連合会の運営補助を行うことにより、外部監査等を実施したことで会計全体の透明性向上につながったほか、各種研修を実施し、地域コミュニティの人材育成と情報共有を図ることにつながった。 ◎講演会・講習会の参加者数　実績５６０人（目標４１０人）							
4	自治会再生支援事業 1,313千円 市民政策局 コミュニティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	84.5%		B	A	C	B	拡充
		（事業概要、事業実績等） 自治会加入率が減少傾向にあるため、自治会の在り方等検討プロジェクトチームで取りまとめられた最終報告書をもとに、自治会実態把握調査事業及びマイタウンサポートリーダー事業を中心とした自治会再生支援を行った。 ◎自治会加入率　実績５２．７％（目標６２．４％）							
5	地域まちづくり交付金事業 285,058千円 市民政策局 コミュニティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	84.1%		A	B	C	B	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 地域コミュニティ協議会が、コミュニティプランに基づいて主体的に行うまちづくり活動を支援し、住民自治及び市民と行政の協働による地域自らのまちづくり活動を推進するため、地域コミュニティ協議会に対し、地域まちづくり交付金を交付したことにより、各地域におけるまちづくり活動の活性化に効果があった。 ◎コミュニティプランの見直し率　実績８４．１％（目標１００％）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	（評価対象外）離島等振興事業 888千円 市民政策局 地域振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 本市の離島において救急患者が発生し、船舶を借り上げて輸送した場合の輸送費補助を行うことにより、離島住民等の福祉の向上に寄与する。 なお、令和４年度の実績はなし。							
7	（評価対象外）コミュニティセンター管理運営事業（コミュニティ推進課分） 526,704千円 市民政策局 コミュニティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 各地域コミュニティ協議会をコミュニティセンターの管理運営を行うための指定管理者に指定することにより、地域交流活動や生涯学習を推進するための拠点施設として活用することにつながった。							
8	自治会集会所整備支援事業 7,685千円 市民政策局 コミュニティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			99.4%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松市自治会集会所改修等補助規程に基づき、地域住民の活動拠点である自治会集会所の新築及び改修に対して助成を行った。 ◎自治会集会所整備率　実績３６．１％（目標３６．３％）							
9	（評価対象外）学校跡施設管理運営事業 13,423千円 市民政策局 地域振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 学校跡施設の地域団体等による利用を促進することにより、地域住民のスポーツ・レクリエーション及び文化活動の場として活用することができた。							
10	（評価対象外）コミュニティセンター管理運営事業（地域振興課分） 45,077千円 市民政策局 地域振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 公共施設点検マニュアルに基づき、各コミュニティセンターを、安全かつ快適に利用できるよう修繕工事等を行った。 なお、前年度からの繰越事業である古高松南コミュニティセンター屋上防水改修工事については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：９，２９５，０００円）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	コミュニティセンター整備事業 780,877千円 市民政策局 地域振興課		100.0%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 中期整備指針等に基づき、屋島・十河・花園コミュニティセンターの改築工事を行うなど、地域の活動拠点づくりに貢献した。 ◎施設整備進捗割合　実績６０．８％（目標６０．８％） なお、屋島・十河・花園コミュニティセンターの改築工事等については、予定していた支払時期が延期されたことなどにより、年度内に予算の執行が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２４，６６１，０００円） また、前年度からの繰越事業である屋島・十河コミュニティセンター改築工事等については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：２９１，１１０，０００円）							
12	（評価対象外）集会所施設管理事業 （牟礼総合センター分） 4,377千円 市民政策局 牟礼総合センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 市民に地域活動やレクリエーション等の交流の場所を提供したことにより、コミュニティ活動の推進に寄与した。							
13	（評価対象外）集会所施設管理事業 （香川総合センター分） 5,931千円 市民政策局 香川総合センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 市民に地域活動やレクリエーション等の交流の場所を提供したことにより、コミュニティ活動の推進に寄与した。							
14	（評価対象外）集会所施設管理事業 （国分寺総合センター分） 11,537千円 市民政策局 国分寺総合センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 市民に地域活動やレクリエーション等の交流の場所を提供したことにより、コミュニティ活動の活性化に寄与した。							

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	参画・協働の推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
156,518千円	D	19.1%	43.8%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政　策	参画・協働によるコミュニティの再生
担当局	市民政策局、総務局

対象	市民	意図	市民活動センター機能の充実や協働の担い手づくりなど、協働事業の充実及び広聴・広報活動の充実、情報の公開・提供など行政の透明性を図ることにより、市民と行政との参画・協働によるまちづくりの推進を目指す。

概要（実績）

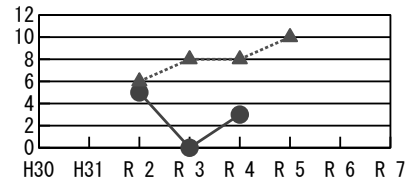
市民活動センターにおいて、講座、情報収集・発信、相談事業等を効果的に実施したことにより、市民活動団体等の活動支援につながるとともに、新たな「協働の担い手」が地域で事業を展開する等、協働事業の充実に成果が得られた。高松市自治と協働の基本指針に定める「協働の原則」に基づき、研修等を行った結果、協働への理解が深まった。「広報高松」や、ホームページ、ＳＮＳ等、様々な媒体を活用して広報活動の充実に取り組むことにより、市政への関心を高めてもらうとともに、「市政出前ふれあいトーク」等の広聴活動を行うことにより、市民の市政への参画の促進に貢献した。情報公開及び個人情報保護の徹底を図るため、高松市情報公開条例に基づき、情報公開請求に対し適正な公開を行い、また、個人情報の保護に関する法律及び高松市個人情報の保護に関する法律施行条例に基づき、個人情報を適正に取り扱うとともに、個人情報の開示等について適切な措置を講じ、市民の市政に対する理解と信頼性を高めた。

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	ボランティアマッチング講座開講数	3講座	8講座	37.5%

状況：地域と市民活動団体等をマッチングするボランティアマッチング講座の開講数は、回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標を達成できなかった。

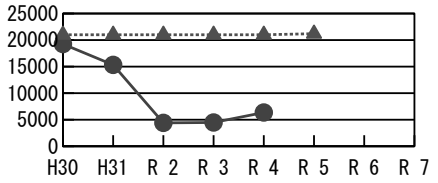
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
②	市政出前ふれあいトーク延べ参加者数	6,359人	21,000人	30.3%

状況：市政出前ふれあいトークの延べ参加者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、申込件数が少なく、また、中止する場合もあるなど、目標値を約７０％下回る結果となった。

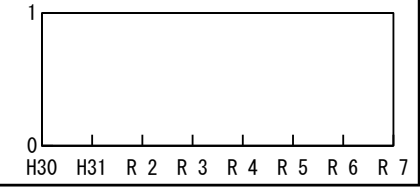
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
③				

状況：

達成度の推移



施策の課題

【市民政策局】市民活動団体等の活動支援のため、市民活動センターの機能強化を図るとともに、協働事業及び講座等を通じた効果的な協働意識の醸成と「協働の担い手」の育成が求められている。
【総務局】市民との情報共有を推進するため、市政に関する情報を積極的に分かりやすく、適時・適切に提供するとともに、参画と協働による市政運営が行えるような市民との情報共有のための仕組みづくりが課題となっている。

施策の方向性

市民活動団体等の活動を支援する中間支援組織としての役割を果たせるよう、市民活動センターの機能強化に取り組む。また、協働事業及び講座等の充実を図り、職員や市民等の協働意識の醸成及び「協働の担い手」の育成を図る。
デジタル媒体を活用し、広報活動の強化に取り組むとともに、市長まちかどトーク等広聴活動を充実することにより市民の市政への参画を促進する。
市民の市政に対する理解と信頼を得るため、個人情報の保護と情報公開の徹底を図る。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	市民活動センター管理運営事業 19,796千円 市民政策局 男女共同参画・協働推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			67.8%	37.5%	A	A	B	C	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 市民と行政が共に考え、共に活動する協働の場として市民活動センターを効果的に運営し、市民活動に関する情報収集・発信、相談、学習機会の提供等の事業を実施するなど、市民活動の中間支援組織としての役割を果たした。 協働事業のモデル事業となる「高松市まちづくり学校運営事業」における「地域づくりチャレンジ塾」においては、これまでの塾生が、行政や地域コミュニティ協議会、市民活動団体等と連携し、協働によるまちづくりを展開するなど、「協働の担い手」づくりの育成に寄与した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、センターの利用者が減少したほか、ボランティアマッチング講座の開講数についても、回復傾向にあるものの、目標を達成できなかった。 ◎市民活動センター総利用者数　実績１３，６２２人（目標２０，０８５人） ◎ボランティアマッチング講座開講数　実績３講座（目標８講座）							
2	ボランティア・市民活動推進事業 （男女共同参画・協働推進課分） 118千円 市民政策局 男女共同参画・協働推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			83.4%	121.8%	A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松市協働づくり懇談会を１回開催し、市民活動推進施策等について広く意見を聴き、施策の推進につなげた。 協働推進員人材養成研修を実施し、市民活動等に知識を有する講師を招いた研修を行うなどにより、協働の意識が向上した。 なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、受講対象者を拡充したことにより、受講者数は回復傾向にあるものの、目標を達成できなかった。 特定非営利活動法人認証等事務については、事業報告書等が未提出の法人に対し、督促書等の送付を行い、法人の適正な運営を促した。 ◎所属担当協働推進研修受講者数　実績１６１人（目標１９３人） ◎市民活動センター利用登録団体数　実績４０２団体（目標３３０団体）							
3	ボランティア・市民活動推進事業 （コミュニティ推進課分） 6千円 市民政策局 コミュニティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			17.7%		A	B	C	D	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の影響により、集合形式の研修は１回のみの実施となったが、各種相談に対応することで協働の推進に寄与した。 ◎地域担当協働推進員研修受講者数　実績３９人（目標２２０人）							
4	広報高松等発行事業 89,297千円 総務局 広聴広報課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			122.3%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 「広報高松」は、月に１回（毎月１日）発行し、全戸配布している。 また、「まちをもっと好きになる」をコンセプトに紙面を作成し、市政情報とともに、市民の表情や活動などを掲載し、シビックプライドの醸成を図った。（毎月約２０万部発行） さらに、市政情報や市視覚障害者福祉協会からのお知らせなどを、「点字広報」や「声の広報」として収録し、希望する市内在住の視覚障がい者に対して送付するとともに、市内４か所の市立図書館に配置した。 ◎広報高松を読んでいる人の割合　実績８６．８％（目標７１．０％）							
5	市民相談事業 11,339千円 総務局 広聴広報課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			98.8%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 市民からの意見や要望等を市政に反映させるほか、日常生活での諸問題に対する相談や、弁護士・司法書士による相談などを行うことで、市民が抱えている疑問や問題の解決に寄与することができた。 【令和４年度実績】 ・市政相談（２，６９１件） ・一般相談（２，０１１件） ・専門相談（１，４８６件） ◎法律相談利用者の満足度　実績８４％（目標８５％）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	吹奏楽団事業 1,428千円		57.1%		A	A	B	C	継続
	総務局 広聴広報課	（事業概要、事業実績等） 地域のイベントや小学校への訪問演奏などを通じて、「親しまれる市役所」を目指すとともに、地域の活性化や一体感の醸成を図ることとしている。 ◎聴衆者数（参加者数）　実績８，０００人（目標１４，０００人）							
7	テレビ放送等広報事業 14,007千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			93.0%	102.9%	A	A	B	A	継続
	総務局 広聴広報課	（事業概要、事業実績等） 市の重要施策や制度、市民生活に関わりの深い事業などを、分かりやすく紹介した市政番組を制作・放送し、市政に対する関心を高めた。また、郷土の歴史や伝統文化を紹介した番組を放送したり、シティプロモーション動画を制作し高松ムービーチャンネルで公開するなど、シビックプライドの醸成に貢献した。 ・民放市政情報コーナー３分（１８回／年） ・民放歴史番組１５分（３回／年） ・ＣＡＴＶ市政広報コーナー５分（３～５回／日、毎月２回内容更新） ・ＣＡＴＶ魅力発見コーナー５分（１回／日、毎月１回内容更新） ・ＦＭラジオ番組（５回／週（５分番組）、２回／週（３分番組） ・広報動画１０分（６回／年） ◎民放市政テレビ広報番組視聴率【年平均】実績４．０％（目標４．３％） ◎ＣＡＴＶ市政広報番組視聴割合　実績７．２％（目標７．０％）							
8	デジタル広報プラットフォーム構築事業 1,492千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	100.0%		A	A	A	A	完了
	総務局 広聴広報課	（事業概要、事業実績等） 市公式ＬＩＮＥ「たかまつホッとＬＩＮＥ」をリニューアルし、子育てや健康、イベントなど、様々な市政情報をタイムリーに発信し、シビックプライドの醸成を図り、市政への参画を促進した。 ◎プラットフォーム構築の進捗率　実績１００％（目標１００％）							
9	ホームページ等管理運営事業 5,796千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			401.6%	236.9%	A	A	A	A	継続
	総務局 広聴広報課	（事業概要、事業実績等） 本市の重要な施策や制度、イベントなどの情報を、幅広くタイムリーに発信した。 また、動画配信サイト「高松ムービーチャンネル」において、市政情報のほか、イベントやおすすめスポットなど、市の魅力発信を行った。 ◎広報動画再生件数 実績６６，２７１回（目標１６，５００回） ◎市ホームページ（サイト全体）へのアクセス数 実績３５，５３８，９４１件（目標１５，０００，０００件）							
10	（評価対象外）情報公開・個人情報保護事業 2,808千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	総務局 コンプライアンス推進課	（事業概要、事業実績等） 情報公開事業 自治基本条例に規定する情報公開の徹底を図るため、高松市情報公開条例に基づき、適正に情報公開を推進した。 ・令和４年度実績：公開請求受付件数２，０７５件（うち取下げ２７件）、審査請求０件 個人情報保護事業 自治基本条例に規定する個人情報の保護の徹底を図るため、高松市個人情報保護条例に基づき、市の保有する個人情報を適正に取り扱うとともに、個人情報の開示等を請求する市民の権利について、適切な措置を講じた。 ・令和４年度実績：開示請求受付件数２１０件（うち取下げ５件）、審査請求２件							

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	離島の振興

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
15,560千円	D	22.3%	43.7%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政　策	参画・協働によるコミュニティの再生
担当局	市民政策局、都市整備局

対象	市民（各島の住民・各島への渡航者）	意図	女木島、男木島及び大島、それぞれの特性をいかした交流・定住人口の拡大を図る。

概要（実績）

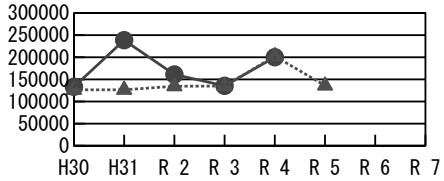
女木・男木島航路に係る利用促進策の実施や大島の情報発信を行うことにより、交流人口の増加、地域振興及び活性化を図り、離島の活性化に寄与した。

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	各島への年間来島者数	200,086人	202,500人	98.8%

状況：令和４年度は、瀬戸内国際芸術祭２０２２が開催されたが、来島者数については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、２００，０８６人と、目標を達成することができなかった。

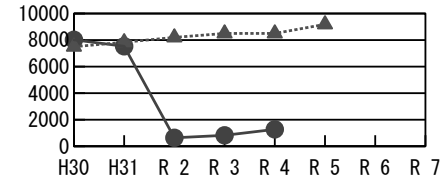
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
②	イベント参加者数	1,273人	8,500人	15.0%

状況：大島振興方策等に基づき、大島振興につながる人権学習等を含む交流活動に取り組んだが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による渡航の自粛によりイベント参加者数は１，２７３人と、目標を達成することができなかった。

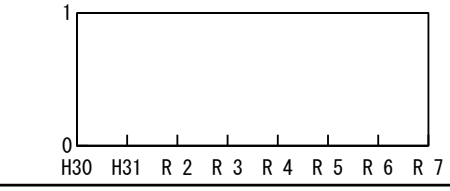
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
③				

状況：

達成度の推移



施策の課題

瀬戸内国際芸術祭の開催等により、各島への渡航者が増加傾向にあるが、芸術祭期間以外においても航路等の利用促進が図れるような施策の展開が必要である。

施策の方向性

各島の交流人口を増加させながら、更なる交流・定住を促進するため、多様な主体との連携・協働により各島の魅力を生かした情報発信やにぎわいの創出に取り組む。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）男木交流館管理運営事業 7,355千円 市民政策局 地域振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 瀬戸内国際芸術祭を契機として、スペインを代表するアーティストがデザインした現代アートの建築物である男木交流館について、必要な維持管理を行った結果、地域と観光客等との交流促進につながった。							
2	大島振興方策推進事業 市民政策局 地域振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	15.0%		A	A	B	D	継続
		（事業概要、事業実績等） 大島の将来にわたる振興を図るため、大島青松園の協力を得て、ハンセン病の啓発パネル等を庵治支所に常設展示した。 ◎大島交流イベント参加者数　実績１，２７３人（目標８，５００人）							
3	離島航路振興事業 8,205千円 都市整備局 交通政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			120.7%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 平成２４年３月に策定した男木～高松航路改善計画に基づき実施している島発往復割引やゴールドイルカの提示による高齢者割引の適用等を継続して行ったことや、瀬戸内国際芸術祭の開催年度であったことが影響して、航路利用者は基準年である平成２１年度の約１．６３倍となった。 ◎女木・男木島航路利用者比率（基準年：平成２１年度） 実績１６３．１２％（目標１３５．１８％）							

令和４年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
	政　策	**相互の特長をいかした多様な連携の推進**

総合評価
A

１　政策の概要

相互の特長をいかした多様な連携を推進するため、近隣自治体と連携し、圏域全体の生活関連機能サービスの向上を始め、経済成長や高次の都市機能の集積・強化に資する事業の充実に取り組むとともに、香川県との連携強化を図り、連携事業の創出に取り組みます。

また、産・官・学・金・労等、多様な主体との連携強化を図り、地域経済の活性化や各種課題の解決を目指します。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
連携の推進	98%	A
平均	98%	A

３　政策の評価

相互の特長をいかした多様な連携の推進に向けて、１施策に取り組んだ。

「連携の推進」では、設定する３つの成果指標について、目標を達成又はおおむね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は９８％となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
連携の推進	19.0%	10.8%	48.4%
平均	19.0%	10.8%	48.4%

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	連携の推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
418千円	A	19.0%	48.4%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政　策	相互の特長をいかした多様な連携の推進
担当局	市民政策局

対象

国、県、県内市町、産学など

意図

広域的な課題を始め、基礎自治体の在り方や新たな都市圏域の在り方について調査・研究を進めるなど、効果的な連携を推進する。

概要（実績）

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン推進事業においては、協約を締結している２市５町と圏域全体の経済成長のけん引や高次の都市機能の集積・強化、生活関連機能サービスの向上を目指し、関連の事業を実施した。
多様な主体との連携事業においては、大学等や民間企業との連携協力に関する協定により、連携・協力事業を行った。
広域都市連携事業においては、知事と高松市長とのトップ会談等を開催した。

成果指標

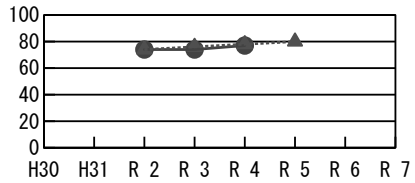
①

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
連携中枢都市圏での連携事業数	77事業	78事業	98.7%

状況

連携中枢都市圏における連携事業数が７７事業となったが、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



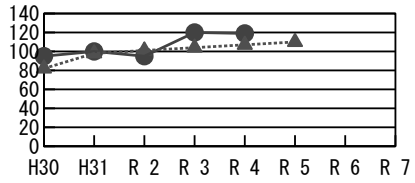
②

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
大学等との連携・協力事業数	119事業	107事業	111.2%

状況

大学等との連携・協力事業数が１１９事業となり、目標を達成することができた。

達成度の推移



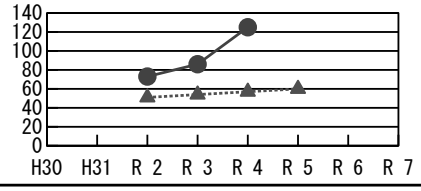
③

指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
企業等との連携・協力事業数	125事業	57事業	219.3%

状況

企業等との連携・協力事業数が１２５事業となり、目標を達成することができた。

達成度の推移



施策の課題

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンについては、国の新型コロナウイルス感染症対策の方針転換により、様々な連携事業が実施可能になっているが、圏域の人口は当初の想定よりも減少している。
本市の人口減少率は、香川県全体と比較すると緩やかではあるが、連携市町は、減少率が大きく、圏域の活性化のためには、生活関連機能サービスの向上などに資する取組の更なる推進が必要である。
企業等との連携については、２者と包括連携協定を締結し、子育てや防災の分野などの連携事業を行い、地域課題の解決に向けて取り組んだ。引き続き、地域課題の解決を図るため、新たな連携事業に取り組む必要がある。

施策の方向性

令和５年２月に連携・協力に関する協定書を締結した神戸市などの広域都市間連携や国・県・産・学との連携により、地域課題の解決を図る。
また、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内の市町と連携して、次期連携中枢都市圏構想を策定し、連携事業を着実に推進することで、人口減少・少子・超高齢社会においても一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済の維持に努める。
また、大学、企業等の多様な主体との連携事業の拡充を図り、様々な地域課題の解決を図る。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><td rowspan="4">1</td><td rowspan="2">瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン推進事業

394千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>98.7%</td><td></td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>A</td><td>改善継続</td></tr>
<tr><td rowspan="2">市民政策局
政策課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
圏域全体の更なる活性化と、魅力ある都市圏域の形成につなげるため、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会、推進委員会を開催した。
また、対面及びＷｅｂ会議システムを活用した事務局会を年に６回開催し、取組内容の充実に向けて各連携市町の担当者間の情報共有を図った。
さらに、ポータルサイトを活用して、ビジョンに基づく取組や本市及び連携市町の魅力を適宜発信した。

◎圏域で取り組む連携事業の数（都市圏ビジョン登載事業数）
実績７７事業（目標７８事業）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">2</td><td rowspan="2">（評価対象外）広域都市連携事業

24千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">市民政策局
政策課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
県市間の重要課題に対する情報共有と意見交換を行うため、知事と市長とのトップ会談を１０月に開催した。
また、大阪・関西万博と瀬戸内国際芸術祭の同時期開催を見据えた地域活性化に取り組むため、２月に、岡山市長と高松市長の懇談会と、神戸市、土庄町、小豆島町との包括連携協定締結式を開催した。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">3</td><td rowspan="2">多様な主体との連携推進事業</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td>一般重点</td><td>111.2%</td><td>158.2%</td><td>A</td><td>A</td><td>C</td><td>A</td><td>拡充</td></tr>
<tr><td rowspan="2">市民政策局
政策課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
大学・企業等との連携協力に関する協定に基づき、地域の様々な課題に迅速かつ適切に取り組むことにより、地域の活性化及び市民生活の向上に資する事業に取り組んだ。

◎大学等との連携・協力事業数　実績１１９事業（目標１０７事業）
◎企業等との連携・協力事業数　実績１２５事業（目標７９事業）</td></tr>
</table>

令和４年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
	政　策	健全で信頼される行財政運営の確立

総合評価
B

１　政策の概要

健全で信頼される行財政運営を確立するため、市民から信頼される職員を目指し、高松市職員人財育成ビジョンや「高松市職員のためのコンプライアンス推進施策」に基づき、職員の意識改革と資質の向上など職員力の向上を図ります。
また、引き続き、行財政改革計画を策定し、進行管理を行う中で、行財政改革の推進を図るとともに、自主財源の確保に努めながら、限られた財源を重点的、効率的に配分することにより、後年度に過大な債務負担を残さないよう効率的で効果的な行財政運営の推進に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
職員力の向上	74%	B
効率的で効果的な行財政運営の推進	91%	A
平均	82%	B

３　政策の評価

健全で信頼される行財政運営の確立に向けて、２施策に取り組んだ。
「職員力の向上」では、設定する３つの成果指標のうち、昇任試験受験率において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成又はおおむね達成した。
「効率的で効果的な行財政運営の推進」では、設定する３つの成果指標のうち、行財政改革計画の目標達成度において、目標に届かなかったものの、他の２つの指標については、目標を達成又はおおむね達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は８２％となり、政策全体として目指す方向におおむね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「Ｂ」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
職員力の向上	24.6%	21.5%	70.0%
効率的で効果的な行財政運営の推進	22.4%	23.0%	67.9%
平均	23.5%	22.3%	69.0%

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	職員力の向上

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
27,202,678千円	B	24.6%	70.0%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政　策	健全で信頼される行財政運営の確立
担当局	総務局

対象	意図
市職員	職員の意識改革、資質向上及び組織の活性化を図るとともに、職員のコンプライアンス意識とモチベーションも向上させる。

概要（実績）

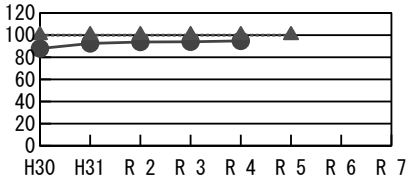
職員の長時間労働の是正とワーク・ライフ・バランスの推進を図るため、令和４年度から令和６年度までを計画期間とした、働き方改革３か年重点取組（第２期スマイルプラン）を策定し、全庁を挙げて集中的に働き方改革に取り組んでいる。昇任試験制度においては、各職員から、受験者を推薦する勧奨制度を導入し、積極的に応募を行うように取り組んだところではあるが、受験率の向上には至らなかった。職員の役職等に応じた一般研修や公務員倫理研修を始めとした特別研修を行うことで、職員の意識改革とコンプライアンス意識の向上に寄与した。

成果指標

	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合	94.8%	100%	94.8%

状況：「高松市職員のためのコンプライアンス推進施策」に基づき、職員の意識改革に主眼を置いた各種取組を進めた結果、前年度に比べ０．８ポイント上昇したが、目標を達成することができなかった。

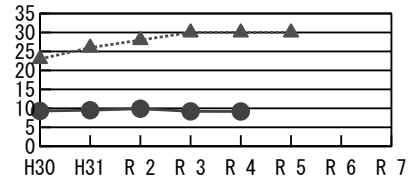
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
②	昇任試験受験率	9.17%	30%	30.6%

状況：職員が受験者を推薦する、勧奨制度を導入し、積極的な昇任試験の受験の促進に努めたが、目標を達成することができなかった。

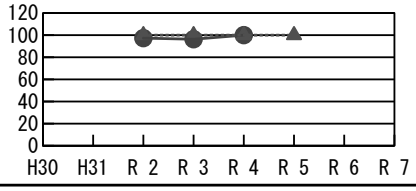
達成度の推移



	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
③	職員の定員管理計画の目標達成率	100%	100%	100.0%

状況：令和４年３月に策定した「第２次高松市職員の定員管理計画」に基づき、職員数の適正化に努め、令和４年度は会計年度任用職員を含めた全体の計画職員数５，５３９人に対し、５，４９２人と計画内での配置が行われている。

達成度の推移



施策の課題

職務に対する職員のモチベーション及びコンプライアンスに対する意識の向上が必要である。
また、職員一人一人が、公務員としての自覚を持って職務に取り組むことが求められる。

施策の方向性

「高松市職員人財育成ビジョン」に基づき、計画的に研修を実施し、職員力の向上を図るとともに、高松市職員のためのコンプライアンス推進施策の各種取組を着実に実施し、信頼される職員を育成する。また、業績評価を盛り込んだ人事評価制度を実施するほか、昇任試験制度も適宜見直しを行うとともに、受験しやすい環境づくりに努め、組織の活性化と市民サービスの向上を図る。加えて、多様な市民ニーズに対応するため、業務に必要な職員数も適正に管理していく。さらに、ワーク・ライフ・バランスの推進と長時間労働の是正に向け、働き方改革の取組を継続して推進する。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	コンプライアンス推進事務 6,141千円 総務局 コンプライアンス推進課		94.8%	55.5%	A	A	A	B	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 高松市職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に関する条例に基づき、内部公益通報や不当要求行為に対応するなど、職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に取り組んだ。 また、「高松市職員のためのコンプライアンス推進施策」に基づき、各局において局内全職員を対象に公務員倫理に係る研修を実施するなど、職員の意識改革に主眼を置いた各種取組を実施した。 さらに、行政執行過程で生じる諸問題に対応するため、行政問題法律相談を実施するなど、職員のコンプライアンス意識や法的知識の向上に寄与した。 ◎市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合 実績９４．８％（目標１００％） ◎懲戒処分者数の減少率（対平成２６年度比） 実績５５．５％（目標１００％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
2	（評価対象外）人材育成事業 13,407千円 総務局 人事課								
		（事業概要、事業実績等） 「高松市職員人財育成ビジョン」に基づき、多様化した行政需要に誠意をもって応え、将来を見据えた行政運営ができる職員を育成するため、各種研修を実施したことにより、職員の資質・能力の向上につながった。							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
3	（評価対象外）職員力向上事業 2,578千円 総務局 人事課								
		（事業概要、事業実績等） 人事評価制度については、評価者に対する面談研修や新規採用職員に対する制度説明の研修を実施するなどして、職員の人事評価制度に対する理解を促進するよう取り組んだ。 また、昇任試験制度については、昇任試験受験勧奨制度を新設するなど、受験率の向上に努めたが、昨年度より下回った。							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
4	（評価対象外）人事管理事務 55,102千円 総務局 人事課								
		（事業概要、事業実績等） 引き続き、職員数の適正化を進めるとともに、人事院勧告に準拠した改定を行い、高松市職員の給与に関する条例等の一部改正を行った。							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
5	（評価対象外）職員数適正化事業 総務局 人事課								
		（事業概要、事業実績等） 「第２次高松市職員の定員管理計画」を令和４年３月に策定した。職員数については、計画数の範囲内であり、適正な職員の配置が行われた。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">6</td><td rowspan="2">（評価対象外）職員福利厚生事務
125,585千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>総務局
人事課</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
安全衛生委員会を実施し、職場の安全保持及び職員の安全意識高揚を図るとともに、各職場内の一層の自主的な安全活動を推進した。
また、職員の安全管理と疾病を予防するため、産業医による健康・メンタルヘルス相談を実施した。
さらに、職員の心理的な負担の程度を把握し、メンタルヘルス不調を未然に防止するため、ストレスチェックを実施し、職員自身にストレスへの気づきを促した。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">7</td><td rowspan="2">（評価対象外）組織機構・事務所管等の見直し事業</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>総務局
行政改革推進室</td><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
社会状況の複雑な変化や多様化・高度化する市民ニーズを踏まえ、本市が目指すべき都市像である「活力にあふれ　創造性豊かな　瀬戸の都・高松」を実現するために、効率的・効果的な組織体制の見直しを行った。
１　「山田総合センター」の新設
２　「保健予防課」の廃止、「感染症対策課」の新設、
　　「保健予防課」から「保健医療政策課」への一部事務移管
３　「全国高校総体推進室」の廃止
４　「南部土木センター」の新設（香川総合センター内）</td></tr>
</table>

令和　４年度　　施策の概要調書

施策	効率的で効果的な行財政運営の推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
47,123,133千円	A	22.4%	67.9%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政　策	健全で信頼される行財政運営の確立
担当局	総務局、市民政策局、健康福祉局、市議会事務局、選挙管理委員会事務局、財政局、監査委員事務局、都市整備局、創造都市推進局、出納室、公平委員会

対象	市民	意図	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化に的確に対応できる、効率的で効果的な行財政運営を推進し、より質の高い適切な公共サービスの提供を継続する。

概要（実績）

「効率的な行政運営の推進」では、ファシリティマネジメント推進事業において「高松市公共施設再編整備計画」の実施計画の策定等により、財政負担の軽減や平準化に向けた取組を推進したほか、総合センター整備事業では、山田総合センターの整備工事が完了し、令和５年４月に開設したことにより、全地域において行政サービスの拠点となる６つの総合センターが整備され、身近な場所で幅広い行政サービスが提供できるようになった。「健全な財政運営の推進」では、ふるさと高松応援寄附促進事業において、新たにふるさと納税ポータルサイトを追加したほか、返礼品として特色ある地場産品を加えるなど、返礼品の充実に取り組んだ結果、寄附額が増加した。また、競輪事業においては、コスト縮減と売上拡大を図る取組を行い、一般会計への繰出しを行った。「電子行政の推進」では、社会保障・税番号制度推進事業においてマイナンバーカードを活用した消費活性化策を実施したほか、オンラインでできる行政手続を一覧表示するサイト「たかまつデジタル市役所」の開設や、ＩＣＴ・データを活用したスマートシティの推進により、生活の利便性や快適性を向上させた。

成果指標

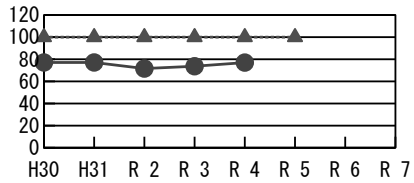
	指標名	R 4実績	R 4目標	達成度
①	行財政改革計画の目標達成度	77%	100%	77.0%
②	経常収支比率	94.1%	92%	97.7%
③	実質公債費比率	7%	9%	122.2%

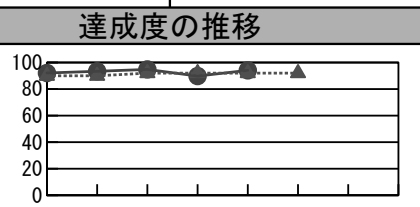
① 状況：計画の取組項目１００件のうち、社会情勢の変化等により目標を達成できなかった事業があったことなどから、達成度が「達成」及び「おおむね達成」となった事業は７７件となり、目標を達成することができなかった。

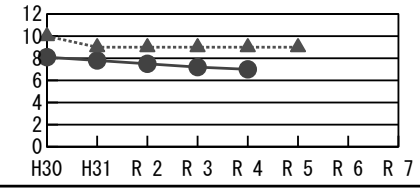
② 状況：障がい福祉サービス給付費などの経常的な扶助費（＋７億円）や給与改定による人件費（＋３億円）など経常経費が増加（＋１７億円）し、臨時財政対策債の減（▲３０億円）などにより、経常一般財源が減少（▲２８億円）したことから、前年度比で、４．３ポイント上昇し、目標を達成することができなかった。

③ 状況：当該指標は過去３か年の平均で算出されるところ、近年、元利償還金の額は増加しているものの、標準財政規模が増加する傾向にあることなどにより、前年度比で０．２ポイント改善し、目標を達成した状況を継続している。

達成度の推移







施策の課題

マイナンバーカードの積極的な申請補助サービス等による社会保障・税番号制度の普及促進や、全地域において行政サービスの拠点となる総合センターが整備されたことにより、住民サービスの向上につながった。今後は、スマートシティの実現に向けた取組の推進、行政手続のデジタル化の拡充や、地域行政組織再編に伴う効果の検証等により、さらに住民サービスや行政効率を向上させ、持続可能なまちづくりに取り組む必要がある。また、事業の選択と集中、ふるさと高松応援寄附制度の積極的なＰＲ等により、さらに財源を確保するほか、公共施設についてはファシリティマネジメントの観点から、財政負担の軽減化・平準化に努める必要がある。

施策の方向性

多様化・複雑化する市民ニーズや社会情勢の変化に的確に対応できる、効率的で効果的な行財政運営を推進し、健全で信頼される行財政運営の確立を目指す。

また、ポストコロナ社会において経済活動を活発化し、社会の持続性を高めることができるよう、あらゆる分野において、ＤＸ（デジタル・トランスフォーメーション）を推進する。

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）企画調整事務 3,884千円 市民政策局 政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 全国的な意見交換や研修会等に参加したほか、「デジタルトランスフォーメーションの取組検討プロジェクト」など、同様の課題を持つ自治体との協議・意見交換等を行ったことにより、課題の解決及び効率的な事業実施に寄与した。							
2	次期総合計画策定事業 10,100千円 市民政策局 政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	100.0%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 次期総合計画策定に向け、若い世代が、立場や世代を超え、フラットにまちづくりについてディスカッションできるワークショップ「たかまつ　ＦＬＡＴ　Ｍｅｅｔｉｎｇ」と市議会議員との意見交換会を開催し、市民の意見を反映しながら、次期総合計画骨子を取りまとめ、素案作成を行った。 ◎次期総合計画策定進捗率　実績４０％（目標４０％）							
3	自治推進事業 124千円 市民政策局 政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			92.8%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松市自治基本条例逐条解説の公開、高松市自治基本条例パンフレット等の配布及び市のホームページにより、条例について市民への周知啓発や職員への研修等を行った。 また、高松市自治推進審議会を２回開催し、高松市個人情報保護条例の見直しに伴う、高松市自治基本条例の見直しのほか、「自治会の再生・活性化」の施策に関する意見交換を行った。 ◎施策全体の満足度（市民満足度調査）　実績２６．９％（目標２９％）							
4	（評価対象外）総合計画推進事業 907千円 市民政策局 政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 市民の意見を市政に反映させるため、「第６次高松市総合計画」に掲げる施策に対する満足度や重要度、「高松市への愛着度」、「市政への関心」等について、市民満足度調査を実施した。 また、総合計画を市民に広く周知し、本市が目指すべき都市像を共有するため、総合計画概要版を作成した。 ・市民満足度調査回答率　３６．８％（９２１人／２，５００人） ・施策全体の満足度　２６．９％（前年比－１．５） ・施策全体の不満度　１７．８％（前年比＋０．７）							
5	（評価対象外）たかまつ創生総合戦略推進事業 85千円 市民政策局 政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） たかまつ創生総合戦略推進懇談会を開催し、たかまつ創生総合戦略の進捗状況や効果の検証を行い、効果的な事業推進に寄与した。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	（評価対象外）支所・出張所管理運営事業（東部南総合センター分） 357千円 市民政策局 地域振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 地域における行政サービスの拠点として、本庁機能の分散の受け皿となり、地域住民の福祉や利便性の向上に寄与した。							
7	総合センター整備事業（地域振興課分） 513,654千円 市民政策局 地域振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	100.0%	102.7%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 山田総合センターについては、整備工事が完了し、令和５年４月１日に開設した。 ◎総合センターへの移行施設数　実績５か所（目標５か所） ◎総合センターの取扱業務数　実績２６２業務（目標２５５業務） なお、山田総合センター整備工事等については、工程調整に日時を要したことにより、年度内に予算の執行が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：３６，２７７，０００円） また、前年度からの繰越事業である山田総合センター機械設備工事等については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：２９，６６２，５００円）							
8	（評価対象外）支所・出張所管理運営事業（地域振興課分） 35,249千円 市民政策局 地域振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 地域における行政サービスの拠点として、本庁機能の分散の受け皿となり、地域住民の福祉や利便性の向上に寄与した。							
9	（評価対象外）支所・出張所管理運営事業（牟礼総合センター分） 45,318千円 市民政策局 牟礼総合センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 地域における行政サービスの拠点として、本庁機能の分散の受け皿となるとともに、福祉相談窓口の強化を図るなど、地域住民の福祉や利便性の向上に寄与した。							
10	（評価対象外）仏生山交流センター管理運営事業（仏生山総合センター分） 45,694千円 市民政策局 仏生山総合センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 指定管理者を指定し、同センターの効果的な管理運営に努めるとともに、指定管理者が実施するイベントや貸館事業を通じて、地域の賑わい創出に寄与した。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容
11	（評価対象外）支所・出張所管理運営事業（仏生山総合センター分） 33,627千円	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 地域における行政サービスの拠点として、本庁機能の分散の受け皿となるとともに、福祉相談窓口の強化を図るなど、地域住民の福祉や利便性の向上に寄与した。
	市民政策局 仏生山総合センター	
12	（評価対象外）支所・出張所管理運営事業（香川総合センター分） 55,104千円	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 地域における行政サービスの拠点として、本庁機能の分散の受け皿となるとともに、福祉相談窓口の強化を図るなど、地域住民の福祉や利便性の向上に寄与した。
	市民政策局 香川総合センター	
13	（評価対象外）公文書館管理運営事業 14,423千円	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 公文書等の管理に関する法律が制定され、公文書の適正な管理と歴史公文書等の適切な保存及び利用に関する努力義務が規定されており、高松市公文書館は歴史公文書等の保存、利用及び調査研究を行う施設として、全国的にも先進地として認定され、適正な管理運営を実施できている。
	総務局 総務課	
14	（評価対象外）議員報酬、市長及び副市長の給料等審議会事務 130千円	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 市長からの諮問に応じ、高松市議員報酬、市長及び副市長の給料等審議会を３回開催し、議員報酬の額、市長及び副市長の給料の額、議会における政務活動費の額について審議、答申した。 審議結果（令和４年度答申） ・議員報酬の額　据置き ・市長及び副市長の給料の額　据置き ・議会における政務活動費の額　据置き
	総務局 総務課	
15	（評価対象外）工事請負契約等事務 28,526千円	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 工事及び物品に係る入札等について、「かがわ電子入札システム」を利用した契約事務を執行することにより、入札手続の透明性を確保するとともに、市及び入札参加業者の入札事務の効率化に寄与した。
	財政局 契約監理課	

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
16	（評価対象外）一般行政事務 38,379千円 総務局 総務課								
		（事業概要、事業実績等） 適正な行政運営を推進するため、報道機関がインターネットを通じてリアルタイムで配信する行政情報サービスを活用したほか、包括外部監査を実施した。 また、市長、副市長の秘書業務及び貴賓の接遇を行った。 包括外部監査テーマ ・高松市の外郭団体等に係る財務に関する事務の執行及び当該団体の出納その他の事務の執行について							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
17	（評価対象外）市政功労者表彰事務 445千円 総務局 総務課								
		（事業概要、事業実績等） 多年にわたり公益の増進や市政の振興発展に寄与され、その功績が顕著な方々に、高松市表彰条例に基づき市政功労者表彰を行った。令和４年度は市政功労者表彰式を令和５年２月１５日に開催し、４人と１団体に対し、市長表彰を行った。 人目に付きにくい分野やボランティア分野など幅広い分野からの候補者の掘り起こしに努めるため、各局に積極的な呼び掛けを行ったが、各局からの候補者推薦件数は、昨年度（１３人）より８件減の５件であった。							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
18	（評価対象外）公平委員会事務 216千円 公平委員会								
		（事業概要、事業実績等） 地方公務員法に基づき、中立的かつ専門的な人事機関として、人事行政の公平性・中立性の確保や職員の権利を保護するため、臨時会を開催した。 令和４年度実績 ・公平委員会臨時会　３回開催 ・職員の勤務条件に関する措置要求及び不利益処分に対する審査請求　０件 ・職員からの苦情相談の実施　１件 ・職員団体の登録等に関する事務　５件							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
19	（評価対象外）文書事務 43,630千円 総務局 総務課								
		（事業概要、事業実績等） ・本庁舎ＰＰＣ複写機１９台を職員の利用に供した。 （用紙購入枚数約１，０４２万枚（Ａ４換算）） ・１５９件の例規の制定改廃を行った。 ・メールカーによる支所・出張所等集配便により約３４万１，０００件の文書を集配した。 ・文書管理システムにおける電子決裁率が９８．４％となった。							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
20	（評価対象外）牟礼浄化苑多目的広場管理事業 13千円 総務局 総務課								
		（事業概要、事業実績等） 牟礼浄化苑多目的広場の適切な維持管理に取り組んだ。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
21	（評価対象外）行政不服審査事務 98千円 総務局 総務課								
		（事業概要、事業実績等） 行政不服審査法に基づき、行政庁の処分に関して、高松市長に対し審査請求が行われた件について、審理員による審理手続、行政不服審査会への諮問を経て裁決を行うなど、適切な対応を行った。 令和４年度実績 ・審査請求の受付件数　　３件 ・行政不服審査会の開催　２回							
22	（評価対象外）支所・出張所管理運営事業（勝賀総合センター分） 24,937千円 市民政策局 勝賀総合センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 地域における行政サービスの拠点として、本庁機能の分散の受け皿となるとともに、福祉相談窓口の強化を図るなど、地域住民の福祉や利便性の向上に寄与した。							
23	（評価対象外）支所・出張所管理運営事業（国分寺総合センター分） 34,296千円 市民政策局 国分寺総合センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 地域における行政サービスの拠点として、本庁機能の分散の受け皿となるとともに、福祉相談窓口の強化を図るなど、地域住民の福祉や利便性の向上に寄与した。							
24	（評価対象外）戸籍・住民基本台帳事務 157,059千円 市民政策局 市民課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 市内に本籍又は住所を定める日本人及び外国人からの戸籍届出や住民異動届出等に基づき、戸籍簿や住民基本台帳等を適正に管理するとともに、住民票の写し等の各種証明書交付事務等を実施した。 なお、前年度からの繰越事業である国の補正予算事業については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：１４，９６０，０００円）							
25	（評価対象外）自動車管理事務 72,609千円 財政局 財産経営課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 公用車を一括管理することにより、車検・点検・修繕関係等を計画的に実施するなど、保険・燃料関係を含めた公用車の適正管理を行った。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
26	（評価対象外）公有財産管理事務 40,703千円 財政局 財産経営課								
		（事業概要、事業実績等） 公有財産の適正管理を行うとともに、未利用財産の貸付けや売払処分などの有効活用により、公有財産管理に寄与した。 ・貸付け３９件、貸付収入１２，９１３，４９７円 ・売払い２件（一般競争入札２件、随意契約０件） ８４１．３２㎡　　売払収入１２，７９５，０００円							
27	（評価対象外）庁舎等管理事務 689,160千円 財政局 財産経営課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 利用者に安全で快適な環境を提供するため、庁舎設備のほか、不具合箇所については随時修繕を実施したことにより、庁舎等の適切な維持管理を行った。 なお、庁舎自動火災報知設備改修工事及び庁舎空調設備用冷温水配管等改修工事について、予定していた支払時期が延期されたことにより、年度内に予算の執行が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：７４，１８５，０００円） また、前年度からの繰越事業である庁舎発電設備等改修実施設計業務委託及び本庁舎１階防排煙設備用電磁弁修繕工事については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：８，７１６，４００円）							
28	総合センター整備事業（健康づくり推進課分） 339,039千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	100.0%	102.7%	A	A	B	A	完了
		（事業概要、事業実績等） 山田総合センターについては、建設工事が完了し、令和５年４月１日に開設した。 ◎総合センターへの移行施設数　実績５か所（目標５か所） ◎総合センターの取扱業務数　実績２６２業務（目標２５５業務） なお、前年度からの繰越事業である山田総合センター建設工事については完了した。 （令和３年度繰越明許事業費：１９，２６０，０００円）							
29	（評価対象外）統計調査事業 15,368千円 総務局 デジタル戦略課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 統計法に基づく各種基幹統計調査（令和４年就業構造基本調査や学校基本調査）を実施した。							
30	（評価対象外）監査事務 3,646千円 監査委員事務局 監査課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 令和４年度高松市監査実施計画に基づき、合規性、経済性、効率性、有効性の視点から、「ユニバーサルデザインの考え方に基づいた印刷物等による情報提供について」を重点取組事項とした行政監査や定期監査、例月現金出納検査、決算審査など、事務改善や行財政改革の推進に資する監査を実施するとともに、改善に向けた取組を促進した。 また、監査結果や措置通知等の公表は、市民に対し、分かりやすいものとなるよう工夫し、情報発信を行った。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
31	（評価対象外）行政改革推進事業 344千円 総務局 行政改革推進室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 令和２年度から４年間を計画期間とする第８次高松市行財政改革計画に基づき、市政全般にわたって行財政改革に取り組み、１０億１，２９３万７千円の実績（歳入増加額と歳出削減額の合計額）があったほか、事務事業の改革・改善の実効性を高めるため、高松市行財政改革推進委員会による外部評価を実施し、４事業について評価及び今後の取組方針を決定した。							
32	（評価対象外）市有建築物設計監理監督事務 16,012千円 都市整備局 建築課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 主管課からの依頼を受け、田井・大町地区幼保一体化施設整備、塩江道の駅エリア整備、国分寺北部幼稚園大規模改修、瓦町駅前広場中央監視制御設備改修等の実施設計を行った。 また、高松第一高等学校、山田総合センター、屋島、十河、川島の各コミュニティセンターの建設、玉藻公園電気設備、庁舎空調設備用冷温水配管・発電設備の改修等の工事監理を行ったほか、安全・安心で良質なストック整備事業の支援及び技術的な助言を行った。							
33	総合センター整備事業（行政改革推進室分） 総務局 行政改革推進室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	100.0%	102.7%	A	A	B	A	完了
		（事業概要、事業実績等） 令和５年４月１日に山田総合センターが開設したことに伴い、全地域において行政サービスの拠点となる６つの総合センターが整備され、市民により近いところで幅広い行政サービスを提供できるようになった。 取扱件数が目標値の２５５業務に対して実績値２６２業務を達成しており、市民の利便性が向上している。 ◎総合センターへの移行施設数　実績５か所（目標５か所） ◎総合センターの取扱業務数　実績２６２業務（目標２５５業務）							
34	ファシリティマネジメント推進事業 4,078千円 財政局 ファシリティマネジメント推進室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 長寿命化等の対策を一元的に把握し総合的なマネジメントの実施に役立てることを目的とした「高松市公共施設等総合管理計画」の改定をすることにより、ファシリティマネジメントの取組を進めた。 ◎各種方針・計画等策定の進捗率　実績１００％（目標１００％）							
35	（評価対象外）議会事務 551,371千円 市議会事務局 総務調査課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 議員の調査研究に資するため、政務活動費を交付し、調査活動の充実に寄与した。 市民への議会情報の提供として、インターネットによる議会映像の配信や議会広報紙「たかまつ市議会レポート」の配布及び市議会ホームページへの掲載を行った。 また、市民との意見交換会を１回、高松第一高等学校生徒との意見交換会を２回開催し、市議会への関心を高めた。 議会活動資料として、会議録を始め、市政概況、主要・新規事業調べなどを作成し、議員等に提供した。また、タブレット端末を利用したペーパーレス化を進めており、各種資料提供についてもタブレット端末を利用して行っている。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
36	（評価対象外）選挙執行事務 306,836千円 選挙管理委員会事務局 選挙課								
		（事業概要、事業実績等） 公職選挙法の規定に基づき、参議院議員通常選挙、香川県知事選挙及び香川県議会議員補欠選挙（高松市選挙区）の管理執行を適正に行った。							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
37	（評価対象外）選挙管理委員会事務 9,088千円 選挙管理委員会事務局 選挙課								
		（事業概要、事業実績等） 市内の小・中学校及び高等学校の児童生徒を対象に「明るい選挙啓発ポスター」を募集し、瓦町フラッグでポスター展を開催したほか、選挙啓発カレンダーを作成し、市内の小・中学校に配布するなど、児童生徒に対する選挙啓発を行った。 また、大学、高等学校、特別支援学校及びさぬきこどもの国において模擬投票などの選挙啓発を行ったことにより、若年層における有権者意識が向上した。							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
38	（評価対象外）基金管理事務 808,454千円 財政局 財政課								
		（事業概要、事業実績等） 財政調整基金は前年度決算剰余金を２０億円、利息分を約５０５万円積み立てた一方、予算収支の均衡を図るため、１１億６，１１６万７千円取り崩した。 また、減債基金については、市債の繰上償還を行うため、６億５，７５０万６千円を取り崩した。施設整備基金については、老朽化が進む公共施設の整備に対応するため、８億円積み立てた一方、５億円取り崩した。							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
39	（評価対象外）財政管理事務 7,784千円 財政局 財政課								
		（事業概要、事業実績等） 予算決算、財政収支見通し、公会計、交付税や市債の借入及び償還等財政全般に係る業務を行った。							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
40	（評価対象外）市債管理事務 18,124,228千円 財政局 財政課								
		（事業概要、事業実績等） 建設事業の財源として９６億８，１１０万円の市債のほか、臨時財政対策債を４０億４，０９５万３千円発行し、約１７５億１，１５２万円の元金償還を行った。 なお、元金償還額のうち、約６億５７８万円は、市債残高の抑制を図るため、繰上償還を行ったものである。							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	担当課	事業内容

41

（評価対象外）予備費管理事務

財政局
財政課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性

（事業概要、事業実績等）

令和４年１月１１日の落雷により被害を被った塩江無線中継所の活動波用基地局無線装置等の復旧費用のほか、令和４年度夏季渇水への対応経費などに対し、計１，４５０万５千円予備費を充用した。

42

競輪事業

21,796,333千円

創造都市推進局
競輪場事業課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	99.3%		A	A	B	A	改善継続

（事業概要、事業実績等）

昭和２５年度から自転車競技法に基づき、①自転車その他の機械工業の振興、②体育、社会福祉などの公益の推進、③地方財政の健全化を図るため、競輪事業を実施している。厳しい経営環境の中、ナイター場外発売や本市競輪場でのミッドナイト競輪の開催など、様々な車券売上の増加策を講じるとともに、各種経費の見直しを行い、経営改善に取り組んだが、記念競輪（GⅢ）の開催日程の影響などにより、目標を下回った。

◎車券発売収入
　　実績２１，２７５，８３６千円（目標２１，４３４，９００千円）
なお、前年度からの繰越事業であるナイター照明設備等設置工事については完了した。
（令和３年度繰越明許事業費：８，６４７，１００円）

43

ふるさと高松応援寄附促進事業

519,197千円

財政局
納税課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	93.9%	93.3%	A	A	B	A	継続

（事業概要、事業実績等）

新たなポータルサイトへの掲載や魅力ある返礼品の追加などにより、昨年度より寄附金額を増やすことができたものの、目標で見込んだ伸び率を下回ったため、目標値には達しなかった。

◎ふるさと納税寄附人数　実績８６，３４３人（目標９．２万人）
◎ふるさと納税寄附金額　実績９３２，７４７千円（目標１０億円）

44

（評価対象外）収納管理事務

397,105千円

財政局
納税課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性

（事業概要、事業実績等）

引き続き、市税滞納者に対して、納税案内センターによる電話催告や文書による一斉催告などを実施し、差押えなど適切な滞納整理を行った。
また、新型コロナウイルス感染症の影響により、市税を納付することが困難な人に対して、申請により市税の徴収を猶予したが、前年度と比較して申請数が減少したことなどから、市税現年度分の収入率は上昇した。

○令和４年度市税現年度分決算
　収入額：６４，７２３，６５１，２９４円、収入率：９９．３％
○令和３年度市税現年度分決算（参考）
　収入額：６３，２１８，８２１，７１３円、収入率：９９．２％

45

（評価対象外）市民税等課税事務

83,839千円

財政局
市民税課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性

（事業概要、事業実績等）

原則、全ての事業主について、特別徴収義務者の指定を行い、給与所得者に係る個人住民税の特別徴収の完全実施を行った。

給与所得者に占める特別徴収の割合
８９．８％（前年度比－０．２ポイント）

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
46	（評価対象外）固定資産税等課税事務 210,174千円 財政局 資産税課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 土地、家屋及び償却資産の正確な評価により、当初課税事務を行ったほか、土地、家屋の異動状況の把握や償却資産の申告状況を把握することなどにより、課税客体の捕捉を行った。 ○令和５年度固定資産税当初調定 調定額　　２７２億４，１１１万円（前年度比１．４ポイント増） 納税義務者数　　１７６，３４４人（前年度比０．１９ポイント増）							
47	（評価対象外）会計管理事務 48,968千円 出納 出納室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 公金の収納・支払事務を始め出納員検査を実施し、適正かつ効率的な会計事務を行った。 ・指定金融機関等の公金収納及び支払事務等検査 （実地＋書面検査：８金融機関１０店舗、書面検査１２金融機関） ・出納員及び分任出納員等の職務執行状況調査１０３件 ・審査出納員の職務執行状況調査２７課							
48	（評価対象外）債権管理適正化推進事業 533千円 財政局 債権回収室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 債権所管課において、回収に取り組んだものの、回収困難な強制徴収公債権、非強制徴収公債権及び私債権について、効率的・効果的な回収を行うため、納税課の滞納処分等の徴収ノウハウをいかし、預金等の差押えなど、徴収強化に取り組むとともに、収納担当者実務研修会を開催するなど、各債権所管課の債権管理におけるスキルの向上につなげた。 ・債権回収額（令和４年度実績）：１５，２２５，６１４円 ・債権管理に関する研修会：６回							
49	（評価対象外）塩江ケーブルネットワーク管理運営事業 10,629千円 市民政策局 香川総合センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 塩江ケーブルネットワークを通じて地域のニーズに即した情報を提供することにより、公共サービスの高度化に寄与した。 また、令和４年７月１日には、同設備の民間譲渡が完了し、市の管理運営は、概ねＦＭ告知放送端末のみに縮小した。							
50	社会保障・税番号制度推進事業（市民課分） 40,100千円 市民政策局 市民課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	107.4%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） マイナンバーカードの普及促進を図るため、国や県のマイナポイント事業に併せ、県や委託事業者と連携し、出入国管理局を始め、企業や団体、大型商業施設等での出張申請を積極的に行った。 ◎マイナンバーカード交付率　実績６４．４６％（目標６０％）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
51	オープンデータ利活用推進事業 3,842千円 総務局 デジタル戦略課	一般重点	144.2%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） デジタル田園都市国家構想事業と連携し、オープンデータサイトの改修を実施した。 誰でも利用可能なオープンデータの件数を増加させ、データ利活用の環境を充実させたほか、産学官連携の下、ハッカソン、ワークショップ等を開催し、データ利活用人材の育成を進めた。 ◎オープンデータ件数　実績２２２件（目標１５４件）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
52	社会保障・税番号制度推進事業（デジタル戦略課分） 78,277千円 総務局 デジタル戦略課	一般重点	107.4%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 本庁や市民サービスセンター、総合センターにおいて、写真撮影及びオンライン申請補助サービスを継続したほか、企業への出張申請、大型商業施設での出張申請イベントを実施することで、マイナンバーカードの普及を促進した。 また、マイナポイント事業第２弾についての広報活動や、マイナポイント設定支援窓口を設置するなどの取組を行うことで、市民の利便性が向上した。 ◎マイナンバーカード交付率　実績６４．４６％（目標６０％）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
53	スマートシティたかまつ推進事業 687,600千円 総務局 デジタル戦略課	特別重点	150.0%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 国のデジタル田園都市国家構想推進交付金事業に採択され、複数サービスの社会実装を行った。 また、産学民官の多様な主体が参画するスマートシティたかまつ推進協議会と連携を図りながら、様々な分野での取組を推進するとともに、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化のため、いわゆるデジタルデバイドの解消に向けた対策を進めるなど、ＩＣＴ・データの活用により地域課題の解決を図る「スマートシティたかまつ」の実現に寄与する事業を進めた。 ◎共通プラットフォームで収集・分析するデータ種別数 実績１５件（目標１０件）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
54	自治体ＤＸ推進事業（デジタル戦略課分） 2,972千円 総務局 デジタル戦略課	特別重点	110.0%	305.0%	A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） ぴったりサービスや汎用電子申請フォーム、ＲＰＡ、ＡＩ－ＯＣＲなど、様々なツールの利用を推進し、１００件を超える手続きをデジタル化した。 行政手続のオンライン申請・届出を促進し、申請データ等を活用した事務処理が簡素化されることにより、職員の作業時間が短縮され、効率的な行政運営の推進に寄与した。 ◎行政手続のデジタル化実施件数　実績１１０件（目標１００件） ◎デジタルツールを活用して効率化を図った事務事業数 実績２４４件（目標８０件）							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
55	情報処理システム管理運営事業 798,982千円 総務局 情報マネジメント課		100.0%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） システム障害等インシデント発生時も迅速かつ適切に対応し、情報システムや情報インフラを安定的かつ効率的に運営管理した。 ◎インシデント解決率　実績１００％（目標１００％）							

令和　４年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
56	超高速情報通信網整備事業 17,466千円 総務局 情報マネジメント課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 公設民営方式で整備した西植田等地域（西植田町、東植田町、菅沢町、池田町の一部、庵治町東部）及び男木島の超高速情報通信網の適切な運用管理を実施し、当該地域において、情報通信サービス等の安定した利用環境を提供した。 なお、西植田等地域の当該設備については、国のガイドラインに基づき、令和４年７月１日付けで民間譲渡を行った。 ◎市域における整備率　実績９９．９％（目標９９．９％）							
57	（評価対象外）庁内ネットワーク再構築事業 48,394千円 総務局 情報マネジメント課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 効率的な業務システム運営を図るため、老朽化した庁内ネットワーク設備を高速で安定した庁内ネットワークシステムに再構築したことにより、迅速かつ効率的な業務遂行につながった。							
58	自治体ＤＸ推進事業（情報マネジメント課分） 6,886千円 総務局 情報マネジメント課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	110.0%	305.0%	A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 新たに２業務で導入したＲＰＡやＡＩ－ＯＣＲ、ＡＩ議事録を積極的に活用したことにより、業務の効率化が図られ、業務時間やコスト縮減の効果があった。 ◎行政手続のデジタル化実施件数　実績１１０件（目標１００件） ◎デジタルツールを活用して効率化を図った事務事業数 実績２４４件（目標８０件）							
59	（評価対象外）デジタル社会基盤整備事業 28,600千円 都市整備局 建築指導課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 建築物・インフラ情報のＤＸ化を実施し、窓口業務の手続き時短、台帳の更新の最適化に寄与した。							

（参考）

第６次高松市総合計画に掲げる施策の目標と実績

（ 参 考 ）
第６次高松市総合計画に掲げる施策の目標と実績

１　健やかにいきいきと暮らせるまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値（R4）	目標値(R5)
子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実	子どもの成長への支援	１歳６か月児健康診査受診率	１歳６か月児健康診査対象者のうち受診した割合	96.7　%	95.0　%
		認定こども園数	教育・保育施設のうち認定こども園の施設数	26 施設	22 施設
		自立支援プログラム策定者の就職率	母子・父子自立支援プログラム策定者のうち就職に至った割合	62.5　%	90.0　%
	子育て家庭への支援	子ども食堂等箇所数	民間が実施するこども食堂等の箇所数	29 か所	26 か所
		放課後児童クラブ入会率	放課後児童クラブ利用申込者のうち入会した割合	98.5　%	100.0　%
		保育施設等待機児童数	４月１日現在での保育施設等待機児童数	19　人	0　人
支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成	地域福祉の推進	民生委員・児童委員の充足率	条例で定める民生委員・児童委員の定数の充足割合	97.7　%	100.0　%
		指導監査における文書指摘がない社会福祉法人等の割合	指導監査を行う社会福祉法人及び社会福祉施設のうち文書指摘がない法人・施設の割合	74.4　%	75.0　%
	地域包括ケアシステムの構築	要介護者の在宅比率	在宅での要介護認定者の割合	80.3　%	79.2　%
		自立高齢者率	介護・支援を必要としていない６５歳以上の高齢者の割合	78.9　%	78.5　%
		自立後期高齢者率	介護・支援を必要としていない７５歳以上の高齢者の割合	64.3　%	62.1　%
	障がい者の自立支援と社会参加の促進	施設入所者の地域生活への移行者数（累積）	障害者支援施設から持ち家、賃貸住宅、グループホーム等へ移行した障がい者数	174　人	137　人
		福祉施設から一般就労への移行者数	就労系障害福祉サービス事業所から一般就労へ移行した障がい者数	74　人	54　人
	生活困窮者等への自立支援	勤労収入の増加による生活保護廃止率	生活保護廃止世帯数に占める勤労収入の増加による廃止世帯数の割合	6.8　%	22.0　%
		支援プラン作成率	自立相談支援センターたかまつでの新規相談受付件数に占める支援プラン作成割合	24.3　%	50.0　%
健康で元気に暮らせる環境づくり	健康づくりの推進	介護保険の要介護２～５の認定率	６５歳以上で、介護保険の要介護２～５の認定者の割合	11.3　%	11.1　%
		がん検診受診率（２０～６９歳）	「高松市民の健康づくりに関する調査」において、過去１年間に各種がん検診を受けたと回答した方の割合	57.7　%	60.0　%
		内臓脂肪症候群該当者出現率（国保ベース）	特定健康診査受診者に占める内臓脂肪症候群該当者の割合	23.6　%	13.7　%

健康で元気に暮らせる環境づくり	医療体制の充実	立入検査違反率	立入検査を行った医療施設のうち、違反が認められた施設の割合	2.2 %	40.1 %
		地域医療機関からの紹介率	市民病院に地域の医療機関から患者を紹介された割合	74.0 %	60.0 %
		地域医療機関への逆紹介率	市民病院が地域の医療機関に患者を紹介した割合	84.0 %	85.0 %
	社会保障制度の適切な運営	国民健康保険の被保険者１人当たりの保険給付費	保険給付費を国民健康保険の被保険者数で割った数	397,386 円	427,000 円
		介護保険サービス利用率	要介護（要支援）認定者に占める介護保険利用者の割合（いずれも第２号被保険者含む）	86.6 %	84.2 %
		１人当たり介護サービス費用額	介護保険サービス利用者１人当たりの介護給付費費用額（いずれも第２号被保険者含む）	152,856 円	150,800 円

２　心豊かで未来を築く人を育むまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値（R4）	目標値(R5)
男女共同参画社会の形成	男女共同参画の推進	審議会等における女性委員の割合	本市審議会等における女性委員の割合	38.9 %	44.0 %
		事業所における女性従業員の割合	市内事業所における女性従業員の割合（アンケート調査）	— %	50.0 %
		男性の育児休業者がいた事業所の割合	１年間に男性の育児休業者がいた市内事業所の割合（アンケート調査）	— %	6.3 %
社会を生き抜く力を育む教育の充実	学校教育の充実	学校評価平均評価得点（確かな学力の育成に関すること）	各校の確かな学力の育成に関する評価得点（最高値４点、最低値１点）の平均点	3.33 点	3.5 点
		学校評価平均評価得点（体力・運動能力の育成に関すること）	各校の体力・運動能力の育成に関する評価得点（最高値４点、最低値１点）の平均点	3.23 点	3.5 点
	学校教育環境の整備	学校施設長寿命化整備の進捗率	学校施設整備計画（仮称）に基づく令和５年度末の長寿命化整備工事計画棟数を１００とした場合の進捗率	37.5 %	100.0 %
		ＩＣＴを活用した授業を行っている教員の割合	電子黒板や教材提示装置、デジタル教科書等を利用して授業を行っている教員の割合	85.0 %	100.0 %
	子どもの安全確保	子ども人口千人当たりの不審者情報メール配信先件数	１５歳未満の子ども人口千人当たりの不審者情報メールを配信した相手先の件数	9.0 件	9.1 件
		通学路合同点検計画における達成率	高松市通学路交通安全プログラムにおける通学路合同点検の計画目標値に対する達成割合	96.0 %	100.0 %

社会を生き抜く力を育む教育の充実	青少年の健全育成	子ども会加入率	子ども会会員となっている児童の割合	67.8 %	73.0 %
		少年人口千人当たりの補導人数	５～１９歳の少年人口千人当たりの少年育成センター・少年育成委員・高松地域生徒指導推進協議会等による補導活動で補導された人数	9.0 人	4.5 人
	家庭・地域の教育力の向上	地域交流事業を実施している割合	子どもを中心にした地域交流事業を実施している地域の割合	63.6 %	100.0 %
		朝ごはん摂取率	「早寝早起き朝ごはん」生活リズムチェックシート調査における朝ごはんを毎日摂取している小学校６年生の割合	85.3 %	91.0 %
	大学等高等教育の充実	包括協定を結んでいる大学等の学生・生徒の充足率	包括協定を結んでいる大学等の定員に対する学生・生徒数の割合	94.2 %	99.6 %
		包括協定を結んでいる大学等入学生の市内出身者割合	包括協定を結んでいる大学等における入学生に占める市内出身者の割合	24.6 %	26.0 %
心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成	生涯学習の推進	まなびＣＡＮ及びコミュニティセンターの講座の参加者数等	まなびＣＡＮの来館者数及びコミュニティセンター講座（女性教室、家庭教育学級を除く）の延参加者数	395,516 人	637,000 人
		市民１人当たりの図書館図書貸出冊数	本市の人口１人当たりの図書館図書の年間貸出冊数	5.9 冊	8.2 冊
基本的人権を尊重する社会の確立	人権尊重意識の普及・高揚	人権啓発事業等参加者数	人権教育市民講座参加者、みんなで人権を考える会、人権啓発推進員による啓発事業及び人権啓発講演会への参加者数	3,629 人	14,000 人
	平和意識の普及・高揚	平和意識の啓発に関するイベントなどの参加者数	市が主催する平和意識の啓発に関するイベントなどの参加者数	6,131 人	8,250 人

３　産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値（R4）	目標値(R5)
地域を支える産業の振興と経済の活性化	商工業の振興	中小企業経営講習会の年間受講者数	本市と高松商工会議所の共催により開催している中小企業経営講習会の年間受講者数	1,539 人	2,500 人
		中央商店街の空き店舗率	中央商店街における店舗のうち、空き店舗が占める割合	16.7 %	14.9 %
		企業誘致助成制度指定件数	企業誘致助成制度の指定件数（平成21年度以降の累積指定件数）	115 件	125 件
	農林水産業の振興	認定農業者数	本市が認定した認定農業者数	326 経営体	320 経営体
		農畜産物販売額（ＪＡ取扱金額に限る）	市内の農畜産物販売金額（ＪＡ取扱金額に限る）	39.9 億円	42 億円
		卸売市場の取扱金額	青果、水産物及び花きの取扱金額	295 億円	318 億円

地域を支える産業の振興と経済の活性化	特産品の育成・振興とブランド力の向上	販路開拓事業等来場者数	販路開拓事業等の来場者数	69,117 人	23,000 人
		盆栽輸出登録申請者数（ＥＵ）	農林水産省神戸植物防疫所坂出支所に申請があった数	16 人	26 人
		伝統的ものづくり普及啓発事業等参加者数	伝統的ものづくり親子体験教室や巡回教室等の参加者数	270 人	1,000 人
	就業環境の充実	中小企業等表彰事業（働き方改革部門）の表彰事業者の延べ数	中小企業等表彰事業（働き方改革部門）の表彰事業者の延べ団体数	7 団体	10 団体
文化芸術の振興と発信	文化芸術の振興	文化芸術ホールにおける事業の参加者数	文化芸術ホールにおいて開催される全事業の参加者数	—	—
		アウトリーチ事業の参加者数	地域に出向いての文化芸術活動（アウトリーチ事業）の参加者数	51,993 人	125,000 人
		美術館来館者数	高松市美術館及び塩江美術館の展覧会観覧者、イベント参加者、講座室利用者等合計人数	165,024 人	174,000 人
	文化財の保存・活用	歴史資料館等利用者数	歴史資料館・石の民俗資料館・香南歴史民俗郷土館・讃岐国分寺跡資料館の利用者数	140,927 人	145,000 人
		文化財学習会・体験講座参加者数	ふるさと探訪等文化財学習会・体験講座の参加者数	84 人	1,400 人
元気を生み出すスポーツの振興	スポーツの振興	社会体育施設利用者数	社会体育施設の延べ利用者数	1,917,984 人	3,137,000 人
		トップスポーツチーム試合観戦者数	トップスポーツ４チームのホームゲーム観戦者数	56,092 人	179,200 人
		トップスポーツ４チームの後援会等会員（高松市民）数	各チームにおける後援会やクラブの会員（個人）のうち、高松市民を抽出した会員数	1,143 人	1,600 人
訪れたくなる観光・MICE（マイス）の振興	観光客受入環境の整備	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	5,437 千人	7,100 千人
		香川県への再来訪意向割合	香川県観光客動態調査報告の「香川県への再来訪意向」における「ぜひ来たい」「来たいと思う」と回答した人の割合	86.1 %	85.0 %
	観光客誘致の推進	まつり・イベント入込客数	観光イベント振興事業補助対象事業入込客数	390 千人	810 千人
		コンベンション数	（公財）高松観光コンベンション・ビューロー報告の「コンベンション統計」における開催件数	111 件	306 件
		エクスペリエンス高松（ホームページ）閲覧件数	エクスペリエンス高松のホームページ閲覧件数	459,531 件	144,000 件

国際･国内交流の推進と定住の促進	国際・国内交流の推進	姉妹・友好都市等との交流事業参加者数	姉妹・友好都市等との交流事業に参加した人数	77 人	400 人
		国内の提携都市との交流事業参加者数	国内の提携都市との交流事業に参加した人数	111 人	400 人
	移住・交流の促進	高松市移住ナビ（ホームページ）閲覧件数	高松市移住ナビのホームページ閲覧件数	36,684 件	36,380 件
		年間社会増	本市の１年間の転入者数と転出者数の差（社会増減）	279 人	1,000 人

４　安全で安心して暮らし続けられるまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値（R4）	目標値(R5)
安全で安心して暮らせる社会環境の形成	消防・救急の充実強化	出火率	人口１万人当たりの出火率	3.6 %	3.2 %
		救命率	心肺機能停止傷病者が社会復帰した割合（暦年）	3.4 %	8.0 %
	防災・減災対策の充実	地域における防災訓練の実施率	防災訓練を実施したことがある地域の割合	90.9 %	100.0 %
	交通安全対策の充実	交通事故発生件数	市内の交通事故発生件数	1,575 件	2,280 件
		人口10万人当たりの交通事故による死者数	県警交通事故統計資料による（市町別交通事故発生状況）	3.60 人	3.23 人
	防犯体制の整備	人口千人当たりの街頭犯罪等発生件数	市内における人口千人当たりの街頭犯罪等発生件数	2.0 件	3.9 件
	生活衛生の向上	食品衛生等違反指導率	立入監視を行った施設のうち違反等指導を受けた施設の割合	2.0 %	1.0 %
		犬・猫の殺処分率	引き取った犬・猫のうち、引き取り手がなく殺処分された犬・猫の割合	53.5 %	50.0 %
	消費者の権利保護と自立促進	消費生活相談における解決割合	消費生活センターへの相談のうち、解決に導けた件数（他機関への誘導を含む）の割合	98.4 %	99.5 %
環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	ごみの減量と再資源化の推進	１人１日当たりのごみ排出量	ごみ総量に対する１人１日当たりの排出量	882 g/人・日	874 g/人・日
		１人１日当たりの資源化量	資源化した総量に対する１人１日当たりの量	169 g/人・日	192 g/人・日
	廃棄物の適正処理	一般廃棄物の年間埋立処分量	一般廃棄物の年間埋立処分量	13,346 t	11,270 t
		産業廃棄物の不適正保管量	産業廃棄物の不適正保管量	11,536 t	11,500 t

環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	不法投棄の防止	不法投棄通報、相談件数	不法投棄通報及び相談件数の合計	122 件	100 件
		ボランティア清掃の参加者数	地区一斉清掃及びボランティア清掃の参加者数	143,299 人	226,000 人
	地球温暖化対策の推進	市有施設における再生可能エネルギー発電設備の発電出力	市有施設における再生可能エネルギー発電設備の発電出力	4,936 kW	5,060 kW
		地球温暖化防止のための取組実施率	家庭における地球温暖化防止のための取組の実施率（アンケート調査）	37.7 %	57.4 %
	環境保全活動の推進	環境学習参加者数	南部クリーンセンターの施設見学者数及び南部クリーンセンター、まなびＣＡＮ、環境保全推進課（令和４年度からは環境総務課）の行う環境学習事業の参加者数	4,930 人	6,150 人
豊かな暮らしを支える生活環境の向上	居住環境の整備	建築物等の完了検査済証交付率	建築確認済証を交付した建築物等のうち、竣工後に完了検査済証を交付した割合	95.9 %	100.0 %
		老朽危険空家除却支援件数（累計）	老朽危険空き家除却支援制度利用により除却した空き家件数	255 件	303 件
	身近な道路環境の整備	市道改良延長	50m以上連続した幅員４m以上の区間を有する市道	1,571 km	1,519 km
	河川・港湾の整備	治水施設の不具合による浸水発生件数	治水施設の不具合により浸水が発生した件数	0 件	0 件
		津波・高潮対策施設の整備率	香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画における第１期整備計画延長に対する整備済延長の比率	63.0 %	100.0 %
	みどりの保全・創造	市民１人当たり都市公園等の面積	市民１人当たりの都市公園等の面積	9.40 ㎡	9.28 ㎡
	水の安定供給	１人１日当たり水道平均使用水量	給水人口１人１日当たりの水道平均使用水量	301 L	299 L
	汚水・雨水対策の充実	汚水処理人口普及率	総人口に対する生活排水処理施設整備人口の割合	89.3 %	89.3 %
		雨水対策整備率	下水道事業計画区域内において雨水による浸水対策が講じられた面積の割合	48.8 %	49.6 %
		下水道管路耐震化率	管路総延長に対する耐震管延長の割合	39.7 %	39.2 %

５　環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値（R4）	目標値(R5)
コンパクトで魅力ある都市空間の形成	多核連携型コンパクト・エコシティの推進	用途地域内の人口比率	用途地域内の人口の割合	63.3　%	64.9　%
		中心市街地の居住人口の割合	中心市街地活性化エリア内の人口の割合	4.7　%	5.1　%
	景観の保全・形成・創出	特別な区域における既存不適格広告物の適正化率	特別な区域における既存不適格広告物の件数のうち、改修等がなされた件数の割合	75.0　%	80.0　%
快適で人にやさしい都市交通の形成	公共交通の利便性の向上	公共交通機関利用率	本市の人口のうち、公共交通機関利用者数の割合	13.2　%	16.5　%
		交通結節拠点におけるバス路線の結節数（都心部を除く）	交通結節拠点となる鉄道駅に、結節させるバス路線総数（都心部を除く）	9 路線	14 路線
	自転車の利用環境の向上	自転車道等整備済延長（累積）	高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針に位置付けられた路線の整備延長	11.8　km	15.9　km
		レンタサイクル利用者数	１年間のレンタサイクルを利用した延べ人数	150,625　人	328,500　人
拠点性を発揮できる都市機能の充実	拠点性を高める交通網の整備と利用促進	高松空港の利用者数	高松空港を離発着する定期航空路線の年間利用者数	133 万人	233 万人
		高松港に入港した外国貿易船の年間延べ純トン数	特別とん税の課税基準となる、外国貿易船の年間延べ純トン数	881千純 トン	1,110千純 トン
		市内ＪＲ駅の乗降客数	市内にあるＪＲ駅での年間乗降客数	614 万人	785 万人
	拠点性を高める道路ネットワークの整備	都市計画道路整備率	都市計画道路の計画延長ベースでの整備進捗率	88.4　%	86.6　%
	中心市街地の活性化	中央商店街の空き店舗率	中央商店街における店舗のうち、空き店舗が占める割合	16.7　%	14.9　%
		中央商店街の歩行者通行量	中央商店街の歩行者通行量（全日、15地点）	117,052　人	97,721　人
		中心市街地の居住人口の割合	中心市街地活性化エリア内の人口の割合	4.7　%	5.1　%

６　市民と行政がともに力を発揮できるまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値（R4）	目標値(R5)
参画･協働によるコミュニティの再生	地域コミュニティの自立・活性化	自治会加入率	世帯のうち自治会加入世帯の割合	52.7　%	62.4　%
		コミュニティプランの見直し率	コミュニティプランを見直したコミュニティの割合	84.1　%	100.0　%
	参画・協働の推進	ボランティアマッチング講座開講数	地域に出向いて行った市民活動団体講座数	3 講座	10 講座
		市政出前ふれあいトーク延べ参加者数	市政出前ふれあいトーク延べ参加者数	6,359　人	21,200　人

参画・協働によるコミュニティの再生	離島の振興	各島への年間来島者数	１年間の女木島・男木島・大島と島外の交流者数	200,086　人	136,000　人
		イベント参加者数	大島で行われる講演会、学習交流、アーティスト・イン・レジデンスの参加者数	1,273　人	9,184　人
相互の特長をいかした多様な連携の推進	連携の推進	連携中枢都市圏での連携事業数	圏域における生活関連機能サービスの向上、経済成長のけん引、高次の都市機能の集積・強化に資する連携事業数	77 事業	80 事業
		大学等との連携・協力事業数	庁内照会により把握した大学等と本市の連携・協力事業数	119 事業	110 事業
		企業等との連携・協力事業数	庁内照会により把握した企業等と本市の連携・協力事業数	125 事業	60 事業
健全で信頼される行財政運営の確立	職員力の向上	市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合	コンプライアンスに関する職員意識調査の設問の回答割合	94.8　%	100.0　%
		昇任試験受験率	昇任試験受験資格がある職員が試験を受験した割合	9.17　%	30.0　%
		職員の定員管理計画の目標達成率	職員の定員管理計画における目標職員数に対する達成率	100.0　%	100.0　%
	効率的で効果的な行財政運営の推進	行財政改革計画の目標達成度	実績報告に係る達成度について、「達成」及び「おおむね達成」の事業の割合	77.0　%	100.0　%
		経常収支比率	経常的な収入を毎年度必要となる経常的・義務的な経費に使っている割合	94.1　%	92.0　%
		実質公債費比率	経常的な収入を実質的な借入金支払（公債費や公営企業繰出金など）に充てている割合	7.0　%	9.0　%